



Fujioka
General
Hospital
2022

病院年報

公立藤岡総合病院



介護老人保健施設「しらさぎの里」



令和4年度年報発刊に寄せて

病院長 塚田義人

令和4年(2022年)度の年報をここに発行します。前年に続き猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、新年早々からオミクロン変異株として第6波(BA.1/BA.2)の大流行をもたらし、3か月をかけようやく下火になる時点から4月の新年度を迎え、8月をピークとする第7波(BA.5)、そして従来に増した爆発的な流行の第8波が12月をピークに生じました。特に第8波においては重症患者が比較的少ないものの、合併症を有し介護施設などへ入所中の高齢者が多数感染し、一方、学童期の子供の感染を通じ当院の職員にも多数の感染者が生じ、一時期病棟の実働看護師が大幅に減少する事態となりました。なにより危機的であったのが、病棟でのクラスターが初めて発生し、年末年始の寒冷期にかけて複数の病棟の新規入院を停止せざるを得なかったことです。職員全員が不安に包まれながらも苦闘を続け危機を脱することができました。幸いにして2月に入り感染の流行も下火になりましたが、3年目に突入したコロナ禍に翻弄された何とも慌ただしい1年でありました。

幸にして診療実績は前年度から若干の回復は見せていますが、病床運用の一時的麻痺の影響のため本来の力強さは欠けています。2023年5月からの、新型コロナウイルスの5類移行により行政からの入院調整・依頼が消失し、コロナ感染患者の受け入れ医療機関が増加することで、当院への入院患者は減ることが期待されます。一定数のコロナ病床を確保し、職員の感染防止を継続しながら、いかに平時の病院機能を回復することにより健全な経営をできるかが今後問われます。これまでコロナ感染症のために影響を受けた患者の受療行動が平常化し、また診療に対して支給された病床確保の補助金が大幅に縮小しますので、本来の診療需要と事業収支の姿が見えてくることになり、病院の実力が問われる正念場と言えます。

病院の直近の課題としては以下のことが挙げられます。高齢化の進行で、看護度と介護度の高い入院患者が増加し、質が高く安全な医療を遂行するための人員不足の問題がとくに看護部で顕在化しています。さらに、定年の延長で夜勤を行える看護師が相対的に減少した結果、看護師の夜勤業務の負担増加も無視できません。いよいよ2024年に迫った医師の働き方改革や、2024年の診療報酬改定への適切な対応が必要となります。電子カルテの更新に向けた準備も始まります。老人保健施設のしらすぎの里においては、コロナ禍からの落ち込みから通所サービスの実績の回復が遅延し、運用の立て直しが喫緊の課題です。

4年ごとの受審をしている卒後臨床研修機能評価も院内各部署の協力のおかげで無事終了しました。多くの宿題を出された形ではありますが、当院の研修体制が劣化したわけではありません。これまで以上に高度を水準にめざして指摘事項の改善に取り組みたいと思います。

2022年度末の時点において新型コロナウイルス感染症はひとまず沈静化していますが、終息したのかどうか不透明のままです。大規模感染以外にも、予期しない大規模災害の可能性を常に意識する必要があります。次年度も、本来の医療を遅く推進しながら、突発的な事態が生じて職員が力を合わせ最適な対処をしていきたいと思います。

尚、3年近くをかけて進めてきた旧病院の解体は2023年1月に完全に終了しました。跡形もない更地の状態となり、藤岡市の公共施設の建設が予定されています。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

I 病院の現況

1. 病院の概要	1	12. リハビリテーション室	154
2. 組合構成団体の地勢と位置	4	13. 栄養室	156
3. 歴史と沿革	6	14. 人工透析室	156
4. 建物配置図及び面積表	12	15. 患者支援センター	157
5. 建物設備の概要	13	16. 健康管理センター	158
6. 主要医療機器	23	17. 母親学級	158
7. 令和4年度導入医療機器	27	IX 群馬県立赤城特別支援学校	
8. 医療法に関する許可承認事項	28	公立藤岡総合病院内教室	159

II 組織及び職員の現況

1. 組織	31
2. 職員数	32
3. 主要役職員名簿	34
4. 議会	36

III 院内会議及び委員会

1. 会議	37
2. 委員会	37

IV 学会及び研修会

	41
--	----

V 研究業績

1. 論文	48
2. 学会及び研究発表	50
3. 講演	54
4. 講演会・研修会開催実績	57
5. 看護部院内研修	60
6. 認定看護師の活動記録	71
7. C P C	92
8. 教育実習生・研修生受入実績	93
9. 医師臨床研修制度	95

VI 購入図書

	106
--	-----

VII 経営状況

1. 損益計算書	107
2. 貸借対照表	108
3. 経営分析	109

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況	110
2. 診療請求の現況	122
3. 救急患者の状況	125
4. 分娩件数	127
5. 剖検数	127
6. 内視鏡件数	127
7. 循環器科	128
8. 手術件数	128
9. 薬剤部	143
10. 放射線室	146
11. 検査室	150

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設 しらさぎの里】

【訪問看護ステーション はるかぜ】

I 施設の現況

1. 施設の概要	161
2. 歴史と沿革	163

II 職員の現況

1. 職員数	164
2. 主要役職員名簿	165

III 学会及び研修会

	166
--	-----

IV 教育実習生・研修生受入実績

	169
--	-----

V 経営状況

1. 損益計算書	170
2. 貸借対照表	172
3. 経営分析	173

VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」	174
2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」	176

業務概要

1. 診療部	177
2. 薬剤部	194
3. 診療支援部	195
4. 看護部	201
5. 経営管理部	217
6. 研修管理センター	220
7. 安全管理センター	220
8. 患者支援センター	222
9. 緩和ケアセンター	223

病院行事

1. 主な病院行事	224
2. 職員健康管理	225
3. 職員共済行事	225

病 院 事 業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
2. 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
3. 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
4. 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基本方針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。
2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。
3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

I 病院の現況

1. 病院の概要（令和5年3月31日現在）

名称	公立藤岡総合病院	
所在地	群馬県藤岡市中栗須 813 番地 1	
電話番号等	TEL : 0274 (22) 3311 (代表) FAX : 0274 (24) 3161 E-mail : somu@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp	
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博	
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市	
病院長	塚田 義人	
病床数	399 床（一般 395 床、感染症 4 床）	
診療科目	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（27 科）	
施設	敷地面積 40,807.91 m ² ・職員駐車場面積 16,478 m ² 延床面積 34,275.33 m ² 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 規模 地上 7 階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟 附帯施設 駐車場 約 1,000 台（患者用 約 300 台） 訪問看護ステーション「はるかぜ」 群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室 院内保育所	
診療指定	保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院）、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費（指定難病）指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC 対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定	
施設基準	【基本診療料】 歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準 急性期一般入院料 1 超急性期脳卒中加算 急性期看護補助体制加算(50 対 1)看護補助 5 割未満 看護職員夜間配置加算（16 対 1 配置加算 1） 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算 2 医療安全対策加算 1 感染防止対策加算 1 抗菌薬適正使用加算 ハイリスク妊娠管理加算 呼吸ケアチーム加算 後発医薬品使用体制加算 1 データ提出加算 2 地域連携診療計画加算 認知症ケア加算 2 地域医療体制確保加算 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 看護職員配置加算 【特掲診療料】 歯科疾患管理料の注 11 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料 外来栄養食事指導料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ニ 高度腎機能障害患者指導加算注 5 乳腺重症化予防ケア・指導料 二次性骨折予防継続管理料 1、3 歯科外来診療環境体制加算 1 救急医療管理加算 診療録管理体制加算 2 医師事務作業補助体制加算 2（40 対 1） 療養環境加算 無菌治療室管理加算 1 栄養サポートチーム加算 医療安全対策地域連携加算 1 感染防止対策地域連携加算 患者サポート体制充実加算 ハイリスク分娩管理加算 総合評価加算 病棟薬剤業務実施加算 1 入院支援加算 1 入院時支援加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算 小児入院医療管理料 4 地域包括ケア病棟入院料 2 看護職員処遇改善評価料 52 歯科治療時医療管理料 糖尿病合併症管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ハ 糖尿病透析予防指導管理料 小児運動器疾患指導管理料 腎代替療法指導管理料 小児科外来診療料	

夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	外来腫瘍化学療法診療料1
外来放射線照射診療料	がん治療連携計画策定料
開放型病院共同指導料	医療機器安全管理料1
薬剤管理指導料	医療機器安全管理料(歯科)
医療機器安全管理料2	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
遺伝学的検査	骨髄微小残存病変量測定
BRCA1/2 遺伝子検査	HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算(I)	検体検査管理加算(IV)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査	小児食物アレルギー負荷検査
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	CT撮影及びMRI撮影
外来化学療法加算1	連携充実加算
遠隔モニタリング加算	先天性代謝異常症検査
無菌製剤処理料	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	呼吸器リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)	歯科口腔リハビリテーション料2
がん患者リハビリテーション料	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	手術用顕微鏡加算
緊急整備固定加算及び緊急挿入加算	
CAD/CAM冠	
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
輸血管理料II	輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	胃瘦造設時嚥下機能評価加算
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	歯根端切除手術の注3
麻酔管理料(I)	放射線治療専任加算
外来放射線治療加算	高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算(全乳房照射)	画像誘導放射線治療加算(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算	定位放射線治療
クラウン・ブリッジ維持管理料	
【入院時食事療養費】	
入院時食事療養費(I)	
【保険外併用療養費】	
入院医療に係る特別の療養環境の提供	時間外診察
200床以上の病院の初診	201床以上の病院の再診
入院期間180日を超える入院	金属床による総義歯の提供

教育指定	日本内科学会認定医制度教育関連病院	日本血液学会血液研修施設
	日本呼吸器学会認定施設	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
	日本腎臓学会研修施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
	日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設	
	日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本呼吸器外科学会専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
	日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本脳神経血管内治療学会研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本緩和医療学会認定研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
	日本手外科学会基幹研修施設	日本リウマチ学会教育施設
	日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所	日本神経学会専門医制度教育関連施設
	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院	日本泌尿器科学会専門医教育施設
	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本病理学会病理専門医制度研修認定施設	日本臨床細胞学会施設認定施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設	
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)専門療法士実地修練施設	

	日本小児科学会小児科専門医専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
	日本栄養療法推進協議会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設	
	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	日本気管食道科学会研修施設
	日本人間ドック学会研修施設	日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
人間ドック	日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定	
人工透析室	ベッド数 29 床	
救急体制	救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）	
ガン検診治療施設	リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用 CT、MRI、PET - CT	
リハビリテーション施設	運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室	
未熟児施設	ベッド数 4 床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECG モニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンブレンダー、保育器	
病理解剖施設	病理検査室、解剖室、固定標本室	

2. 組合構成団体の地勢と位置

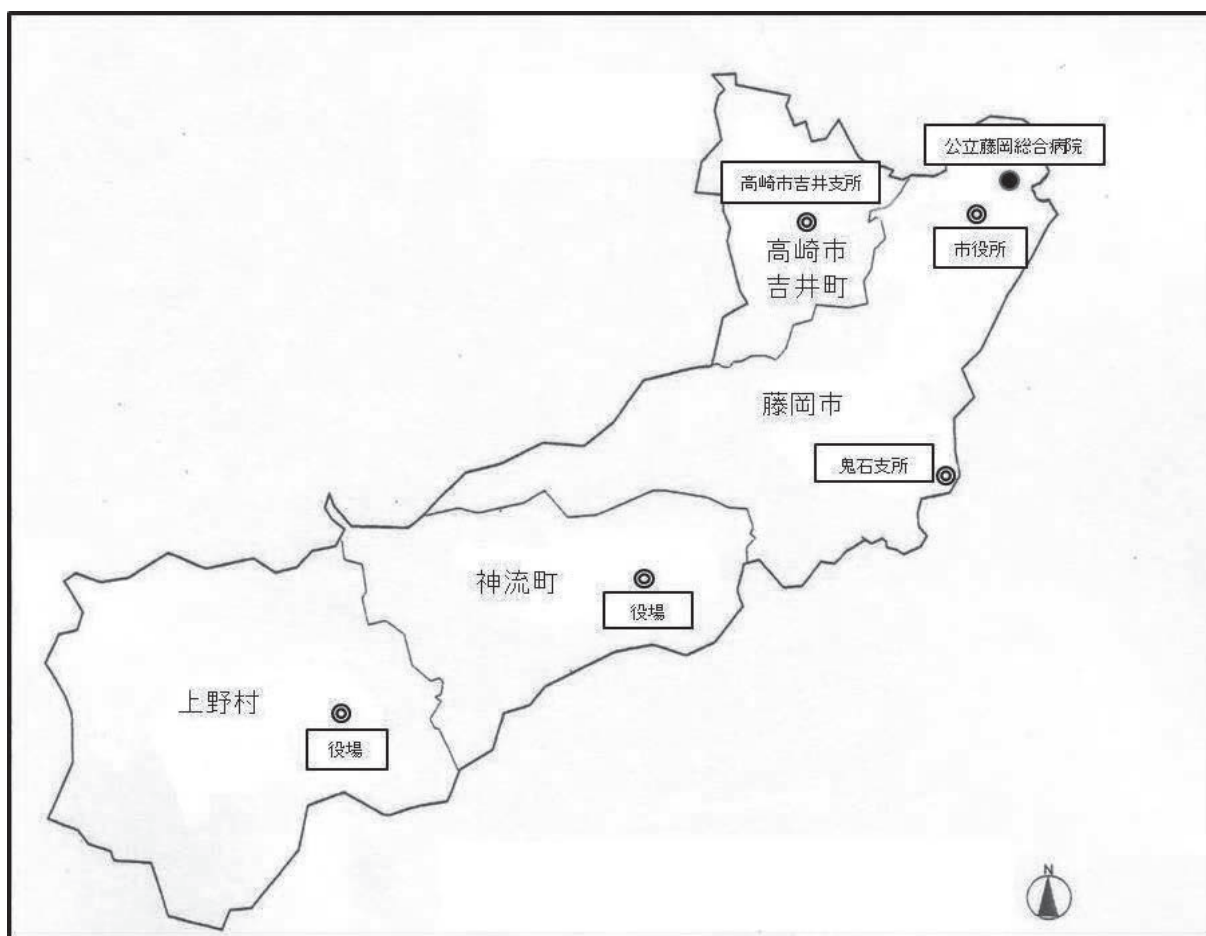
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km² で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の 2市1町1村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年 6 月 1 日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉢、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。

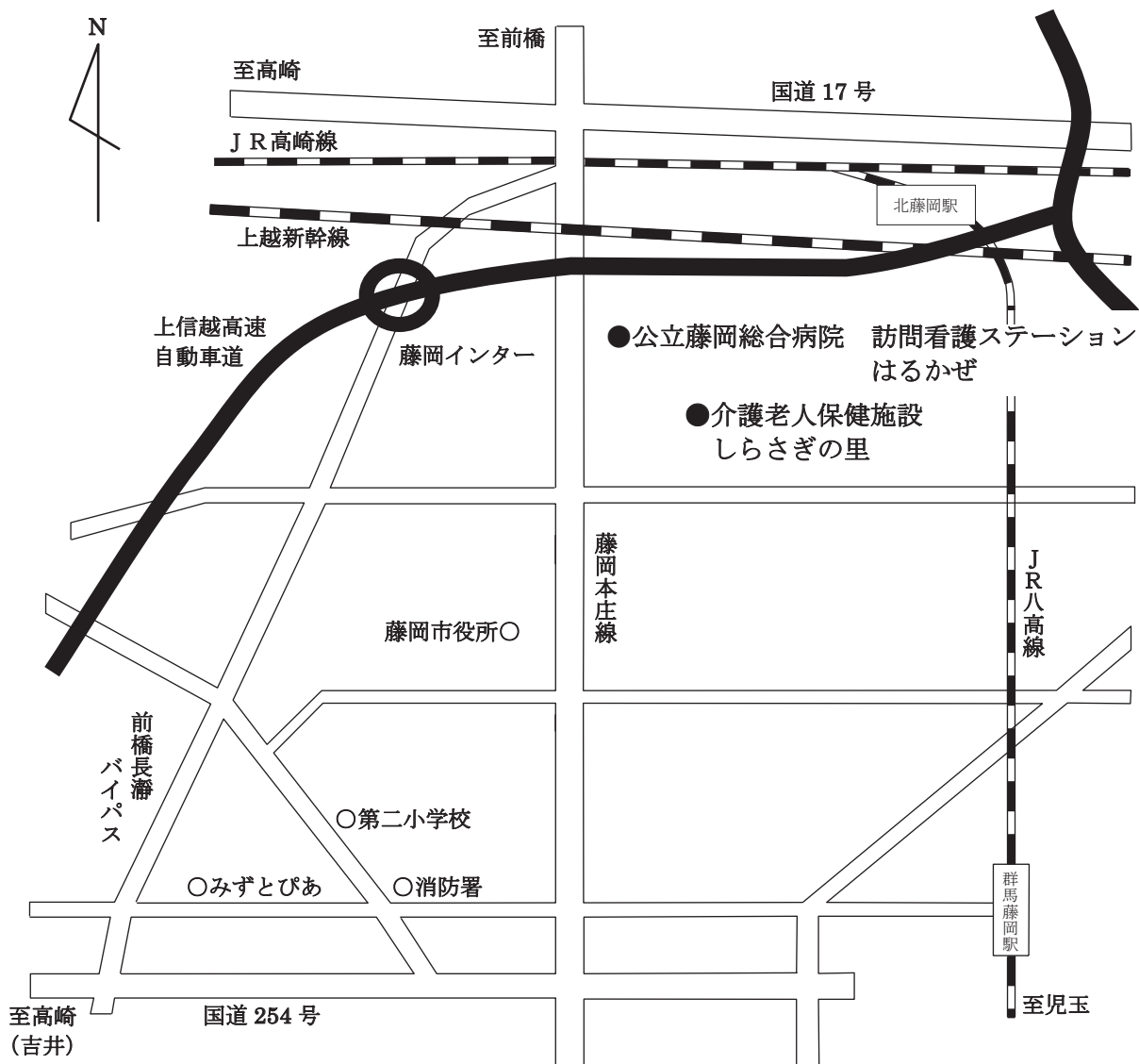


【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分

JR 高崎線 新町駅から車で 10 分

上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分



3. 歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床 群馬県指令第363号）（一般25床 結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長 森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）（一般28床 結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長 中川 恭一
6月 1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長 藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急医療告示病院認定
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類 結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡ 2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長 大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ 49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入 (CT-W3-10形)
31日	医師住宅建築 (木造2階建、112㎡)
	看護婦寮竣工 (鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡) (36人収容)
	カルテ倉庫建築 (ブロック造)
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (増改築)
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事)
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容 (落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子)
	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影 ~9月26日
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (医師1名、看護婦20名)
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (看護婦13名)
9月7日	中国研修医来院 (陳 君三、白 本寛) (6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影 ~11月23日
12月18日	病院使用許可 (中央診療棟、新設病棟)
23日	病院開設許可事項一部変更許可 (旧病棟改修)
昭和61年6月14日	病院使用許可 (旧病棟)
30日	病院増改築工事竣工 (413床) (一般370床、結核33床、伝染10床)
	病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可 (運動療法室、救急処置室、外来診療)
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可 (麻酔科開設、麻酔科外来)
	中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可 (麻酔科外来)
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認 (20床)
1月29日	短期人間ドック施設認定 (日本病院会)
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可 (泌尿器科外来)
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院 (夏 中洵、顧 曉紅) (3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT更新 (QUANTEX-RX形)
8月1日	ミキシング業務開始 (外科病棟)
9月22日	患者専用駐車場用地取得 (1,059.44㎡)
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工 (8床 281.9㎡)
30日	病院使用許可 (人間ドック室)
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (放射線棟増築工事)
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工 (鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡)
	放射線治療システム (ライナック) ・シンチカメラ ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長 小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証 (放射線棟)
11日	病院施設使用許可 (放射線棟)
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認 (作業療法Ⅱ)
12月25日	病院施設使用許可 (皮膚科外来)
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制 (週40時間勤務) 実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般11床増床)
31日	病院使用許可 (424床) (一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (MRI棟増築工事)
平成8年2月5日	病院施設使用許可 (MRI棟2階部分)
2月24日	病院施設使用許可 (MRI棟)

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可 名称変更 公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらさぎの里」開設 入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名 病院施設使用許可（414床）（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらさぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急医療告示病院認定
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更） 組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名）） 病院施設使用許可（418床）（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床） 精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可 （名称変更 組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令 医第221号）
4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長 鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床） （神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる （藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町）
平成16年3月31日	院内保育所閉所
6月15日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
7月29日	手術棟増改築工事着工
10月1日	病院開設許可事項一部変更許可 手術棟（3階建）増設 管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号-145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可 手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261-2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver. 4.0） 認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退 （藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166-1号） DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始
19日	体外式衝撃波結石破碎装置更新

平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128-7号）
	認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設 給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可 （群馬県指令市第30033-6号）
5月31日	新医療情報システム更新（オーダーリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併 配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。 （藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver. 6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571-2号 審査体制区分3 Ver. 6.0） 認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128-21号） 認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号） 指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第2次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-5号） 認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長 石崎 政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（3）→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号） MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
平成27年4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定） 認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日
	病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver. 1.0）一般病院2） 認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設 東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院 新入院棟建設・附属外来センター改修工事 起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号） 認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院 新入院棟 竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院 開設許可 (群馬県指令医第166-44号) 病床数 一般病床410床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック20床)、感染症病床4床 合計414床 診療科目 内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転 新公立藤岡総合病院 開院 陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT) 導入
12月1日	保険医療機関指定 (関厚発第105号) 指定期間：平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院 旧附属外来センター改修工事 竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般病床15床廃止)
平成30年4月1日	病床数変更 一般病床395床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック5床)、感染症病床4床 合計399床 歯科口腔外科外来開設 形成外科外来開設
平成30年8月31日	職員駐車場整備工事 竣工
平成31年4月1日	第八代病院長 塚田 義人 臨床研修評価機構認定 (更新、エクセレント賞) 認定期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日
令和元年10月1日	16列マルチスライスCT搭載型SPECT装置 (SPECT-CT) 更新
令和2年2月1日	救急医療告示病院認定 (更新) (群馬県医第128-28号) 認定期間：令和2年2月1日～令和5年1月31日
3月6日	病院機能評価認定 (機能種別版評価項目3rdG (Ver. 2.0) 一般病院2) 認定期間：令和2年6月20日～令和7年6月19日
令和3年6月28日	旧公立藤岡総合病院解体工事 着工
令和5年1月31日	旧公立藤岡総合病院解体工事 竣工

* 附属外来センター（平成14年4月1日～平成29年10月31日）

平成12年12月27日	病院開設許可 20床（群馬県指令医第221号） 病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可 20床（その他の病床）
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院 初代 外来センター長 田中 壮侖 保険医療機関の指定 生活保護法に基づく医療機関指定 結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可 19床（藤保指令第203-1号）
3月14日	診療所施設使用許可 19床（一般19床）
3月24日	病院廃止届（廃止年月日：平成17年3月31日）
3月31日	保険医療機関廃止届（廃止年月日：平成17年3月31日）
4月1日	病院から診療所へ変更 保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定（認定第92号）
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関（精神通院医療）指定
4月1日	第二代 外来センター長 田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届（診療日及び診療時間の変更）
4月1日	土曜診療の休診 リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長 清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定（認定第92号） 認定期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定（更新） 指定期間：平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認（化学療法室増築）
11月27日	化学療法室竣工（218.77㎡）
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査 人間ドック・健診施設機能評価更新認定（認定第92号） 認定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定（更新） 指定期間：平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	HCU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ペインクリニック科 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理センター 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 リハビリテーション室、ME室 会議室、スタッフルーム、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ステーション 臨床検査室、内視鏡センター 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急センター 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災センター、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアセンター 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんサロン 薬局、お薬サロン、栄養相談室 検査センター、画像診断センター 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来スタッフ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 リハビリ諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46㎡			
6階	2,662.91㎡			
5階	2,662.91㎡			
4階	2,841.31㎡			(搭屋) 81.41㎡
3階	3,063.55㎡	42.15㎡		1,430.66㎡
2階	3,063.55㎡	469.83㎡	353.82㎡	5,180.45㎡
1階	3,065.50㎡	469.83㎡	353.82㎡	6,402.17㎡
計	19,491.19㎡	981.81㎡	707.64㎡	13,094.69㎡

構造

①入院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造
③接続棟 鉄骨造

②放射線棟 鉄筋コンクリート造
④外来棟 鉄筋コンクリート造

敷地面積 40,807.91㎡ 職員駐車場面積 16,478㎡

5. 建物設備の概要

*入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E	暖房	2
温水ポンプ(熱交換器二次側) 40LPD52.2E	暖房	2		
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204~804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100~1150m ³ /h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D~1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXP224DA~900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB~71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB~36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYK22C~71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB~80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ~140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC~160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C~90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB~28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF~280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT~SZRC140BAD	冷房・暖房	5
店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA~SZRH160BA	冷房・暖房	3		
厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2		
設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7		
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw~11kw 床置	排気	7
		片吸込リミットロードファン 1.5kw~5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リミットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

20	スプリンクラー設備	湿式 K50/60 流水検知装置	GNA-EA80	7
		スプリンクラー末端試験装置	GSF-C80	7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	EZ72-Q80A (1909個) EZ96-Q80A(31個)	1,940
		補助散水栓格納箱		70
21	連結送水管	放水口格納箱		7
		媒介金具 差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付	スプリンクラー用×1 連結送水管×2	7
		埋込型双口送水口 100×65×65		1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付(100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具 差込式キャップ65A(受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD 評14-011号	フード・ダクト用	1
		KGL-34D 評14-012号	ダクト用	1
		KGL-34RF 評14-013号	小型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34R2 評14-014号	大型レンジ・フラーヤ用	1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット 83L 20.3m3 36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク 5,000ℓ		1
		定置型センサーユニット 液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド 2列36本		1
		センサーユニット 予備酸素用		1
		笑気マニフォールド FML-D 2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド FML-D 2列4本		1
		窒素マニホールド FMN-D 2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット CUBE-D 3.7kw		1
		センサーユニット 空気用		1
		非治療用空気減圧装置(センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ オイル式 8.0kw		2
		吸引タンク 1,000ℓ		2
		センサーユニット 吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤 自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット NSVタイプ		各室
		天井吊り下げ型アウトレット		26
シャットオフバルブ		46		
シーリングペンダント	手術室	各室		
余剰ガスフローコントロールユニット	手術室	各室		
高圧窒素アウトレット	手術室	各室		
MMⅡ型エリアモニター		5		
MMⅢ型中央監視モニターL		2		
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付 81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1 加圧給水ポンプユニット 7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2 ラインポンプ(SUS製) 32A 110L 0.25KW		2
		PWH-HW1,2 ラインポンプ(SUS製) 25A 30L 0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ 50A 100L 0.4KW~65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ 80A 400L 1.5KW~5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2 密閉式膨張タンク 1000φ×2500H 1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE 貯湯先止め式床下設置型 25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1 4槽式耐火防水型 パイプ接続天吊 285L		2
		GT-2 パイプ導入型 地中埋設型 85L		1
35	RI排水処理	J-1 浄化槽 合併処理浄化槽 5人槽		1
		T-1 分配槽 SUSパネルタンク 1000×1500×1000h 1.5m3		1
		T-2~4 貯留槽 SUSパネルタンク 2500×3000×2500h 5m3×3		1
		P-1-1,2 分配ポンプ 50A 150L 0.4KW		2
		P-2-1,2 P-3-1,2 移送ポンプ 50A 150L 0.4KW		4
		P-4-1,2 放流ポンプ 50A 150L 0.75KW		2
		P-5-1,2 ピット配ポンプ 40A 150L 0.4KW		2

48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアパニックオープン			3
52	会議室AV装置 (大会議室)	大会議室 AV操作ワゴン		一式
		液晶プロジェクター WXGA5500lm		1
		150型16:10電動スクリーン		1
		コンパクトハイパワースピーカー		2
		シーリングスピーカー		4
マイクロホン(ダイナミック、ワイヤレス)		7		
53	会議室AV装置 (中会議室)	中会議室1. 2 AV操作ワゴン		二式
		液晶プロジェクター WXGA4000lm		2
		100型16:10電動スクリーン		2
		コンパクトスピーカー		2
		ワイヤレスアンテナ		4
マイクロホン(ワイヤレス)		4		
54	映像システム	手術室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		19V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		監視用PC(23型液晶モニター)		1
		屋内ドーム型IPカメラ		6
	ITV(防犯監視用)	新生児室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		ドーム型HDネットワークカメラ		4
操作PC 24型カラー液晶モニター メインメモリ8GB以上		1		
ネットワークレコーダー		1		
データ保護用兼動作補償用UPS		2		
スイッチングHUB		2		
室内固定ドーム型カメラ		24		
メディアコンバーター		2		
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ(HIS)		1
		データ保護用兼動作補償用UPS		1
		非接触カード登録機		1
		スイッチングHUB		3
		ロギングプリンタ		1
		連動コントローラ		1
		IDコントローラ(IDC4、8)		12
		非接触カードリーダー		52
		UPS		2
		メディアコンバーター		2
非接触カード		1,000		
56	無停電装置(UPS)	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 200kVA 400Ah/10hr 186セル		1
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカー		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用 2方向 1750kg(26名) 90m/min		1
		寝台用 2方向 1000kg(15名) 90m/min		3
		寝台用 1方向 1000kg(15名) 90m/min		2
		寝台用 2方向 1150kg(17名) 90m/min		1

*外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式ブラインスクリーチャーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1
3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS 冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L	冷房	1
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545 冷温水ポンプ M100-III-2～M150-II-1 冷温水薬液注入装置1式	冷房 冷房・暖房 冷房・暖房	1 3 2
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W 天カセツイン SMYGP280BD 天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C 電算型加湿器付 DSRJ400PA 天カセ形 SHYCP112C 天埋形 SHYGP80B 冷専床置形 SVDP140AR～280AR 天カセ形 SHYGP40CV 冷専壁掛形 SAP80B マルチ形室外機 RSXYP280KC マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSP22KC マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC 外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付 RSXYJ140KC～224KC 床置きRZYP80BA 床置きPR-AP140 マルチ型室外機RXYP500BA 天カセ形マルチ型室内機FXYP56B～FXYFP56M	冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房 冷房 冷房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房 冷房 冷房・暖房 冷房・暖房	1 1 2 1 1 1 4 2 1 20 3 5 1 1 1 8
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット(ツイン)RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B 壁吸込ユニット(4台マルチ)RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付 ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房 冷房・暖房	2 1 16 11
8	空調機	エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 RS-50J他	冷房・暖房	18
9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他 天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房 冷房・暖房	352 87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊 ベルト掛け 床置 排煙ファン		63 2
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h 外		4
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h 外		9
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20 温度調節器 MD-511 埋設用温度ヒーター S-515M 電気床暖房制御盤 EH-1		1 1 1 8
		ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001 温度検出器 TY7003Z0P00 湿度検出器 HY7003T1000 温度検出器 TY7813Z0P00 温湿度発信機 HTY7813T1P0 屋外センサーシールド DY8000A1001 ユニット用温度検出器 TY7820Z0P00 温度・露点温度発信機 HTY7913T1P0 温度検出器 TY7830B1015 温度調節器 T675A1896 差圧発信器 JTD930A111A1XXXX1XX 温度指示調節器 R310DA00030 差圧指示調節器 R315GA00030 温度指示計 PCA13	FCU用 室内用 室内用 ダクト用 外気用 外気用 FCU用 ダクト用 配管用 配管用 熱源バイパス弁用 盤面取付 盤面取付 盤面取付	一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式 一式

27	フル2線ネットワークコントロールユニット	WR3385K WR3386K	照明中央制御 照明中央制御	1 1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式
31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031、2101 フレキシブル形卓上マイク AMO-301 ドアホン親機1局 SHN-1BA 夜間受付子機 SG-330-1A		15 50 1 1
33	人間ドックナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20~160		一式
34	健診センターインターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101 フレキシブル形卓上マイク AMO-301		一式 4
35	手術室インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J インターカムステーション HF-250M 手術室用子機 BA-303 手術室インターホン制御ボックス BA-303 足押式押ボタン BB-513A-4S ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1 7 3 3 3 1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35 画像記録装置 WJ-DR200		11 1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム 外待合表示盤(42インチ) KD01037-B148 診察室表示盤 KD01037-B149 表示制御パソコン KD96002-L873 外		一式 9 36 8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE カードホルダ パッシブセンサー マグネットセンサー		一式 20 7 12
40	電話設備	D2000交換機(TypeMA) 通話料金管理装置 PS4080A CNSA 多機能電話 DI2106C アナログ一般電話機 DA2029C PHS TC-631SE		1 1 38 203 78
41	自動火災報知設備	熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60L/70L 煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A 消火栓組込型 HURB-10BL 発信機 PPE-1U 表示灯 TL-13D 自動開閉装置 ARS-B 104 ガス漏れ検知器 KN-35B		109 454 34 34 34 16 6
42	中央監視設備	savic-netEV model30 ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架 エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム 誘導灯信号装置 CL-1-BOU 入館入室管理盤-1 入館入室管理盤-2 ITV監視制御盤 ナースコール表示パソコン システム制御盤 空調制御盤		一式
43	避雷針設備	接地測定用端子函:建設省仕様(TB-SSIA)		一式
44	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
45	自動ドア設備	両引自動扉 片引自動扉 二重片引自動扉 自閉式(半自動)引戸		4台 16台 2台 一式
		寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御 乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		2台 1台

46	エレベーター	乗用 750KG 60M/min インバータ制御 小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御 乗用 エスカレーター 9000人/h台 30M/min インバータ制御		1台 1台 2台
47	排煙	電動オペレーター用 開閉式トップライト 手動操作型 防火ドア 防火・防炎シートシャッター 重量シャッター・グリルシャッター 防炎垂壁・スクリーン		一式 一式 一式 一式 一式
48	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所
49	システムバス	シャワールームユニット ユニットバスルーム	OP室	2 22
50	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シヤーカーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷库全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式
51	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3 高架水槽(上水) NW型 5.0m3 高架水槽(雑水用) NW型 5.0m3		1 1 1
52	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2 LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2 LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2 HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB ジョッキーパーンク CHS-255-M1.5		2 2 1 1 2 1 1
53	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75kw		28
54	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SA-1500ZW-001		1
55	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器BH-G130 349Kw		1
56	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2
57	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300VS 300l		1
58	厨房機器	多種		一式
59	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589
60	配管ユニット	バンネA型 640×240×150 上水/給湯/ガス/排水		1
61	薬液回収タンク	ダイトタンク SP 0.5m3 現像液/定着液		2
62	スプリンクラー設備	加圧送水装置 起動装置 閉鎖型スプリンクラーヘッド	GQH-FB72(1,217ヶ) GQH-FB96(8ヶ) 139℃(3ヶ)	1 1 1,228
63	スプリンクラー設備器具	操作盤 流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80 圧力スイッチ GPS-EA10T 表示板(自火報受信機) 呼水装置 建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB 埋込型送水口 N-EKSWIN-C		1 5 5 1 1 34 1
64	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型 ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホールド M-LGR(大容量タイプ) 医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型 日立オイルフリーベビコン 3.7kw SMC空冷式アフタークーラー HAA7 空気供給装置用タンク500l 医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di 吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw 吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw 除菌フィルター 医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット 医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット 医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット 医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置 医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1 1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1

		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12(8チャンネル)	1
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ	208
		リール式アウトレット	17
		窒素圧力調整装置	3
		シャットオフバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型	18
		余剰ガス回収システム イジェクタータイプ	9
65	PH処理装置	原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw	2
		着脱装置 TOK-3P(VANCS)	1
		位置検出用スナップフロート(レベルスイッチ) RF-5	13
		PH処理装置 SPC0827	1
		PH処理装置制御盤	1
66	グリーストラップ	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H	1
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型	1
67	浄化槽	調整攪拌ブローア BSS40	1
		ばっ気ブローア BE80E	2

6. 主要医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSHO	NDS-4000C	1式
	全自動散薬分包機	TOSHO	i O-9090EX4	1式
	調剤システム	トーショー	Pervasive PSQL V10 外	1式
病棟	カラードブラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500	1式
	生体情報モニター	日本光電工業	CNS-9601外	1式
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQ-BOOK	1台
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	NANO-MAX	1台
	ベットのパンウォッシャー	アトムメディカル	731	10式
	ECGモニター(HCU増設分を除く)	日本光電工業	PU-611R外	1式
	産科カルテシステム	アトムメディカル	f カルテット	1式
	胎児監視システム	アトムメディカル	FSV セントラルモニタ 外	1式
	経皮的心肺補助システム	テルモ	HCS-CFP	1式
	超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式
	セントラルモニタ	日本光電工業	PU-611R他	1式
	バイタルサインテレメータ	日本光電工業	GZ-130P	1式
	黄疸計	コニカミノルタジャパン(株)	JM-105	1式
	感染防止クリーンベッド	日本医化器械	NB-1200S	2式
	超音波画像診断装置 Aplio a Verifia	キャノンメディカルシステムズ	CUS-AA000/J4	1式
	超音波画像診断装置 Affiniti70	PHILIPS	Affiniti70	1式
	HCU	セントラルモニタ	日本光電工業	CNS-6201 外
セントラルステーション		GEヘルスケア・ジャパン	B650 外	1式
超音波診断装置		GEヘルスケア・ジャパン	Vscan Extend R2	1式
集中治療室ビームシステム		美和医療電機	IS500 特注 外	1式
人工透析室	多人数用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DRO-NX132H	1式
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si	3式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式
	透析通信システム	日機装	FN-WEB 外	1式
	超音波画像診断装置	富士フイルム	FC1-X	1式
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式
中央手術室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルサイエンス	OTV-S190外	2式
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINS II	1式
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルサイエンス	3DV-190外	1式
	手術用顕微鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	VISERA ELITEシステム	2式
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	CSRESCAPE B650/Unity iCentral	1式
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式
	麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン	Carestation 650	4式
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式
	无影灯	山田医療照明	IXM CJ16-16-CJ16-TV55 外	6式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMVARIO700	1式
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	FT10/パック 外	2式
	レーザー砕石装置	ドルニエ	ドルニエ Medilas H SOLVO 35	1式
	マリスハイボ-ラ凝固切開装置	日本ストライカー	マリスハイボ-ラジェネレータ/トリゲータシステム	1式
	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント㈱	DR-140-ES7	1式
中央滅菌室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機	V-PRO max	1式
	高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機	WUS II-4100DX	1式
	ハイブリッド滅菌装置	ゲディング・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式
臨床工学室	人工呼吸器	HAMILTON	C1	9台
	人工呼吸器(小児用)	東機質	SLE5000	1台
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ベンチレーター	3台
	除細動器 デフィブリレータ	日本光電工業	TEC-5631	3台
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	オキシログ3000	2台
	院内搬送用人工呼吸器ヘントウェイ	フクダ電子株式会社		1式
	医用テレメータ	日本光電工業株式会社		1式
	ベッドサイドモニター	日本光電工業株式会社	PVM-4761-Q20 外	5式
	生体情報モニター	日本光電工業株式会社	ZS-630P 外	5式
放射線室	血管造影撮影装置	キャノンメディカルシステムズ	INFX-8000V	1式
	血管造影X線診断装置	フィリップス	AlluraXperFD20/20	1式
	DR式汎用X線透視診断装置	島津	SONIALVISON G4	1式
	SPECT-CT装置	シーメンスヘルスケア	Symbia Intevo16	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	SIGNA Explore 1.5T	1式
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン(株)	1417Q外	1式
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタジャパン(株)	AeroDR1717HQ2 外	1式
	X線撮影装置	日立	Radnext50 DHF-155H4	1式
	X線TV装置	日立	EXAVISTA TU-8500H	1式
	医用放射線画像管理情報システム(PACS)	コニカミノルタジャパン(株)	FINO,View,Pro	1式
	放射線治療情報管理システム/Rtis	インフォコム	iRad-RT	1式
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン(株)	NEOVISTA I-PACS CS	1式
	PET-CT装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式
	マルチスライスCTスキャナ	GEヘルスケア・ジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式
	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Optima CT580W	1式
	放射線治療システム	バリアン	CLINAC iX	1式
	回診車X線撮影装置	ケンコー	Certas MX-700	1式
	放射線レポート(v9)システム	インフォコム	REPORT (iRedV9)	1式
	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP-21T	2台
	放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	フィリップス	Ingenia 3.0T
全身用コンピュータ断層撮影装置		シーメンスヘルスケア	SOMATOM Definition AS+	2式
X線透視診断撮影装置		日立メディコ	TU-3000DR	2式
乳房用X線診断装置		日立メディコ	Slemia Dimensions 3D	1式
一般撮影画像処理装置		コニカミノルタジャパン(株)	無線型フラットパネルAeroDRシステム	2式
X線骨密度測定装置		GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY primo	1式
歯科用撮影装置		モリタ	Veraviewpocs3DfamxiX Type2	1式
結石破砕室	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエ	Delta II	1式
	検査システム(自動分析装置、臨床検査システム)	富士通	LAINS-X	1式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
検査室	全自動細菌検査システム	ベックマンコールター	Walkav96plas DXM1096	1式
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT006	1式
	便潜血自動分析装置	アルフレッサファーマ	ヘモテクトNS-Prime	1式
	感染症検査業務支援システム	ベックマン・コールター(株)	SMILE STB	1式
	生理検査システム	日本光電工業	PrimeVitaPlus	1式
	自動染色装置	サクラファイナテック	ティッシュテックプラスマプラス	1式
	β-Dグルカン測定装置 ESアナライザー	日水製薬	59570	1式
	血液培養装置 パーサトレック96	ベックマンコールター	B98689	1式
	全自動遺伝子解析検査装置	ミスホメデー	Smart Gene 85000	1式
	ホルモン脱気固定装置	東屋	THW-100型2段	1式
	超音波診断装置 EPIQ Elite	PHILIPS	795200	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vivid S70N UltraEdition	1台
	超音波診断装置	フィリップス	EPIQ Elite	1式
内視鏡センター	内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルサイエンス	EU-ME2 PREMIER PLUS	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS 外	3式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	PCF-Q260AZI 外	2式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	2式
	先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	LTF-S190-5	4式
	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	BF-UC290F 外	3式
	内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	1式
	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルサイエンス	ESG-300 外	1式
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電工業	WEP-4208	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Venue Go R3	1式
産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson S6	1台
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson E6	1台
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン(株)	SONOVISTA GX30	1式
	検診台 メグジョイナチュラル回転タイプ	アトムメディカル	1147676(ワサビグリーン)(パールピンク)	2式
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン(株)	SONIMAGE HS1	1台
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	ENF-V3	1式
眼科	光干渉断層計(OCT)	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式
	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	クライオ	1式
歯科口腔外科	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	シグノG50 セレクション外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ 外	ベラビューエポックス3DFアルファP外	1式
	エラン4エレクトロ	ピー・ブラウンエースクラップ	オシレーティングソー GA833 外	1式
	電動式外科用ドリル(マーククラップ パワーシステム)	ピー・ブラウンエースクラップ	ELAN4 electro	1式
ハビリテーション科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン	SONIMAGE SNiBLE yb Premium	1式
健診管理センター	乳房用X線撮影装置	日立製作所	Slemia Dimensions 2D	1式
	一般X線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC-NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA 60	1式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
	X線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度測定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン(株)	Plissimo MG	1式

7. 令和4年度主な導入医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社	規格	数量
小児科外来	薬用保冷庫	PHC	MPR-N250FSH-PJ	1式
手術室	電動マイクロリル(TPXサジタルソー)	スライカー	7400-034-000 外	1式
小児科	PHILIPS Affiniti70	PHILIPS	Affiniti70	1式
放射線室	X線アンギオグラフィシステム Alphenix Biplane	キャノン	INFX-8000V	1式
臨床工学室	テルフュージョン 輸液ポンプ	テルモ	TE-181	10式
安全管理センター	TeleICU クライアント	PIXTERA		1式
臨床工学室	医用テレメータ	日本光電工業株式会社		1式
臨床工学室	ベッドサイトモニター	日本光電工業株式会社	PVM-4761-Q20 外	5式
臨床工学室	人工呼吸器 HAMILTON-C6	日本光電工業株式会社	HAMILTON-C6	1式
透析室	人工腎臓装置	日機装	DCS-200Si	3式
臨床工学室	生体情報モニター	日本光電工業株式会社	ZS-630P 外	5式
臨床工学室	院内搬送用人工呼吸器ベントウェイ	フクダ電子株式会社		1式
外科	キャノン 超音波画像診断装置 Aplio a Verifia	キャノン	CUS-AA000/J4	1式
北4階	薬用保冷庫	PHC株式会社	MPR-S150H-PJ	1式
検査室	超音波診断装置 EPIQ Elite	PHILIPS	795200	1式
検査室	大型滑走式マイクローム 外	大和光機	REM-710・SB 外	1式
リハビリ室	エクササイズブロック	酒井医療	EXB-100	1式
救急センター	超音波診断装置 Venue Go R3	GEヘルスケアジャパン	Venue Go R3	1式
ハビリテーション科	超音波診断装置 SONIMAGE SNiBLE yb Premium	ユニカミルタジャパン	SONIMAGE SNiBLE yb Premium	1式

8. 医療法に関する許可承認事項

(1) 施設基準一覧表

令和5年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	(歯初診) 第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	(一般入院) 第180号	平成30年9月1日
	救急医療管理加算	(救急医療) 第34号	令和2年4月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	(診療録2) 第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算2 (40対1)	(事補2) 第59号	平成29年11月1日
	急性期看護補助体制加算 (50対1) 看護補助者5割未満	(急性看護) 第62号	令和4年12月1日
	看護職員夜間配置加算 (16対1配置加算1)	(看護夜配) 第24号	令和元年9月1日
	療養環境加算	(療) 第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重) 第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第9号	平成29年11月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	(医療安全1) 第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む)	(感染防止1) 第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第29号	平成29年11月1日
	呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ) 第13号	令和4年4月1日
	総合評価加算	(総合評価) 第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実加算1	(病棟薬1) 第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	(データ提) 第75号	平成29年11月1日
	入退院支援加算1 (地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む)	(入退支) 第83号	平成30年4月1日
	認知症ケア加算2	(認ケア) 第105号	令和2年4月1日
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第35号	令和2年6月1日
地域医療体制確保加算	(地医確保) 第9号	令和2年4月1日	
小児入院医療管理料4	(小入4) 第25号	令和2年6月1日	
回復期リハビリテーション病棟入院料1	(回1) 第8号	平成30年6月1日	
地域包括ケア病棟入院料2	(地包ケア2) 第43号	平成29年11月1日	
入院時食事療養費 (I)	(食) 第238号	平成29年11月1日	
特掲診療料	歯科疾患管理料の注1に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第297号	平成30年4月1日
	外来栄養食事指導料	(外栄食指) 第1号	令和2年4月1日
	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	(遠隔ペ) 第30号	令和3年11月1日
	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第17号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ニ	(がん指ニ) 第3号	令和2年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成29年11月1日
	高度腎機能障害患者指導加算注5	(糖防菅) 第20号	令和4年4月1日
	小児運動器疾患指導管理料	(小運指管) 第12号	令和2年4月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第12号	平成30年5月1日
	腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第4号	令和2年7月1日
	二次性骨折予防継続管理料1	(二骨菅1) 第1号	令和4年4月1日
	二次性骨折予防継続管理料3	(二骨継3) 第2号	令和4年4月1日
	小児科外来診療料	(小外診) 第255号	令和2年4月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	(救搬看護) 第24号	令和2年4月1日
	外来放射線照射診療料	(放射診) 第10号	平成29年11月1日
	外来腫瘍化学療法診療料1	(外化診1) 第6号	令和4年4月1日
	開放型病院共同指導料	(開) 第16号	平成29年11月1日
	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第22号	平成29年11月1日
	薬剤管理指導料	(薬) 第151号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 2	(機安2) 第14号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第5号	平成30年4月1日
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第14号	令和2年4月1日
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第25号	令和元年5月1日
	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第7号	令和2年5月1日
	遺伝学的検査	(遺伝検) 第6号	平成29年11月1日
	骨髄微小残存病変量測定	(骨残測) 第1号	平成30年4月1日
	BRCA1/2遺伝子検査	(BRCA) 第3号	令和2年4月1日
	先天性代謝異常症検査	(先代異) 第9号	令和3年11月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (I)	(検I) 第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (IV)	(検IV) 第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	(歩行) 第29号	平成29年11月1日
長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第7号	平成29年11月1日	
神経学的検査	(神経) 第45号	平成29年11月1日	
小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第24号	平成29年11月1日	
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断コ複) 第11号	平成29年11月1日	

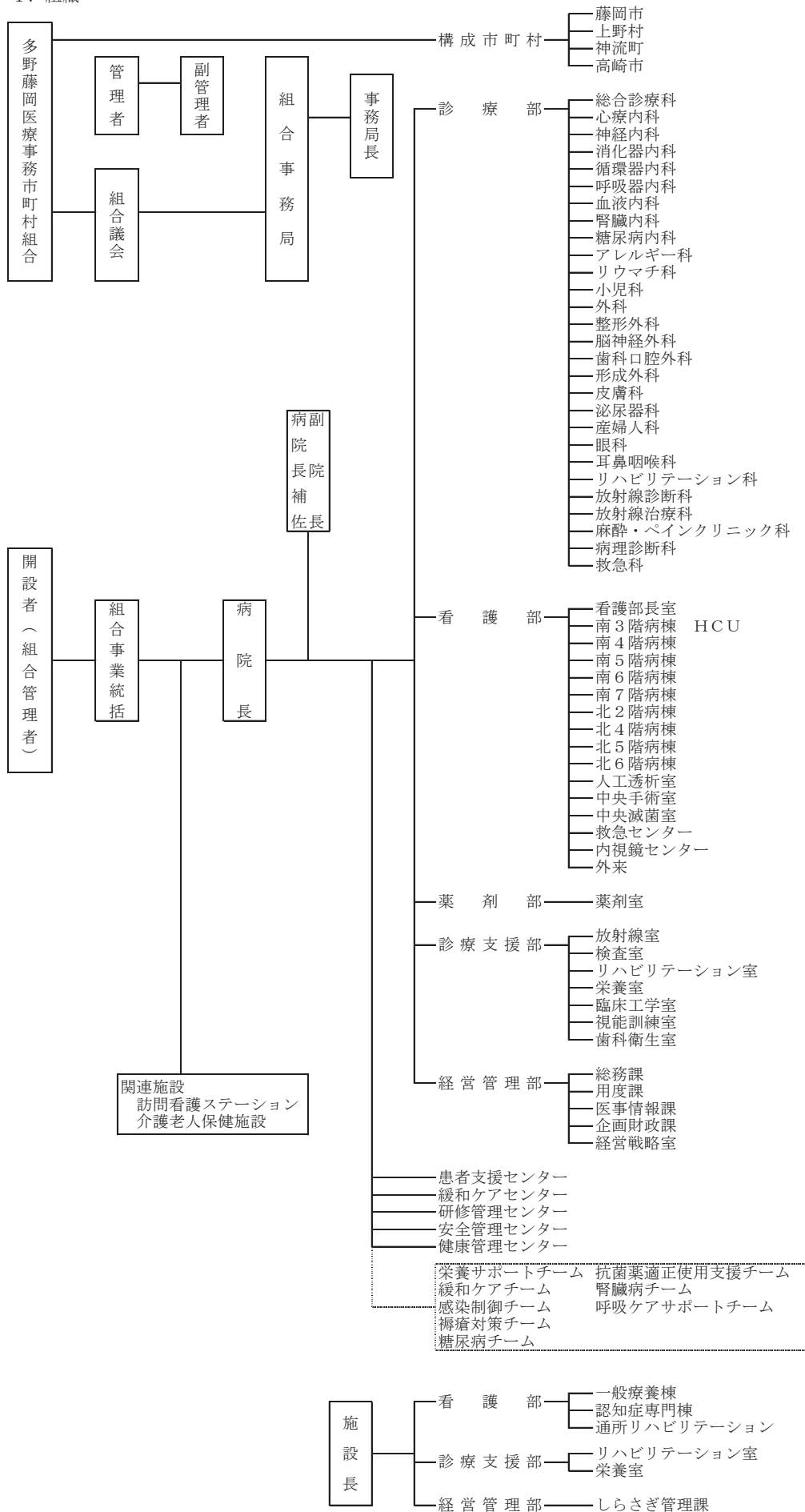
区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
特 掲 診 療 料	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日
	外来化学療法加算1	(外化1) 第70号	平成29年11月1日
	連携充実加算	(外化連) 第1号	令和2年10月1日
	無菌製剤処理科	(菌) 第77号	平成29年11月1日
	心大血管疾患リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(心I) 第19号	平成29年11月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(脳I) 第78号	平成29年11月1日
	運動器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(運I) 第104号	平成29年11月1日
	呼吸器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(呼I) 第85号	平成29年11月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第39号	平成29年11月1日
	歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第127号	平成30年4月1日
	人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合1)	(人工腎臓) 第59号	平成30年4月1日
	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第11号	令和2年4月1日
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第44号	平成30年4月1日
	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第38号	平成29年11月1日
	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	(緊急固) 第1号	令和4年4月1日
	手術用顕微鏡加算	(手顕微加) 第34号	平成30年4月1日
	CAD/CAM冠	(歯CAM) 第774号	平成30年4月1日
	脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術	(脳刺) 第10号	平成29年11月1日
	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	(脊刺) 第12号	平成29年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	(乳セ1) 第22号	平成29年11月1日
	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	(経特) 第21号	令和2年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第68号	平成29年11月1日
	大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	(大) 第41号	平成29年11月1日
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎) 第23号	平成29年11月1日
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第10号	平成30年5月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造) 第73号	平成29年11月1日
	輸血管管理料II	(輸血II) 第52号	平成29年11月1日
	輸血適正使用加算	(輸適) 第47号	平成29年11月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第37号	平成29年11月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第37号	平成29年11月1日
	広範囲顎骨支持型装埋入手術	(人工歯根) 第4号	平成30年8月1日
	歯根端切除手術の注3	(根切顕微) 第31号	平成30年4月1日
	麻酔管理料 (I)	(麻管I) 第78号	平成29年11月1日
放射線治療専任加算	(放専) 第15号	平成29年11月1日	
外来放射線治療加算	(外放) 第14号	平成29年11月1日	
高エネルギー放射線治療	(高放) 第20号	平成29年11月1日	
1回線量増加加算 (全乳房照射)	(増線) 第10号	平成30年4月1日	
画像誘導放射線治療加算 (IGRT)	(画誘) 第12号	平成30年9月1日	
体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第10号	平成29年11月1日	
定位放射線治療	(直放) 第12号	平成30年4月1日	
クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第1371号	平成30年4月1日	
酸素の購入価格に関する届出書	(酸素) 第12511号	平成31年4月1日	
保 険 外 併 用 療 養 費	入院医療に係る特別の療養環境の提供	(入療養提供) 第852号	令和元年10月1日
	時間外診察	(時間外診察) 第45号	令和元年10月1日
	200床以上の病院の初診	(病院初診) 第70号	令和元年10月1日
	201床以上の病院の再診	(病院再診) 第25号	令和2年6月1日
	入院期間が180日を超える入院	(超過入院) 第339号	令和元年10月1日
金属床による総義歯の提供	(金属総義歯) 第1275号	令和元年10月1日	

(2) 許可承認事項 (令和4年度分)

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	二次性骨折予防継続管理料1	関東信越厚生局長	(二骨菅1) 第1号
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	二次性骨折予防継続管理料3	関東信越厚生局長	(二骨継3) 第2号
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	外来腫瘍化学療法診療料1	関東信越厚生局長	(外化診1) 第6号
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	関東信越厚生局長	(緊整固) 第1号
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	高度腎機能障害患者指導加算	関東信越厚生局長	(糖防菅) 第20号
令和4年4月1日	関厚発0610第4号	呼吸ケアチーム加算	関東信越厚生局長	(呼吸チ) 第13号
令和4年10月1日	関厚発1101第48号	看護職員処遇改善評価料52	関東信越厚生局長	(看処遇52) 第2号
令和4年12月1日 (算定辞退年月日)		急性期看護補助体制加算 (25対1) 看護補助者5割未満	関東信越厚生局長	辞退届
令和4年12月1日	関厚発0201第21号	急性期看護補助体制加算 (50対1) 看護補助者5割未満	関東信越厚生局長	(一般入院) 第180号

II 組織及び職員の現況

1. 組織



2. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

（単位：人）

部門・職種別		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員	
診療部	医師	71	66	5	71	65	6	72	65	7
		71	66	5	71	65	6	72	65	7
薬剤部	薬剤師	23	22	1	23	23	0	19	19	
	再任用	1	1							
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		27	23	4	26	23	3	22	19	3
診療支援部	診療放射線技師	21	21		21	21		21	21	
	再任用	1	1		2	2		2	2	
	臨床検査技師	23	18	5	25	21	4	27	22	5
	再任用	1	1							
	理学療法士	31	31		31	30	1	31	31	
	再任用	1	1							
	作業療法士	15	14	1	19	18	1	20	19	1
	言語聴覚士	7	7		8	8		9	9	
	看護師									
	栄養士	5	5		6	6		7	6	1
	再任用	1	1		2	2		1	1	
	臨床工学技士	7	7		8	8		7	7	
	再任用							1	1	
	117	111	6	129	121	8	132	123	9	
看護部	看護師	329	299	30	340	308	32	338	306	32
	再任用	5	5		3	3		4	4	
	准看護師	5	3	2	3	3		3	3	
	再任用					1				
	介護福祉士	1	1							
	看護助手	15	4	11	13	3	10	17	3	14
再任用	1	1		1	1					
	356	313	43	360	319	42	362	316	46	
経営管理部	事務員	36	30	6	37	30	7	37	29	8
	再任用	1	1		2	2		1	1	
	相談指導員									
	その他労務									
	37	31	6	39	32	7	38	30	8	
患者支援センター	看護師	5	5		6	5	1	6	5	1
	再任用	3	3		2	2		2	2	
	相談指導員	8	8		8	8		8	8	
	再任用									
	事務員	3	3		3	3		4	3	1
再任用		1			1					
	19	20		19	19	1	20	18	2	

部門・職種別		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員	
緩和ケアセンター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	相談指導員	1	1		1	1		1	1	
	事務員									
		3	3		3	3		3	3	
研修管理センター	研修医	14		14	15		15	15		15
	看護師									
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		17	2	15	18	2	16	18	2	16
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員	6	6		6	6		7	7	
	再任用				1	1		1	1	
	その他労務	2	1	1	1		1	1		1
	再任用									
		10	9	1	10	9	1	11	10	1
健康管理センター	事務員	1	1		1	1		1	1	
		1	1		1	1		1	1	
合計		658	579	80	676	594	84	679	587	92

3. 主要役職員名簿

令和5年3月31日

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
管理者	新井 雅博	藤岡市長	歯科口腔外科 医長	清水 崇寛	
副管理者	田村 利男	神流町長	医員	金井 梢	
組合事業統括兼病院長	塚田 義人		皮膚科 部長	嶋岡 正利	
病院長補佐	設楽 芳範	安全管理センター長兼内視鏡センター長患者支援センター長	泌尿器科 部長	武井 智幸	
副院長	甲賀 英明		医長	坂本 亮一郎	
副院長	井上 雅浩	救急センター長	医員	須長 理沙	
診療部 総合診療科 部長	神保 貴宏		産婦人科 統括部長	遠藤 究	臨床研修統括部長兼研修管理センター長
消化器内科 部長	山口 泰子		部長	片貝 栄樹	
循環器内科 副院長	井上 雅浩	救急センター長	医員	似内 敦志	
部長	飯島 徹	健康管理センター長	リハビリテーション科 部長	黒崎 みのり	
部長	間瀬 由紀夫		医員	外山 里沙	
部長	植田 哲也		放射線診断科 部長	神宮 晶子	
部長	高松 寛人		医員	安井 宏有貴	
部長	小野 洋平		放射線治療科 部長	塩谷 真里子	
呼吸器内科 統括部長	茂木 充		麻酔科・ペインクリニック科 統括部長	荒井 賢一	中央手術室統括部長兼救急センター集中治療室担当部長
部長	池田 香菜		部長	牛込 嘉美	
部長	竹村 仁男		部長	田口 さゆり	
部長	高野 峻一		部長	金井 真樹	
血液内科 部長	外山 耕太郎		部長	萩原 竜次	
部長	野口 紘幸		病理診断科 部長	吉田 孝友	
部長	武井 寿史		臨床研修医 2年次	角張 友隆	
医員	今村 健二		2年次	高橋 里奈	
腎臓内科 組合事業統括兼病院長	塚田 義人		2年次	大屋 裕	
部長	太田 史絵		2年次	林 紘大	
部長	月田 真祐子		2年次	前原 孝史	
部長	茂木 伸介		2年次	前田 七海	
部長	半田 広海		2年次	松井 遼	
部長	中村 美紀		1年次	井上 俊	
糖尿病内科 部長	中原 理恵子		1年次	中島 悠吾	
小児科 統括部長	渡部 登志雄	診療統括部長	1年次	黒川 真登	
部長	小山 晴美		1年次	横山 響	
部長	相馬 洋紀		1年次	宮下 南	
外科 病院長補佐	設楽 芳範	安全管理センター長兼内視鏡センター長	1年次	清水 湧作	
部長	加藤 寿英		1年次	新井 萌々花	
部長	中里 健二		1年次	前原 利勝	
部長	松本 圭吾		看護部 看護部長室		
部長	高橋 遼		看護部長	高田 幸子	
部長	片山 千佳		副看護部長	足利 章江	
部長	遠藤 瑞貴		副看護部長	染谷 由香里	
整形外科 部長	中島 大輔		副看護部長	千木 良直子	
部長	久保井 卓郎		南3階病棟 看護師長	樋口 美恵子	
部長	坂根 英夫		副看護師長	高橋 圭	
部長	小濱 一作		副看護師長	福田 敦子	
部長	山田 哲也		南4階病棟 看護師長	針谷 ゆかり	
部長	西川 和博		副看護師長	神岡 貴江	
副院長	甲賀 英明	患者支援センター長	副看護師長	久保 愛	
部長	若林 和樹		南5階病棟 看護師長	神宮 由香	
部長	向田 直人		副看護師長	根岸 典子	
部長	和田 元		副看護師長	成田 雅子	

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
南6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	齊田 亜弓 茂木 裕子 小林 ゆりえ		栄養室 グループリーダー	堀越 勝	
南7階病棟 看護師長 副看護師長	江原 忍 町田 かつ江		臨床工学室 室長 グループリーダー	宇津木 徹 吉田 弘	
北2階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	菊地 弘美 富山 麻裕子 萩原 香織		視能訓練室 グループリーダー	宮本 恵子	
北4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	木部 和枝 原澤 優子 中村 道子		経営管理部 経営管理部長	新井 滋	
北5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	高木 元美 萩原 智子 柳澤 千鶴子		総務課 課長 課長補佐 課長補佐 グループリーダー	塩川 広幸 秋山 裕子 中村 悟 金澤 祐子	
北6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	高橋 富士美 南雲 和子 高橋 久美子		用度課 課長 グループリーダー グループリーダー	新井 誠十郎 鈴木 晃 富田 貴英	
人工透析室 看護師長 副看護師長	原 敦子 櫻井 あかり		医事情報課 課長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	五十嵐 哲二 篠崎 清美 久保寺 正英 山崎 雄大 新井 敬継	
中央手術室 看護師長 副看護師長 副看護師長	野村 香 宮原 裕三 児島 厚子		企画財政課 課長 課長補佐 グループリーダー	新井 恵介 齋藤 功志 萩原 和美	
内視鏡センター 看護師長	設楽 理枝		経営戦略室 参事兼室長 室長補佐	横坂 政彦 平澤 和興	
外来 看護師長 副看護師長	飯島 京子 平田 恵美		患者支援センター 課長兼事務統括 副看護師長 グループリーダー	清宮 きよ江 青木 裕美 青木 雅代	
薬剤部 薬剤部長 副薬剤部長	堀口 裕之 久米 隆夫		緩和ケアセンター 課長兼事務統括 看護師長 副看護師長	清宮 きよ江 古池 きよみ 森崎 裕美	
薬剤室 室長 グループリーダー	櫻澤 千世 岩崎 英久		研修管理センター 事務統括	金澤 祐子	
診療支援部 診療支援部長	高田 哲也		安全管理センター 事務統括 看護師長兼 リスクマネジャー	塩川 広幸 斉藤 康行	
放射線室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	萩原 茂紀 岩村 隆夫 黒澤 琢磨 黒澤 伸司 金子 学		課長補佐 グループリーダー グループリーダー	黒澤 透 大澤 孝一 田畑 幸貴	
検査室 室長 室長補佐 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	柴崎 洋一 相馬 千恵子 井口 弘美 奥田 康子 高橋 さゆり 飯塚 朋代		健康管理センター 事務統括 課長補佐	五十嵐 哲二 新井 美春	
リハビリテーション室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	関根 圭介 松山 励悦 福田 大典 小林 真 品田 さゆり				

4. 議会

(1) 構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

(2) 議会開催状況（令和4年度）

中止 行政視察

令和 4年11月 4日 令和4年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

令和 5年 2月15日 令和5年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
報告第 1号	専決処分の承認を求めることについて	令和 4年11月 4日
報告第 2号	専決処分の承認を求めることについて	令和 4年11月 4日
報告第 3号	資金不足比率の報告について	令和 4年11月 4日
議案第12号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和 4年11月 4日
議案第13号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	令和 4年11月 4日
報告第14号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	令和 4年11月 4日
議案第15号	令和 4年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算（第 1号）について	令和 4年11月 4日
議案第16号	令和 3年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計決算認定について	令和 4年11月 4日
議案第17号	令和 3年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	令和 4年11月 4日
議案第 1号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	令和 5年 2月15日
議案第 2号	多野藤岡医療事務市町村組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	令和 5年 2月15日
議案第 3号	多野藤岡医療事務市町村組合情報公開・個人情報保護運営審議会条例の制定について	令和 5年 2月15日
議案第 4号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の定年等に関する条例等の一部改正について	令和 5年 2月15日
議案第 5号	令和 4年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算（第 2号）について	令和 5年 2月15日
議案第 6号	令和 4年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算（第 1号）について	令和 5年 2月15日
議案第 7号	令和 5年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	令和 5年 2月15日
議案第 8号	令和 5年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	令和 5年 2月15日

Ⅲ 院内会議及び委員会

1. 会議

名称	構成員	目的等	開催
幹部会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月1回
連絡調整会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、患者支援事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月1回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月1回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月2回
課長会議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室長会議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

2. 委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	病院長補佐、産業医、施設長、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、臨床工学室、視能訓練室、リハビリテーション室、栄養室、総務課長、総務課 計21人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月1回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター 計34人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月1回
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤部長、検査室、委託職員（日清医療食品）栄養室長、栄養室 計25人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月1回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、視能訓練室、経営管理部長、医事情報課長、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計30人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月1回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、薬剤部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計11人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時

診療情報管理委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、総務課長、医事情報課長、企画財政課、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 25 人	診療録管理等に関し、必要な事項を審議する。	月 1 回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課 計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
外来・病床管理委員会	副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、診療支援部長、医事情報課長、経営戦略室長、研修医、患者支援事務統括、患者支援センター 計 32 人	入院患者の診療計画に基づき、有効な病床利用を審議する。	月 1 回
褥瘡対策委員会	副院長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長、リハビリテーション室、用度課、安全管理センター、患者支援センター 計 15 人	褥瘡について予防と治癒促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月 1 回
サービス向上委員会	病院長、副院長、看護部長、看護師長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、しらす管理課、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、経営戦略室、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課 計 27 人	病院の円滑な業務遂行と患者サービスの改善向上を図る。	月 1 回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、検査室長、総務課長、企画財政課、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）薬剤室 計 15 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月 1 回
倫理審査委員会	統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、検査室長、企画財政課、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）総務課長、総務課 計 17 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、薬剤室長、用度課長、用度課、薬剤室 計 13 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、医事情報課、検査室長、検査室 計 14 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、統括部長、部長、副看護部長、副看護師長、診療支援部長、用度課、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室長、委託業者（カンサン）安全管理センター 計 13 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年 1 回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、副院長、部長、放射線室長、検査室長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室 計 10 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年 1 回
防火・防災対策委員会	病院長、防火・防災管理者、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計 17 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年 3 回
中央手術室運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、検査室、放射線室、医事情報課長、用度課長 計 17 人	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時

職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課計 11 人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時
医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課 計 13 人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室長、放射線室、検査室、患者支援事務統括、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 25 人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月 1 回
広報委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、リハビリテーション室長、総務課、医事情報課長、しらすぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、研修管理センター、経営戦略室、企画財政課長、企画財政課 計 18 人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、経営戦略室長、医事情報課 計 27 人	入院診療計画書作成を確立し、在院日数の短縮を図る。	月 1 回
電子化情報委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、企画財政課、委託業者（高崎共同センター） 計 27 人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	副院長、統括部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、用度課長、企画財政課、しらすぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター 計 12 人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、副院長、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室長、リハビリテーション室、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課 計 30 人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月 1 回
研修委員会	副院長、統括部長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、しらすぎ管理課、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計 20 人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年 4 回
職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課計 11 人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時
ICLS委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援センター 計 17 人	組合全職員が BLS 及び ICLS を学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年 4 回

勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター計 15 人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師への勤務負担について検討する。	随時
透析機器安全管理委員会	部長、看護師長、看護師、専従リスクマネージャー、副診療支援部長、安全管理センター、臨床工学室 計 12 人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
S P D 委員会	病院長、副院長、統括部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、医事情報課、用度課長、用度課 計 18 人	公立藤岡総合病院・公立藤岡総合病院附属外来センターにおいて使用する診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年 2 回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、放射線室長、検査室長、栄養室長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）、健康管理センター計 15 人	地域住民及び公立藤岡総合病院における職員の健康推進を図る。	随時
糖尿病治療支援委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室長、栄養室、緩和ケアセンター、患者支援センター計 18 人	公立藤岡総合病院及び附属外来センターにおける糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共に QOL の向上を促す。	随時
研修管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター 計 35 人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
T Q M 委員会	病院長、病院長補佐、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、経営戦略室、計 12 人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診療報酬委員会	病院長、副看護部長、経営管理部長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）医事情報課長 計 9 人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内視鏡センター運営委員会	病院長補佐、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、看護師、放射線室、検査室、医事情報課、企画財政課 計 15 人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時
虐待防止委員会	統括部長、専従リスクマネージャー、看護師長、医事情報課長、患者支援センター事務統括、患者支援センター 計 12 人	虐待への迅速な対応及び組織的な対処を行うことを目的とする。	随時
呼吸ケアサポート委員会	統括部長、医長、看護師、臨床工学室、リハビリテーション室、医事情報課 計 10 人	医療従事者の呼吸ケア、呼吸療法、呼吸リハビリ関連の知識、技術の水準を引き上げ、その状態を維持発展させ、安全で効率的な質の高い医療の提供が行えるように啓発、育成し、患者に対する最善の医療の提供につなげることを目的とする。	月 1 回

IV 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
第122回日本外科学会定期学術集会	Web開催	4月	1人
JCR2022アニュアルコースレクチャー	Web開催	4月	1人
第108回日本消化器病学会総会	Web開催	4月	1人
第119回日本内科学会講演会	Web開催	4月	11人
第122回日本外科学会定期学術集会	Web開催	4月	3人
第125回日本小児科学会学術集会	Web開催	4月	1人
第41回関東腹腔鏡下胃切除研究会	Web開催	4月	1人
第45回日本脳神経C I 学会総会	Web開催	4月	1人
第66回日本リウマチ学会総会・学術集会	Web開催	4月	5人
第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会	Web開催	4月	1人
第78回日本放射線技術学会総会学術大会	Web開催	4月	1人
第81回日本医学放射線学会総会	Web開催	4月	1人
第78回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	4月	1人
第81回日本医学放射線学会総会	横浜市	4月	1人
第62回日本呼吸器学会学術講演会	京都市	4月	2人
第65回日本手外科学会学術集会	北九州市	4月	1人
第42回日本脳神経外科コンgres総会	Web開催	5月	1人
第66回日本リウマチ学会総会・学術集会	Web開催	5月	1人
2022年度 日本内科学会生涯教育講演会 Aセッション	Web開催	5月	1人
KOKURA LIVE 2022	Web開催	5月	2人
第22回日本核医学会春季大会セミナー	Web開催	5月	1人
第39回日本呼吸器外科学会学術集会	Web開催	5月	1人
第42回日本脳神経外科コンgres総会	Web開催	5月	2人
第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	Web開催	5月	2人
日本消化器病学会 関東支部第369回例会	Web開催	5月	1人
第45回日本呼吸器内視鏡学会	岐阜市	5月	1人
群馬産業保健総合支援センターセミナー	前橋市	5月	1人
第95回日本整形外科学会学術総会	東京都	5月	1人
日本脳神経血管内治療学会 第21回専門医試験（1次試験）	東京都	5月	1人
ADATARA Live Demonstration 2022	Web開催	6月	1人
第121回日本皮膚科学会総会	Web開催	6月	1人
第143回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	Web開催	6月	1人
第20回日本ヘルニア学会学術集会	Web開催	6月	1人
第264回 日本循環器学会関東甲信越地方会	Web開催	6月	1人
第30回日本心血管インターベンション治療学会CVIT2022学術集会	Web開催	6月	1人
第32回日本顎変形症学会総会・学術大会	Web開催	6月	1人
第61回日本アレルギー学会専門医認定教育セミナー	Web開催	6月	1人
第65回日本腎臓学会学術総会	Web開催	6月	1人
第95回日本整形外科学会学術総会	Web開催	6月	3人
日本麻酔科学会 第69回学術集会	Web開催	6月	3人
2022年度 日本内科学会生涯教育講演会Bセッション	Web開催	6月	1人
第30回日本乳癌学会学術総会	Web開催	6月	1人
第48回日本骨折治療学会学術集会	Web開催	6月	1人
第65回日本腎臓学会学術総会	Web開催	6月	1人
第95回日本整形外科学会学術集会	Web開催	6月	1人
第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	横浜市	6月	1人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	横浜市	6月	1人
日本脳神経血管内治療学会 第21回専門医試験（2次試験）	神戸市	6月	1人
日本麻酔科学会 第69回学術集会	神戸市	6月	1人
第44回日本血栓止血学会学術集会	仙台市	6月	1人
第62回日本リンパ網内系学会学術集会・総会/第25回日本血液病理研究会	川越市	6月	1人
群馬産業保健総合支援センターセミナー	前橋市	6月	1人
第43回院内ICLSコース	藤岡市	6月	3人
第30回日本心血管インターベンション治療学会CVIT2022学術集会	Web開催	7月	1人
第31回日本脳ドック学会総会	Web開催	7月	1人

第76回日本食道学会学術集会	Web開催	7月	1人
2022年度日本内科学会生涯教育講演会Cセッション(1回目)	Web開催	7月	1人
TOPIC2022	Web開催	7月	1人
第17回日本血液学会 関東甲信越地方会	Web開催	7月	1人
第30回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2022 学術集会	Web開催	7月	2人
第31回日本脳ドック学会総会	Web開催	7月	1人
第55回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会	Web開催	7月	2人
第66回関東支部生涯教育講演会	Web開催	7月	1人
第679回関東地方会/教育セミナー	Web開催	7月	1人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	Web開催	7月	2人
第77回日本消化器外科学会総会	Web開催	7月	2人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	横浜市	7月	1人
群馬産業保健総合支援センターセミナー	前橋市	7月	1人
第110回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	7月	1人
循環動態アカデミー サマーキャンプ2022	Web開催	8月	1人
第16回相模原臨床アレルギーセミナー	Web開催	8月	1人
第18回日本先天代謝異常セミナー	Web開催	8月	1人
第48回泌尿器腹腔鏡ビデオ講習会	Web開催	8月	1人
日本顎変形症学会 第18回教育研修会	Web開催	8月	1人
2022年度「急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会」	Web開催	8月	1人
2022年第2回専門医(第60回認定医専門医)研修会	Web開催	9月	1人
第58回日本医学放射線学会 秋季臨床大会	Web開催	9月	1人
第63回日本人間ドック学会学術大会	Web開催	9月	4人
第680回関東地方会	Web開催	9月	1人
日本循環器学会学会教育研修部会 臨床研究・統計教育プログラム	Web開催	9月	1人
日本脳神経外科学会第81回学術総会	Web開催	9月	2人
放射線同位元素等規則法講習会	Web開催	9月	1人
第62回日本核医学会学術総会・第42回日本核医学技術学会総会学術大会	京都市	9月	1人
第70回日本心臓病学会学術集会	京都市	9月	1人
第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	千葉市	9月	1人
2022年度 日本内科学会生涯教育講演会 Bセッション(2回目)	Web開催	10月	1人
第151回信越地方会	Web開催	10月	1人
第2回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	Web開催	10月	3人
第30回日本消化器関連学会週間	Web開催	10月	1人
第37回日本整形外科学会 基礎学術集会	Web開催	10月	1人
第42回関東腹腔鏡下胃切除研究会	Web開催	10月	1人
第52回日本腎臓学会東部学術大会	Web開催	10月	2人
第60回日本癌治療学会学術集会	Web開催	10月	1人
第60回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	Web開催	10月	1人
第67回信越支部生涯教育講演会	Web開催	10月	1人
第71回日本アレルギー学会学術大会	Web開催	10月	1人
第7回医師のための排尿機能回復に向けた治療とケア講座	Web開催	10月	1人
第84回日本血液学会学術集会	Web開催	10月	3人
第60回日本癌治療学会学術集会	神戸市	10月	2人
第52回日本腎臓学会東部学術大会	東京都	10月	1人
第30回日本消化器関連学会週間	博多市	10月	1人
第84回日本血液学会学術集会	博多市	10月	1人
2022年第3回人間ドック健診専門医研修会	Web開催	11月	1人
2022年第3回専門医研修会	Web開催	11月	1人
第12回若手臨床血液学セミナー	Web開催	11月	1人
第28回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	Web開催	11月	1人
第32回日本乳癌検診学会学術総会	Web開催	11月	1人
第38回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会	Web開催	11月	1人
第60回日本癌治療学会学術集会	Web開催	11月	1人
第66回人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会	Web開催	11月	1人
第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	Web開催	11月	1人
第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会	Web開催	11月	1人
第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	岡山市	11月	1人
第42回日本臨床麻酔学会	京都市	11月	4人

エチコン福島ラボトレーニング	郡山市	11月	5人
第111回日本皮膚科学会群馬地方会	高崎市	11月	1人
第67回日本口腔外科学会総会・学術大会	千葉市	11月	2人
第112回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	11月	1人
第38回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会	大阪市	11月	1人
第63回日本肺癌学会学術集会	福岡市	11月	2人
第143回歯科臨床医リフレッシュセミナー	Web開催	12月	1人
第35回日本内視鏡外科学会総会	Web開催	12月	1人
第63回日本肺癌学会学術集会	Web開催	12月	1人
令和4年度医療放射線管理講習会	Web開催	12月	1人
放射性同位元素等規制法講習会	Web開催	12月	1人
第266回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	12月	1人
第32回日本リウマチ学会関東支部学術集会	東京都	12月	1人
第866回外科集談会	東京都	12月	1人
第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	Web開催	1月	3人
日本放射線腫瘍学会第35回学術大会	Web開催	1月	1人
第30回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会	Web開催	2月	1人
中国四国ライブin倉敷2023	Web開催	2月	1人
産業医研修会	東京都	2月	1人
令和4年度産業医研修会	東京都	2月	1人
STROKE2023	Web開催	3月	2人
STROKE2023	横浜市	3月	1人
高齢者医療研修会	Web開催	3月	2人
小児循環器講座	Web開催	3月	1人
第33回一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会	Web開催	3月	1人
第685回関東地方会	Web開催	3月	2人
第87回日本循環器学会学術集会	Web開催	3月	2人
第88回JABO研修会	Web開催	3月	2人
第63回関東整形災害外科学会	宇都宮市	3月	1人
第113回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	3月	1人
第685回関東地方会	東京都	3月	1人
第87回日本循環器学会学術集会	福岡市	3月	3人
薬剤部			
第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web開催	6月	2人
第8回群馬local-DMAT研修	前橋市	6月	1人
第70回日本化学療法学会総会	Web開催	6月	1人
第52回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会	横浜市	8月	1人
日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	Web開催	9月	6人
第32回日本医療薬学会年会	高崎市	9月	2人
第60回日本癌治療学会学術集会	神戸市	10月	1人
第16回日本腎臓病薬物療法学会学術集会年会	長崎市	10月	2人
第71回 日本感染症学会 東日本地方会学術集会	Web開催	10月	1人
第70回日本化学療法学会西日本支部総会	Web開催	11月	1人
第60回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	Web開催	1月	1人
放射線室			
第78回日本放射線技術学会総会学術大会	Web開催	4月	2人
第38回日本核医学技術学会関東地方会学術大会	Web開催	5月	1人
北勢消化器画像研究会 ON LINE	Web開催	6月	1人
2022年度関東甲信越診療放射線技術師学術大会	高崎市	6月	2人
2022年度 第1回関東核医学研究会学術講演会	Web開催	7月	1人
第53回浜松やらま胃会Webinar	Web開催	7月	1人
群馬MR研究会	前橋市	7月	2人
令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）	前橋市	7月	1人
2022年度胃がんX線検診 B資格検定試験	Web開催	9月	1人
2022年度第2回関東Angio研究会「第5回血管撮影防護・計測セミナー」	Web開催	9月	1人
第50回日本放射線技術学会 秋季学術大会	Web開催	9月	1人
第81回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会	Web開催	9月	1人
第42回日本核医学会技術学会総会学術大会	Web開催	9月	1人
2022年度第3回CTGUMセミナー	Web開催	10月	1人

第50回日本放射線技術学会秋季学術大会	Web開催	10月	1人
令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）	前橋市	10月	3人
2022年度第1回放射線取扱主任者定期講習	東京都	10月	1人
第267回東京支部技術フォーラム	Web開催	11月	1人
第3回放射線影響と防護量の考え方を学ぶ・Webセミナー	Web開催	11月	1人
ぐんま・東京・千葉 3乳房研究会合同講演会	高崎市	11月	2人
基礎技術コース「消化管撮影」	Web開催	12月	1人
第69回関東支部研究発表大会	Web開催	12月	1人
第92回北海道MR I 画像研究会	Web開催	12月	1人
令和4年度日本放射線技術学会 愛知県放射線治療研究会	Web開催	12月	1人
第147回東京支部セミナー（放射線治療）	Web開催	1月	1人
第270回東京支部技術フォーラム	Web開催	1月	1人
第2回中部支部放射線防護セミナー	Web開催	1月	1人
第4回CTGUMセミナー	Web開催	1月	1人
告示研修（基礎研修、実技研修）	前橋市	1月	2人
告示研修（実技研修）	前橋市	1月	3人
放射線治療品質管理機構第32回講習会	Web開催	2月	1人
第66回Radiology Update 学術講演会	Web開催	3月	1人
群馬MR研究会	前橋市	3月	2人
検査室			
第142回医用超音波講義講習	Web開催	5月	1人
第47回日本超音波検査学会学術集会	Web開催	5月	2人
第2回群馬県臨床検査技師会 群馬県放射線技師会 合同勉強会	前橋市	5月	1人
第71回日本医学検査学会in大阪	大阪市	5月	1人
オーソ・ラボラトリー・トレーニング	東京都	6月	1人
タスクシフト厚労省指定講習会	前橋市	7月	2人
令和4年度群馬臨床細胞学会学術集会	前橋市	7月	4人
第29回日本輸血・細胞治療学会 秋季シンポジウム	Web開催	10月	1人
2022年度日臨技関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会（第58回）	宇都宮市	10月	1人
第61回日本臨床細胞学会秋季大会	Web開催	11月	1人
第67回群馬県医学検査学会	Web開催	11月	12人
第17回群馬県合同輸血療法委員会総会	前橋市	11月	3人
第3回群馬県臨床検査技師会 群馬県放射線技師会合同勉強会	前橋市	11月	1人
第37回輸血検査基礎実技研修会	前橋市	12月	5人
2022年度 JCR関節超音波検査 初級オンライン講習会	Web開催	1月	1人
タスクシフト厚労省指定講習会	前橋市	1月	1人
第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	Web開催	2月	1人
タスクシフト厚労省指定講習会	高崎市	2月	3人
令和5年度群馬臨床細胞学会	前橋市	2月	2人
令和4年度群馬県認定病理技師指定講習会	Web開催	3月	1人
リハビリテーション室			
第34回活動分析研究会	Web開催	5月	1人
第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	Web開催	6月	1人
第1回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	Web開催	7月	4人
第57回日本理学療法学術研修大会inとやま	Web開催	7月	2人
第9回 STのための嚙下実習講習会 Basicオンラインコース	Web開催	7月	1人
第56回日本作業療法学会	Web開催	9月	1人
第77回日本体力医学会大会	Web開催	9月	1人
第8回日本呼吸理学療法学会学術大会	Web開催	9月	3人
地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会 初期研修	Web開催	9月	2人
第56回日本作業療法学会	京都市	9月	2人
第23回受験者用講習会「eラーニング講習」	Web開催	10月	2人
地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会 導入研修	Web開催	10月	2人
第20回日本神経理学療法学会学術大会	大阪市	10月	1人
第9回日本予防理学療法学会学術大会	Web開催	11月	1人
第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	Web開催	11月	1人
第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬作業療法学会	Web開催	11月	6人
日本糖尿病療養指導士 第20回更新者用講習会	Web開催	12月	1人
第9回日本スポーツ理学療法学術大会	東京都	12月	3人

第6回日本安全運転医療学会学術集会	北九州市	12月	1人
協会指定管理者（上級）研修	Web開催	3月	1人
第50回日本集中治療医学会学術集会	京都市	3月	1人
栄養室			
医療者向け1型糖尿病の症例対応セミナー 第1回CGM&低血糖	Web開催	8月	3人
医療者向け1型糖尿病の症例対応セミナー 第2回CS II & 移行期医療	Web開催	9月	2人
2022年度腎臓病病態栄養セミナー	Web開催	11月	5人
第52回日本腎臓学会東部学術大会	Web開催	11月	1人
群馬県栄養士会令和4年度医療事業部研修会	Web開催	11月	1人
第26回日本病態栄養学会年次学術集会	Web開催	1月	3人
第23回動脈硬化教育フォーラム	Web開催	2月	4人
第42回食事療法学会	Web開催	3月	2人
臨床工学室			
日本臨床工学技士会 告示研修	東京都	5月	1人
第13回埼玉アクセス研究会学術集会	Web開催	7月	1人
第20回群馬県臨床工学技士会学術大会	Web開催	7月	3人
第21回血液浄化セミナー	Web開催	7月	2人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	Web開催	7月	1人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	横浜市	7月	3人
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修	東京都	7月	1人
第31回血液浄化セミナー	Web開催	8月	1人
第13回循環器セミナー	Web開催	9月	1人
日本医療機器学会 第2回 クリニカルエンジニアリング研究会	Web開催	10月	1人
認定血液浄化関連指定講習会 第2回	Web開催	10月	2人
人工呼吸器技術講習会	東京都	10月	1人
第2回関東甲信越臨床工学会	横浜市	11月	2人
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修	東京都	11月	1人
ぐんま人工呼吸セミナー	高崎市	12月	2人
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修	東京都	12月	1人
第22回人工呼吸器安全対策セミナー	Web開催	2月	1人
第32回血液浄化セミナー	Web開催	2月	1人
第61回人工呼吸の安全セミナー	Web開催	2月	4人
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修	東京都	2月	1人
視能訓練室			
第78回日本弱視斜視学会総会	Web開催	6月	2人
第63回日本視能矯正学会	Web開催	11月	1人
第64回日本産業・労働・交通眼科学会	Web開催	12月	1人
第28回群馬県視能訓練士勉強会	高崎市	2月	2人
看護部			
第14回群馬ストーリーナビリテーション講習会	Web開催	5月	1人
ICN分科会	前橋市	5月	1人
第14回群馬ストーリーナビリテーション講習会	前橋市	5月	1人
令和4年度群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	5月	2人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル合同研修	前橋市	5月	2人
第37回日本環境感染学会総会・学術集会	Web開催	6月	1人
第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	横浜市	6月	1人
令和4年度群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	6月	2人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	6月	2人
令和4年度第1回院内コーディネーター研修会	前橋市	6月	2人
第17回群馬クリニカルバス研究会	Web開催	7月	14人
第17回群馬クリニカルバス研究会	高崎市	7月	2人
令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会	前橋市	7月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	7月	2人
高崎健康福祉大学 認定看護師教育課程講義	高崎市	8月	1人
ファーストレベルオンライン研修のzoom操作手順について	前橋市	8月	2人
看護職員認知症対応力向上研修	前橋市	8月	9人
看護補助者活用推進のための看護管理者研修	前橋市	8月	8人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	8月	3人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	9月	2人

認定看護管理者 教育課程 ファーストレベル	前橋市	9月	3人
新人看護職員実地指導者研修	前橋市	10月	1人
第26回群馬県看護学会座長打合わせ会議	前橋市	10月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	10月	2人
認定看護管理者 教育課程 ファーストレベル	前橋市	10月	3人
クリニカルラダーの活用と効果的な看護師教育	前橋市	11月	5人
群馬ストーマリハビリテーション講習会	前橋市	11月	2人
令和4年度第3回群馬県合同輸血療法委員会 輸血関連看護師会	前橋市	11月	1人
認定看護管理者 教育課程 ファーストレベル	前橋市	11月	3人
第26回群馬県看護学会	前橋市	11月	1人
第46回 日本死の臨床研究会年次大会	津市	11月	1人
第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	東京都	11月	1人
2022年度医療安全管理者養成研修	前橋市	12月	2人
初めてのプリセプター研修	前橋市	12月	7人
脳死下臓器提供施設グループ研修会	前橋市	12月	2人
令和4年度群馬大学医学部附属病院 腎代替療法研修	前橋市	12月	1人
令和4年度災害看護支援ナースフォローアップ研修	前橋市	12月	5人
認定看護管理者 教育課程 ファーストレベル	前橋市	12月	3人
群馬県地域自殺対策強化事業 うつ・自殺予防研修会	前橋市	1月	2人
第37回日本がん看護学会学術集会	横浜市	2月	2人
令和4年度 妊娠・出産包括支援推進研修会	前橋市	2月	1人
令和4年度群馬大学医学部附属病院 腎代替療法研修	前橋市	2月	1人
令和4年度第4回群馬県合同輸血療法委員会 輸血関連看護師会	伊勢崎市	3月	1人
第50回日本集中治療医学会学術集会	京都市	3月	1人
ICN分科会	前橋市	3月	1人
第61回 東日本腎不全研究会	前橋市	3月	1人
令和4年度第2回院内コーディネーター研修会	前橋市	3月	1人
研修管理センター			
第45回日本呼吸器内視鏡学会	岐阜市	5月	3人
第42回日本脳神経外科コンgres総会	大阪市	5月	1人
第42回院内ICLSコース	藤岡市	5月	3人
第69回日本麻酔科学会学術集会	神戸市	6月	1人
第43回院内ICLSコース	藤岡市	6月	4人
令和4年度群馬県新生児蘇生法研修会Aコース	桐生市	7月	2人
第14回西毛外傷セミナー	前橋市	8月	1人
第47回群馬ISLS/PSLSコース	前橋市	8月	1人
第74回日本産科婦人科学会学術講演会	福岡市	8月	1人
第28回群馬県救急医療懇談会	前橋市	9月	3人
第76回日本臨床眼科学会	東京都	10月	1人
エチコン福島ラボトレーニング	郡山市	11月	3人
第63回日本肺癌学会学術集会	福岡市	12月	1人
安全管理センター			
ICN分科会	前橋市	5月	1人
第37回日本環境感染学会総会・学術集会	Web開催	6月	1人
緩和ケアセンター			
群馬県地域自殺対策強化事業 うつ・自殺予防研修会	前橋市	1月	1人
第37回日本がん看護学会学術集会	Web開催	2月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	6月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	7月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	9月	1人
認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル	前橋市	10月	1人
患者支援センター			
令和4年度群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修①	前橋市	6月	1人
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	前橋市	7月	1人
令和4年度群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修②	前橋市	7月	1人
社会福祉士実習指導者講習会	前橋市	12月	1人
経営管理部			
給与実務研修会	東京都	10月	1人
訪問看護ステーション			

第14回群馬ストーリーマリアビリテーション講習会	Web開催	5月	1人
保険医療福祉をめぐる社会的動向 訪問看護をめぐる諸制度	前橋市	6月	1人
訪問看護ステーションの開設・運営の基礎	前橋市	6月	1人
令和4年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	前橋市	7月	1人
令和4年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	前橋市	8月	1人
令和4年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	富岡市	8月	1人
令和4年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	前橋市	9月	1人
令和4年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	前橋市	10月	1人

V 研究業績

1. 論文 (原著・総説・著書等)

【循環器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
高松寛人		書籍「循環器病～知る・治す・予防する～」				2022年12月

【呼吸器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
黒岩裕也	茂木 充, 梅津和恵, 高野峻一, 竹村仁男, 前野敏孝	COVID-19による急性呼吸促拍症候群の治療後に発症した侵襲性肺炎スベルギルス症の1例	日本呼吸器学会誌	11(2)	82・86	2022年3月
高野 峻一	板井美紀, 中川純一, 前野敏孝	線維性縦隔炎との鑑別を要した胃癌の縦隔転移による気管狭窄の1例	日本呼吸器内視鏡学会雑誌 気管支学	45(2)	140・143	2023年
茂木 充		連休明けまで対策継続	上毛新聞 視点オピニオン21			2022年4月
茂木 充		場面に応じ適切に着脱	上毛新聞 視点オピニオン21			2022年6月
茂木 充		家庭と職場で予防徹底	上毛新聞 視点オピニオン21			2022年8月
茂木 充		集団免疫で感染収束へ	上毛新聞 視点オピニオン21			2022年9月

【腎臓・リウマチ内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
中村美紀	太田史絵, 半田広海, 茂木伸介, 月田真祐子, 吉田孝友, 塚田義人	COVID-19関連血管炎が疑われた1剖検例	日本内科学会雑誌	112(2)	236・241	2023年2月

【外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
片山千佳	原圭吾, 加藤寿英, 中里健二, 設楽芳範, 石崎政利, 調憲	群馬県西毛地区における外科的救急疾患の検討 - 外科医による緊急手術の現状	THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL 72	72(2)	141・145	2022年5月
中里健二	設楽芳範, 石崎政利	右胃大網動脈を用いた冠状動脈バイパス術後の早期胃癌に対して腹腔鏡下幽門側胃切除を行った1例	臨床雑誌 外科	84(10)	1079・1083	2022年9月
岡崎英人	中里健二, 森永暢浩, 吉田孝友, 設楽芳範, 石崎政利	膵癌に合併した微小肺髄膜細胞様結節の1例	臨床雑誌 外科	84(11)	1204・1208	2022年10月

【整形外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
Takuro Kuboi	Tsuyoshi Tajika, Fumitaka Endo, Tsuyoshi Ichinose, Tsuyoshi Sasaki, Noritaka Hamano, Hitoshi Shitara, Masaaki Sakamoto, Kenji Takagishi, Hiroataka Chikuda	Ultrasonographic appearance of the pronator quadratus muscle in high school baseball pitchers with and without elbow symptoms: a pilot study	Journal of Ultrasound		https://doi.org/10.1007/s40477-022-00685-0	2022年6月
Hideo Sakane	Koichi Okamura, Makoto Inoue, Hiroshi Inoue, Yukio Yonemoto, Hirofumi Mitomi, Kosei Tsuchida, Takahito Sut, Tetsuya Kaneko, Hiroataka Chikuda	Anti-drug antibodies and rheumatoid factor level in patients with rheumatoid arthritis using the infliximab biosimilar CT-P13	BMC Rheumatology	6(1)	74・74	2022年12月

【産婦人科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
道崎護	片貝栄樹、遠藤究	無症候性下大静脈腫瘍栓を合併した子宮体癌IVB期の一例	群馬県産婦人科医学会誌	30(1)	9・18	2022年8月

【リハビリテーション科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
黒崎みのり	登坂雅彦、伊部洋子、有井大典、伴野潤一、田澤昌之、清水立矢、藍原正憲、好本裕平、和田直樹	Functional Recovery after Rehabilitation in Patients with Post-stroke Severe Hemiplegia	Progress in Rehabilitation Medicine	2022(7)	20220039	2022年8月
外山 理沙	田澤昌之、有井大典、中尾裕美子、伊部洋子、黒崎みのり、和田直樹	大腿切断後の端断端に生じた深部静脈血栓症による急性肺血栓症の一例	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	60(1)	70・77	2023年1月

【リハビリテーション室】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
Kazuhiro Miyata	Shuntaro Tamura, Kobayashi Sota, Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	Berg Balance Scale is Valid Measure for Plan Interventions and for Assessing Changes In Postural Balance in Patients with Stroke	Journal of Rehabilitation Medicine	Online	-	2022年12月
Kazuhiro Miyata	Tatsuya Igarashi, Shuntaro Tamura, Takamitsu Iizuka, Tomohiro Otani, Shigeru Usuda	Rasch analysis of Short physical Performance Battery in older inpatients with heartfailure	Disability and Rehabilitation	Online First	1・6	2022年12月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Sota Kobayashi Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	Miminal clinically important difference in Berg Balance Scale in older adults with hip fracture	Disability and Rehabilitation	44(21)	6432・6437	2022年10月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Sota Kobayashi Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	The miminal clinically important difference in Berg balance scale among Patients with early subacute stroke: a multicenter, retrospective,observational study.	Topic in Stroke Rehabilitation	29(6)	423・429	2022年8月
Ren Takeda	Kazuhiro Miyata, Shuntaro Tamura, Sota Kobayashi, Hiroki iwamoto	Item distribution of Berg Balance Scale in older adults with Hip fracture: a Rasch analysis	Physiotherapy Theory and Prantice	Online First	1・8	2022年8月
Tatsuya Igarashi	Kazuhiro Miyata, Shuntaro Tamura, Tomohiro Otani, Takamitsu Iizuka, Shigeru usuda	Relationship between the characterisitics of lower extremity function and activities of daily living in hospitalized middle-older adults with subacute cardiovascular disease	Journal of Physical Therapy Science	34(11)	752・758	2022年11月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Sota Kobayashi Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	Development of Cut-off Values on the Berg Balance Scale for Predicting Walking independence in Older Adults with Hip Fracture	Progress in Rehabilitation Medicine	Online	1・9	2022年8月
藤井洋有	近藤健	終末期がん患者の在宅復帰に影響する因子の検討ーリハビリテーションを実施した患者に対する後方視的観察研究ー	作業療法	42(1)	26・33	2023年2月

2. 学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高松寛人	布施智博、小野洋平、植田哲也、間淵由紀夫、井上雅浩、鈴木忠	Angiotensin receptor-neprilysin inhibitor reduce proteinuria in patients with compensated heart failure and chronic kidney disease	第87回日本循環器学会学術集会	2023年3月	福岡	口演
高松寛人		サムスカは急性心不全の治療薬？それとも慢性心不全の治療薬？	Samtasu Web Seminar in Gunma	2022年5月	群馬	示説
布施智博	高松寛人、小野洋平、植田哲也、間淵由紀夫、井上雅浩、鈴木忠	当院におけるARNIによる腎機能保護効果に対する検討	ARNI Web Symposium in Fujioka	2023年3月	群馬	口演
角張友隆	植田哲也、布施智博、小野洋平、高松寛人、間淵由紀夫、井上雅浩、飯島徹、鈴木忠	特発性冠動脈解離（SCAD）から急性心筋梗塞（AMI）を発症し、経皮的冠動脈形成術（PCI）で再灌流した1例				口演
中島悠吾	布施智博、小野洋平、高松寛人、植田哲也、間淵由紀夫、井上雅浩、飯島徹、鈴木忠	脈拍を触知した“脈なしVT（心室頻拍）”				口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高野峻一	黒岩裕也、板井美紀、申悠樹、竹村仁男、池田香菜、須賀達夫、茂木充	間質性肺炎の増悪治療に対するの予後予測の検討	第62回日本呼吸器学会学術講演会	2022年4月	京都	口演
茂木 充	黒岩裕也、申 悠樹、板井美紀、梅津和恵、高野峻一、竹村仁男、池田香菜	重症COVID-19に対するtocilizumab治療例の臨床的検討	第62回日本呼吸器学会学術講演会	2022年4月	京都	口演
高野峻一	大屋裕、黒岩裕也、板井美紀、申悠樹、竹村仁男、池田香菜、須賀達夫、茂木充	呼吸不全のため超音波気管支鏡下経食道的針生検法で縦隔リンパ節にアプローチし診断に至った2例	第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2022年5月	岐阜	口演
竹村仁男	黒岩裕也、板井美紀、申 悠樹、高野峻一、池田香菜、茂木 充	オシメルチニブによると思われる心機能障害が生じた1例	第249回日本呼吸器学会関東地方会	2022年5月	東京	口演
高野 峻一	竹村仁男、池田香菜、茂木 充	当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬による下垂体機能低下症の2例	第63回日本肺癌学会学術集会	2022年12月	福岡	口演
竹村仁男	吉田佑貴、原健太郎、若松郁生、高野峻一、池田香菜、茂木 充	Archer MET陰性・オンコマインDx陽性MET ex 14 skipping変異を示した肺腺癌2例に対するテボチニブの治療経験	第63回日本肺癌学会学術集会	2022年12月	福岡	口演
黒川 真登	竹村 仁男、高野 峻一、池田 香菜、茂木 充	アテゾリズマブ治療後のニボルマブによるICI rechallengeにてPRを維持できた1例	第685回日本内科学会関東地方会	2023年3月	東京	口演

【血液内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
外山耕太郎	中山敬太、寺崎幸恵、松村郁子、金谷秀平、飯野宏允、野口紘幸、田原研一、吉田孝友、齊藤明生	単一施設の実臨床におけるCD5陽性DLBCLに対するDA-EPOCH-R/HD-MTX療法の有効性の検討	第62回日本リンパ網内系学会学術集会・総会	2022年6月	埼玉	示説
武井寿史	今村健二、縣知宏弘、野口紘幸、坂本亮一郎、武井智幸、外山耕太郎	持続勃起症を契機に診断されたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例	第680回日本内科学会関東地方会	2022年9月	東京	口演
武井寿史	今村健二、野口紘幸、外山耕太郎	The effect of SARS-CoV-2 vaccine on immune thrombocytopenia in our hospital	第84回日本血液学会学術総会	2022年10月	福岡	示説
柴山浩彦	板垣充浩、半田寛、横山明弘、齊藤明生、小杉智、太田秀一、吉瀧誠、田中康博、倉橋信悟、瀧田昌樹、清水穂隆之、森内幸美、外山耕太郎、三谷絹子、築根豊、嘉田晃子、田村秀人、安倍正博、岩崎浩巳、黒田純也、高松博幸、角南一貴、木崎晶弘、石田禎夫、齋藤俊樹、松村到、赤司浩一、飯田真	Primary survival of Japanese patients with plasma cell neoplasms in novel drugs era	第84回日本血液学会学術総会	2022年10月	福岡	示説

【腎臓・リウマチ内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
茂木伸介	月田真祐子、太田史絵、塚田義人	血漿交感とステロイドパルス療法により救命した溶血性尿毒症症候群関連脳症の一例	第67歳日本透析医学会学術集会・総会	2022年6月	横浜	示説
月田真祐子	真下裕、土屋俊平、茂木伸介、太田史絵、塚田義人	ステロイド治療が奏功した細繊維性糸球体腎炎の一例	第52回日本腎臓学会東部学術大会	2022年10月	東京	口演

【外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
片山千佳	高橋遼、原圭吾、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院における80歳以上における大腸癌手術症例の検討	第77回日本消化器外科学会総会	2022年7月	神奈川	示説
片山千佳	遠藤瑞樹、高橋遼、原圭吾、加藤寿英、松本明香、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院で手術を施行した80歳以上の大腸癌症例の検討	第60回日本癌治療学会学術集会	2022年10月	兵庫	示説
原圭吾	遠藤瑞樹、片山千佳、高橋遼、松本明香、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利	パクリタキセル単剤療法が奏功した食道神経内分泌癌の一例	第60回 日本癌治療学会学術集会	2022年10月	兵庫	示説
黒川真登	遠藤瑞樹、片山千佳、高橋遼、原圭吾、松本明香、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利、吉田孝友	膝頭部腫瘍で鑑別を要した十二指腸原発未分化多形肉腫の1例	第866回 外科集談会（日本臨床外科学会東京支部会）	2022年12月	東京	口演

【整形外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
久保井卓郎	田鹿毅、羽鳥悠平、遠藤史隆、筑田博隆	超音波を用いた高校野球投手の方形回内筋の形態的評価	第65回日本手外科学会学術集会	2022年4月	福岡	口演
久保井卓郎	田鹿毅、羽鳥悠平、遠藤史隆、一ノ瀬剛、濱野哲敬、佐々木毅志、宮本了輔、設楽仁、高岸憲二、筑田博隆	超音波を用いた高校野球投手の方形回内筋の形態的評価	第95回日本整形外科学会学術総会	2022年5月	兵庫	示説
久保井卓郎		シンポジウム 創外固定のイロハから最新まで 大腿骨創外固定 ～その基礎と応用～	第63回関東整形災害外科学会	2023年3月	栃木	口演
須藤 貴仁	Karonitsch Thomas, Aletaha Daniel, 岡邸 興一、坂根 英夫、筑田 博隆	関節リウマチfibroblast-like synoviocytesにおけるTNFR2の役割について	第95回日本整形外科学会	2022年5月	兵庫	口演
須藤 貴仁	岡邸興一、坂根英夫、筑田博隆	リウマチ性疾患のヒト免疫研究 TNFR2は関節リウマチfibroblast-like synoviocytesのTNFを介した活性化に重要である	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	口演
高澤 英嗣	三枝徳栄、岡邸興一、坂根英夫、伊藤俊介、須藤貴仁、筑田博隆	リウマチ性疾患の手術一般 生物学的製剤時代におけるリウマチ性頸椎病変の長期手術成績 既存病変の進行と長期経過観察の重要性	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	口演
伊藤 俊介	高澤英嗣、三枝徳栄、岡邸興一、須藤貴仁、坂根英夫、筑田博隆	リウマチ性腰椎病変が関節リウマチ患者の身体機能障害(HAQ)に与える影響	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	示説
高澤 英嗣	岡邸興一、坂根英夫、伊藤俊介、須藤貴仁、三枝徳栄、筑田博隆	高齢関節リウマチ患者の栄養障害と腰椎骨量減少の関連 脊椎手術を見据えた骨量維持の重要性	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	示説
坂根 英夫	岡邸興一、三枝徳栄、高澤英嗣、伊藤俊介、米本由木夫、須藤貴仁、金子哲也、筑田博隆	関節リウマチ患者の椎体骨折に影響する因子の検討	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	示説
坂根 英夫	米本由木夫、井上誠、井上博、田村靖之、三富博文、土田興生、岡邸興一、須藤貴仁、金子哲也、筑田博隆	エタネルセプト先発品からバイオシミラーに切り替えた関節リウマチ患者の1年後の寛解達成因子	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	示説
米本 由木夫	松尾亮平、三富博文、井上誠、土田興生、坂根英夫、田村靖之、井上博	関節リウマチ患者と原発性骨粗鬆症患者に対するロモソズマブ治療効果の比較	第66回日本リウマチ学会	2022年4月	神奈川	示説

金子 哲也	岡部興一、坂根英夫、須藤貴仁、筑田博隆	足関節骨折術後に発生した高度内反変形に対して上腕骨近位用プレートを用いて足関節固定術を行った関節リウマチの1例	第71回東日本整形災害外科学会	2022年9月	東京	口演
窪塚 貴哉	金子哲也、岡部興一、坂根英夫、須藤貴仁、筑田博隆	同側の橈骨遠位骨端線損傷・尺骨遠位骨折・上腕骨外顆骨折を合併したMonteggia骨折の1例	第71回東日本整形災害外科学会	2022年9月	東京	口演
金子 哲也	岡部興一、須藤貴仁、坂根英夫、筑田博隆	四肢insufficiency fracture7例の治療経験	第24回日本骨粗鬆症学会	2022年9月	大阪	示説
須藤 貴仁	岡部興一、坂根英夫、大倉千幸、金子哲也、筑田博隆	膝関節滑膜切除を施行した反応性関節炎の1例	第50回日本関節病学会	2022年10月	新潟	口演
米本 由木夫	岡部興一、須藤貴仁、坂根英夫、大倉千幸、金子哲也	脊椎関節炎を紐解く；診断と治療FDG-PETの脊椎関節炎診断・治療への応用	第50回日本関節病学会	2022年10月	新潟	口演
西川和博	柳川天志	大腿近位部悪性軟部腫瘍の手術後に発症した大腿動脈仮性動脈瘤の1例	第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術総会	2022年7月	東京	口演
西川和博	筑田博隆、中島大輔、久保井卓郎、坂根英夫	石灰化病変により手根管症候群をきたした1例	第706回関東整形災害外科学会月例会	2022年9月	東京	口演
西川和博	久保井卓郎、坂根英夫、小濱一作、山田哲也、中島大輔	大転子部褥瘡を合併した大腿骨転子部骨折に対してエンダー法を選択した1例	第10回群馬整形外傷症例検討会	2022年12月	群馬	口演

【泌尿器科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
須長理沙	坂本亮一郎、武井智幸	当院における免疫チェックポイント阻害剤の治療成績の報告	第91回日本泌尿器科学会群馬地分会	2022年11月	群馬	口演

【リハビリテーション科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
外山里沙	黒崎みのり、清水透、和田直樹	脳梗塞発症後入院を契機に見えられた完全房室ブロックの一例	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022年6月	神奈川	示説
黒崎みのり	外山里沙、清水透	脳卒中後の復職支援で慢性期の回復期リハビリテーションを要した2例	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	2022年11月	岡山	口演

【放射線診断科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
安井宏有貴		胸腺腫のCT所見：重症筋無力症の有無による比較	第81回日本医学放射線学会総会	2022年4月	神奈川	口演
神宮晶子		DATスキャンで集積増加を認めた小脳悪性リンパ腫の1例	第62回日本核医学会学術総会	2022年9月	京都	口演

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高田美結	増野貴司、井上拓也、堀口裕之、竹村仁男	肺腺癌患者のオシメルチニブ投与による左室駆出率低下と心不全を生じた1例	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022年8月	横浜	示説
清水祥正	土井信行、小見暁子、大野祥輝、原澤健、長谷川沙、秋山滋男	経管栄養患者に対する医療用栄養剤使用時のリン吸着薬の最適な投与方法に関する検討	第16回日本腎臓病薬物療法学会学術集会	2022年10月	長崎	示説
増野貴司	藤田行代志、蛭田英里子、山崎成基、田中肇、神谷輝彦、伊藤雅子、武井智史、松浦雅人、西場弘美、茂木淳之介、今井久雄	ナルデメジンによる末梢性オピオイド離脱症状に関する多機関共同研究	第60回日本癌治療学会学術集会	2022年10月	神戸	口演

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
田村俊太郎	公立七日市病院 小林壮太、長谷川智 茨城県立医療大学 富田一弘 機名荘病院 塩浦宏祐 群馬大学保健学研究科 臼田茂	亜急性期脳卒中患者におけるMini-Balance Evaluation Systems TestのMinimal Clinically Important Difference	第20回神経理学療法学会学術集会	2022年10月	大阪	示説

大谷知浩	公立藤岡総合病院 田村俊太郎 機名荘病院 塩浦宏祐 茨城県立医療大学 宮田一弘 群馬大学保健学研究科 臼田茂	生活期下肢骨折患者におけるFall Efficacy Scale-Internationalの臨床的に意義のある最小変化量の検討	第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会	2022年9月	東京	口演
宮田一弘	公立藤岡総合病院 田村俊太郎 公立七日市病院 小林壯太 沼田脳神経外科循環器科病院 武田廉 日高リハビリテーション病院 岩本紘樹	潜在ランク理論を用いた脳卒中患者におけるBerg Balance Scaleのバランス能力ステージの検討	第20回神経理学療法学会学術集会	2022年10月	大阪	示説
崎本将貴	公立藤岡総合病院 関根圭介、深澤彩、関口雅貴	退院後の自己管理の意識を向上するための高齢心不全患者への作業療法介入	第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法士学会	2022年11月	群馬	口演
古市真央	公立藤岡総合病院 関根圭介、岡村直哉	麻痺側上肢に対する自信が低下した症例への食事動作獲得までの介入	第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法士学会	2022年11月	群馬	口演
岩井慶士郎	公立藤岡総合病院 町田知駿、関口雅貴、堀越亮平、藤井洋有、関根圭介、向田直人	急性期脳損傷者に対する自動車運転再開に向けた連携システム～症例報告～	第6回日本安全運転医療学会学術集会	2022年12月	福岡	口述
深澤彩	公立藤岡総合病院 高田幸子、関根圭介 群馬ベース大学 近藤健 群馬大学大学院保健学研究科 李範爽	看護職とリハビリテーション職における「チーム医療に対する態度」と「対人葛藤方略」の関連	第56回日本作業療法学会	2022年9月	京都	示説
藤井洋有	近藤健、小田俊一、関根圭介	終末期がん患者の退院時の日常生活動作及び看取りの予測因子	第56回日本作業療法学会	2022年9月	京都	口演
小田俊一		心原性脳梗塞による左片麻痺、注意障害症例に対する、トイレ移乗動作への介入	第7回北関東信越ブロック学会第24回群馬県作業療法学会	2022年11月	群馬	口演
清水姫乃	公立藤岡総合病院 岡崎奏 高崎健康福祉大学 高橋裕子、中川和昌、久保一樹、須藤裕太、御供茜里	成長期バスケットボール選手の年代別膝関節前面痛の発生率と発生要因の検討	第9回日本スポーツ理学療法学術大会	2022年12月	東京	示説
清水姫乃	公立藤岡総合病院 岡崎奏 高崎健康福祉大学 高橋裕子、中川和昌、久保一樹、須藤裕太、御供茜里	成長期バスケットボール選手における成長区分に基づいた身体機能の非対称性と膝関節前面痛の発生との関連	第9回日本予防理学療法学術大会	2022年11月	東京	示説

【緩和ケアセンター】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
森崎裕美	古池きよみ、恩田千栄子、菅原恵里子、平田恵美、荒井頼道	緩和ケア病床上に登録した造血管腫瘍患者の分析	第10回日本マネジメント学会群馬県支部学術集会	2023年1月	Web開催	口演

3. 講演

【呼吸器内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
茂木 充	新型コロナウイルス感染症 実臨床と感染予防対策	沼田利根医師会卒後研修会	Web開催	2022年7月8日
茂木 充	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)～実臨床と感染予防対策～	令和4年度 群馬県歯科医師会公開セミナー	群馬県歯科医師会館	2022年7月23日

【血液内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
外山耕太郎	パネルディスカッション CML挙児希望症例パート	TKI Specialist symposium	高崎	2022年6月10日
外山耕太郎	骨髄増殖性疾患の診療	骨髄増殖性疾患の診療 診断編	Web開催	2022年4月27日

【小児科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
渡部登志雄	3歳児検尿マニュアルの使いかたと令和2年度の結果について	令和4年度3歳児健康診断の眼科・検尿に関する研修会	前橋	2022年6月9日

【整形外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
坂根英夫	急性期病院で始める二次骨折予防～当院の取り組み～	骨粗鬆症治療セミナーin群馬	前橋	2023年1月1日

【産婦人科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
遠藤究	助産師外来超音波検査法と胎児心拍数モニタリングの基礎	パース大学・助産師専攻課程	高崎	2022年6月10日

【リハビリテーション科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
黒崎みのり	PSC施設での回復期リハビリテーション病棟の取り組み	脳卒中の地域医療を考える in 藤岡	Web開催	2022年9月1日

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野貴司	当院におけるレジメン解説④ 乳がんのレジメン	第23回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	Web開催	2022年4月
増野貴司	外来化学療法室における栄養療法への取り組みと薬剤師の役割 -見えてきた課題と今後の展望-	がん悪液質を考える会	Web開催	2022年9月
井上 拓也	糖尿病と内服薬の話 ～この薬はどんな効果があるでしょうか?～	令和4年度第1回糖尿病教室	Web開催	2022年6月
羽鳥和博	内服薬の相互作用	医薬品安全使用研修会	Web開催	2022年10月
中山和彦	当院におけるレジメン解説 肺がんのレジメン	第24回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	Web開催	2022年10月
久米隆夫	抗菌薬適正使用について	感染対策必須研修会	Web開催	2022年6月
岩崎英久	抗菌薬適正使用について	感染対策必須研修会	Web開催	2022年6月

【 リハビリテーション室 】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
小林 真	患者・家族教育の意義とその方法	認定理学療法士 臨床認定カリキュラム	Web開催	令和5年3月13日 ～3月26日
小林 真	疾病・障害特異的理学療法の実際(技術編) 高齢心血管器疾患に対する運動療法の実	認定理学療法士 臨床認定カリキュラム	Web開催	令和5年3月13日 ～3月26日
藤井洋有	リハビリテーション職種との連携	介護職員初任者研修	万場高校	2022年6月7日
藤井洋有	急性期の作業療法	現職者選択研修	Web開催	2022年12月11日
高橋祐介	登録理学療法士制度～概要と対応～	理学療法士協会 西毛ブロック新人歓迎会	Web開催	令和4年12月7日
福田大典	職種間連携	群馬県言語聴覚士協会主催 JAS基礎講座2	Web開催	令和4年12月17日
関根圭介	在宅リハビリテーション総論	在宅看護方法論 I	本庄児玉看護専門学校	令和4年6月15日
関根圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向上マネジメント	Web開催	令和4年7月10日
関根圭介	生活行為向上マネジメント	臨床実習指導者講習会	Web開催	令和5年1月29日

【 栄養室 】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
堀越勝	栄養補助食品について	リハビリ職員勉強会	藤岡	令和4年5月16日
野口恵理子	腎臓病食事療法～適塩生活のすすめ～	腎臓病教室	藤岡	令和4年5月20日
野口恵理子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡	令和4年6月22日
堀越勝	当院の食事について	北2看護師、言語聴覚士勉強会	藤岡	令和4年6月28日
堀越勝	当院の食事について	南5看護師勉強会	藤岡	令和4年6月29日
渡邊恵子	腎臓病の食事指導について	NST担当看護師勉強会	藤岡	令和4年9月28日
野口恵理子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡	令和4年9月28日
堀越勝	栄養補助食品の効果について	褥瘡対策リンクナース勉強会	藤岡	令和4年11月18日
高田留美	栄養室のよいところ	院内学会	藤岡	令和4年11月22日
野口恵理子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡	令和4年11月30日
堀越勝	新型コロナウイルス感染症流行下における給食部門の対応について	令和4年度給食関係者講習会	藤岡	令和4年12月8日
堀越勝	食習慣と健康	群馬県立赤城特別支援学校	藤岡	令和4年12月15日
山本果南	心臓病の栄養指導について	リハビリ職員勉強会	藤岡	令和5年2月8日
野口恵理子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡	令和5年2月22日
堀越勝	当院の食事について	HCU、南5看護師勉強会	藤岡	令和5年3月15日

【患者支援センター】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
青木雅代	身寄りのない方の意思決定支援 ～身元保証問題について考える～	令和4年度藤岡多野地域 在宅医療・介護人材育成研修	Web開催	令和4年12月13日

【緩和ケアセンター】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
森崎裕美	緩和ケアの場面で生じる倫理的問題	第31回藤岡緩和ケア研究会	Web開催	令和4年9月2日

4. 講演会・研修会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月20日	第23回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	①乳癌における治療の実際 ②当院におけるレジメンの解説④乳癌のレジ	①公立藤岡総合病院 外科部長 松本明香 ②公立藤岡総合病院 薬剤師 塩野智則	藤岡商工会議所 Web配信	20	12
5月9日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
5月20日	腎臓病教室	①「透析が必要です」といわれたら知っておきたいこと ②適塩生活のすすめ ③これだけは知っておきたい制度/治療編	①公立藤岡総合病院 腎臓・リウマチ内科 月田真祐子 ②公立藤岡総合病院 管理栄養士 野口恵理子 ③公立藤岡総合病院 社会福祉士 川井大輔	公立藤岡総合病院 大会議室	14	16
6月22日	第1回糖尿病教室	①糖尿病と内服薬のお話 ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④糖尿病とストレス	公立藤岡総合病院 薬剤師 公立藤岡総合病院 管理栄養士 公立藤岡総合病院 理学療法士 公立藤岡総合病院 中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	19	26
7月11日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	29
7月11日	第13回脊椎圧迫骨折地域連携バス会 第44回大腿骨頸部骨折地域医療連携バス会議	地域連携バスの運用について	患者支援センター	オンライン	9	22
7月15日～31日	第26回藤岡がん市民講座	乳がんについて ①乳がんってどんな病気？ ②知っておきたい乳がんのこと	公立藤岡総合病院 外科部長 松本明香 乳がん看護認定看護師 平田恵美	オンライン	521	
9月2日	第31回藤岡緩和ケア研究会	緩和ケアの現場で生じる倫理的問題	公立藤岡総合病院 がん看護専門看護師 森崎裕美	公立藤岡総合病院 大会議室	25	71 (WEB)
9月12日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上 雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
9月28日	第2回糖尿病教室	①放っておくと怖い動脈硬化 ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④糖尿病から腎臓を守る	公立藤岡総合病院 検査室 公立藤岡総合病院 管理栄養士 公立藤岡総合病院 理学療法士 公立藤岡総合病院 中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	16	18
10月19日	藤岡がん診療講演会	がん患者の神経障害疼痛 どう対応するか	埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮きのみ	公立藤岡総合病院 大会議室	28	28 (WEB)
10月25日	第24回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	①当院におけるレジメン解説 肺がんのレジ ②化学療法室の看護の立場から	公立藤岡総合病院 薬剤部 中山和彦 看護部 高山仁美	藤岡商工会議所 Web配信	11	15
11月12日	藤岡緩和ケア研修会	①e-ラーニング復習と質問 ②全人的苦痛に関する緩和ケア ③療養場所の選択と地域連携 ④がん患者への支援 ⑤コミュニケーション	伊勢崎市民病院 緩和ケア内科 押本直子 済生会前橋病院 緩和ケア内科 平山 功 公立藤岡総合病院 武井智幸 公立藤岡総合病院 武井智幸 群馬大学病院 精神科神経科 藤平和平	公立藤岡総合病院 大会議室	12	2
11月14日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上 雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
11月18日	腎臓病教室	①腎臓に関連する検査項目について ②筋トレ、ストレッチ ③腎臓病と仲良く付き合うために	公立藤岡総合病院 ①臨床検査技師 柴崎洋一 ②理学療法士 塚田健人 ③看護師 高野千里	公立藤岡総合病院 大会議室	15	27
11月30日	第3回糖尿病教室	①シックデイについて ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④アドボカシーとスティグマ	公立藤岡総合病院 看護師 公立藤岡総合病院 管理栄養士 公立藤岡総合病院 理学療法士 公立藤岡総合病院 中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	17	12
12月12日	第45回大腿骨頸部骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について		オンライン	9	23
12月12日	第14回脊椎圧迫骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について		オンライン	9	23
2月3日	藤岡緩和ケア研究会	「外来で安全に化学療法を行うために」 ～当院における連携のあり方～	公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 高山仁美	大会議室	29	15
2月22日	第4回糖尿病教室	嫌にならない運動～NEATを知っていますか？ 家の中で出来る運動 家でできる簡単レシピ インスリン100年の歴史	公立藤岡総合病院 リハビリテーション室 栄養室 糖尿病内科部長 中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	18	24
3月6日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上 雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
3月13日	第46回大腿骨頸部骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について		オンライン	11	26
3月13日	第15回脊椎圧迫骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について		オンライン	11	26
3月15日	藤岡がん診療講演会	急性期がん専門病院の専門緩和ケア なんの意味があるか・無いか	新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科部長 本間英之	Web配信	29	30
3月16日	公立藤岡総合病院地域連携講演会	頭痛について 片頭痛の最新情報 糖尿病治療 Update	公立藤岡総合病院 甲賀英明 公立藤岡総合病院 中原理恵子	Web講演	19	9

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月1・4・5日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人 他	公立藤岡総合病院 大会議室		36
5月1日～31日	2022年度 前期医療安全必須研修 (eラーニング)	医療機関におけるハラスメント	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院		717
5月12日	第47回M&Mカンファレンス	症例 肺腺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 高野峻一	公立藤岡総合病院 大会議室		42
5月12日	第45回カンサーボード	症例 小腸癌	公立藤岡総合病院 外科医長 片山千佳	公立藤岡総合病院 大会議室		42
5月13日	第177回公開CPC	症例 悪性リンパ腫疑い	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山耕太郎 病理診断科部長 吉田孝友 <small>研修医 林純太</small>	公立藤岡総合病院 大会議室		34
5月22日	第42回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室		12
6月1日～30日	2022年度 前期医療安全必須研修 (eラーニング)	医療安全とヒューマンエラー	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院		709
6月1日	医療機器安全研修会	人工呼吸器HAMILTON-C6新規導入に係る説明	公立藤岡総合病院 臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 中会議室2		10
6月9日	第48回M&Mカンファレンス	症例 末期腎不全、老衰	公立藤岡総合病院 腎臓内科 土屋俊平	公立藤岡総合病院 大会議室		44
6月9日	第46回カンサーボード	症例 膀胱癌、前立腺癌、腎盂尿管癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科 須長理沙	公立藤岡総合病院 大会議室		44
6月9日	第44回画像カンファレンス	メトロナゾールによる末梢神経障害とメ トロナゾール脳症の画像所見	放射線診断科部長 神宮 晶子 放射線診断科 安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室		36
6/21. 22. 24 29. 30. 7/1. 4 1/7	感染対策必須研修会（前期）	標準予防策について 抗菌薬適正使用について	ICT AST	大会議室		642
6月25日	第43回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室		12
7月1日	Training for Safety Use 2022	縫合糸・針の基礎 糸結び 皮膚縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室		15
7月4日	医療機器研修	輸液ポンプ新機種（TE-181）操作説明会	日本光電	公立藤岡総合病院 中会議室2		125
7月8日	Training for Safety Use 2022	真皮縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室		12
7月14日	第49回M&Mカンファレンス	症例 肝癌	公立藤岡総合病院 外科部長 加藤寿英	公立藤岡総合病院 大会議室		49
7月14日	第47回カンサーボード	症例 進行胃癌	公立藤岡総合病院 消化器内科学部長 山口 泰子	公立藤岡総合病院 大会議室		48
7月14日	第178回公開CPC	症例 メソトレキセート関連リンパ増殖性疾 病	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山耕太郎 病理診断科部長 吉田孝友 <small>研修医 大塚彰</small>	公立藤岡総合病院 大会議室		43
7月22日	Training for Safety Use 2022	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室		11
7月30日	第44回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室		12
8月5日	Training for Safety Use 2022	消化管吻合 真皮縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室		13
8月25日	部署別医療安全取り組み発表会	取り組み事項の選択理由・対応策など	公立藤岡総合病院 薬剤室、放射線室、検査室、栄養室、 南3～7階病棟、北2・4～6病棟、人工透 救急センター、外来、しらさぎの里 臨床工学士室、リハビリテーション室、中央手術室 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室		47
9月8日	第50回M&Mカンファレンス	症例 右頸部内頸動脈狭窄症	公立藤岡総合病院 脳神経外科 向田直人	公立藤岡総合病院 大会議室		38
9月8日	第48回カンサーボード	症例 び慢性大細胞型B型細胞リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科医員 梶田樹矢	公立藤岡総合病院 大会議室		44
9月9日	第45回画像カンファレンス	急性腹症と画像所見	放射線診断科部長 神宮 晶子 放射線診断科 安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室		34
9月13日	骨折予防院内研修会	骨粗鬆症性大腿骨近位部骨折に対する当院の 取り組み	公立藤岡総合病院 整形外科 坂根英夫	公立藤岡総合病院 大会議室		54
10月3日～28日	医薬品安全使用研修会	内服薬の相互作用	公立藤岡総合病院 薬剤部 羽鳥和博	公立藤岡総合病院 電子カルテMy Web		592
10月13日	第51回M&Mカンファレンス	症例 消化管出血	公立藤岡総合病院 循環器内科 布施智博	公立藤岡総合病院 大会議室		53
10月13日	第49回カンサーボード	症例 直腸癌	公立藤岡総合病院 外科医長 高橋遼	公立藤岡総合病院 大会議室		46
10月13日	第179回公開CPC	症例 肺炎、肺膿瘍	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山耕太郎 病理診断科部長 吉田孝友 研修医 中島悠吾 研修医 横山響	公立藤岡総合病院 大会議室		41
10月27日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室		97
10月27日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室		56

10月28日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室	62
11月10日	第52回M&Mカンファレンス	症例 蘇生に成功した心停止	公立藤岡総合病院 血液内科 梶田樹矢	公立藤岡総合病院 大会議室	41
11月10日	第50回カンサーボード	症例 小細胞癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 高野峻一	公立藤岡総合病院 大会議室	41
11月10日	第46回画像カンファレンス	Ai (Autopsy imaging) 死後変化や蘇生術後変化を中心に	放射線診断科部長 神宮 晶子 放射線診断科 安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	35
11月30日	第1回養育支援体制を確保するための研修	子どもの虐待とは何か?	公立藤岡総合病院 小児科科長 渡部登志雄	公立藤岡総合病院 大会議室	19
12月8日	第180回公開CPC	症例 再発性難治性多発性骨髄腫	公立藤岡総合病院 血液内科医長 武井寿史 病理診断科部長 吉田孝友 研修医 清水湧作 研修医 新井萌々花	公立藤岡総合病院 大会議室	36
12月8日	第53回M&Mカンファレンス	症例 卵巣癌	公立藤岡総合病院 産婦人科 似内敦志	公立藤岡総合病院 大会議室	40
12月10日	第51回カンサーボード	症例 横行結腸癌、乳癌の重複癌	公立藤岡総合病院 外科医長 原圭吾	公立藤岡総合病院 大会議室	40
12月13日	クリニカルパス研修会				26
1月27日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課 新井・儘田・設楽	大会議室	96
1月30日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課 新井・儘田・設楽	大会議室	94
1月31日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課 新井・儘田・設楽	大会議室	71
2月1日～28日	2022年度 後期医療安全必須研修	BLS (必須研修) 部署別取り組み結果		My-Web	699
2月4日	災害医療研修会	①災害拠点病院の役割 ②災害総論 ③災害各論 (CSCATT) ④グループディスカッション	公立藤岡総合病院 D-MAT隊員	大会議室	56
2月9日	第54回M&Mカンファレンス	症例 前立腺基底細胞癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科 須長理沙	公立藤岡総合病院 大会議室	39
2月9日	第52回カンサーボード	症例 卵巣癌によるPseudo-Meigs症候群	公立藤岡総合病院 産婦人科医長 似内敦志	公立藤岡総合病院 大会議室	39
2月9日	第47回画像カンファレンス	上腹部MRIの画像診断	放射線診断科部長 神宮 晶子 放射線診断科 安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	31
2月17日	メンタルヘルス研修会	管理監督者向けラインケア研修 メンタル不調を発生させない職場づくり	日本産業カウンセラー協会 山口 佳子	大会議室 Web配信	100
3/1.6.10.15	感染対策必須研修会	新型コロナウイルス感染症 院内クラスターについて 正しい細菌検体採取法について	ICT AST	大会議室	590
3月9日	第181回公開CPC	症例 多臓器不全	公立藤岡総合病院 外科医長 原圭吾 病理診断科部長 吉田孝友 研修医 井上俊 研修医 黒川真登	公立藤岡総合病院 大会議室	41
3月9日	第55回M&Mカンファレンス	症例 左化膿性膝関節炎	公立藤岡総合病院 整形外科医員 西川和博	公立藤岡総合病院 大会議室	43
3月9日	第53回カンサーボード	症例 大腸癌	公立藤岡総合病院 外科医員 遠藤瑞貴	公立藤岡総合病院 大会議室	46
3/14～24	第2回養育支援体制を確保する研修	子ども虐待の概要と虐待予防システムの紹介	虐待防止委員会	Web研修	650

5. 看護部院内研修

新人看護職員集合研修

集合教育（基本看護技術）

目的：日常生活援助のための基本的な技術・態度を身につけ、ベットサイドケアが安全・確実にできる。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
4月6日	基礎看護技術のチェック表の記載の 仕方・(教育体制) 目標と習得すべき知識・技術	16名	教育担当看護師長 藤巻淳子
	医療安全（患者誤認防止、針刺し防止、 転倒・転落予防、誤薬）	23名	専従RM 斎藤康行
	院内オリエンテーリング 看護協会について	17名	副看護部長 足利章江 副看護部長 染谷由香里
4月7日	看護職の倫理綱領	19名	外来看護師長 飯島京子
	外来・内視鏡センター・透析室見学 (グループに分かれて)	19名	外来看護師長 飯島京子 内視鏡センター看護師長 設楽理枝 透析室看護師長 原 敦子 教育担当看護師長 藤巻淳子
	接遇・当院の身だしなみ基準について	19名	北4階病棟 副看護師長 中村道子
	感染予防策（スタンダートプリコーショ ン、手指衛生）PPEについて	19名	副看護部長 染谷由香里 感染管理専従看護師 金子美佐
4月8日	社会人基礎力について 基礎編 (グループワーク) ユニフォーム・看護師免許証について	16名	教育担当看護師長 藤巻淳子
	看護記録を書く意味・必要性	16名	透析室看護師長 原 敦子
	重症度、医療・看護必要度研修	16名	南6階病棟 副看護師長 小林ゆりえ
	電子カルテの操作	18名	北6階病棟 看護師 浦部 悠 梅沢千恵子

4月11日	清潔の援助・排泄の援助・シーツ交換	16名	北5階病棟 看護師 丸山采華 島崎和葵 教育担当看護師長 藤巻淳子
4月12日	安全・安楽な体位、体位変換	20名	南6階病棟 看護師 新井莉沙 剣持涼音 理学療養士 高橋瑞刀
	病棟オリエンテーション・病棟の特殊性を知る		各部署看護師長・副看護師長
4月13日	口腔ケア・食事介助・トロミ剤の説明	16名	摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山麻祐子 横村季代子
4月15日	ME 機器について (輸液ポンプ・シリンジポンプ・ 心電図モニター)	20人	臨床工学技士 田島伸哉 南4階病棟 副看護師長 久保 愛
4月26日	看護部の目標・理念について コミュニケーションの基本	15人	看護部長 高田幸子
	基礎看護技術 1か月評価	15人	基礎I研修担当 林 美里 五十嵐綾音 能海由紀 大島ゆう子 教育担当看護師長 藤巻淳子
5月2日	研修の振り返り 集合研修修了式	15人	基礎I研修担当 林 美里 五十嵐綾音 能海由紀 大島ゆう子 教育担当看護師長 藤巻淳子

基礎I研修

集合研修

目的：1) 安全対策ができ、ベットサイドケアが安全・迅速・確実にできる。

2) リアリティショックを防止できる

月 日	研修内容	受講者数	講 師
5月12日	IV ナース育成プログラム	16名	北4階病棟 副看護師長 原澤優子
6月2日	酸素療法	16名	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 小野澤恵子
6月14日	輸血療法	16名	北4階病棟 臨床輸血看護師 栗原愛子
6月27日	看護補助体制充実加算の施設基準について	16名	副看護部長 染谷由香里

7月5日	フィジカルアセスメント・呼吸 (全5回)1回目	15名	集中ケア認定看護師 高橋 圭
7月8日	酸素療法・吸引・吸入について	16名	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 小野澤 恵子
7月22日	スキンケア	15名	皮膚排泄看護認定看護師 松本佳代
8月4日	フィジカルアセスメント・循環 (全5回)2回目	13名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士
9月1日	フィジカルアセスメント・中枢① (全5回)3回目	15名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士
9月20日	認知症看護	15名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
9月22日	BLS・救急カートについて	19名	集中ケア認定看護師 高橋 圭 南3階病棟 看護師 鈴木鷹士 理学療法士 石川雄太 高橋瑞刀
9月29日	6か月フォローアップ研修	16名	基礎I研修担当 林 美里 五十嵐綾音 能海由紀 大島ゆう子 教育担当看護師長 藤巻淳子
10月7日	フィジカルアセスメント・中枢② (全5回)4回目	14名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士
10月11日	訪問看護・退院支援について	14名	訪問看護ステーション はるかぜ 看護師長 山口明子 患者支援センター グループリーダー青木 雅代
10月21日	多重課題	14名	南6階病棟 看護師長 齊田亜弓
11月15日	がん看護教育①	14名	緩和ケア認定看護師 菅原恵理子
12月3日	群馬大学医学部附属病院看護部主催 がん看護基礎講座 オンライン研修	22名	教育担当 看護師長 藤巻淳子
12月5日～ 12月20日	救急センター研修	15名	救急センター看護師長 藤野妙子 救急看護認定看護師 金井 優
12月26日	看護倫理	15名	北5階病棟 副看護師長 萩原智子

1月10日	看護観	15名	教育担当看護師長 藤巻淳子
1月13日～ 2月10日	静脈採血研修	15名	副看護部長 染谷由香里 教育担当看護師長 藤巻淳子
1月16日～ 1月25日	手術室研修	15名	中央手術室 看護師長 野村香 中央手術室 看護師 五十嵐綾音
1月27日	フィジカルアセスメント・腹部 (全5回)5回目	13名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士
2月7日	がん看護教育②	10名	がん看護専門看護師 森崎裕美
2月13日	がん看護教育③	14名	がん化学療法看護認定看護師 塩野智則
2月20日	がん看護教育④	14名	がん性疼痛看護認定看護師 恩田千栄子
3月24日	12か月フォローアップ研修 基礎Ⅰ修了式	14名	基礎Ⅰ研修担当 林 美里 五十嵐綾音 能海由紀 大島ゆう子 教育担当看護師長 藤巻淳子

基礎Ⅱ研修

目的：1) 看護実践能力を高める。

2) プリセプターシップを理解することができる。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
1月10日	「臨死期」のケアについて	22名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ
9月27日	看護倫理	19名	北2階病棟 看護師長 菊池弘美
10月3日	がん薬物療法看護	20名	がん化学療法看護認定看護師 賀村寿人
12月1日	基礎がん看護教育 「がん看護症状マネジメント④ (事例検討)」	20名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ がん性疼痛看護認定看護師 恩田千栄子 がん化学療法看護認定看護師 賀村寿人
12月3日	群馬大学医学部附属病院看護部主催 がん看護基礎講座 オンライン研修	22名	教育担当看護師長 藤巻淳子

12月16日	「人工呼吸器」	19名	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 小野澤恵子
1月11日	基礎がん看護教育「トータルペイン」	18名	乳がん看護認定看護師 平田恵美
1月26日	フィジカルアセスメント・呼吸・循環(全3回)1・2回目	21名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士 集中ケア認定看護師 高橋 圭
2月17日	メンバーシップとチーム医療	20名	北6階病棟 副看護師長 高橋久美子
3月7日	認知症看護(身体抑制について)	19名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
3月17日	フィジカルアセスメント・中枢神経(全3回)3回目	19名	南3階病棟 看護師 鈴木鷹士 集中ケア認定看護師 高橋 圭
3月22日	看護観	20名	外来看護師長 飯島京子

基礎Ⅲ研修

目的：1) リーダーとしての役割を果たし、日々の業務が遂行できる。

2) 看護研究を通して、自己の看護観を発展させる。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
7月28日	文献検索について	14名	研修センター 司書 上原菜穂子
7月28日	看護事例報告の進め方について	14名	集中ケア認定看護師 高橋 圭
9月5日	がん看護教育 化学療法を受けている患者の看護	16名	がん看護専門看護師 森崎裕美 がん性疼痛看護認定看護師 恩田千栄子 がん化学療法看護認定看護師 高山仁美
10月28日	退院支援について	15名	患者支援センター グループリーダー 青木雅代 入退院支援センター 副看護師長 青木裕美
11月1日	がん看護教育 看護倫理	14名	がん看護専門看護師 森崎裕美
12月2日	基礎がん看護教育 看護倫理	14名	がん看護専門看護師 森崎裕美 緩和ケア認定看護師

			菅原恵里子 がん化学療法看護認定看護師 賀村寿人
12月19日	身体抑制について	15名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
1月24日	抄録について	15名	南6階病棟 看護師長 齊田亜弓
1月24日	看護倫理	15名	緩和ケア認定看護師 菅原恵理子
1月30日	リーダーシップについて	15名	内視鏡センター看護師長 設楽理枝
2月6日	基礎がん看護教育 「症状マネジメント・退院支援」	15名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ 乳がん看護認定看護師 平田恵美 がん化学療法看護認定看護師 塩野智則
2月21日	看護観	15名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ
3月13日	事例検討発表会	14名	教育検討部会員 各部署看護師長

基礎IV研修

目的：高度な看護活動が実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
11月14日	「身体抑制」について	13名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
11月29日	基礎がん看護教育 「退院支援（事例検討のグループワーク）」	13名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ 乳がん看護認定看護師 平田恵美 がん化学療法看護認定看護師 塩野智則
12月5日	基礎がん看護教育 「看護倫理（事例検討のグループワーク）」	12名	がん看護専門看護師 森崎裕美
1月31日	看護観	14名	北4階病棟 看護師長 木部和枝

2月2日	基礎がん看護教育 「症状マネジメント（事例検討のグループワーク）」	12名	緩和ケア認定看護師 菅原恵理子 がん性疼痛看護認定看護師 恩田千栄子 がん化学療法看護認定看護師 高山仁美
------	--------------------------------------	-----	--

新入職既卒者研修

目的：1) 病棟配置後、不安や悩みを出し合い情報を共有する。

2) 不安・悩みに対して解決策を見つけることができる。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
10月4日	新入職看護師（既卒） 6か月フォローアップ研修	3名	教育担当看護師長 藤巻淳子
3月15日	新入職看護師（既卒） 12か月フォローアップ研修	3名	基礎I研修担当 林 美里 五十嵐綾音 能海由紀 大島ゆう子 教育担当看護師長 藤巻淳子

専門コース研修

目的：緩和ケア・認知症看護についての見識を深めることができる。

月 日	内研修容	受講者数	講 師
9月5日	認知症看護（全4回）1回目	16名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
9月27日	認知症看護（全4回）2回目	15名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
10月7日	認知症看護（全4回）3回目	18名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
10月31日	認知症看護（全4回）4回目	19名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 清水仁美 富岡幸之
12月6日	「ポジショニング」	10名	言語聴覚士 松井里沙
12月23日	「口腔ケアの方法」	9名	摂食・嚥下障害看護認定看護師 横村季代子
1月10日	食事形態とトロミについて	12名	言語聴覚士 松井里沙

1月17日	緩和ケア がん看護とコミュニケーション	7名	緩和ケア認定看護師 古池きよみ 菅原恵理子
1月24日	急性期/慢性期/在宅それぞれの場面で の食事支援について考える	12名	摂食・嚥下障害看護認定看護師 横村季代子
1月31日	がん看護 がん性疼痛について	7名	がん性疼痛看護認定看護師 恩田千栄子
2月7日	認知症の嚥下障害	10名	摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山麻祐子
2月14日	がん看護 がん薬物療法について	7名	がん化学療法看護認定看護師 塩野智則
2月21日	嚥下障害による症状出現時の対応	12名	集中ケア認定看護師 高橋 圭
2月28日	がん看護 放射線療法について	7名	放射線科医師 塩谷真里子
3月14日	がん看護 がん看護と倫理	5名	がん看護専門看護師 森崎裕美
3月28日	がん看護 意思決定支援 (ACPに関すること)	7名	緩和ケア認定看護師 菅原恵理子

プリセプター支援研修

目的：プリセプターシップを円滑に継続するための、フォローアップの機会とする。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
4月5日	プリセプター研修 (集合研修・チェックリストについて)	8名	教育担当看護師長 藤巻淳子
4月11日	プリセプター研修 (対象者：卒後10年目以上)	8名	看護部長 高田幸子
5月11日	プリセプター研修 (対象者：卒後10年目以下)	10名	看護部長 高田幸子
7月4日	プリセプター3か月フォローアップ 研修	18名	プリセプター研修担当 田村好美 田島沙織 太田好子 齊田亜弓
11月1日	プリセプター6か月フォローアップ 研修	13名	プリセプター研修担当 田島沙織 田村好美 太田好子
3月7日	プリセプター12か月フォローアップ 研修	17名	プリセプター研修担当 田村好美 田島沙織
3月17日	プリセプター研修 (令和5年度対象)	11名	教育担当看護師長 藤巻淳子
3月20日	アソシエーター研修 (令和5年度対象)	12名	教育担当看護師長 藤巻淳子

認知症看護全体研修

目標：認知症看護についての見識を深めることができる。

開催期間	研修内容	受講者数	講師
1月16日 ～ 2月28日	高齢者(認知症者)のケアの工夫 DVD視聴研修	369名	認知症看護認定看護師 清水仁美

看護補助者との協働のための研修

目標：看護補助者の役割と業務を知り、協働の必要性を理解する。

開催日	研修内容	受講者数	講師
5月2日 5月23日 5月24日 6月13日 6月14日 6月15日 6月16日	看護補助者との協働 ・看護補助者との協働の必要性 ・看護補助者の制度的な位置づけ ・看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方 ・看護補助者との協働のためのコミュニケーション ・自施設における看護補助者に係る規定及び運用	360名	副看護部長 染谷由香里

看護補助者研修

目標：看護補助者として、役割と業務を理解できる。

開催日	研修内容	受講者数	講師
4月15日 2月14日 2月22日	看護補助者業務必須研修 ・医療制度の概要、病院の機能と組織 ・医療チームと機能と役割 ・労働安全衛生の基礎知識 ・看護助手業務と基本的なマナー ・看護助手の業務的責任 ・医療安全と感染対策	19名	担当看護師長 江原 忍 菊地弘美 木部和枝 高橋富士美 専従RM 斉藤康行 感染管理専従看護師 金子美佐 摂食・嚥下障害看護認定看護師 横村季代子

新任副看護師長 管理者研修

目標：1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識、技術、態度を目指す。

2) 看護を提供するための組織化並びに運営の責任の一旦を担うための必要な知識、技術、態度を習得する。

3) 組織的な看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力の拡大を目指す。

月 日	研修内容	受講者数	講 師
7月4日	看護組織論 1	8名	看護部長 高田幸子
7月11日	看護組織論 2	8名	看護部長 高田幸子
8月8日	人的資源活用論 1	8名	看護部長 高田幸子
8月22日	人的資源活用論 2	8名	看護部長 高田幸子
9月2日	病床管理	8名	副看護部長 千木良直子
9月26日	感染管理	8名	副看護部長 染谷由香里
10月7日	人材育成 看護部教育理念	7名	教育担当看護師長 藤巻淳子
11月7日	業務管理 様式9	8名	副看護部長 足利章江
11月21日	業務管理 診療報酬について	8名	副看護部長 千木良直子
12月19日	看護単位における安全管理	8名	専従RM 斎藤康行
1月30日	労務管理	8名	副看護部長 足利章江
3月20日	目標について評価 (プレゼンテーション)	8名	看護部長 高田幸子

新任看護師長 管理者研修

目標：1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識、技術、態度を習得し、自己の資質及びマネジメント能力を向上させ、基本的な責務を遂行する。

2) 病院、看護部の理念を基に担当部署の目標を設定し、その目標達成のための看護管理能力を高める。

月 日	研修内容	受講者	講 師
7月8日	労務管理	4名	副看護部長 足利章江
7月25日	業務管理	4名	副看護部長 足利章江
8月2日	看護組織論 1	4名	看護部長 高田幸子
8月30日	看護組織論 2	4名	看護部長 高田幸子
9月6日	人的資源活用論	4名	看護部長 高田幸子
9月12日	RMの役割と安全管理教育	4名	専従RM 斎藤康行
9月16日	看護組織論	4名	看護部長 高田幸子
10月3日	業務管理 診療報酬について	4名	副看護部長 千木良直子

10月17日	感染管理と管理者の役割	4名	副看護部長 染谷由香里
11月1日	人材育成	4名	教育担当看護師長 藤巻淳子
12月5日	病床管理	4名	副看護部長 千木良直子
1月26日	病床管理	4名	副看護部長 千木良直子
3月15日	目標について評価 (プレゼンテーション)	4名	看護部長 高田幸子

6. 認定看護師の活動記録

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

外来化学療法室において、外来担当薬剤師と協同し、患者およびその家族に対して抗がん薬治療に伴う有害事象に対するの情報提供と医師に有害事象に対する処方提案を行い安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。12月からは、北6階病棟スタッフの一員として主に肺がんに対する薬物療法を行っている患者に対する支援と看護の質向上に努めた。また、第37回日本がん看護学術集会において、一般演題 演題名「COVID-19 蔓延下でのがん薬物療法看護認定看護師活動への影響」について共同演者として、交流集会6で「COVID-19 蔓延災害下でがん薬物療法看護認定看護師活動を継続する意欲と課題」をテーマに演者として発表した。

【指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2022年5月26日	認定・専門看護師部会主催研修会	第1回がん薬物療法の概要について	
2022年7月23日	第4回 I-0 Nurse Seminar	「当院における免疫関連有害事象対策と新たな取り組みについて」	Web 配信
2022年9月26日	北6階病棟 2年目看護師	がん薬物療法の概要と投与時の注意点（肺がん編）	2名
2022年11月24日	群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科2年	成人看護援助論Ⅴ「がん薬物療法を受ける対象への看護」	81名
2023年2月13日	看護部 基礎Ⅰ研修	がん看護①がん薬物療法看護	14名
2023年2月14日	看護部 専門研修	がん薬物療法看護について	7名

【相談】

外来化学療法室に通院中の患者様やその家族、北6階病棟入院患者を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者様や家族の生活の質を高める援助を行った。また、外来各診療科看護師や各病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2022年10月20日～22日	日本がん治療学会	Web開催+現地（京都）

2023年2月19日～20日	日本がん看護学会	Web開催+現地（横浜）
2023年3月16日～18日	日本臨床腫瘍学会	Web開催+現地（福岡）

【自己啓発活動】

（文責：公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 塩野 智則）

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

- ① 現在、外来化学療法室の専従という立場で勤務をさせていただいている。がん化学療法看護認定看護師が1名移動となり、自身の目標として看護の質および安全の担保が維持できるように心がけた。昨年より開始したがん化学療法スクリーニングを継続し行うことで、パート職員にも、患者を知ることの重要性、患者を知ることが個別性を重視した看護に繋がることを指導できるように心がけていきたい。
- ② 第12回関越がんサポーターケア研究会講演
テーマ 「公立藤岡総合病院における有害事象対策【悪心・嘔吐】」
日時 2022年7月14日
- ③ 第24回 藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会講演
テーマ 「化学療法室の看護の立場から 嘔気対策」
日時 2022年10月25日
- ④ 第32回藤岡緩和ケア研究会講演
テーマ 「外来で安全に化学療法を行うために」
日時 2023年2月3日

【指導】

- ① 看護部基礎Ⅲ研修講師
テーマ 「化学療法を受けている患者の看護」
日時 2022年9月5日
- ② 本庄児玉看護専門学校講義
担当科目 「成人看護学方法論Ⅳ 終末期」
日時 2022年11月17日
- ③ 看護部基礎Ⅳ 基礎がん看護教育研修講師
テーマ 「症状マネジメント」
日時 2023年2月2日
- ④ 北5階病棟勉強会
テーマ 「CV ポートの安全な管理」
日時 2023年3月13日

【相談】

- ① 病棟でCVポート穿刺の難渋患者の実際の穿刺を行いかつ指導を行った。
- ② 抗がん剤投与が少ない病棟において、抗がん剤治療で入院になる患者の投与管理方法、副作用の管理方法などの説明を行った。

③ 抗がん剤投与に悩む患者の対応など

【自己啓発活動】

① 第17回埼玉がん化学療法看護研究会

テーマ 「学校でのがん教育の実際と協働」

日時 2022年8月27日 (Web開催)

② 第37回日本がん看護学学会

テーマ 「がん患者の持つ力を見出し支援する」

日時 2023年2月25日

今年度も、院内全体を通して、安全な化学療法を行うことを第一の目標とし、一人の患者のための支援がチームで協働して行えるようにしていきたいと考える。

(文責：公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 高山 仁美)

がん看護専門看護師

【実践】

病棟では緩和ケアチームとして、外来ではがん看護専門外来として、告知から治療選択、治療継続や終末期に渡り、各場面で意思決定支援や緩和ケアを行っている。また、入院－外来間でスムーズに看護を提供できるように、それぞれの部署と情報共有し、多職種や地域の医療者等と連携し、入退院後の患者・家族の抱える困難に対応した。1年間でがん看護専門外来は367件、がん看護指導管理料イは60件、がん患者指導管理料ロは3件、病状説明同席は202件であった。

【コンサルテーション】

病棟・外来看護師が解決困難と感じている問題(症状マネジメントや退院支援など)に対し、相談者が問題を解決できるよう関わった。

【調整】

病棟及び外来において、問題を抱える患者・家族に対し、それぞれの思いを明確にし、希望にできるだけ添えるよう、多職種間の調整を行った。患者・家族が希望する療養の場(在宅・入院・転院など)へスムーズに移行できるよう、社会資源を活用し、地域連携を行った。

緩和ケアセンターの一員として、緩和ケア病床及び、緩和ケアチームやがん看護専門外来の運営に携わった。院内で閉鎖式薬物移送システム(CSTD)の調整を引き続き行った。

【倫理調整】

病棟・外来において、治療や療養の場の選択の意思決定の場面等、倫理的問題が生じている事例に対し、問題解決ができるよう患者・家族・多職種間の調整を行った。

【教育】

病棟や外来において、日々のスタッフとの関わりを通し、教育的に知識の提供や助言を行った。院内研修として、看護師基礎研修でがん看護に関する研修を、5年目以上の看護師を対象に緩和ケア研修を企画・開催した。院外では群馬医療福祉大学で臨死期のケアと家族ケアについて、高崎医師会看護専門学校では看護倫理に関する講義を行った。また、高崎市立馬庭小学校でがん看護について教育を行った。

【研究】

日本医療マネジメント学会第10回群馬県支部学術集会で『緩和ケア病床に登録した造血器腫瘍患者の分析』を口演で発表した。

【自己啓発】

日程	内容	場所
2022年4月20日	第23回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	WEB
2022年5月28日	第18回群馬がん看護フォーラム	WEB

2022年7月14日	第12回関越がんサポーターズケア研究会	WEB
2022年9月2日	藤岡緩和ケア研究会	WEB
2022年10月19日	藤岡がん診療講演会	WEB
2022年12月14日	看護師のための血液がん WEB セミナー	WEB
2023年1月29日	日本医療マネジメント学会第10回群馬県支部学術集会	WEB
2023年2月4日	群馬県がん相談員研修	WEB
2023年2月23日	高齢がん患者の意思決定支援に関する研修会	WEB
2023年2月25、26日	第37回日本がん看護学術集会	WEB
2023年3月4日	地域がん診療連携拠点病院「高齢者がん診療ガイドライン」研修会～高齢者機能評価の実践に向けた研修を中心に～	WEB
2023年3月11日	第40回群馬緩和医療研究会	WEB
1～2ヶ月に1回	群馬がん看護専門看護師連絡協議会	WEB

(文責：公立藤岡総合病院 がん看護専門看護師 森崎 裕美)

緩和ケア認定看護師

【実践】

緩和ケアチームラウンドや毎週木曜日緩和ケアチームカンファレンスを開催し、症例検討やチーム介入患者・家族の情報を多職種で共有しながら 391 件/年の新規介入依頼に対応した。また、北 5 階病棟と連携を図り、緩和ケア病床の夜間・休日入院の運用を見直し、スムーズな入院受け入れの調整を行った。そして、緩和ケア病床を活用した在宅療養支援を継続し、介入患者 17 名を在宅看取りに繋げることができた。また、病棟看護師と共同し臨床倫理シートを活用した事例検討を行い、問題が解決できるよう多職種間の調整を行った。グリーフケアの取り組みを継続し往復はがきを 100 件/年送付した。乳がん患者「なごみの会」は新型コロナウイルス感染症蔓延のため院内の警戒度に合わせて 9 回/年実施。延べ 37 名の参加で開催した。

【教育・指導】

実施日	対象	内容	対象者
2022 年 11 月～12 月	本庄児玉看護専門学校 2 年	「終末期患者の看護」6 回	35 名
2022 年 11 月 2 日	群馬医療福祉大学 2 年	緩和ケアの実際	90 名
2023 年 2 月 11 日 12 日	ELNEC-J コアカリキュラム 藤岡	エンドオブライフケア	8 名
2023 年 3 月 5 日	ELNEC-J コアカリキュラム 伊勢崎	エンドオブライフケア	20 名

院内研修としては、看護師基礎がん看護研修及びがん看護専門研修を担当し 5 回/年実施した。

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、倫理的側面に配慮しながら納得した意思決定ができるよう支援を行った。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携を行った。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の病院スタッフからの緩和ケアに関する相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	場所
2022 年 5 月 28 日	第 18 回群馬がん看護フォーラム	WEB
2022 年 7 月 1 日～2 日	第 27 回日本緩和医療学会	WEB
2022 年 9 月 2 日	第 30 回藤岡緩和ケア研究会	WEB
2022 年 10 月 19 日	藤岡がん診療講演会	大会議室
2023 年 3 月 11 日	第 40 回群馬緩和医療研究会	WEB
2023 年 3 月 15 日	藤岡がん診療講演会	大会議室

(文責：公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 古池 きよみ)

緩和ケア認定看護師

【実践】

外科病棟にて医師との協働により、緩和ケア対象患者の病状説明に同席し、がん患者指導管理料算定の上、治療に関する意思決定支援を実施している。そして月 2～3 回の活動日は緩和ケアセンタースタッフとして院内横断型のコンサルテーション活動を行い、主に呼吸器・消化器内科と外科を担当し、病棟並びに外来において、緩和ケアを必要とする患者と家族のケアについて多職種協働を実践した。主な内容としては積極的治療中における支持療法や、病勢進行に伴う苦痛症状緩和のための薬物の適正使用に努めると同時に、ACP の推進として積極的治療期から終末期と段階に応じた意思決定支援、患者・家族の思いを積極的に傾聴し、精神・スピリチュアルな痛みの低減を含めた全人的支援を行った。

【教育・指導】

2022 年 4 月～2023 年 3 月 院内看護スタッフに向けた緩和ケアにおける基本的知識

2022 年 11 月 院内基礎 I 研修：がん看護 I

2022 年 12 月 院内基礎 IV 研修：看護倫理

2023 年 1 月 院内基礎 III 研修：がん看護 III

2023 年 3 月 院内専門研修：がん看護における意思決定支援

【相談】

外来及び病棟にて、患者とその家族から治療に関する意思決定や今後の療養についての相談を受け、専門職種との協働により意思決定支援を行った。

北 5 階病棟スタッフ、緩和ケアセンター、主治医、MSW、訪問看護ステーションはるかぜ等、関係多職種が参加可能なケースカンファレンスを不定期で開催し、臨床における倫理的課題の検証や対応に難渋した患者及び家族の対応についてディスカッションを行った。本カンファレンスによりコンサルティそれぞれが思いを表出できる場を設けることで、スタッフ間でのグリーフケアが促進されると共に、緩和ケアに対するやりがいも実感できるよう支援した。

【自己啓発活動】

2022 年 11 月 死の臨床研究会年次大会参加

2023 年 3 月 専門職講座 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修（埼玉県立大学オンライン講座）

（文責：公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原恵里子）

救急看護認定看護師

【実践】

所属施設外現任者および一般市民への指導・社会活動

『特別支援学校教員救命技術指導』

対象：藤岡市、富岡市所属の養護教職員 8 名

内容：病院内におけるスタットコールシステム（E コール）の活用方法。

心停止の判断と胸骨圧迫の方法と AED の取り扱いについて実習形式による指導

【教育・指導】

1. 専門認定看護師部会活動

『急変対応時のチームダイナミクス』

対象：臨床 5 年以上の中堅者 34 名

内容：現場でリーダー業務にあたる中堅スタッフを中心に、突発的に生じる急変にともなう救急蘇生が必要な場面において、急増された集団をまとめる方法や考え方を講義とシミュレーション形式で研修を行った。

2. ICLS 委員会企画

ICLS（二次救命処置）コースの企画と実施

5 月 6 月 7 月院内医療従事者 28 名が受講

3. 自部署のスタッフに対する指導

症例検討会の実施

実際に経験した患者の病態やケアをスタッフで共有できるように症例検討会を企画した。症例の題材の選び方やまとめかた、検討の方向性などの相談にも対応した。

【相談】

相談者：看護師長 副看護師長

4 月より新体制による救急センターが発足したことで、救急外来とカテーテル業務のスタッフ育成について 3 ヶ月おきにミーティングを実施した。

まずは従来からカテーテル業務についている担当者の夜勤負担を減らすことを最優先に、新規の業務養成者を選出して集中的に業務トレーニングにあたるように勤務調整し、3 ヶ月を一応の目処に順次業務養成者を計画的に投入していくことを提案した。指導評価者はカテーテルに習熟したスタッフ全員で行うこととし自己他者評価をおこなった。

【自己啓発活動】

群馬県救急医療懇談会 一般参加

群馬大学病院

（文責：公立藤岡総合病院 救急看護認定看護師 金井 優）

集中ケア認定看護師

【実践】

2022 年度に呼吸ケアサポートチームを発足し活動を開始した。2022 年度の全回診患者数は 29 名で、全回診回数は 41 回であった。29 名中、人工呼吸器離脱に至った件数は 12 件であった。離脱困難症例としては、心停止蘇生後の低酸素脳症など事例であった。今後の課題としては、人工呼吸器装着 48 時間後からの介入が可能となるが、毎週火曜日の回診予定であり、タイムリーな介入が行えてない。そのため、早期介入のため改善が必要である。また、呼吸療法にたずさわる医療スタッフへの指導を行い、呼吸ケアの質の向上を図っていききたい。

2022 年度から取り組みを開始した院内急変事例の集計と振り返りを継続した。予定外の南 3 階病棟への入室患者（救急外来からの入室は除く）の事例は、2022 年度は 70 件であった。今後は病棟へのフィードバックや学習会を通じて、看護スタッフの「気付き」の観察力の向上を行い、急変前対応の充実が図れるよう活動に取り組んでいきたい。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
6 月	新入職看護・リハビリ職員	一次救命処置 (BLS)	28 名
7 月	群馬県看護協会	フィジカルアセスメント	40 名
8 月	新入職看護職員 (基礎 I 研修)	フィジカルアセスメント: 全 7 回	24 名
9 月	新入職看護・リハビリ職員	一次救命処置コース (BLS)	20 名
10 月	パース大学 摂食・嚥下認定看護師教育課程	リスクマネジメント論 呼吸理学療法	30 名
11 月	群馬県看護協会	心電図	100 名
12 月	当院リハビリ職員	心不全と離床	11 名
1 月	当院看護師 基礎 II	フィジカルアセスメント: 全 4 回	20 名
2 月	当院南 3 階看護師	心電図: 全 5 回開催	25 名

【相談】

フィジカルアセスメントや人工呼吸器装着中の患者の看護、ポジショニングと体位ドレナージ、急変事例の振り返りについて、看護スタッフからの相談を受けた。実践や学習会を通じて、スタッフが自律できるよう関わりを持った。

【自己啓発活動】

2023 年 3 月 2 日～3 月 4 日 第 50 回日本集中医学界学術集会 国立京都国際会館
(文責: 公立藤岡総合病院 集中ケア認定看護師 高橋 圭)

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

栄養サポートチーム専従看護師として、入院患者の栄養状態をアセスメントし、低栄養の早期発見と低栄養リスクの高い患者を抽出することで、栄養状態改善のための看護実践に取り組んでいる。毎週水曜日の栄養サポートチーム検討会では、対象患者の疾患や治療に応じた栄養管理について他職種で話し合い、より質の高い栄養管理が行えるように努めている。

摂食嚥下障害のある患者に対し機能改善のための間接訓練や直接訓練を実施するとともに、筋力の維持・増進に繋がる栄養管理の支援をおこなった。

(栄養サポートチーム加算件数 639 件/年、嚥下評価件数 410 件)

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加人数
2022年4月18日	看護部新入職者	嚥下障害と誤嚥予防について	23名
2022年8月19日	褥瘡対策 リンクナース	看護師からみた栄養のとらえ方	
2022年 11月9日～12月8日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程臨地実習	2名
2023年2月14・22日 2023年3月6日	看護助手	看護助手者研修 安全な食事の提供	

【相談】

口腔内環境を整えるのに難渋している患者のケア方法や、適切なケア用品の選定について相談対応し、スタッフのケア技術向上のための支援を行った。また、経管栄養から経口摂取へ移行する場合の、経腸栄養剤の注入量の調整や食事提供量の相談に応じ、1人でも多くの患者が“口から食べる”幸せが実現出来るように指導を行っている。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2022年5月31・6月1日	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	ライブ配信
2022年9月20日	第9回群馬県央摂食嚥下研究会	アーカイブ配信
2022年9月23・24日	第28回日本摂食嚥下 リハビリテーション学会学術大会	オンデマンド配信
2022年11月12日	第25回藤岡多野地域連携栄養研究会	鬼石多目的ホール
2023年3月20日	地域連携 NST 学術講演会	Zoom

(文責：公立藤岡総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 横村 季代子)

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

今年度は、病棟看護師が安全に栄養を提供できるシステム作りのために活動を行った。嚥下については、嚥下障害を判断し、安全な食支援に繋げる事を目的に、多職種と相談しながら嚥下スクリーニングシートを作成した。病棟看護師がスクリーニングを行い、該当項目を把握する事で、嚥下障害を見る目を養えるシートとした。また、NSTリンクナースと共に、経腸栄養説明書の作成を行った。説明書には、経腸栄養の選択フローや栄養剤の特徴を掲載し、病棟看護師が患者の症状に合わせて経腸栄養剤を選択出来るような工夫をした。

来年度は、上記のシステムを活用しながら、看護の質の向上に努めたい。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加数
2022年7月27日	群馬県看護協会員	動画で学ぶ摂食嚥下障害の看護 (基礎編)	45名
2022年10月19日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 認知症看護について	22名
2022年11月2日	群馬医療福祉大学 3年生	高齢者看護援助論 ～高齢者における 摂食嚥下障害の援助について～	89 名
2022年11月9日 ～12月8日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師 教育課程臨地実習	2名
2023年1月25日	NSTリンクナース	栄養療法の合併症と予防	20名
2023年2月7日	看護部看護師	専門研修 認知症の嚥下障害	10名

【相談】

嚥下障害のある患者の食形態選択や栄養管理方法についてや経腸栄養による下痢や嘔吐等がある患者の経腸栄養剤の選択について相談があった。また認知機能の低下があり、食思不振がある患者への援助や口腔ケアを拒否する患者への援助について相談があった。食事介助・口腔ケアの実施や病棟の嚥下カンファレンスに参加する事で、病棟看護師が考え、実践出来る様に援助した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2022年9月23日～24日	第28回日本摂食リハビリテーション学会学術大会	オンライン

(文責：公立藤岡総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山麻裕子)

透析看護認定看護師

【実践】

血液透析・腹膜透析・腎代替療法選択を受ける患者の看護に関わった。QOLの維持・向上のため、安全安楽な治療の提供とセルフケア支援に重点を置き、日々の患者ケアを実施した。2020年より引き続きCOVID-19感染予防について患者の個別性を重視した指導を行い、感染した透析患者の初期対応や個室透析を行なった。慢性腎臓病患者に対して行う腎代替療法選択指導は、昨年度より件数を増やし対応した。中には生体腎移植と献腎移植登録・登録更新を行った患者もいた。

令和4年度診療報酬改定で新設した透析時運動等加算について必要な研修を受け、多職種との協議を重ねて透析中の運動指導を計画的に実施した。

フットケア外来へは定期的に参加し、また、入院患者のフットケアにも対応した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022年7月7日	群馬医療福祉大学 看護学部2年生	腎不全看護 講義	83名
2022年6月29日 2022年8月24日 2022年11月4日 2023年1月17日 2023年2月10日	人工透析室 看護師	透析回路のテープ固定 リン吸着薬とその特徴 患者指導に活かす自己効力 I.A. レベル0の報告を増やす取組み 透析開始前に必要な看護のポイント	各回 4～6名

【相談】

日々の業務の中では人工透析室のスタッフより透析条件や患者・家族対応についての相談を受けている。入院病棟からは維持透析患者の退院支援相談1件、腹膜透析患者の入院中の対応について相談3件、フットケア7件に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2022年7月1・2日	第68回 日本透析医学会 学術集会	パシフィコ横浜
2022年10月15・16日	第25回 日本腎不全看護学会 学術集会	WEB
2022年11月26・27日	第28回 日本腹膜透析学会 学術集会	WEB
2022年2月19日	第46回 群馬県透析懇話会	WEB
2023年3月23日	第61回 東日本腎不全研究会 (座長)	ラシーネ新前橋
毎月1回	東日本腎不全研究会 役員会・チーム研究	WEB

(文責：公立藤岡総合病院 透析看護認定看護師 櫻井 あかり)

認知症看護認定看護師

【実践】

脳外科整形外科病棟で実践を通して、認知症看護の質の向上に努めた。当病棟は、65歳以上の認知症自立度判定基準に該当する患者様が6割を超す。入院という急な環境の変化で混乱を招きやすいため安心して過ごせるように、病棟看護師と共に早期からせん妄や行動・心理症状の予防に努めた。早期介入で予防を行うことで身体抑制のない看護の実現に向けて身体抑制の代替案に努めることで看護の成功体験が増えた。よって、看護師のやりがいにつながる事ができたと考える。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022年9月5日～ 10月31日 全4回	院内中堅看護師	認知症看護専門研修	19名
2022年9月20日	新人看護師	認知症ケア	16名
2022年11月14日	基礎Ⅳ研修	身体抑制について	14名
2022年12月19日	基礎Ⅲ研修	身体抑制について	14名
2023年1月16日～ 2月28日	院内看護師	認知症ケアの工夫 *DVD視聴	369名
2023年3月7日	基礎Ⅱ	身体抑制について	23名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症者の困難事例、急性混乱せん妄の相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2022年6月25日 12月3日 3月16 日	コロナ禍の認知症看護実践 「転倒転落について」	高崎健康福祉大学看護実践開発センター zoom研修

(文責：認知症看護認定看護師 黒澤 千恵子)

認知症看護認定看護師

【実践】

集中治療室でのせん妄予防ケアを中心に実践を行い、各病棟のコンサルトに対しても介入している。内容は、入院後のせん妄対策が主な内容になっている。病棟スタッフと共に患者個人の生活習慣を考慮した療養環境の工夫・食事・排泄手段を日々変化する病態を踏まえ、ケアの方法をリハビリスタッフと相談しながら工夫している。看護師の対応によるせん妄発症がある事をスタッフが理解し、今後は、患者のコードを早期にとらえ、ケアに繋げる力の向上を目指していく。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022年7月11日-21日	北4階・南6階スタッフ	身体抑制について	6、11名
2022年9月5日-10/31 全4回	院内中堅看護師	認知症看護専門研修	19人
2022年9月20日	看護師：新入職者	認知症ケア	16名
2022年11月14日	基礎IV	身体抑制について	14名
2022年12月19日	基礎III	身体抑制について	14名
2023年1月16日-2月 28日	院内看護師	高齢者のケアの工夫 *DVD視聴*	369名
2023年3月7日	基礎II	身体抑制について	23名

【相談】

月2回の活動日を設け活動している。個人での病棟からの介入依頼が2021年度は20件、2022年度は24件と徐々に増加している。認定活動の周知が進んだ結果と考える。依頼内容は、せん妄や認知機能低下からなるBPSDの悪化に対する相談が殆んどであった。今後は、せん妄予防に対するスタッフのアセスメント力の向上を目指していきたいと考える。依然として即時対応、継続介入の困難はある為今後の課題としていく。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2022年6月5日	第17回認知症アカデミー 春	Web開催
2022年6月17日	脳の健康教室オンラインセミナー	Web開催
2022年6月25、26日	日本老年看護学会第27回学術集会	Web開催
2023年1月5日	2022年度認定看護師を対象とした キャリアアップ研修会	日本看護協会 Web開催

(文責：公立藤岡総合病院 認知症看護認定看護師 清水 仁美)

皮膚・排泄ケア認定看護師

【実践】

所属病棟においては、ストーマ造設患者に対し、術前からストーマサイトマーキングの実施やセルフケアや日常生活指導、合併症などの管理困難症例や瘻孔管理等への対応等を行った。

組織横断的活動として、毎週金曜午前は、ストーマ外来で在宅・施設入所のオストメイトに対し継続看護を行っている。毎週金曜日の午後からは褥瘡対策チームとして褥瘡回診に参加し、局所ケアやポジショニングを多職種と協働し実践・指導を行なうと共に病棟スタッフと情報共有し、創傷治癒に向けた継続ケアが行えるように努めた。

※ストーマ外来延べ人数：252件／年、褥瘡回診延べ件数：263件／年

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022年4月7日	研修医	褥瘡対策チーム	約10名
2022年7月22日	R4年度新入職者 (看護師)	基礎I研修「スキンケア」	25名
2022年10月21日	褥瘡リンクナース	「乾燥と浮腫」	25名

【相談】

日々、業務の中で、ストーマ造設患者についての局所ケアや社会資源についての内容や、創傷のある患者の局所ケア等について、医師・看護師を始めとする院内スタッフや訪問看護や老人保健施設のスタッフからも相談を受け、適宜、実際にケアの実施や情報の提供・共有等を行っている。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2022年4月8日-9日	第18回日本褥瘡学会関東甲信越地方学術集会	オンライン参加
2022年5月29日	群馬ストーマ・リハビリテーション講習会	オンライン参加 (講師補助)
2022年11月12日	群馬ストーマ・リハビリテーション講習会	前橋赤十字病院 (講師補助)
2023年2月18日	群馬ストーマ・リハビリテーション研究会	群馬Gメッセ
2023年2月24日-25日	第39回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	京王プラザホテル (東京)

(文責：公立藤岡総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 松本佳代)

がん性疼痛看護認定看護師

【実践】

緩和ケアチーム介入の患者、所属病棟・緩和ケアチーム多職種カンファレンスにおいて、疼痛がある患者に対して、緩和できるように薬の調整を提案している。また、患者に対しては、薬の効果的な使い方（レスキュー薬の服用のタイミング）や副作用を説明し、在宅療養においてセルフコントロールができ、自宅で苦痛なく過ごせるように調整をおこなっている。

在宅療養や転院など患者の意思決定を尊重し、緩和ケアチームやMSWと連携を図り患者支援をおこなっている。

月1～4回、緩和ケアセンターで兼任として活動し、患者・家族に痛みや生活における不安の相談に対応している。

*がん患者指導管理料 イ・ロの算定をおこなっている。（イ：8名、ロ：23名）

【教育・指導】

所属病棟では、緩和ケア・トータルペイン、レスキューについて、グリーンケア・看取りケア、倫理の考え方など事例に沿った勉強会をおこなった。（6回）

依頼により他病棟では、NSAIDs・アセトアミノフェン、便秘などの勉強会をおこなった。（2回）

院内においては、がん性疼痛認定看護師として、「基礎Ⅰ研修」及び「緩和ケアの基礎教育」を教育プログラムに沿っておこなった。（2回）

院外では、群馬医療福祉大学、看護学部看護学科2年生に、「身体的苦痛とその援助」の講義をおこなった。（1回）

【相談】

所属病棟、他部署より疼痛コントロールや副作用（便秘）対策、お灸・お灸スイッチングの方法、持続皮下注の手技、麻薬の処理についての相談に随時対応している。また、がん患者への関わり方についての相談にも対応している。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2022年 6月19日	藤岡がん診療講演	公立藤岡総合病院 大会議室
2022年 7月15日	乳がん治療・ケアについて	WEB講演会
2022年11月26・27日	第46回 日本死の臨床研究会	三重県総合文化センター
2023年 2月3日	第32回 藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院 大会議室

（文責：公立藤岡総合病院 がん性疼痛看護認定看護師 恩田 千栄子）

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

所属病棟において、病棟スタッフとともに、患者に対しがん薬物療法により生じる有害事象に対しての情報提供を行い、またセルフケアの必要性と方法を説明することで患者自身が関心を持ち、治療継続につながる看護を提供した。月に2～3度、外来化学療法室で活動し、看護師や他の医療スタッフと連携し、安全・安楽・確実な治療の遂行と、患者・家族が抱えている治療や生活に対する不安を理解し、対応可能な解決策を共に見出すなどの看護を提供した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022年11月	南6階病棟看護師	ビーリンサイトと最近の動向	9名
2022年9月29日	経験年数5年目以上の全病棟看護師	がん薬物療法看護について～患者さんの『できる』を支える、セルフケア支援の方法～	20名
2022年10月3日	看護部基礎Ⅱ研修	がん薬物療法（レジメン、抗腫瘍薬のアセスメント、曝露対策、患者アセスメントおよび看護、デバイス別取り扱い）	21名

【相談】

病棟スタッフから、治療レジメンに沿った薬剤の投与方法や、患者に生じているがん薬物療法による有害事象への対策について相談に応じた。患者に対しては治療を受ける事や継続することへの不安に対し、気持ちの理解と患者の意思決定の支援を行った。また家族に対しては、治療後の生活について相談があり、主治医やコメディカルと連携し、患者のセルフケア能力や家族の協力体制に合わせて助言や必要な情報を提供した。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会および研修会	開催場所
2022年5月31日～6月1日	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	パシフィコ横浜 NORTH
2022年10月20日～22日	第60回日本癌治療学会学術集会	神戸コンベンションセンター
2023年3月16日～18日	第20回日本臨床腫瘍学会学術集会	福岡国際会議場/マリンメッセ福岡
2023年2月25日～26日	第37回日本がん看護学会学術集会	パシフィコ横浜 NORTH

(文責：公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 賀村 寿人)

認知症看護認定看護師

【実践】

今年度は、認知症ケアマニュアルや看護計画の見直し、身体抑制実施基準を改定した。各部署からの相談依頼に対しては、認知症者の抱く想いに寄り添い、ケアの見直しや環境調整を行うことで、薬物の使用を第一選択としない看護を実践した。また、活動日には記録監査を行い、周知内容を各部署にフィードバックした。

身体抑制に関しては、基礎Ⅰ～Ⅳの看護師を対象に、3要件の考え方や代替方法、抑制に纏わる裁判事例など、各年代に応じた研修会を実施した。

自部署では認知症ケアチームを引率し、7回/年勉強会を実施した。せん妄・行動心理症状における発生機序と、私達が認知症者を取り巻く環境因子であることを学習し、シミュレーション学習会や高齢者の疑似体験に繋げ、認知症者への対応を振り返った。また、リケーションダメージを予防する目的で視覚的表示の活用、アクティビティの導入、寄り添う看護を意識し、その人らしい生活が維持できるよう努めた。身体抑制実施者は14名/年であったが、カフェラッセルにより完全解除8件（抑制開始後1週間以内の解除：7件）、一時解除3件に至っている。また、転入時に解除したケースは2件であった。抗精神病薬も行動制止の一部と捉え、薬剤調整（中止・漸減）を図り、身体機能の維持・改善に努めた。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加数
2022年6月19日	認知症看護検討部 会員	身体抑制について	20名
2022年7月20日・ 7月21日・10月4日	南7・北2・北6 看護師	身体抑制伝達講習	日勤者
2022年9月5日・27 日・10月7日・31日	院内中堅看護師	認知症専門研修4回シリーズ	19名
2022年9月20日	基礎Ⅰ看護師	認知症看護基礎Ⅰ研修 認知症ケア	16名
2022年10月20日	認知症看護検討部 会員	認知症看護～中核症状と BPSD～	16名
2022年11月4日	基礎Ⅳ看護師	認知症看護基礎Ⅳ研修 身体抑制	14名
2022年12月1日	副看護師長	認知症看護～中核症状と BPSD～	19名
2022年12月19日	基礎Ⅲ看護師	認知症看護基礎Ⅲ研修 身体抑制	14名
2023年1月～2月	院内全看護職員	全体研修 高齢者のケアの 工夫(DVD)	369名

2023年3月7日	基礎Ⅱ看護師	認知症看護基礎Ⅱ研修 身体抑制	23名
2022年4月～2023年3月	南7階スタッフ	せん妄・認知症者の疑似体 験等	日勤者

【相談】

医師や自他部署の看護師からの依頼を受け、認知症困難事例への相談に適宜応じた。薬剤調整に関する内容が多かったが、せん妄と見なされているケースもあったため、背景要因をアセスメントし対応について助言した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2022年6月5日	第17回春の研修会 ぐんま認知症アカデミー	Web研修
2022年6月25日・ 26日	第27回日本老年看護学会学術集会	Web研修
2022年12月3日	ルインの会 身体拘束をしない看護の実践	ZOOM研修

(文責：公立藤岡総合病院 認知症看護認定看護師 富岡 幸之)

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

【実践】

早期人工呼吸器の離脱の為、人工呼吸器管理、呼吸機能回復に向けての治療、ケアの支援や安全対策に取り組み、呼吸に係る専任チームにより毎週火曜日に回診を行い、A242呼吸ケアチーム加算（週 150 点）取得している。

また、退院時に在宅酸素療法を導入した患者さんが、不安なく生活できるように外来受診時に退院後の生活での困っていることや知りたいこと等について相談を拝聴してその都度指導している。退院後、自分らしく納得のいく QOL の維持ができるよう取り組んでいる。

在宅酸素療法を導入している病棟に、在宅酸素療法導入時の看護や酸素ボンベの取り扱いなどについて勉強会を行い、在宅療養指導料（170 点）取得に向けて取り組んでいる。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2022 年 5 月 10 日	北 6 階病棟看護師	在宅酸素療法	13 人
2022 年 6 月 2 日	新人看護師	酸素療法	16 人
2022 年 7 月 8 日	新人看護師	吸入・吸引	16 人
2022 年 7 月 15 日	北 6 階病棟看護師	ネーザルハイフロー	4 人
2022 年 9 月 6 日	北 6 階病棟看護師	胸膜癒着術	8 人
2022 年 9 月 27 日	透析室	在宅酸素療法	6 人
2022 年 10 月 4 日	北 2 階病棟看護師	在宅酸素療法	7 人
2022 年 12 月 16 日	2 年目看護師	人工呼吸器	19 人
2022 年 12 月 20 日	北 4 階病棟看護師	在宅酸素療法	11 人

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2022 年 11 月 11 日 11 月 12 日	第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	幕張メッセ

（文責：公立藤岡総合病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 小野澤 恵子）

7. CPC

【第177回】 開催日：令和4年5月12日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
367	64歳 男性	血液内科 外山 耕太郎	林 紘太 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：汎血球減少、肝障害、脾腫大、腹腔内リンパ節腫大、腸炎、 敗血症 病理診断：Epstein-Barr virus (EBV)感染症

【第178回】 開催日：令和4年7月14日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
368	76歳 男性	血液内科 外山 耕太郎	前田 七海 大屋 裕 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：医原性免疫不全関連リンパ増殖異常症、関節リウマチ、高血 圧症 病理診断：医原性免疫不全関連リンパ増殖異常症（高悪性度リンパ腫）

【第179回】 開催日：令和4年10月13日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
370	82歳 男性	血液内科 外山 耕太郎	中島 悠吾 横山 響 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：肺炎、肝腫瘍、肺気腫 病理診断：気管支肺炎、間質性肺炎、肺出血

【第180回】 開催日：令和4年12月8日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
371	83歳 女性	血液内科 武井 寿史	清水 勇作 新井 萌々花 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：多発性骨髄腫、転移性脳腫瘍 病理診断：多発性骨髄腫、悪性黒色腫

【第181回】 開催日：令和5年3月9日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
372	79歳 女性	外科 原 圭吾	黒川 真登 井上 俊 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：食道胃接合部癌術後、腹膜播種の疑い、敗血症性ショック、 多臓器不全 病理診断：食道胃接合部癌、癌性腹膜炎、癌性胸膜炎

8. 教育実習生・研修生受入れ実績

受入部署	学校名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
診療部	群馬大学医学部附属病院	7	140	11/28～12/23	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
		22	418	1/10～3/31	群馬大学医学実習（臨床実習）	19日間/1人
	小計	29	558			
看護部	藤岡准看護学校	21	1,060	5/9～11/11	成年・老年看護実習	4～8日間/1人
		21	115	6/6～11/11	小児看護実習	2～8日間/1人
		21	126	5/23～10/28	母性看護実習	2～8日間/1人
	群馬医療福祉大学 看護学科	80	620	5/9～11/24	成人看護学実習Ⅰ	8日間/1人
		81	628	5/9～11/24	成人看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		60	180	9/12～9/16	基礎看護学実習Ⅰ	3日間/1人
		70	490	12/22～12/28	基礎看護学実習Ⅱ	7日間/1人
		46	310	5/9～11/24	高齢者看護学実習Ⅱ	7日間/2人
		51	241	5/9～11/24	小児看護学実習	5日間/1人
		63	429	5/9～11/24	母性看護学実習	7日間/1人
		66	265	7/25～8/4	施設・病棟統合実習	4日間/1人
	群馬パース大学看護学部	3	120	7/19～10/15	助産実習	15～55日間/1人
		20	160	8/15～9/8	基礎看護実習Ⅱ	8日間/1人
	高崎健康福祉大学	21	146	5/30～7/22	老年看護学実習	6～8日間/1人
		10	30	11/21～12/16	母性看護学実習	3日間/1人
	高崎福祉医療カレッジ	24	216	1/16～2/3	成人看護学実習	9日間/1人
	摂食嚥下障害看護認定看護師	2	40	11/9～12/9	教育課程臨地実習	20日間/1人
	感染管理認定看護師	2	34	11/1～12/1	教育課程臨地実習	17日間/1人
	高崎市中学生	3	6	5/31～6/1	やるベンチャー	2日間/1人
	藤岡市中学生	3	9	9/5～9/7	チャレンジウィーク	3日間/1人
	藤岡消防署	5	15	6/8～2/8	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	藤岡消防署（就業前実習）	2	40	10/24～12/25	救急救命士就業前研修	20日間/1人
	鬼石消防分署	4	12	7/5～2/17	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	吉井消防署	1	3	11/28～12/24	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	奥多野消防分署	3	9	10/31～2/3	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	小計		683	5,304		
	薬剤部	高崎健康福祉大学	2	110	11/21～2/10	薬剤業務全般
小計		2	110			
検査室	埼玉医科大学保健医療学部	1	50	5/9～7/15	臨床検査技師養成コース	50日間/1人
	群馬パース大学	2	80	5/16～7/8	臨床検査技師養成コース	40日間/1人
	北里大学保健衛生専門学院	1	73	5/16～8/26	臨床検査技師養成コース	73日間/1人
	小計	4	203			
放射線室	群馬パース大学	2	50	5/9～6/10	核医学検査技術学・放射線治療技術学臨床実習	25日間/1人
	小計	2	50			
栄養室	高崎健康福祉大学	3	30	6/8～6/21	臨床栄養学実習	10日間/1人
		2	20	2/8～2/21	給食の運営 給食経営管理論	10日間/1人
	小計	5	50			

リハビリ テーショ ン室	群馬大学	2	64	8/15~10/8	理学療法総合実習	32日間/1人	
	群馬医療福祉大学	2	66	4/25~6/23	理学療法総合実習	30日間/1人、36日間/1人	
		2	30	11/29~12/10	理学療法評価実習	15日間/1人	
		1	20	9/12~10/12	作業療法評価実習	20日間/1人	
		高崎健康福祉大学		2	66	8/22~10/8	理学療法総合実習
	2	66	10/17~12/3				
	2	10	2/6~2/11	理学療法見学実習	5日間/1人		
	2	38	2/13~3/11	理学療法評価実習	19日間/1人		
	前橋医療福祉専門学校	1	35	6/6~7/24	作業療法臨床実習	35日間/1人	
		1	21	9/30~10/28	言語聴覚療法実習	21日間/1人	
	太田医療技術専門学校	1	43	6/20~8/20	理学療法総合実習	43日間/1人	
		1	15	1/10~1/28	理学療法評価実習	15日間/1人	
	群馬パース大学	2	6	9/13~9/15	言語聴覚療法見学実習	3日間/1人	
		1	3	2/14~2/16	作業療法見学実習	3日間/1人	
		1	14	2/14~2/28	言語聴覚療法実習	14日間/1人	
	帝京平成大学	1	39	5/9~7/3	言語聴覚療法実習	39日間/1人	
	社会医学技術学院	1	38	4/4~5/28	理学療法総合実習	38日間/1人	
		1	34	8/22~10/8		34日間/1人	
	小計		26	608			
	患者支援 センター	高崎健康福祉大学	1	23	8/8~9/9	社会福祉援助実習	23日間/1人
小計		1	23				
医事情報課	大宮医療秘書専門学校	1	15	6/13~7/1	医療事務・医療秘書実習	15日間/1人	
	高崎商科大学短期大学部	1	10	8/15~8/26	医療事務・医療秘書実習	10日間/1人	
		1	10	2/6~2/17			
	高崎健康福祉大学	1	10	8/15~8/26	診療情報管理実習	10日間/1人	
		1	10	2/6~2/17			
	群馬医療福祉大学短期大学部	2	24	9/5~9/21	医療事務・医療秘書実習	12日間/1人	
		1	12	2/13~3/1			
前橋医療福祉専門学校	1	10	11/15~11/30	医療事務・医療秘書実習	10日間/1人		
小計		9	101				
合計		761	7,007				

9. 医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間で初期臨床研修と位置づけ必修化した。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされた。

当院においては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受けた。また、平成27年4月1日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となった。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急部門			産婦人科	小児科	精神科
2年次	外科	地域医療										

- ※ 内科Ⅰ：循環器・糖尿病 内科Ⅱ：呼吸器、血液 内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器
- ※ 救急は主として外科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。
- ※ 必修科目は内科、産婦人科、小児科、外科、精神科を各1か月。内科、小児科、外科では外来診療を経験する。
- ※ 2年次での地域医療は、緩和ケア診療所いっぽまたは藤岡市国民健康保険鬼石病院で行う。
- ※ 選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長3ヶ月とする。

協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院、老年病研究所附属病院

協力施設：くすの木病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ、藤岡保健所、介護老人保健施設しらさぎの里

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院、公立富岡総合病院、館林厚生総合病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っている。

(3) プログラム責任者

役職：臨床研修統括部長兼研修管理センター長 氏名：遠藤 究

(4) 臨床研修医受入れ状況

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 雅文	2	H16.10.1～H17.9.30(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
矢内 有紀	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
梅津 桃	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川 孝欽	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
逸見 大造		H17.4.1～H19.3.31(2年)	当院	◎	
長坂 江理	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
伴野 潤一	2	H18.4.1～H19.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
江原 佳史	1	H18.4.1～H19.3.31(1年)	群大		
中島 久仁子		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
矢島 優		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
越 浩美		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
梅山 敦		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
高橋 研吾		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
重城 良国		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
坂本 亮一郎	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
金澤 紗恵子	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
佐藤 成		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
堀 瑞子		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
廣江 孝	1	H20.4.1～H21.3.31(1年)	群大		
梅元 あずさ	2	H20.5.5～H21.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域保健
高橋 駿介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
塚越 律子		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
富田 庸介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
竹村 仁男		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
鈴山 耕平	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
諏訪 絢也	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
日下田 大輔	2	H21.6.1～H22.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
宮地 那実		H22.4.1～H24.3.31(2年)	当院	◎	
高見 尚平	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
中田 聡	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
藍原 和史	1	H23.4.1～H24.3.31(1年)	群大		
友松 佑介		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
江原 玄		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
木村 隼人		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
萩原 慶		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
岡庭 隼		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
安藤 雅泰	2	H24.4.1～H25.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
齊藤 千真		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
古川 正一郎		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
小暮 正信		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
青木 雅典		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大嶋 愛沙香	1	H24. 4. 1～H25. 3. 31 (1年)	群大		
山田 宏明	2	H25. 4. 1～H25. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地医・核医
荒木 祐樹	2	H25. 6. 1～H25. 3. 31 (9ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
寺内 祐理		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
根井 翼		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
佐々木 隆文		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高野 順子		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
土田 圭祐	1	H25. 4. 1～H26. 3. 31 (1年)	群大		
福田 周一	2	H26. 6. 1～H27. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川 真梨江	2	H26. 6. 1～H26. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
齋藤 水絵		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
村主 遼		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
得居 俊介		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
本吉谷真理子	1	H26. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
高木 瑛子		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金子 裕美		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金井 杏奈		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
山本 ひとみ		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
船引 亮輔		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
渡邊 嘉一		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 怜真		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
平形 絢子	2	H27. 5. 1～H28. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
木下 優実	2	H27. 6. 1～H28. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
長又 亮	2	H27. 8. 1～H27. 10. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 結佳子	2	H27. 10. 1～H28. 12. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 恭平	2	H27. 12. 1～H28. 2. 29 (3ヶ月)	群大		
周藤 周	1	H27. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
戸村 琴音		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
板井 美紀		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
道崎 護		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
三森 亮太		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小川 真一郎		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
丸山 篤造	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
塚田 明彦	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
明石 直樹	2	H28. 5. 1～H29. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
佐藤 広宣		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
福田 怜雄		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
萩原 舟平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大枝 涼平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
南雲 航		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	

氏 名	年次	期 間	在 籍	修了者	備 考
木村 健人		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当 院	◎	
内田 美帆		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当 院	◎	
高橋 亜実	1	H29. 4. 1～H30. 3. 31 (1年)	群 大		
松本 彬	2	H29. 5. 1～H30. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
清水 一輝	1	H30. 4. 1～H31. 3. 31 (1年)	群 大		
荒巻 裕人	2	H30. 5. 1～H31. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
杉崎 真人	2	H30. 11. 1～H31. 3. 31 (3ヶ月)	群 大		
河野 慧		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
木口 友紀		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
坂本 康大		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
反町 隼人		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
半田 敬祐		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
柴 佳那		H30. 4. 1～R1. 7. 31 (1年3ヶ月)	当 院		中断後群馬大学で修了
土橋 里美		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
儘田 千尋		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
石崎 正徳		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
黒岩 裕也		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
牛久保 陸生		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
友金 佐光		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
伊藤 望		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
塩原 理沙	2	R1. 5. 1～R2. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
小川 由希子	1	R2. 10. 1～R2. 11. 30 (2ヶ月)	館林厚生		
石川 幸之助	1	R2. 3. 1～R2. 4. 30 (2ヶ月)	館林厚生		
今井 勝也		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
吉田 源也		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
鈴木 美咲		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
高橋 慶一郎		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
古市 望		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
小野 りさ子		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
峰村 成		R2. 4. 1～R4. 3. 31	当 院	◎	
森村 友紀	2	R4. 1. 1～R4. 1. 31 (1ヶ月)	富岡総合		
岡部 環	1	R3. 4. 1～R4. 3. 31 (1年)	群 大		
角張 友隆		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
大屋 裕		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
松井 遼		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
高橋 里奈		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
前田 七海		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
林 紘太		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
前原 孝史		R3. 4. 1～R5. 3. 31	当 院	◎	
前原 利勝	2	R4. 4. 1～R5. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
廣神 佑香	2	R4. 8. 1～R4. 8. 31 (1ヶ月)	富岡総合		

令和4年度 医師臨床研修関係実績

月	日	内 容
4	1・4・5 6・7 14	辞令交付式・オリエンテーション・新入職者接遇マナー研修・火災避難訓練 グラム染色・血液型・エコー研修 群馬県臨床研修病院合同オリエンテーション
5	21	院内 ICLS
6	18	院内 ICLS
7	31	レジナビウェブ
8	10 24 15	研修医採用試験 研修医採用試験（予備日） 第1回研修管理委員会
9	14 24 30	救急車同乗実習 レジナビオンライン マッチング中間発表
10	6 28	卒後臨床研修評価委員会（第1回） マッチング結果発表
11	12 21	緩和ケア研修会 第2回研修管理委員会
12		
1	11 13 23 26	卒後臨床研修評価模擬リハーサル 研修医症例発表会 卒後臨床研修評価受審 基本的臨床能力評価試験
2	4・5 8	第117回医師国家試験 次年度採用研修医説明会
3	5 6 16 31	レジナビオンライン 第3回研修管理委員会 第117回医師国家試験発表 修了証書授与式

令和4年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
4月	4月25日	研修医懇談会レクチャー	AKIについて	腎臓内科 太田医師
5月	5月12日	がんセンターボード	小腸癌	外科 片山医師
	5月12日	M&Mカンファレンス	肺腺癌	呼吸器内科 高野医師
	5月23日	研修医懇談会レクチャー	虚血性心疾患と抗血小板療法	循環器内科 高松医師
	5月23日	院内学術集談会	術後痛と神経ブロック	麻酔科 金井医師
6月	6月9日	がんセンターボード	膀胱癌、前立腺癌、腎盂尿管癌	泌尿器科 須長医師
	6月9日	M&Mカンファレンス	末期腎不全、老衰	腎臓内科 土屋医師
	6月27日	研修医懇談会レクチャー	喘息治療	呼吸器内科 茂木医師
	6月27日	院内学術集談会	感染必須研修・AST研修	ICTチーム
7月	7月1日	トレーニングプログラム	糸結び/皮膚縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	7月8日	トレーニングプログラム	真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	7月14日	がんセンターボード	進行胃癌	消化器内科 山口医師
	7月14日	M&Mカンファレンス	肝癌	外科 加藤医師
	7月22日	トレーニングプログラム	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	7月25日	研修医懇談会レクチャー	腸閉塞・イレウス	外科 中里医師
	7月25日	院内学術集談会	周術期の抗血小板療法・抗凝固療法	循環器内科 高松寛人
8月	8月5日	トレーニングプログラム	消化管吻合/真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	8月22日	研修医懇談会レクチャー	周産期と感染症	産婦人科 片貝医師
	8月22日	院内学術集談会	ピロリ感染と除菌	消化器内科 福田医師
9月	9月8日	がんセンターボード	び慢性大細胞型B細胞リンパ腫	血液内科 梶田医師
	9月8日	M&Mカンファレンス	右頸部内頸動脈狭窄症	脳外科 向田医師
	9月26日	研修医懇談会レクチャー	臨床研究/臨床試験	血液内科 外山医師
	9月26日	院内学術集談会	輸血と倫理	血液内科医師
10月	10月13日	がんセンターボード	直腸癌	外科 高橋医師
	10月13日	M&Mカンファレンス	消化管出血	循環器内科 布施医師
	10月24日	研修医懇談会レクチャー	患者の自己決定権と医療を考える (Web)	医師/弁護士 小島崇宏
	10月24日	院内学術集談会	診療放射線の安全利用のための研修	放射線科医師
11月	11月10日	がんセンターボード	小細胞癌	呼吸器内科 高野医師
	11月10日	M&Mカンファレンス	蘇生に成功した心停止	血液内科 梶田医師
	11月26日-27日	ETHICON SAFETY USE TRAINING (福島)	縫合訓練	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	11月28日	研修医懇談会レクチャー	泌尿器科の救急対応	泌尿器科 須永医師
	11月28日	院内学術集談会	糖尿病内科よりお知らせ	糖尿病内科
12月	12月8日	がんセンターボード	横行結腸癌・乳癌の重複癌	外科 原医師
	12月8日	M&Mカンファレンス	卵巣癌	産婦人科 似内医師
	12月26日	研修医懇談会レクチャー	中止	
	12月26日	院内学術集談会	画像検査の注意	放射線診断科 塩谷医師

1月	1月23日	研修医懇談会レクチャー	VPDとワクチンについて	小児科 渡部医師
	1月23日	院内学術集談会	新型コロナウイルス感染症	安全・感染研修会
2月	2月9日	がんセンターボード	卵巣癌によるPseudo-Meigs症候群	産婦人科 似内医師
	2月9日	M&Mカンファレンス	前立腺基底細胞癌	泌尿器科 須長医師
	2月27日	研修医懇談会レクチャー	「一過性虚血発作と一過性意識消失（失神）救急外来での診断 対応」	脳神経外科 若林医師
	2月27日	院内学術集談会	最近診断に困った2症例	病理診断科 吉田医師
3月	3月9日	がんセンターボード	大腸癌	外科 遠藤医師
	3月9日	M&Mカンファレンス	左化膿性膝関節炎	整形外科 西川医師
	3月27日	研修医懇談会レクチャー	実践臨床病態学講義～整形外科四肢外傷～	整形外科 久保井医師
	3月27日	院内学術集談会	放射線フィルムバッチについて	放射線治療科 塩谷医師

令和 5 年 1 月 13 日 (金) 17 : 30 ~

公立藤岡総合病院 大会議室

1. 心室細動に至った若年完全房室ブロックの一例

新井 萌々花

臨床経過: 49 歳, 男性. 職場にて心肺停止状態となり心肺蘇生法を実施, AED による除細動を 1 回施行され, 当院へ救急搬送された. 来院時意識レベルは JCS3 桁, 自己心拍は再開していた. 心電図上完全房室ブロックを認めたことから, 高度徐脈により QT 延長を来たし心室細動に至ったと推測された. 循環呼吸管理を行った上でペースメーカー植え込み術を施行した. 鎮静解除後, 意識は清明となり神経学的後遺症なく回復した. リハビリテーションを継続し身体機能の改善を認め, 第 16 病日に退院となった. 後日, AED の波形解析結果にて心室細動が確認された.

考察: 心肺停止患者の 1 ヶ月生存率, 社会復帰率を予測するためのスコアが提唱されており, 生存のためには 8 項目のうち 5 項目以上を満たすこと, 社会復帰のためには 6 項目を満たすことが必要とされる. 心肺停止患者の予後予測スコアを用い当院の社会復帰した院外心停止患者を分析すると, 多くの患者が社会復帰に必要とされる 6 項目以上を満たしていた. 本症例では 8 項目全てを満たしており, 加えて適切な処置を講ずることで良好な神経学的予後を辿ることができたと推察される.

結語: 若年者の完全房室ブロックから, 心室細動に至った一例を経験した.

2. 持続勃起症を契機に診断されたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の 1 例

清水 湧作

【症例】68 歳男性. X 年 11 月上旬より持続勃起と包皮小帯の浮腫が出現. 近医の泌尿器科を受診し非虚血性持続勃起症と診断された. 血液検査で LDH 915 IU/L, sIL-2R 5870 U/mL であり悪性リンパ腫が疑われた. X 年 11 月下旬, 当院血液内科紹介受診. 陰茎海綿体血液ガス分析と陰茎部超音波検査を施行し非虚血性持続勃起症と診断された. PET/CT では多発骨病変, 上行結腸腹側・骨盤内リンパ節, 前立腺~陰茎に集積を認めた. 前立腺生検を施行し, びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 (DLBCL) Lugano 分類 IV 期の診断となった. CNS-IPI 高リスク群であり R-CHOP 療法 6 コースに加えて大量 MTX 療法を行う方針となった. R-CHOP 療法開始後, 速やかに持続陰茎勃起は改善したが, 勃起不全症を合併した. 治療終了後の PET/CT では病変は消失し完全奏功が得られた.

【結語】持続勃起症を呈した悪性リンパ腫はこれまで 8 例のみの報告されており, 非常に稀な症例と考えられた. 持続勃起症の基礎疾患として, 非常に稀ではあるが, 悪性リンパ腫を含めた造血器腫瘍も鑑別となる. 治療により完全奏功が得られたとしても, 勃起不全症など後遺症を残すことがあり, 留意する必要がある.

3. 反復する重症低血糖により前頭葉障害が出現した1型糖尿病の1例

黒川 真登

【症例】38歳女性。6歳発症の1型糖尿病に対し強化インスリン療法が行われ近医に通院していた。20代まで社会生活は自立していたが、5年前から正常血糖に対する過剰なこだわりが強くなり、インスリンの追い打ちを繰り返して朝方に低血糖による意識障害を頻発していた。X年8月朝寝室で倒れている患者を発見し、家族がブドウ糖の舌下投与、グルカゴン注射を行ったが意識障害が遷延したため当院に救急搬送された。来院時はJCS II-10, BS 431mg/dl, HbA1c 4.3%であった。来院時採血と持続グルコースモニタリングのデータから低血糖脳症の診断で入院した。第13病日にJCS I-2まで改善し会話可能な状態に回復したが、見当識障害が残存した。改定長谷川式テストでは17点と認知機能低下が疑われた。また、入院中に脱抑制や食行動の異常、インスリン注射への執着など行動異常の精査のため採血やMRIが行われたが低血糖以外の代謝性脳症は否定的であった。脳SPECTでは前頭葉の血流低下が示された。

【考察】成人の1型糖尿病の重症低血糖の頻度は長期的な認知機能への影響はないとしているが、低血糖脳症の場合、予後不良の報告がある。1型糖尿病の反復する重症低血糖、低血糖脳症による影響が示唆された脳障害の症例は希のため文献考察を加えてここに報告する。

4. 胃神経内分泌癌(NEC)の一例

中島 悠吾

【症例】58歳男性。血便を主訴に近医を受診した。上部消化管内視鏡検査で胃神経内分泌腫瘍(NET)G1の診断となり、治療目的に当院を受診した。当院の上部消化管内視鏡検査で同じく胃NET G1の診断となった。病変の大きさ・数・浸潤度などから治療方針として内視鏡的切除術と胃切除術の両方が考えられたが、本人と相談した結果、腹腔鏡下胃切除術を行った。術後経過は良好で術後10日目に自宅退院した。その後、手術標本の病理結果から胃神経内分泌癌(NEC)の診断となった。再発予防目的にイリノテカン+シスプラチンで術後補助化学療法を開始した。現在2コース目まで終了している。今後とも再発に注意しつつ化学療法を継続していく。

【考察】胃NECのOSの中央値は進行度にもよるが10-30か月程度と報告されている。また、術後化学療法を行う群と行わない群でOSの中央値を比較した研究では行う群が44か月、行わない群が15か月と術後化学療法が有意にOSを延長したという報告がある。本症例でも術後化学療法を行うことでOSの延長が期待される。神経内分泌新生物(NEN)は内視鏡検体と手術検体で悪性度が一致しない症例があるため、経過観察を選択した症例では注意深くフォローしていく必要がある。

5. 急性膵炎に伴う十二指腸閉塞に異所性胃粘膜が関与した一例

宮下 南

【緒言】異所性胃粘膜は胃上皮化生または先天的迷入が原因と考えられている異所性良性病変である。一方、大型腫瘤を形成し閉塞起点の原因や、腫瘍前駆病変となり得る。今回、本病変により複雑な病態を呈した一例を経験したため報告する。

【症例】消化管疾患の既往歴のない76歳女性。突然の心窩部痛、複数回の嘔吐により当院へ救急搬送された。白血球、アミラーゼ上昇、単純CTで十二指腸巨大憩室、膵周囲脂肪織濃度の上昇を認め、急性膵炎と診断した。第7病日、造影CTにて十二指腸下降脚の限局性壁肥厚があり、上部消化管内視鏡検査を施行したところ管腔内に充満する白色腫瘍性病変を認め、スコープの通過は不可能であった。生検したところ、異所性胃粘膜と診断された。保存的治療により炎症は改善し、十二指腸閉塞も解除され第38病日に退院した。

【考察】本症例は複数の疾患が関与しており複雑な経過を辿った。膵炎の発症には十二指腸憩室が関与していると考えられ、これをLemmel症候群と呼ぶ。また、膵炎による炎症の波及と異所性胃粘膜の存在が十二指腸閉塞の原因と考えられた。稀な病態を併発していた症例であったが、適切な診療を行うことで良好な結果を得られた一例であった。

6. 胸膜生検組織の培養によって診断されたT-SPOT陰性の結核性胸膜炎の一例

井上 俊

【背景】T-スポット.TB（以下T-SPOT）の肺結核診断に対する感度および特異度は、それぞれ97.5%、99.1%であるとされている。また、胸腔鏡検査は結核性胸膜炎において診断に有用であることが知られている。今回T-SPOT陰性の結核性胸膜炎を胸膜生検で診断した一例を報告する。【症例】88歳男性。X年6月17日、夜間の呼吸困難が出現し入院となった。入院後の検査ではT-SPOT陰性、喀痰塗抹・培養陰性であった。胸水検査では、ADA56.7U/L、リンパ球比率が45.0%と軽度上昇を認め、塗抹・培養共に陰性であった。胸腔鏡検査を施行し、胸膜や横隔膜の後壁付近に集簇する、ブドウ状隆起性病変を多数認め、生検した。病理所見では、Ziehl-Neelsen染色は陰性で、非乾酪性の類上皮細胞肉芽腫を認め、結核性胸膜炎に特異的な乾酪性の肉芽腫は認められず、結核性胸膜炎は否定的と考えられた。この時点で胸膜サルコイドーシスと臨床診断し、治療を検討したが、年齢や腎機能を考慮し、経過観察の方針とした。無治療で自覚症状は改善し、外来フォローとして退院となった。その後、X年7月28日に胸膜生検組織の培養結果で結核菌が証明され、結核性胸膜炎と確定診断した。【考察】結核性胸膜炎に対するT-SPOTの診断特性を調べたメタアナリシスでは、感度が83%、特異度が71%との報告があり、結核性胸膜炎の診断においては胸腔鏡による胸膜生検組織の培養が重要であると考えられた。

7. ステロイド+血漿交換併用療法で治療した抗糸球体基底膜抗体型糸球体腎炎の一例

横山 響

【症例】79歳男性。発熱を主訴に近医を受診し、尿路感染症疑いとしてレボフロキサシンが処方された。内服するも症状は改善せず、また初診時 Cr 1.13 mg/dL から 3.03 mg/dL に増悪し、CRP 23.65 mg/dL と上昇しており、尿蛋白・尿潜血も認められたため急速進行性糸球体腎炎が疑われ当院紹介受診となった。来院時、膠原病を示唆する身体所見は認めなかった。スクリーニング検査で PR3-ANCA、MPO-ANCA とともに陰性だが、抗 GBM 抗体 626 U/mL と異常高値を認め、抗糸球体基底膜抗体型腎炎に伴う急速進行性糸球体腎炎と診断した。メチルプレドニゾロン 500 mg/日によるステロイドパルスで治療を開始し、プレドニゾロン 50 mg/日で後療法を開始した。併せて血漿交換も行い、炎症反応は著明に改善した。しかし、腎機能は改善せず血液透析も開始し、その後維持透析に移行した。プレドニゾロンは徐々に減量し、アザチオプリンも併用した。抗 GBM 抗体は減少中であり、症状も再燃することなく経過している。

【考察】抗糸球体基底膜抗体型腎炎に対しては、ステロイド・シクロホスファミド・血漿交換の併用療法が推奨されている。本症例は、高齢による感染症のリスクや肺胞出血がないことを考慮し、シクロホスファミドは使用せずにステロイド・血漿交換で治療を行った。考察では上記併用療法の有効性を中心に、文献的考察を加えて発表する。

VI 購入図書

国内雑誌（公立藤岡総合病院）

雑誌名	
1. Coronary Intervention	24. プロフェッショナル がんナーシング
2. 心臓	25. 臨床透析
3. 腎と透析	26. 小児看護
4. 呼吸器内科	27. 看護人材育成
5. 消化器内視鏡	28. ナースマネージャー
6. 手術	29. エキスパートナース
7. 外科	30. 緩和ケア
8. 胸部外科	31. メディカルテクノロジー
9. 消化器外科	32. 心エコー
10. 病理と臨床	33. 月刊新医療
11. 臨床婦人科産科	34. インナービジョン
12. 周産期医学	35. クリニカルエンジニアリング
13. Lisa	36. ヘルスケアレストラン
14. ペインクリニック	37. 栄養と料理
15. 麻酔	38. NHK 今日の健康
16. 糖尿病プラクティス	39. Journal of clinical rehabilitation
17. 糖尿病ライフ さかえ	40. 日経 DI
18. 小児内科	41. 地域医療連携入退院支援
19. 小児科	42. 地方公務員月報
20. 画像診断	43. 人事院月報
21. 臨床画像	44. 月刊保険診療
22. レジデントノート	45. 医事業務
23. 日本医事新報	46. 切り抜き速報 医療と安全総集編

国外雑誌（公立藤岡総合病院）

雑誌名
1. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2. Blood
3. British Journal of Hematology :bjh
4. Circulation
5. The Journal of Pediatrics
6. The New England Journal of Medicine
7. Journal of American College of Cardiology : JACC
8. Journal of American Society of Nephrology :JASN
9. Leukemia
10. Pediatrics
11. Chest
12. Journal of Orthopaedic Science
13. Annals of Rheumatic Diseases

VII 経営状況

1. 損益計算書

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
病院事業収益	11,466,103	12,046,269	105.1	13,708,525	113.8
医業収益	9,863,013	10,573,920	107.2	11,105,565	105.0
入院収益	6,216,410	6,586,685	106.0	6,836,930	103.8
外来収益	3,135,694	3,435,033	109.5	3,709,148	108.0
その他医業収益	510,909	552,202	108.1	559,487	101.3
医業外収益	1,309,428	1,324,560	101.2	2,489,052	187.9
受取利息及び配当金	202	200	99.0	200	100.0
補助金	835,439	800,821	95.9	1,292,791	161.4
他会計負担金	138,270	161,694	116.9	170,182	105.2
長期前受金戻入	294,135	315,323	107.2	991,692	314.5
その他医業外収益	41,382	46,522	112.4	34,187	73.5
特別利益	293,662	147,789	50.3	113,908	77.1
固定資産売却益	0	0	—	1,936	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
その他特別利益	293,662	147,789	50.3	111,972	75.8
病院事業費用	11,840,605	12,652,212	106.9	16,149,919	127.6
医業費用	11,083,499	11,456,247	103.4	11,680,904	102.0
給与費	5,531,672	5,669,354	102.5	5,675,146	100.1
材料費	2,706,440	2,888,143	106.7	3,117,742	107.9
経費	1,634,536	1,692,071	103.5	1,794,919	106.1
減価償却費	1,170,199	1,147,871	98.1	1,042,794	90.8
資産減耗費	8,478	25,929	305.8	23,714	91.5
研究研修費	11,747	16,256	138.4	20,463	125.9
長期前払消費税償却	20,426	16,623	81.4	6,126	36.9
医業外費用	587,089	661,776	112.7	702,303	106.1
支払利息及び企業債取扱諸費	152,682	143,478	94.0	135,182	94.2
雑損失	3,800	0	0.0	3,628	—
雑支出	430,607	518,298	120.4	563,493	108.7
特別損失	170,017	534,189	314.2	3,766,712	705.1
固定資産売却損	0	0	—	365,795	—
過年度損益修正損	170,017	17,444	10.3	500	2.9
その他特別損失	0	516,745	—	3,400,417	658.0
収支差引	△ 374,502	△ 589,320	—	△ 2,441,394	—

2. 貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
固定資産	17,898,416	17,008,245	95.0	12,645,579	74.3
有形固定資産	17,208,332	16,350,982	95.0	12,010,639	73.5
土地	1,738,571	1,738,571	100.0	958,852	55.2
建物	13,059,452	12,565,619	96.2	9,365,337	74.5
構築物	462,283	425,585	92.1	367,041	86.2
器械備品	1,935,443	1,609,853	83.2	1,309,440	81.3
車両	987	578	58.6	468	81.0
リース資産	11,596	10,776	92.9	9,501	88.2
減価償却累計額	13,854,927	14,588,930	105.3	10,227,487	70.1
建設仮勘定	0	0	—	0	—
無形固定資産	51,566	35,369	68.6	19,172	54.2
投資	638,518	621,894	97.4	615,768	99.0
流動資産	5,705,957	6,044,049	105.9	6,575,060	108.8
現金預金	3,347,938	3,470,271	103.7	3,611,166	104.1
未収金	2,232,061	2,424,266	108.6	2,822,703	116.4
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	114,281	134,633	117.8	126,312	93.8
前払費用	10,676	13,879	130.0	13,879	100.0
資産合計	23,604,373	23,052,294	97.7	19,220,639	83.4
固定負債	16,980,101	16,530,760	97.4	16,071,655	97.2
企業債	14,779,157	14,329,809	97.0	13,961,511	97.4
リース債務	2,681	1,802	67.2	908	50.4
退職者給与引当金	2,198,262	2,199,149	100.0	2,109,236	95.9
流動負債	2,396,987	2,733,134	114.0	2,278,431	83.4
企業債	1,134,068	1,181,248	104.2	939,698	79.6
リース債務	866	880	101.6	894	101.6
未払金	871,743	1,132,281	129.9	948,835	83.8
引当金	346,124	374,328	108.1	344,899	92.1
その他流動負債	44,187	44,397	100.5	44,105	99.3
繰延収益	1,028,635	1,165,929	113.3	659,297	56.5
長期前受金	8,525,185	9,092,391	106.7	9,689,423	106.6
長期前受金収益化累計額	△ 7,496,550	△ 7,926,462	—	△ 9,030,126	—
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	2,239,135	1,662,957	74.3	△ 748,256	△ 45.0
資本剰余金	1,961,217	1,990,988	101.5	2,021,170	101.5
利益剰余金	277,919	△ 328,031	△ 118.0	△ 2,769,426	844.3
負債資本合計	23,604,373	23,052,295	97.7	19,220,642	83.4

3. 経営分析

区分	備考	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	17.9%	11.4%	1.1%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	238.0%	221.1%	288.6%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	139.7%	127.0%	158.5%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	96.8%	95.3%	84.9%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	89.0%	95.3%	84.9%
病床利用率	一般	67.8%	70.3%	70.7%
1日平均患者数	入院	270.4人	280.3人	282.1人
	入院診療日数	365日	365日	365日
	外来	634.0人	667.1人	672.3人
	外来診療日数	243日	242日	243日
患者1人1日当り診療収入	入院	62,975円	64,368円	66,406円
	外来	20,352円	21,276円	22,704円
医業収益に対する割合	職員給与費	55.9%	44.8%	48.6%
	薬品費	19.1%	15.9%	19.5%
患者1人1日当り薬品費	投薬	1,174円	1,109円	1,158円
	注射	5,142円	5,343円	6,036円

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況

(1) 入院延べ患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	4,088	3,949	4,365	4,568	4,135	4,052	4,487	4,368	4,173	4,020	3,628	4,400	50,233	137.6
小児科	193	203	156	275	271	259	260	252	239	181	171	164	2,624	7.2
外科	1,039	1,208	1,155	1,449	1,343	1,176	1,101	1,011	1,022	1,056	986	1,100	13,646	37.4
整形外科	1,051	1,049	1,020	878	832	997	1,054	1,008	1,080	979	1,139	1,039	12,126	33.2
産婦人科	500	435	300	348	327	245	246	192	185	164	78	156	3,176	8.7
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	1,446	1,522	1,362	1,539	1,467	1,367	1,295	1,292	1,499	1,809	1,353	1,514	17,465	47.8
眼科	10	14	15	19	12	16	6	14	12	13	18	13	162	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	238	284	221	297	357	289	248	213	254	237	179	260	3,077	8.4
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	0	9	8	0	0	13	4	0	0	0	0	34	0.1
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	51	43	48	32	23	23	29	26	37	54	23	24	413	1.1
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	8,616	8,707	8,651	9,413	8,767	8,424	8,739	8,380	8,501	8,513	7,575	8,670	102,956	282.1
1日平均	287.2	280.9	288.4	303.6	282.8	280.8	281.9	279.3	274.2	274.6	270.5	279.7	282.1	
新生児	75	52	38	56	37	61	53	55	100	33	38	73	671	1.8

(2) 入院実患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	301	296	326	304	306	313	313	304	326	286	286	309	3,670	10.1
小児科	35	33	28	42	35	36	41	38	33	30	24	26	401	1.1
外科	123	141	122	135	127	134	121	119	104	123	101	125	1,475	4.0
整形外科	59	72	71	62	73	58	69	52	60	57	85	70	788	2.2
産婦人科	43	46	35	41	43	36	37	30	23	26	15	23	398	1.1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	43	45	45	61	64	45	55	54	66	68	41	48	635	1.7
眼科	10	14	15	19	12	16	6	14	12	13	18	13	162	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	33	49	38	46	52	32	46	44	45	39	32	38	494	1.4
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	10	11	10	15	12	9	7	8	6	9	5	10	112	0.3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	657	707	691	726	724	679	696	663	675	651	607	662	8,138	22.3
1日平均	21.9	22.8	23.0	23.4	23.4	22.6	22.5	22.1	21.8	21.0	21.7	21.4	22.3	

(3) 診療科別延べ入院患者数

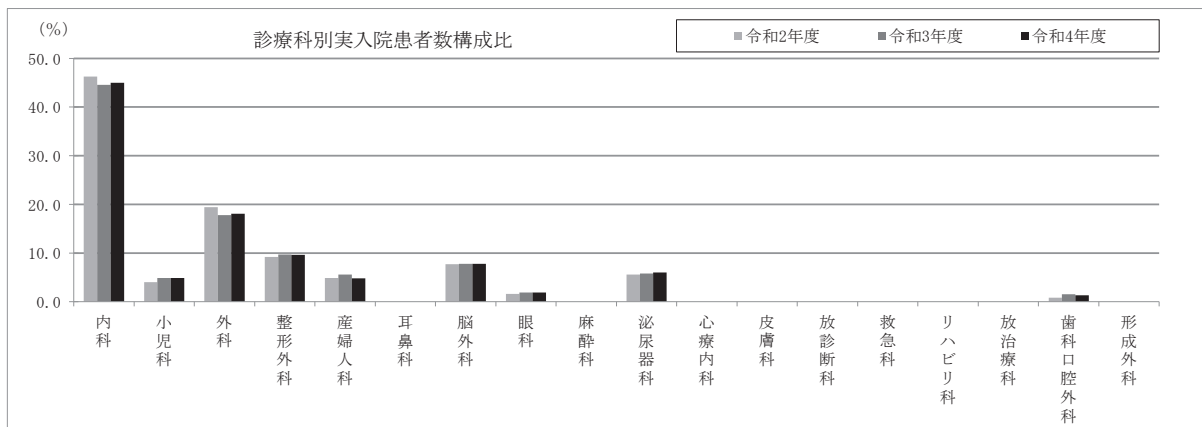
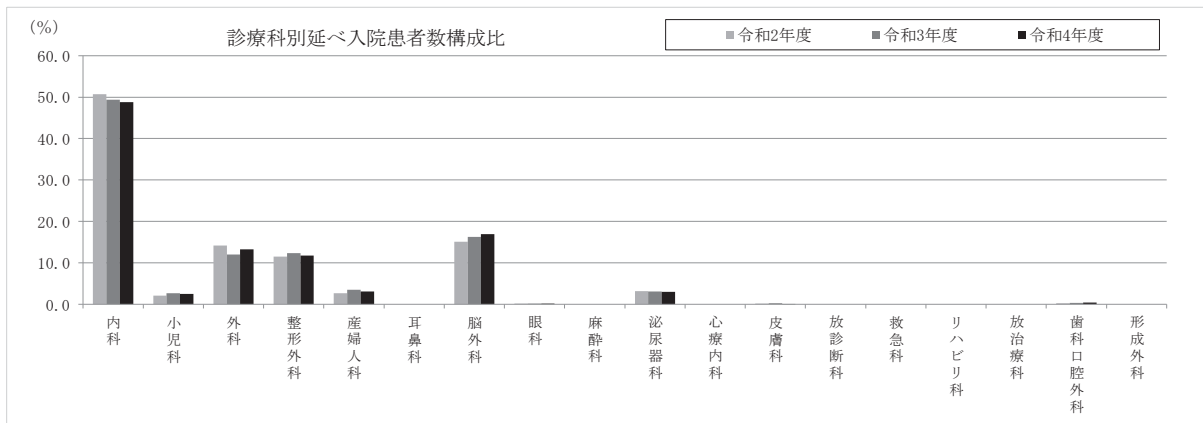
(単位：人)

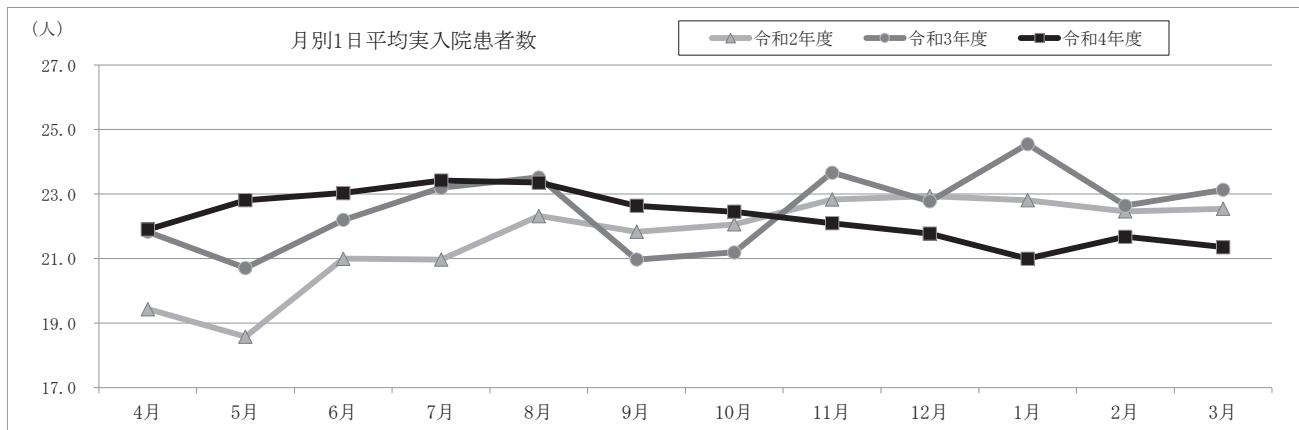
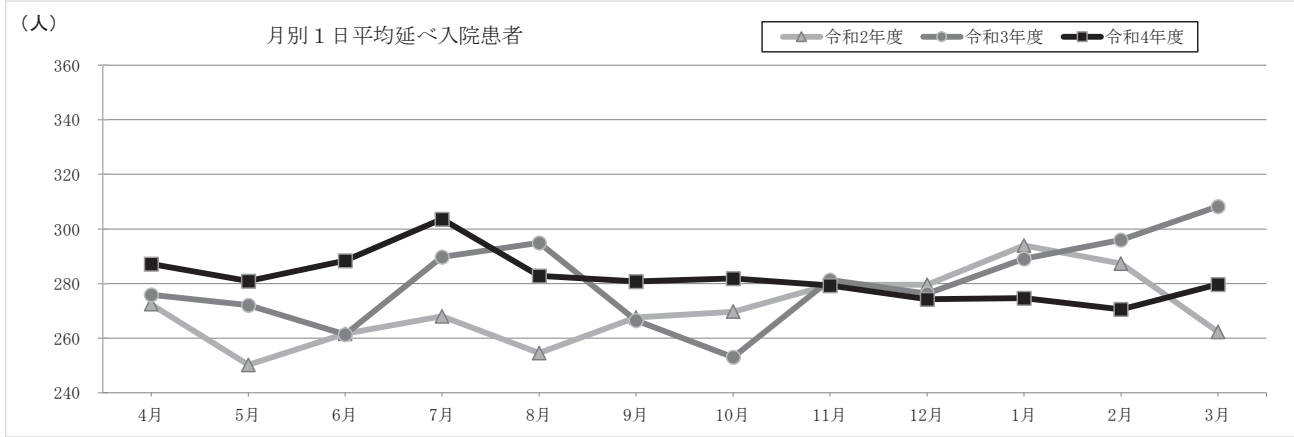
		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放射線科	歯科 口腔外科	形成外科	合計	
令和2年度	患者数	50,026	2,097	14,037	11,342	2,664	0	14,872	129	0	3,130	0	150	0	0	0	0	0	264	0	98,711
	1日平均	137.1	5.7	38.5	31.1	7.3	0.0	40.7	0.4	0.0	8.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	270.4
	構成比(%)	50.7	2.1	14.2	11.5	2.7	0.0	15.1	0.1	0.0	3.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0
令和3年度	患者数	50,557	2,726	12,281	12,615	3,591	0	16,622	160	0	3,160	0	243	0	0	0	0	0	372	0	102,327
	1日平均	138.5	7.5	33.6	34.6	9.8	0.0	45.5	0.4	0.0	8.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	280.3
	構成比(%)	49.4	2.7	12.0	12.3	3.5	0.0	16.2	0.2	0.0	3.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
令和4年度	患者数	50,233	2,624	13,646	12,126	3,176	0	17,465	162	0	3,077	0	34	0	0	0	0	0	413	0	102,956
	1日平均	137.6	7.2	37.4	33.2	8.7	0.0	47.8	0.4	0.0	8.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	282.1
	構成比(%)	48.8	2.5	13.3	11.8	3.1	0.0	17.0	0.2	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0

(4) 診療科別実入院患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放射線科	歯科 口腔外科	形成外科	合計	
令和2年度	患者数	3,664	318	1,536	732	392	0	612	129	0	443	0	6	0	0	0	0	69	0	7,901	
	1日平均	10.0	0.9	4.2	2.0	1.1	0.0	1.7	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	21.6	
	構成比(%)	46.3	4.0	19.4	9.3	5.0	0.0	7.7	1.6	0.0	5.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	100.0	
令和3年度	患者数	3,671	404	1,469	801	461	0	643	160	0	484	0	8	0	0	0	0	0	124	0	8,225
	1日平均	10.1	1.1	4.0	2.2	1.3	0.0	1.8	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	22.5	
	構成比(%)	44.6	4.9	17.8	9.7	5.6	0.0	7.8	1.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	100.0	
令和4年度	患者数	3,670	401	1,475	788	398	0	635	162	0	494	0	3	0	0	0	0	0	112	0	8,138
	1日平均	10.1	1.1	4.0	2.2	1.1	0.0	1.7	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	22.3	
	構成比(%)	45.0	4.9	18.1	9.6	4.8	0.0	7.8	1.9	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	100.0	





(5) 外来患者数

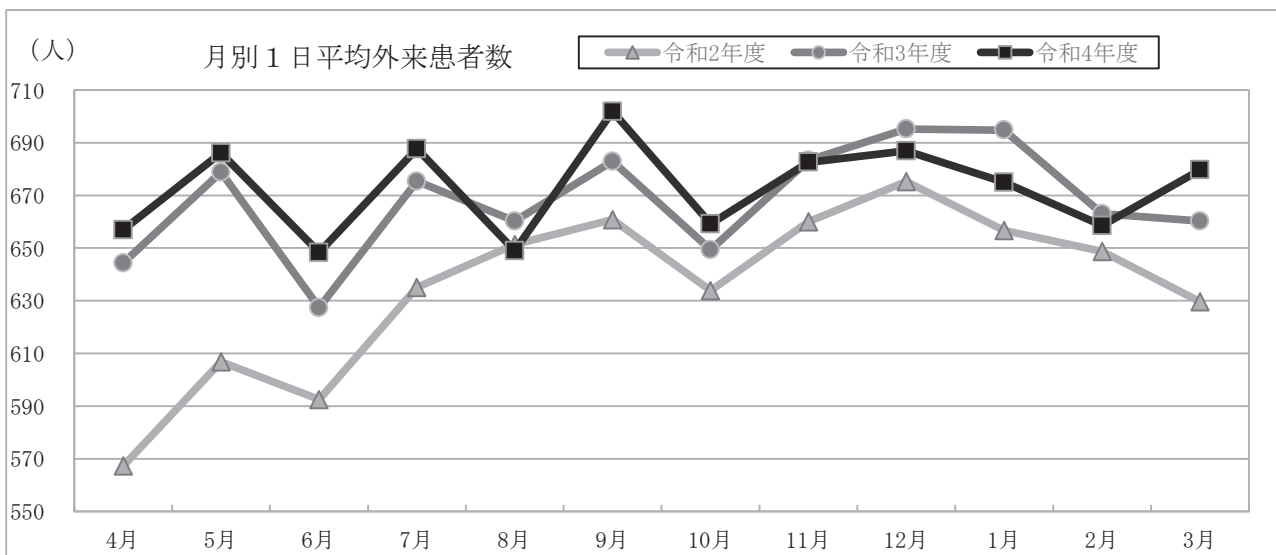
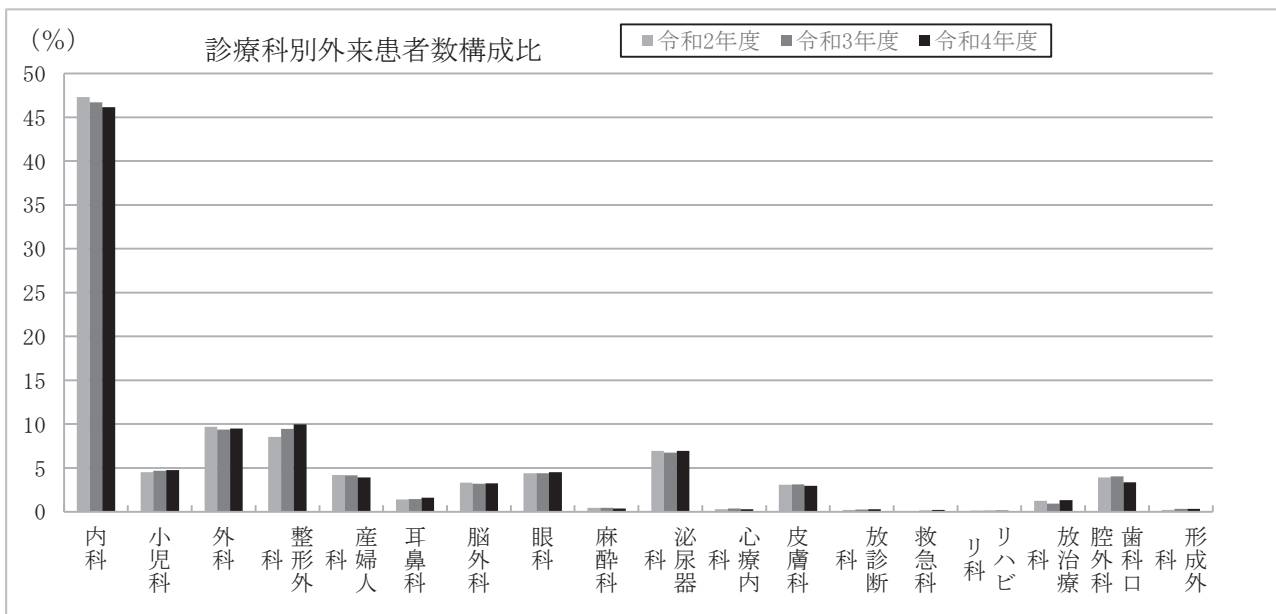
(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	6,136	6,075	6,464	6,375	6,569	6,500	6,073	6,405	6,456	6,005	5,671	6,696	75,425	310.4
小児科	596	575	607	672	797	692	666	583	658	639	574	709	7,768	32.0
外科	1,264	1,202	1,426	1,279	1,281	1,342	1,262	1,303	1,296	1,205	1,236	1,414	15,510	63.8
整形外科	1,273	1,353	1,427	1,312	1,500	1,402	1,284	1,284	1,329	1,294	1,353	1,517	16,328	67.2
産婦人科	494	519	671	552	537	616	547	573	489	414	427	578	6,417	26.4
耳鼻科	237	187	229	214	213	236	202	225	221	215	182	259	2,620	10.8
脳外科	405	403	464	430	468	412	432	471	470	432	393	496	5,276	21.7
眼科	552	610	657	617	630	693	571	550	659	556	573	708	7,376	30.4
麻酔科	47	47	64	55	59	47	59	48	52	46	57	67	648	2.7
泌尿器科	908	918	891	928	988	922	960	961	988	894	904	1,070	11,332	46.6
心療内科	31	31	30	32	46	48	45	58	39	36	41	43	480	2.0
皮膚科	417	390	439	433	402	457	378	393	344	401	338	485	4,877	20.1
放診断科	41	53	53	33	30	42	42	41	28	34	44	39	480	2.0
救急科	38	20	36	32	40	19	18	36	25	32	31	40	367	1.5
リハビリ科	22	18	21	20	24	20	23	17	20	18	24	23	250	1.0
放治療科	155	148	228	232	193	131	161	179	177	156	179	217	2,156	8.9
歯科口腔外科	479	455	504	493	441	414	434	472	443	409	440	546	5,530	22.8
形成外科	43	32	53	46	60	45	26	53	44	38	45	46	531	2.2
合計	13,138	13,036	14,264	13,755	14,278	14,038	13,183	13,652	13,738	12,824	12,512	14,953	163,371	672.3
1日平均	656.9	686.1	648.4	687.8	649.0	701.9	659.2	682.6	686.9	674.9	658.5	679.7	672.3	

(6) 診療科別外来患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
令和2年度	患者数	72,909	6,937	14,922	13,182	6,496	2,202	5,147	6,804	696	10,691	476	4,769	356	0	210	1,913	6,021	341	154,072
	1日平均	300.0	28.5	61.4	54.2	26.7	9.1	21.2	28.0	2.9	44.0	2.0	19.6	1.5	0.0	0.9	7.9	24.8	1.4	634.0
	構成比(%)	47.3	4.5	9.7	8.6	4.3	1.4	3.3	4.4	0.5	6.9	0.3	3.1	0.2	0.0	0.1	1.2	3.9	0.2	100.0
令和3年度	患者数	75,385	7,565	15,133	15,285	6,723	2,374	5,159	7,094	745	10,915	598	5,027	448	218	192	1,539	6,533	514	161,447
	1日平均	311.5	31.3	62.5	63.2	27.8	9.8	21.3	29.3	3.1	45.1	2.5	20.8	1.9	0.9	0.8	6.4	27.0	2.1	667.1
	構成比(%)	46.7	4.7	9.4	9.5	4.2	1.5	3.2	4.4	0.5	6.8	0.4	3.1	0.3	0.1	0.1	1.0	4.0	0.3	100.0
令和4年度	患者数	75,425	7,768	15,510	16,328	6,417	2,620	5,276	7,376	648	11,332	480	4,877	480	367	250	2,156	5,530	531	163,371
	1日平均	310.4	32.0	63.8	67.2	26.4	10.8	21.7	30.4	2.7	46.6	2.0	20.1	2.0	1.5	1.0	8.9	22.8	2.2	672.3
	構成比(%)	46.2	4.8	9.5	10.0	3.9	1.6	3.2	4.5	0.4	6.9	0.3	3.0	0.3	0.2	0.2	1.3	3.4	0.3	100.0



(7) 地域別患者延べ数 (入院患者)

(単位:人)

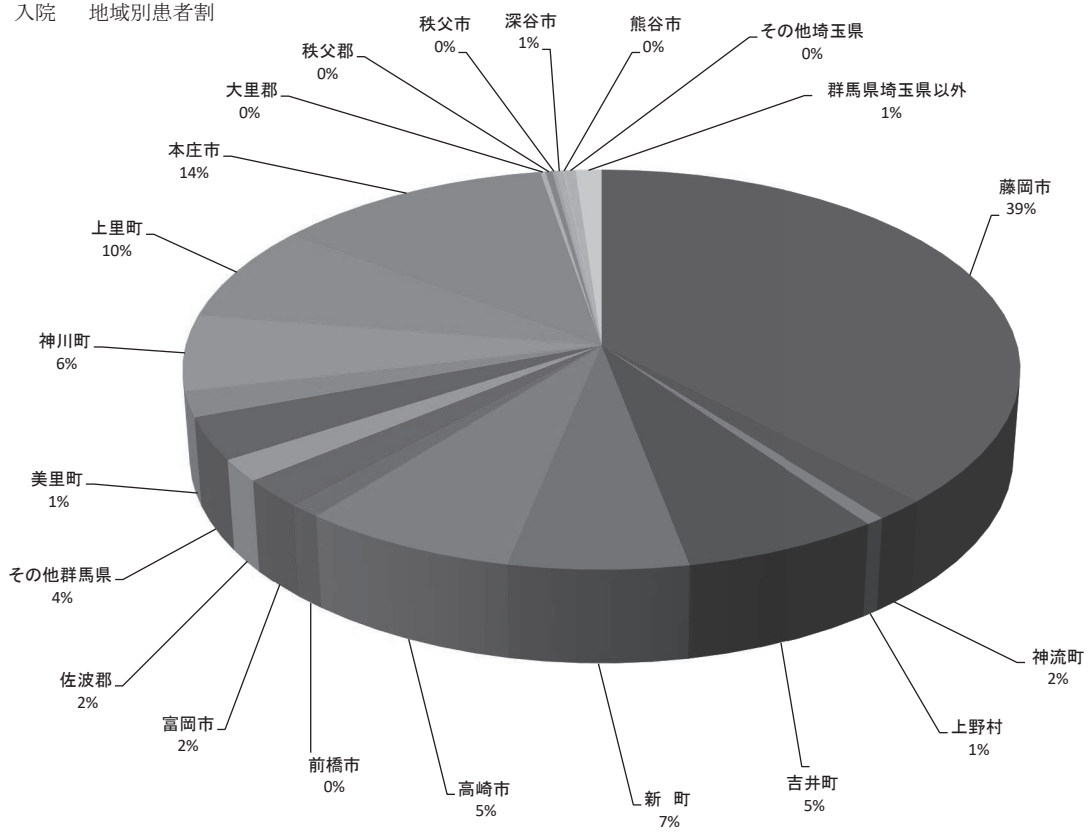
	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線	ペイン	救急科	リハ	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	19,036	0	0	0	1,221	4,690	4,744	6,496	17	1,403	1,124	91	0	0	0	0	0	0	0	119	0	38,941
神流町	810	0	0	0	7	368	268	277	0	28	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,770
上野村	155	0	0	0	0	34	91	348	9	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	660
計	20,001	0	0	0	1,228	5,092	5,103	7,121	26	1,452	1,132	95	0	0	0	0	0	0	0	121	0	41,371
高崎市 吉井町	3,292	0	0	0	40	885	723	1,849	0	111	119	5	0	0	0	0	0	0	0	6	0	7,030
高崎市 新 町	3,013	0	0	0	120	1,185	946	765	0	247	89	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6,378
その他 高崎市	3,733	0	0	0	287	587	1,660	904	8	155	326	3	0	0	0	0	0	0	0	18	0	7,681
前橋市	522	0	0	0	21	70	168	268	0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	1,155
富岡市	1,036	0	0	0	113	47	153	954	0	11	28	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	2,354
佐波郡	906	0	0	0	44	399	290	53	0	47	99	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1,844
その他 群馬県	2,069	0	0	0	145	110	278	783	0	17	135	3	0	0	0	0	0	0	0	16	0	3,556
計	14,571	0	0	0	770	3,283	4,218	5,576	8	588	860	20	0	0	0	0	0	0	0	104	0	29,998
小計	34,572	0	0	0	1,998	8,375	9,321	12,697	34	2,040	1,992	115	0	0	0	0	0	0	0	225	0	71,369
埼玉県 美里町	993	0	0	0	21	460	173	297	0	84	65	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2,100
神川町	3,594	0	0	0	71	916	568	607	0	294	237	20	0	0	0	0	0	0	0	14	0	6,321
上里町	4,424	0	0	0	212	1,160	675	1,063	0	239	198	10	0	0	0	0	0	0	0	40	0	8,021
本庄市	5,454	0	0	0	183	2,469	1,026	2,375	0	378	439	13	0	0	0	0	0	0	0	82	0	12,419
大里郡	48	0	0	0	7	72	52	12	0	25	5	1	0	0	0	0	0	0	0	12	0	234
秩父郡	143	0	0	0	0	4	0	151	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300
秩父市	141	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	159
深谷市	98	0	0	0	4	61	69	72	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	313
熊谷市	95	0	0	0	0	3	1	8	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115
その他 埼玉県	90	0	0	0	64	33	141	4	0	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	448
群馬県 埼玉県以外	581	0	0	0	64	93	88	179	0	5	120	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	1,157
計	15,661	0	0	0	626	5,271	2,805	4,768	0	1,037	1,184	47	0	0	0	0	0	0	0	188	0	31,587
合計	50,233	0	0	0	2,624	13,646	12,126	17,465	34	3,077	3,176	162	0	0	0	0	0	0	0	413	0	102,956

(8) 地域別患者延べ数 (外来患者)

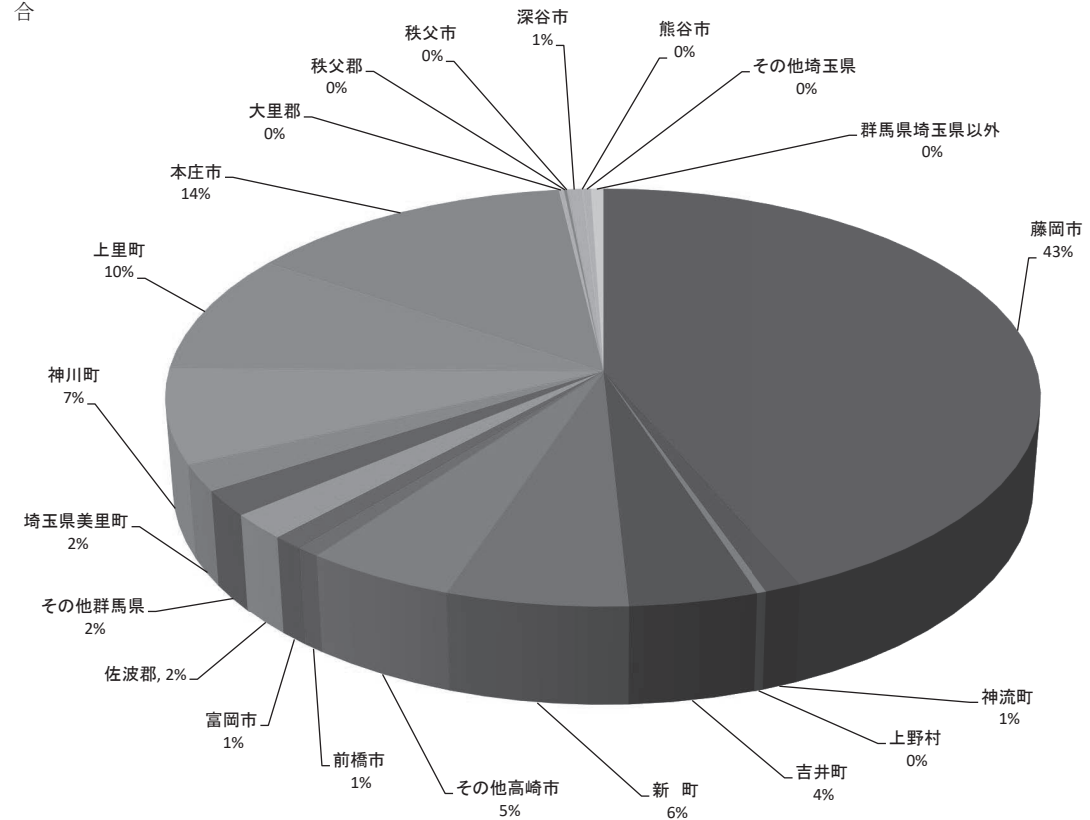
(単位:人)

	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線	ペイン	救急科	リハ	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	31,680	209	1,128	0	3,308	6,111	7,352	2,378	2,134	5,193	2,300	3,611	1,218	231	283	169	153	976	0	2,249	304	70,987
神流町	761	12	43	0	36	243	211	40	61	220	57	136	22	1	6	2	0	3	0	79	4	1,937
上野村	143	0	6	0	2	50	73	24	28	72	9	40	5	1	0	1	0	0	0	43	4	501
計	32,584	221	1,177	0	3,346	6,404	7,636	2,442	2,223	5,485	2,366	3,787	1,245	233	289	172	153	979	0	2,371	312	73,425
高崎市 吉井町	3,097	59	124	0	173	609	915	366	308	462	150	220	114	8	15	26	2	68	0	197	9	6,922
高崎市 新 町	4,496	31	124	0	339	1,066	999	329	273	644	381	376	176	15	26	14	26	112	0	278	32	9,737
その他 高崎市	3,698	24	97	0	529	517	1,147	300	251	398	265	190	77	26	55	30	31	112	0	326	31	8,104
前橋市	528	10	13	0	77	101	163	35	17	25	81	52	25	4	15	6	0	0	0	106	0	1,258
富岡市	790	4	17	0	197	57	180	159	44	23	39	40	39	1	5	1	2	4	0	85	11	1,698
佐波郡	1,469	2	67	0	146	319	478	71	94	151	146	100	26	4	5	9	0	28	0	109	7	3,231
その他 群馬県	1,239	11	22	0	428	158	503	202	69	69	95	142	38	7	23	6	0	41	0	169	13	3,235
計	15,317	141	464	0	1,889	2,827	4,385	1,462	1,056	1,772	1,157	1,120	495	65	144	92	61	365	0	1,270	103	34,185
小計	47,901	362	1,641	0	5,235	9,231	12,021	3,904	3,279	7,257	3,523	4,907	1,740	298	433	264	214	1,344	0	3,641	415	107,610
埼玉県 美里町	1,553	9	64	0	86	400	198	91	93	331	208	109	31	10	13	7	0	39	0	106	5	3,353
神川町	5,280	29	193	0	440	1,257	986	299	385	1,017	538	683	204	34	60	19	7	262	0	285	21	11,999
上里町	6,990	29	206	0	761	1,722	1,095	372	475	1,162	726	584	229	65	24	21	10	114	0	547	39	15,171
本庄市	10,106	51	329	0	1,008	2,637	1,718	477	499	1,365	1,239	971	392	62	118	37	12	379	0	762	46	22,208
大里郡	122	0	9	0	29	44	26	15	12	36	17	22	2	0	0	1	0	0	0	24	0	359
秩父郡	83	0	0	0	15	4	20	4	14	11	2	15	0	0	0	0	0	0	0	9	0	177
秩父市	43	0	1	0	0	3	5	1	6	1	0	2	2	1	0	1	0	0	0	12	0	78
深谷市	363	0	5	0	60	132	68	14	48	71	43	46	12	7	0	2	4	18	0	29	5	927
熊谷市	78	0	0	0	1	6	16	15	2	16	11	1	0	0	0	3	0	0	0	3	0	152
その他 埼玉県	162	0	5	0	79	24	52	26	2	18	39	23	0	1	0	4	0	0	0	46	0	481
群馬県 埼玉県以外	272	0	19	0	54	50	123	58	62	47	71	13	8	2	0	8	3	0	0	66	0	856
計	25,052	118	831	0	2,533	6,279	4,307	1,372	1,598	4,075	2,894	2,469	880	182	215	103	36	812	0	1,889	116	55,761
合計	72,953	480	2,472	0	7,768	15,510	16,328	5,276	4,877	11,332	6,417	7,376	2,620	480	648	367	250	2,156	0	5,530	531	163,371

入院 地域別患者割



外来合 地域別患者割



(9) 年齢別・性別・診療科別 延べ入院患者数

(単位:人)

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	ペイン	救急科	リハ	放治療科	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	359	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	359
	女	0	0	0	0	344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	344
	小計	0	0	0	0	703	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	703
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	260	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	261
	女	0	0	0	0	290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	290
	小計	0	0	0	0	550	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	551
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
	女	0	0	0	0	104	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	107
	小計	0	0	0	0	274	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	277
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	57	0	8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	69
	女	0	0	0	0	120	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121
	小計	0	0	0	0	177	0	9	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	190
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	139	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	153
	女	0	0	0	0	84	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	90
	小計	0	0	0	0	223	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	243
10歳～20歳未満	男	80	0	0	0	527	48	182	93	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	938
	女	124	0	0	0	170	29	46	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	383
	小計	204	0	0	0	697	77	228	95	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	1,321
20歳～30歳未満	男	175	0	0	0	0	31	84	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	354
	女	220	0	0	0	0	38	26	15	0	5	827	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	1,183
	小計	395	0	0	0	0	69	110	26	0	5	827	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	1,537
30歳～40歳未満	男	262	0	0	0	0	120	82	44	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	519
	女	365	0	0	0	0	82	39	27	0	8	1,206	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1,737
	小計	627	0	0	0	0	202	121	71	0	10	1,206	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	2,256
40歳～50歳未満	男	843	0	0	0	0	236	274	373	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	15	0	1,757
	女	645	0	0	0	0	222	150	2	0	69	445	1	0	0	0	0	0	0	0	21	0	1,555
	小計	1,488	0	0	0	0	458	424	375	0	84	445	2	0	0	0	0	0	0	0	36	0	3,312
50歳～60歳未満	男	2,261	0	0	0	0	630	865	1,238	0	127	0	3	0	0	0	0	0	0	0	30	0	5,154
	女	962	0	0	0	0	457	429	442	0	69	97	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2,462
	小計	3,223	0	0	0	0	1,087	1,294	1,680	0	196	97	7	0	0	0	0	0	0	0	32	0	7,616
60歳～65歳未満	男	1,416	0	0	0	0	433	316	811	0	152	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12	0	3,142
	女	1,034	0	0	0	0	463	297	278	0	64	69	5	0	0	0	0	0	0	0	10	0	2,220
	小計	2,450	0	0	0	0	896	613	1,089	0	216	69	7	0	0	0	0	0	0	0	22	0	5,362
65歳～70歳未満	男	2,681	0	0	0	0	1,211	238	597	8	323	0	6	0	0	0	0	0	0	0	16	0	5,080
	女	1,690	0	0	0	0	715	495	1,140	0	8	150	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4,207
	小計	4,371	0	0	0	0	1,926	733	1,737	8	331	150	13	0	0	0	0	0	0	0	18	0	9,287
70歳～75歳未満	男	4,808	0	0	0	0	1,483	538	2,089	0	517	0	11	0	0	0	0	0	0	0	10	0	9,456
	女	2,835	0	0	0	0	1,128	934	1,072	0	71	196	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6,254
	小計	7,643	0	0	0	0	2,611	1,472	3,161	0	588	196	28	0	0	0	0	0	0	0	11	0	15,710
75歳～80歳未満	男	4,775	0	0	0	0	1,887	820	1,844	0	553	0	23	0	0	0	0	0	0	0	70	0	9,972
	女	3,286	0	0	0	0	763	757	755	9	53	84	20	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5,729
	小計	8,061	0	0	0	0	2,650	1,577	2,599	9	606	84	43	0	0	0	0	0	0	0	72	0	15,701
80歳～85歳未満	男	4,432	0	0	0	0	1,183	769	1,822	0	476	0	25	0	0	0	0	0	0	0	52	0	8,759
	女	3,313	0	0	0	0	661	1,153	1,461	0	64	51	17	0	0	0	0	0	0	0	16	0	6,736
	小計	7,745	0	0	0	0	1,844	1,922	3,283	0	540	51	42	0	0	0	0	0	0	0	68	0	15,495
85歳～90歳未満	男	3,648	0	0	0	0	731	760	1,224	0	220	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6,588
	女	3,630	0	0	0	0	537	1,310	1,105	17	85	51	13	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6,750
	小計	7,278	0	0	0	0	1,268	2,070	2,329	17	305	51	16	0	0	0	0	0	0	0	4	0	13,338
90歳～95歳未満	男	2,005	0	0	0	0	236	378	209	0	91	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,920
	女	2,706	0	0	0	0	223	747	563	0	21	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,263
	小計	4,711	0	0	0	0	459	1,125	772	0	112	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,183
95歳～100歳未満	男	517	0	0	0	0	49	78	35	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	683
	女	1,341	0	0	0	0	38	321	196	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,963
	小計	1,858	0	0	0	0	87	399	231	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,646
100歳以上	男	11	0	0	0	0	12	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
	女	168	0	0	0	0	0	16	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201
	小計	179	0	0	0	0	12	16	17	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228
男計	27,914	0	0	0	1,512	8,290	5,400	10,390	8	2,493	0	75	0	0	0	0	0	0	0	0	279	0	56,361
女計	22,319	0	0	0	1,112	5,356	6,726	7,075	26	584	3,176	87	0	0	0	0	0	0	0	0	134	0	46,595
合計	50,233	0	0	0	2,624	13,646	12,126	17,465	34	3,077	3,176	162	0	0	0	0	0	0	0	0	413	0	102,956

※退院数を含む。

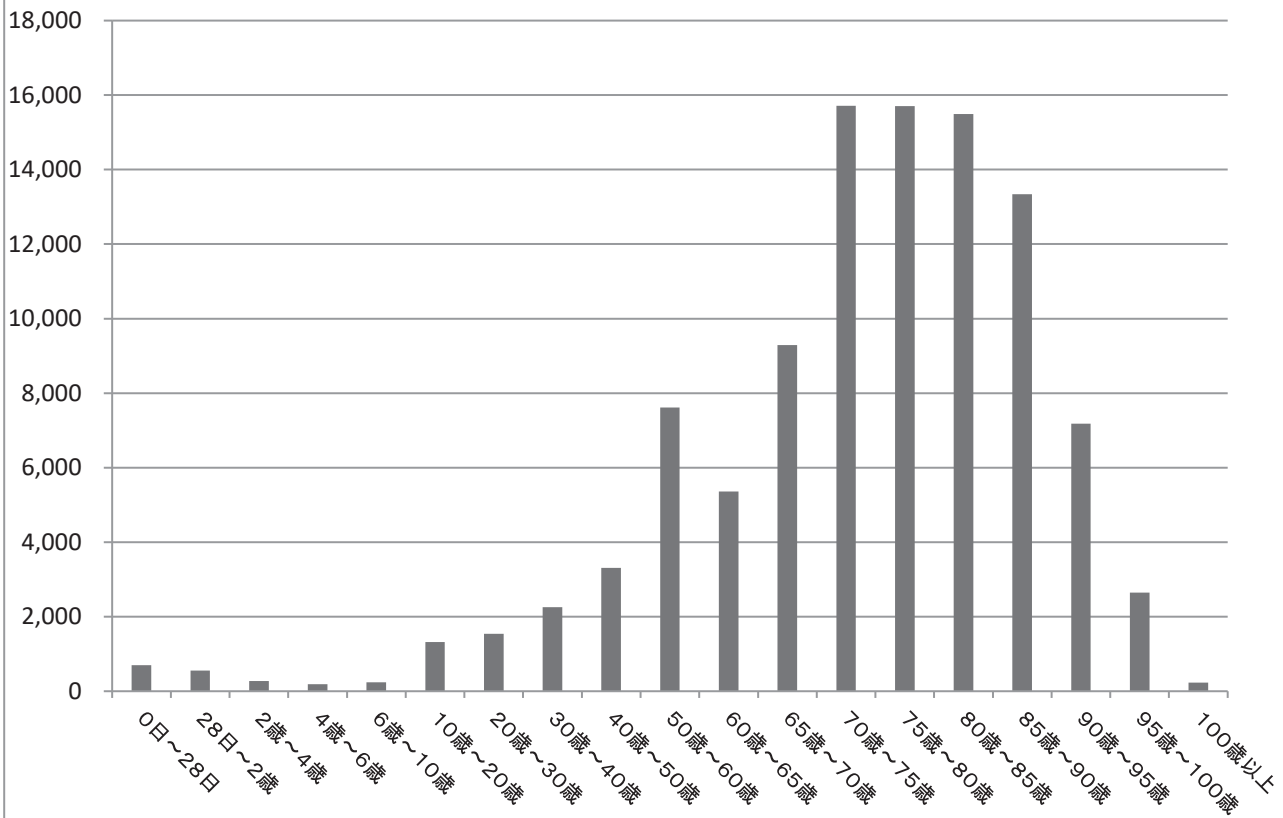
(10) 年齢別・性別・診療科別 延べ外来患者数

(単位:人)

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	ペイン	救急科	リハ	放治療科	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	189	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	191
	女	1	0	0	0	208	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	211
	小計	1	0	0	0	397	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	402
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	981	1	13	27	19	17	0	21	29	0	0	0	1	0	0	5	1	1,115
	女	0	0	0	0	589	0	9	16	12	0	1	7	39	0	0	0	0	0	0	2	0	675
	小計	0	0	0	0	1,570	1	22	43	31	17	1	28	68	0	0	0	1	0	0	7	1	1,790
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	528	1	26	47	19	9	0	10	18	0	0	1	0	0	0	4	1	664
	女	0	0	0	0	385	2	30	18	17	0	0	10	19	0	0	0	0	0	0	3	3	487
	小計	0	0	0	0	913	3	56	65	36	9	0	20	37	0	0	1	0	0	0	7	4	1,151
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	412	2	50	24	7	17	0	32	4	0	0	1	0	0	0	2	0	551
	女	0	0	0	0	354	1	19	11	3	0	0	26	8	0	0	0	0	0	0	1	0	423
	小計	0	0	0	0	766	3	69	35	10	17	0	58	12	0	0	1	0	0	0	3	0	974
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	853	3	105	39	19	21	0	22	9	0	0	1	0	0	0	11	1	1,084
	女	0	0	0	0	663	4	33	12	13	0	0	14	6	0	0	1	0	0	0	3	0	749
	小計	0	0	0	0	1,516	7	138	51	32	21	0	36	15	0	0	2	0	0	0	14	1	1,833
10歳～20歳未満	男	260	6	20	0	1,377	60	436	94	52	53	15	58	29	1	0	13	7	1	0	49	5	2,536
	女	256	2	12	0	1,157	48	250	51	38	13	84	54	22	1	0	13	0	0	0	79	9	2,089
	小計	516	8	32	0	2,534	108	686	145	90	66	99	112	51	2	0	26	7	1	0	128	14	4,625
20歳～30歳未満	男	578	2	51	0	33	52	384	66	48	35	0	33	20	1	0	8	1	0	0	145	7	1,464
	女	847	14	22	0	19	97	135	76	54	24	668	57	40	4	0	15	3	0	0	217	21	2,313
	小計	1,425	16	73	0	52	149	519	142	102	59	668	90	60	5	0	23	4	0	0	362	28	3,777
30歳～40歳未満	男	950	24	66	0	4	121	420	110	57	115	0	58	48	2	6	10	3	0	0	190	14	2,198
	女	1,133	9	17	0	0	206	164	76	44	28	1,020	45	23	4	0	8	0	28	0	229	21	3,055
	小計	2,083	33	83	0	4	327	584	186	101	143	1,020	103	71	6	6	18	3	28	0	419	35	5,253
40歳～50歳未満	男	2,333	25	74	0	0	275	792	236	183	169	0	205	74	11	11	14	8	12	0	185	36	4,643
	女	2,390	19	85	0	2	670	631	201	131	92	1,459	164	93	20	6	16	0	187	0	259	36	6,461
	小計	4,723	44	159	0	2	945	1,423	437	314	261	1,459	369	167	31	17	30	8	199	0	444	72	11,104
50歳～60歳未満	男	4,280	13	137	0	8	723	1,265	406	232	482	2	406	165	24	30	23	22	141	0	381	20	8,760
	女	4,412	66	159	0	0	1,215	1,185	251	256	245	1,324	388	178	38	7	19	4	73	0	285	43	10,148
	小計	8,692	79	296	0	8	1,938	2,450	657	488	727	1,326	794	343	62	37	42	26	214	0	666	63	18,908
60歳～65歳未満	男	2,788	10	87	0	0	461	569	216	162	582	8	224	110	11	30	6	3	33	0	217	17	5,534
	女	2,524	30	71	0	6	878	774	156	179	126	325	307	94	29	8	7	5	98	0	157	19	5,793
	小計	5,312	40	158	0	6	1,339	1,343	372	341	708	333	531	204	40	38	13	8	131	0	374	36	11,327
65歳～70歳未満	男	6,236	11	134	0	0	958	722	362	267	1,058	0	497	166	41	26	14	5	208	0	330	46	11,081
	女	3,200	18	93	0	0	1,163	823	266	181	187	389	461	147	30	21	7	12	139	0	351	18	7,506
	小計	9,436	29	227	0	0	2,121	1,545	628	448	1,245	389	958	313	71	47	21	17	347	0	681	64	18,587
70歳～75歳未満	男	8,708	34	207	0	0	1,558	986	422	441	2,149	5	673	250	38	127	20	24	226	0	431	38	16,337
	女	5,764	41	192	0	0	1,400	1,531	268	301	284	433	680	212	40	18	16	32	213	0	362	16	11,803
	小計	14,472	75	399	0	0	2,958	2,517	690	742	2,433	438	1,353	462	78	145	36	56	439	0	793	54	28,140
75歳～80歳未満	男	6,924	26	225	0	0	1,511	907	390	490	1,971	0	684	168	42	66	13	18	175	0	445	21	14,076
	女	4,011	27	167	0	0	1,176	1,067	326	287	298	357	607	199	42	70	15	10	167	0	289	26	9,141
	小計	10,935	53	392	0	0	2,687	1,974	716	777	2,269	357	1,291	367	84	136	28	28	342	0	734	47	23,217
80歳～85歳未満	男	5,134	28	181	0	0	990	553	297	377	1,527	0	483	106	34	83	24	22	135	0	313	35	10,322
	女	3,506	14	160	0	0	767	1,021	249	232	227	185	460	143	22	43	27	28	79	0	221	30	7,414
	小計	8,640	42	341	0	0	1,757	1,574	546	609	1,754	185	943	249	56	126	51	50	214	0	534	65	17,736
85歳～90歳未満	男	2,253	13	117	0	0	334	290	162	242	890	0	138	70	21	41	25	6	77	0	90	13	4,782
	女	2,205	34	138	0	0	486	628	187	248	153	111	363	77	17	18	16	12	67	0	191	8	4,959
	小計	4,458	47	255	0	0	820	918	349	490	1,043	111	501	147	38	59	41	18	144	0	281	21	9,741
90歳～95歳未満	男	862	5	29	0	0	130	131	71	89	415	0	48	31	1	1	11	4	75	0	34	10	1,947
	女	988	9	16	0	0	156	287	103	119	54	28	111	19	4	28	14	19	22	0	33	7	2,017
	小計	1,850	14	45	0	0	286	418	174	208	469	28	159	50	5	29	25	23	97	0	67	17	3,964
95歳～100歳未満	男	144	0	7	0	0	18	35	8	22	42	0	6	0	0	0	4	1	0	0	3	4	294
	女	232	0	5	0	0	34	49	32	32	38	3	24	3	2	8	5	0	0	0	10	5	482
	小計	376	0	12	0	0	52	84	40	54	80	3	30	3	2	8	9	1	0	0	13	9	776
100歳以上	男	0	0	0	0	0	9	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	女	34	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	46
	小計	34	0	0	0	0	9	7	0	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	66
男計	41,450	197	1,335	0	4,385	7,207	7,685	2,977	2,726	9,563	30	3,598	1,297	227	421	188	125	1,083	0	2,836	269	87,599	
女計	31,503	283	1,137	0	3,383	8,303	8,643	2,299	2,151	1,769	6,387	3,778	1,323	253	227	179	125	1,073	0	2,694	262	75,772	
合計	72,953	480	2,472	0	7,768	15,510	16,328	5,276	4,877	11,332	6,417	7,376	2,620	480	648	367	250	2,156	0	5,530	531	163,371	

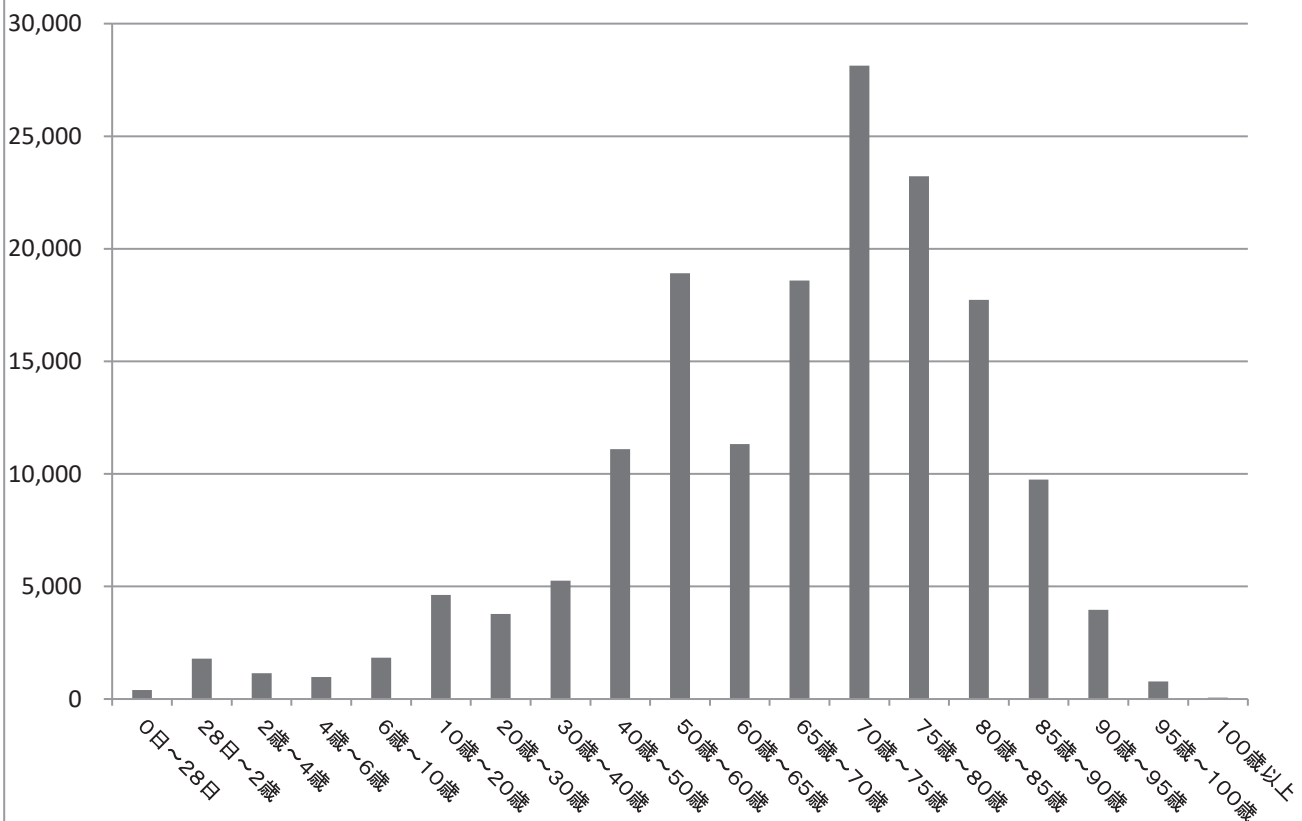
入院 年齢別構成

(単位：人)



外来 年齢別構成

(単位：人)



(11) 病棟別病床利用率

(単位：%)

病棟別	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北2階	48	75.4	74.6	75.7	72.9	71.6	71.6	62.4	66.8	72.3	74.9	68.0	69.2	71.3
北4階	38	68.7	64.2	60.6	68.1	63.6	58.0	59.4	59.7	51.8	57.2	46.4	49.8	59.0
北5階	46	81.7	82.1	83.0	89.8	84.6	83.0	83.9	84.3	80.0	83.7	76.4	83.1	83.0
北6階	47	91.9	87.2	91.2	88.9	71.8	91.3	93.2	87.8	81.2	93.3	85.1	83.6	87.2
南3階 HCU	24	54.0	51.1	52.6	58.7	47.0	51.8	55.5	61.4	61.7	63.0	51.0	52.8	55.1
南4階	47	89.4	86.0	91.3	87.9	83.5	85.2	96.3	86.2	84.4	83.0	86.6	92.9	87.7
南5階	47	87.6	92.9	83.3	85.5	89.7	90.8	91.4	77.5	87.4	83.3	92.7	87.2	87.4
南6階	46	76.0	71.6	80.7	86.2	83.5	77.1	75.8	70.4	61.4	59.5	56.8	63.6	72.0
南7階	47	27.7	26.9	34.3	52.0	43.7	27.0	22.4	43.6	45.0	29.6	47.8	49.8	37.4
感染症	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	394	72.9	71.3	73.2	77.1	71.8	71.3	71.5	70.9	69.6	69.7	68.7	71.0	71.6

*人間ドック5床を除く

(12) 平均在院日数

*DPC

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13.7	13.9	12.5	13.7	13.8	13.3	13.6	13.5	11.5	13.8	11.0	12.2	13.0
小児科	5.1	5.4	5.3	7.5	7.8	8.6	6.4	7.5	6.8	6.5	8.2	5.6	6.7
外科	8.3	9.0	9.1	10.2	9.8	8.8	8.7	8.5	8.9	8.9	9.2	9.1	9.1
整形外科	11.9	11.7	9.6	8.8	9.0	13.5	12.3	14.1	14.5	15.4	12.4	10.8	11.9
産婦人科	14.7	11.5	10.7	9.8	7.0	6.6	7.3	6.7	10.1	7.0	5.2	6.8	8.9
脳神経外科	13.9	14.5	13.0	11.9	11.5	12.6	11.9	10.7	11.2	13.4	12.2	12.6	12.4
眼科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
泌尿器科	6.4	6.4	5.3	6.7	7.2	7.5	5.5	5.3	4.9	6.2	5.4	7.2	6.1
皮膚科	0.0	0.0	9.0	8.0	0.0	0.0	26.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3
歯科口腔外科	5.0	4.1	4.6	2.2	1.9	2.6	4.1	3.3	6.2	6.4	3.8	2.4	3.7
全科合計	12.0	11.7	11.0	11.5	11.3	11.8	11.5	11.3	10.8	12.2	10.6	10.9	11.4

*包括ケア

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	11.5	17.6	10.2	12.1	9.2	11.4	10.7	10.8	9.0	9.1	10.8	13.1	10.9
小児科	7.2	7.0	3.3	4.0	5.1	4.7	4.0	5.0	5.8	4.0	0.0	0.0	5.1
外科	1.0	0.0	4.7	7.0	5.0	0.0	0.0	0.0	18.0	4.0	17.2	5.2	7.4
整形外科	12.0	0.0	11.6	11.4	0.0	0.0	0.0	1.0	6.4	9.4	9.5	7.9	9.3
産婦人科	7.6	5.1	10.0	6.3	6.8	5.3	4.7	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0	6.5
脳神経外科	22.0	2.0	20.0	2.0	10.0	6.7	12.0	5.6	6.2	10.5	5.3	14.0	8.8
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0
皮膚科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全科	9.9	13.5	9.8	10.2	8.7	9.4	10.4	10.3	8.9	8.9	10.8	12.2	10.1

*回復期リハ

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	30.0	44.0	0.0	0.0	38.0
外科	0.0	2.0	30.0	31.0	28.0	30.0	20.0	0.0	26.0	31.0	24.0	0.0	35.7
整形外科	35.3	57.8	41.8	40.5	54.3	41.4	53.0	57.0	33.8	65.2	35.5	85.0	45.9
脳神経外科	57.2	76.5	67.0	56.7	52.1	63.5	56.6	63.5	72.5	58.0	58.5	46.4	59.6
全科	48.9	68.6	59.6	53.4	49.2	60.4	53.1	61.2	55.8	60.3	52.2	50.3	55.6

*平均在院日数の計算式 (24時入院患者数) ÷ ((新入院患者数+新退院患者数) ÷ 2)

*平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

*基準別患者数

(単位：人)

月別 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
D P C	6,930	6,988	6,863	7,403	6,860	6,805	7,301	6,682	6,665	6,853	5,935	6,782	82,067
包括ケア	391	392	457	755	628	381	321	615	657	426	629	725	6,377
回復期リハ	1,026	1,064	1,073	1,068	1,057	997	849	887	1,061	1,115	914	1,006	12,117
合計	8,347	8,444	8,393	9,226	8,545	8,183	8,471	8,184	8,383	8,394	7,478	8,513	100,561

2. 診療請求の現況

(1) 診療科別請求額

(単位:千円、%)

区分	診療科	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	2,948,498	3,124,959	106.0	3,199,720	102.4
	小児科	121,191	148,468	122.5	147,977	99.7
	外科	1,108,684	1,016,073	91.6	1,115,902	109.8
	整形外科	702,860	820,737	116.8	772,764	94.2
	脳神経外科	899,909	971,447	107.9	1,027,510	105.8
	皮膚科	5,579	8,434	151.2	1,536	18.2
	泌尿器科	198,039	205,435	103.7	210,096	102.3
	産婦人科	206,997	250,235	120.9	241,137	96.4
	眼科	26,032	32,291	124.0	34,014	105.3
	救急科	0	208	-	0	0.0
	リハビリ科	0	0	-	0	-
	歯科口腔外科	23,941	36,200	151.2	38,575	106.6
	全科	6,241,729	6,614,489	106.0	6,789,231	102.6
	外来	内科	1,967,124	2,227,472	113.2	2,372,197
心療内科		685	1,161	169.5	1,583	136.3
小児科		51,326	82,434	160.6	96,067	116.5
外科		508,948	485,639	95.4	546,490	112.5
整形外科		105,372	136,774	129.8	144,959	106.0
脳神経外科		67,688	67,543	99.8	81,898	121.3
皮膚科		14,311	15,937	111.4	14,746	92.5
泌尿器科		197,258	178,261	90.4	185,794	104.2
産婦人科		64,189	62,473	97.3	53,024	84.9
眼科		69,900	79,701	114.0	81,948	102.8
耳鼻咽喉科		15,461	17,719	114.6	19,604	110.6
放射線診断科		9189.0	16,778	182.6	21,208	126.4
ペイン		2,397	2,630	109.7	2,322	88.3
救急科		0.0	5,287	-	11,609	219.6
リハビリ科		332.0	267	80.4	122	45.7
放射線治療科		46,994	39,124	83.3	48,772	124.7
歯科口腔外科		30482.0	33,683	110.5	40,375	119.9
形成外科	3225.0	4,465	138.4	4,884	109.4	
全科	3,154,882	3,457,348	109.6	3,727,602	107.8	
合計	内科	4,915,622	5,352,432	108.9	5,571,918	104.1
	心療内科	685	1,161	169.5	1,583	136.3
	小児科	172,517	230,902	133.8	244,044	105.7
	外科	1,617,632	1,501,712	92.8	1,662,393	110.7
	整形外科	808,232	957,511	118.5	917,723	95.8
	脳神経外科	967,598	1,038,991	107.4	1,109,408	106.8
	皮膚科	19,890	24,371	122.5	16,283	66.8
	泌尿器科	395,297	383,696	97.1	395,890	103.2
	産婦人科	271,186	312,709	115.3	294,162	94.1
	眼科	95,932	111,992	116.7	115,963	103.5
	耳鼻咽喉科	15,461	17,719	114.6	19,604	110.6
	放射線診断科	9189.0	16,778	182.6	21,208	126.4
	ペイン	2,397	2,630	109.7	2,322	88.3
	救急科	0.0	5,495	-	11,609	211.3
	リハビリ科	332.0	267	80.4	122	45.7
	放射線治療科	46,994	39,124	83.3	48,772	124.7
	歯科口腔外科	54423.0	69,883	128.4	78,951	113.0
	形成外科	3225.0	4,465	138.4	4,884	109.4
	全科	9,396,611	10,071,838	107.2	10,516,839	104.4

(2) 診療報酬請求状況

(単位:件、点、%)

	診療科	入院					外来				
		令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和2年度	令和3年度		令和4年度	
			前年比		前年比			前年比			
請求件数	内科	4,929	4,983	101.1	4,966	99.7	50,834	53,168	104.6	52,987	99.7
	精神科	0	0	—	0	—	258	330	127.9	323	97.9
	小児科	378	490	129.6	490	100.0	5,538	6,262	113.1	6,361	101.6
	外科	1,805	1,662	92.1	1,772	106.6	10,249	10,281	100.3	10,505	102.2
	整形外科	1,109	1,184	106.8	1,159	97.9	8,230	9,377	113.9	10,441	111.3
	脳神経外科	1,088	1,137	104.5	1,189	104.6	4,437	4,358	98.2	4,423	101.5
	皮膚科	10	15	—	4	26.7	3,919	4,056	103.5	4,001	98.6
	泌尿器科	520	561	107.9	567	101.1	9,038	9,152	101.3	9,508	103.9
	産婦人科	454	542	119.4	492	90.8	4,782	4,996	104.5	4,825	96.6
	眼科	83	99	119.3	104	105.1	6,122	6,315	103.2	6,657	105.4
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	1,993	2,128	106.8	2,361	110.9
	放射線診断科	0	0	—	0	—	356	440	123.6	478	108.6
	ペイン	0	0	—	0	—	358	394	110.1	359	91.1
	救急科	0	0	—	0	—	0	212	—	365	—
	リハビリ科	0	0	—	0	—	178	173	97.2	240	138.7
	放射線治療科	0	0	—	0	—	374	293	78.3	366	124.9
	歯科口腔外科	79	141	178.5	124	87.9	3,305	3,898	117.9	3,527	90.5
	形成外科	0	0	—	0	—	278	396	142.4	436	110.1
全科	10,455	10,814	103.4	10,867	100.5	110,249	116,229	105.4	118,163	101.7	
1人1日当たり診療点数	内科	5,495	5,765	104.9	5,943	103.1	2,698	2,955	109.5	3,145	106.4
	精神科	0	0	—	0	—	144	194	134.7	330	170.1
	小児科	5,018	4,750	94.7	4,887	102.9	740	1,090	147.3	1,237	113.5
	外科	7,163	7,457	104.1	7,438	99.7	3,411	3,209	94.1	3,524	109.8
	整形外科	5,824	6,135	105.3	5,995	97.7	799	895	112.0	888	99.2
	脳神経外科	5,816	5,638	96.9	5,677	100.7	1,315	1,309	99.5	1,552	118.6
	皮膚科	3,576	3,360	94.0	4,153	123.6	300	317	105.7	302	95.4
	泌尿器科	5,571	5,671	101.8	5,907	104.2	1,845	1,633	88.5	1,640	100.4
	産婦人科	6,782	6,209	91.6	6,719	108.2	988	929	94.0	826	88.9
	眼科	10,090	10,090	100.0	10,563	104.7	1,027	1,124	109.4	1,111	98.8
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	702	746	106.3	748	100.3
	放射線診断科	0	0	—	0	—	2,581	3,745	145.1	4,418	118.0
	ペイン	0	0	—	0	—	344	353	102.6	358	101.5
	救急科	0	0	—	0	—	0	2,425	—	3,163	130.4
	リハビリ科	0	0	—	0	—	158	139	88.0	49	35.3
	放射線治療科	0	0	—	0	—	2,457	2,542	103.5	2,262	89.0
	歯科口腔外科	7,255	7,284	100.4	7,334	100.7	506	516	102.0	730	141.5
	形成外科	0	0	—	0	—	946	869	91.9	920	105.8
全科	5,864	5,998	102.3	6,123	102.1	2,048	2,142	104.6	2,282	106.5	

(3) 診療行為別請求額

(単位:千円、%)

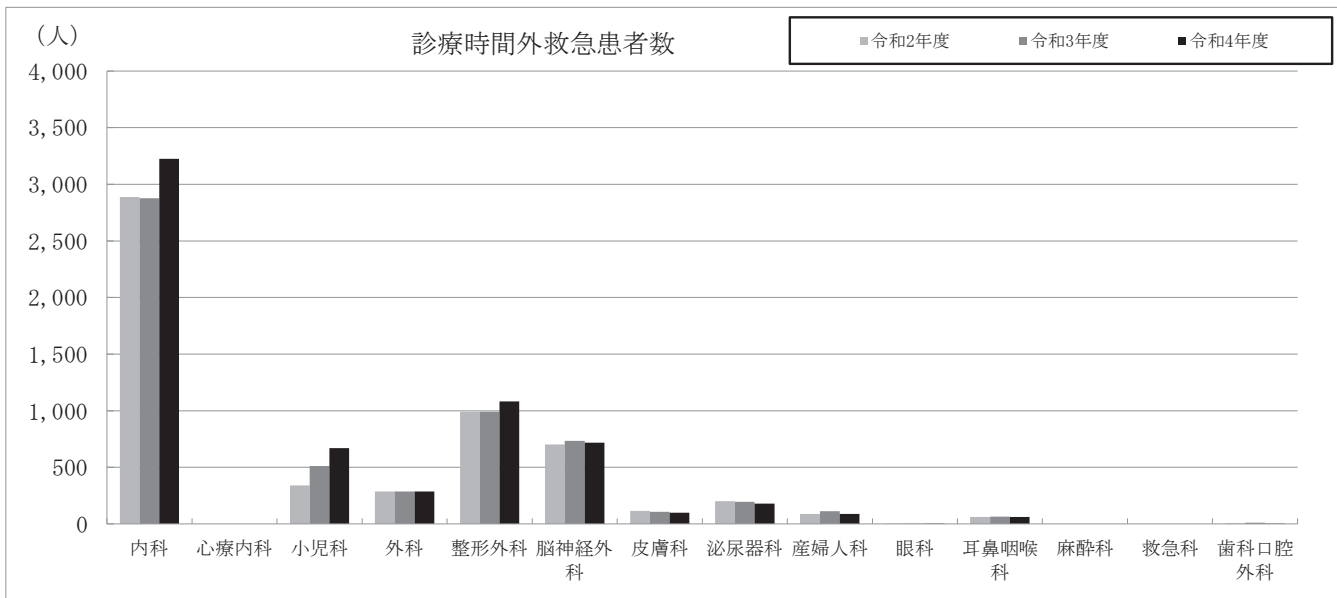
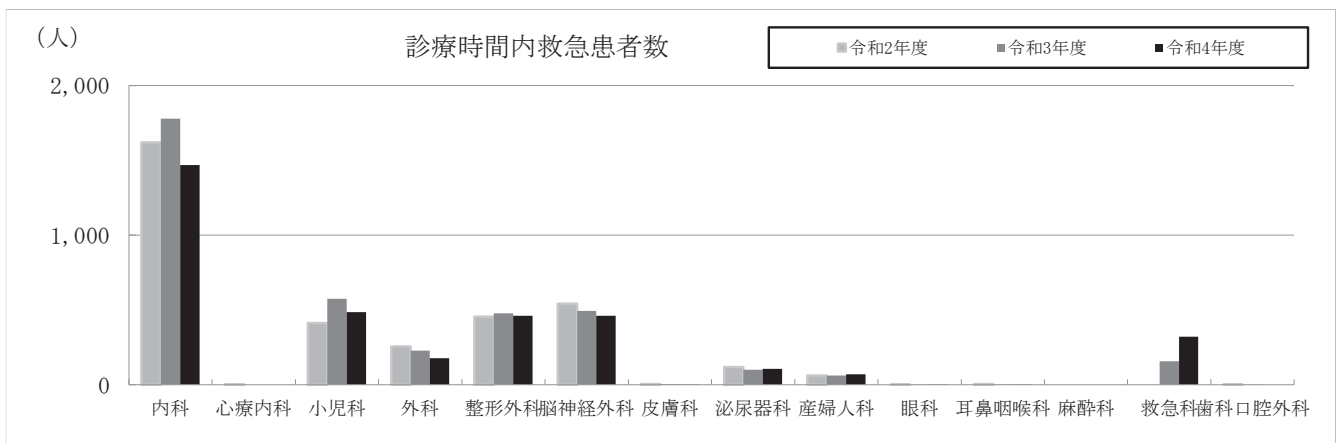
診療行為別	入院					外来				
	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和2年度	令和3年度		令和4年度	
		前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
初診料	11,720	11,727	100.1	11,621	99.1	33,576	36,162	107.7	35,333	97.7
再診料	0	0	-	0	-	93,749	101,937	108.7	97,260	95.4
入院料	471,389	498,560	105.8	540,381	108.4	0	0	-	0	-
指導料	69,851	74,430	106.6	77,663	104.3	131,876	138,360	104.9	161,981	117.1
在宅療養料	15,422	14,648	95.0	14,253	97.3	249,725	306,763	122.8	333,317	108.7
投薬料	45,970	50,142	109.1	37,920	75.6	182,339	180,615	99.1	192,741	106.7
注射料	72,811	92,300	126.8	76,960	83.4	947,174	1,073,894	113.4	1,226,933	114.3
処置料	32,649	38,712	118.6	36,965	95.5	330,738	333,306	100.8	320,518	96.2
手術輸血料	1,045,624	1,133,019	108.4	1,108,441	97.8	99,277	111,736	112.5	121,469	108.7
麻酔料	129,150	143,721	111.3	146,734	102.1	1,936	2,238	115.6	2,187	97.7
検査料	59,894	77,726	129.8	108,543	139.6	620,425	679,332	109.5	709,008	104.4
画像診断料	6,615	8,601	130.0	9,033	105.0	355,669	384,665	108.2	409,409	106.4
理学療法料	239,957	256,529	106.9	246,245	96.0	15,091	19,643	130.2	19,418	98.9
処方箋料	0	0	-	0	-	49,841	51,533	103.4	52,235	101.4
その他	537	40	7.4	22	55.0	43,466	37,163	85.5	45,796	123.2
食事料	126,342	131,843	104.4	133,355	101.1	0	0	-	0	-
分娩介補料	37,898	37,726	99.5	38,102	101.0	0	0	-	0	-
DPC包括額	3,181,440	3,169,541	99.6	3,331,096	105.1	0	0	-	0	-
包括ケア病棟	248,028	366,313	147.7	380,423	103.9	0	0	-	0	-
回復期リハ病棟	446,431	508,911	114.0	491,471	96.6	0	0	-	0	-
合計	6,241,729	6,614,489	106.0	6,789,235	102.6	3,154,882	3,457,348	109.6	3,727,611	107.8

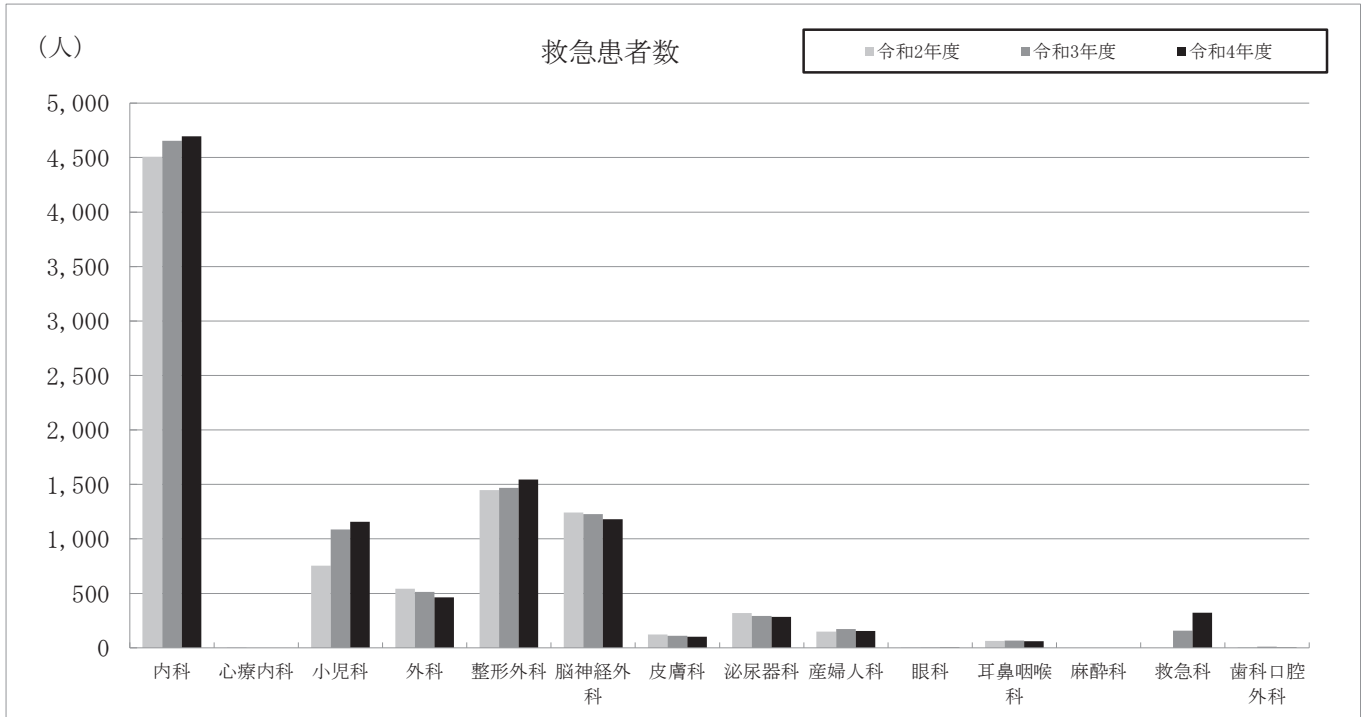
3. 救急患者の状況

(1) 救急患者数

(単位:人)

	内科	心療内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	歯科口腔外科	合計
令和2年度	4,507	2	754	542	1,448	1,243	121	319	150	2	65	0	0	5	9,158
時間内	1,620	2	413	257	456	542	5	119	62	1	5	0	0	1	3,483
時間外	2,887	0	341	285	992	701	116	200	88	1	60	0	0	4	5,675
令和3年度	4,655	0	1,087	514	1,468	1,228	112	294	173	3	66	0	157	11	9,768
時間内	1,778	0	575	228	478	494	6	100	62	1	3	0	157	1	3,883
時間外	2,877	0	512	286	990	734	106	194	111	2	63	0	0	10	5,885
令和4年度	4,694	0	1,156	462	1,545	1,179	102	285	156	3	62	0	321	3	9,968
時間内	1,469	0	486	177	462	461	2	107	69	1	1	0	321	0	3,556
時間外	3,225	0	670	285	1,083	718	100	178	87	2	61	0	0	3	6,412

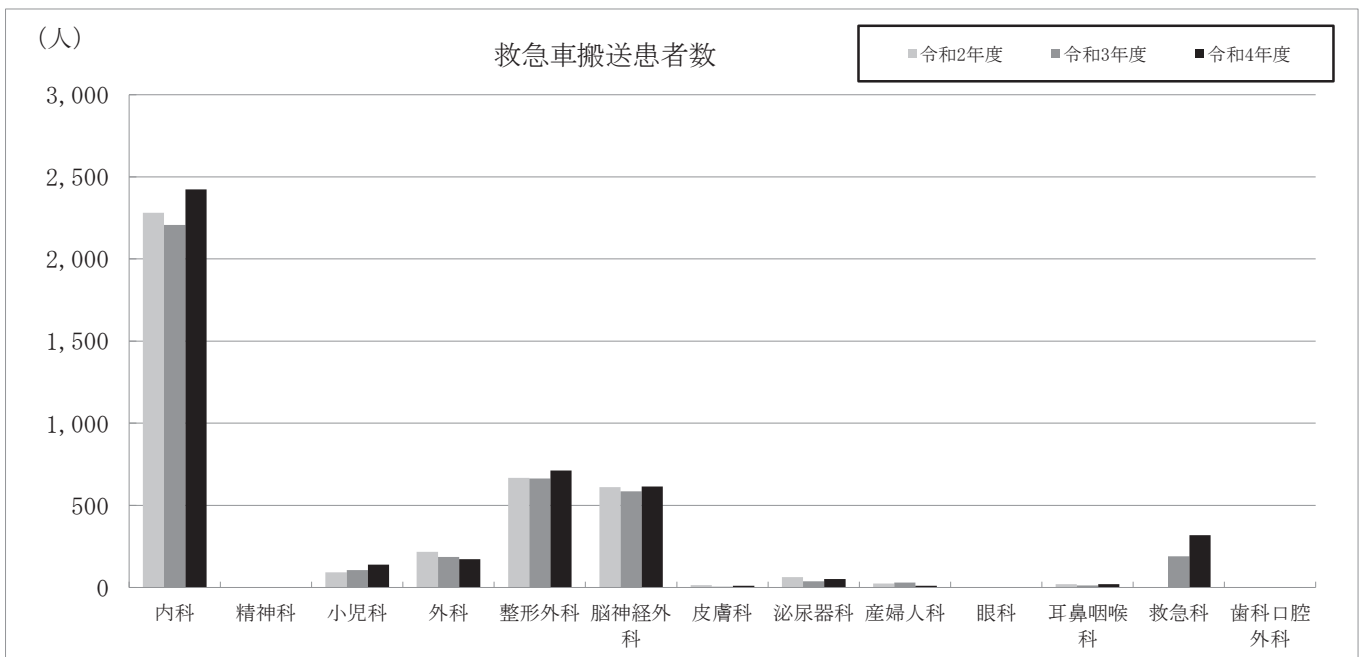




(2) 救急車搬送患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	救急科	歯科口腔外科	合計
令和2年度	2,282	0	93	217	667	610	15	63	25	0	20	0	0	3,992
令和3年度	2,207	0	106	185	663	585	4	38	29	0	12	189	2	4,020
令和4年度	2,424	0	140	172	712	614	10	52	11	0	21	318	1	4,475



4. 分娩件数

(単位:件)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
分娩件数	単胎	200	198	208
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	200	198	208
児体数	生産	199	198	206
	死産23W以前	1	0	1
	死産23W以後	0	0	1
	計	200	198	208

5. 剖検数

(単位:件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡件数	538	544	578
剖検数	4	3	7
剖検率(%)	0.74	0.55	1.21

6. 内視鏡件数

(単位:件)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
検査	上部消化管検査	4,740	5,719	5,748
	下部消化管検査	1,430	1,466	1,492
	膵・胆管ファイバー	72	67	56
	胆道ファイバー	1	0	0
	気管支ファイバー	76	98	135
	膀胱鏡	483	531	679
	計	6,802	7,881	8,110
処置	静脈瘤結紮術	1	2	1
	ポリペクトミー上部・EMR	0	1	0
	ポリペクトミー下部・EMR	382	410	445
	超音波内視鏡	19	19	28
	止血術	91	139	109
	内視鏡的拡張術	18	15	7
	点墨・色素散布	128	129	177
	EST(内視鏡的乳頭括約筋切開術)	50	43	41
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	53	50	71
	PEG(内視鏡的胃瘻造設術)	14	13	8
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	22	13	14
	イレウス管挿入	25	41	18
	異物摘出術	15	6	8
	経肛門的減圧術	3	1	3
	留置スネア	16	7	21
	SBチューブ挿入	1	0	0
	内視鏡的粘膜下層剥離術	21	29	32
	ポリープ焼灼	0	0	0
	計	859	918	983

7. 循環器科

(単位:件)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
非 観 血 的 検 査	冠動脈CT	220	208	255	
	心筋シンチ	76	102	76	
	塩化タリウム	32	49	37	
	MIBG	24	19	14	
	MIBI	0	5	3	
	BMIPP	20	29	22	
観 血 的 検 査 ・ 治 療	冠動脈造影	357	369	407	
	うち アセチルコリン負荷試験	28	21	29	
	右心カテーテル	15	10	16	
	スワンガンツカテーテル	15	10	16	
	電気生理学的検査	0	0	0	
	心筋生検	6	5	5	
	冠動脈カテーテル治療	191	220	212	
	うち待機	112	119	118	
	うち緊急	79	101	94	
	内 訳	バルーンのみ	44	36	48
		ステント併用	147	184	164
		冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
		血栓吸引術併用	50	60	57
		大動脈内バルーンパンピング併用	7	17	8
	末梢血管形成術	97	106	105	
	下肢動脈	17	24	21	
	シャント血管	80	82	84	
	下大静脈フィルター	0	1	0	
	一時的ペースメーキング	43	34	41	
	ペースメーカー	50	60	50	
	新規植込み	34	47	33	
	電池消耗による交換	16	13	17	

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

(単位:件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全身麻酔	1,091	1,213	1,250
腰椎麻酔	364	400	390
伝達麻酔	85	104	49
静脈内麻酔	12	6	9
局所麻酔	454	517	557
無麻酔	84	100	87
硬膜外麻酔	88	100	93
その他	3	1	3
合計	2,181	2,441	2,438

(2) 手術別件数

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	55	74	74
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	1	1	1
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	14	21	17
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	3	0	1
創傷処理（長径20cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	0	0	2
創傷処理（長径10cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	11	8	8
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	355	352	368
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	0	2	4
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉・臓器に達しないもの）	36	32	46
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	3	1	1
創傷処理（長径10cm以上・筋肉・臓器に達しないもの）	5	7	8
小児創傷処理（長径2.5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	3	5	9
小児創傷処理（長径2.5cm以上、5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	1	1	4
小児創傷処理（直径2.5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	23	19	11
小児創傷処理（直径2.5cm以上5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	5	3	5
小児創傷処理（直径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	0	1	0
皮膚切開（長径10cm未満）	31	36	35
皮膚切開（長径10cm以上20cm未満）	1	3	2
皮膚切開（長径20cm以上）	0	1	1
デブリードマン（1000cm ² 未満）	0	0	2
デブリードマン（3000cm ² 未満）	0	0	1
皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術（露出部）（長径3cm未満）	1	1	0
皮膚血管腫瘍摘出術（露出部）（直径3cm未満）	1	1	3
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	7	6	8
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	27	31	33
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	4	2	3
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	7	18	17
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	1	1	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	0	2	1
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	6	7	4
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	16	12	10
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	3	0	0
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	6	8	11
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	2	0	2
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	0	0	1
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（12cm以上）	0	1	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	9	10	15
形 成			
瘢痕拘縮形成手術（顔面）	0	0	1
分層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	0	0	1
全層植皮術（25cm ² 未満）	2	0	1
全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	0	1	3
全層植皮術（200cm ² 以上）	0	1	0
皮弁作成・移動・切断（25cm ² 未満）	6	3	2
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術（指）	0	0	16
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	25	47	65
筋肉内異物摘出術	4	1	1

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（軀幹）	2	0	0
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（肩）	1	0	0
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（上腕）	0	0	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（前腕）	1	0	0
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（手）	2	1	3
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍摘出術（大腿）	0	0	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（足）	0	1	0
筋膜移植術（その他）	0	0	1
腱剥離術（指）	2	0	0
腱剥離術	0	0	1
腱滑膜切除術	2	0	0
腱縫合術（指）	3	5	11
腱縫合術（切創等の創傷により）	0	2	2
腱縫合術	22	24	9
アキレス腱断裂手術	6	4	7
腱移植術（指（手，足））	0	2	2
腱移植術（その他）	0	1	0
腱移行術（指（手，足））	0	1	1
腱移行術（その他）	1	2	0
四 肢 骨			
骨搔爬術（前腕）	0	1	0
骨搔爬術（下腿）	0	1	0
骨搔爬術（手）	1	1	0
骨折非観血的整復術（大腿）	0	0	2
骨折非観血的整復術（上腕）	5	9	3
骨折非観血的整復術（前腕）	32	48	57
骨折非観血的整復術（下腿）	11	5	5
骨折非観血的整復術（鎖骨）	2	1	2
骨折非観血的整復術（手）	17	9	14
骨折非観血的整復術（指1本）	1	1	0
骨折非観血的整復術（指3本）	0	1	0
骨折非観血整復術（足，その他）	11	5	5
骨折経皮的鋼線刺入固定術（大腿）	0	0	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	1	4	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	5	9	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	0	1	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手・足））	19	20	7
骨折観血的手術（大腿）	99	93	111
骨折観血的手術（上腕）	21	25	22
骨折観血的手術（下腿）	49	36	37
骨折観血的手術（前腕）	73	61	65
骨折観血的手術（手舟状骨）	8	2	4
骨折観血的手術（足）	2	5	2
骨折観血的手術（指（手，足））	17	22	16
骨折観血的手術（鎖骨）	6	13	13
骨折観血的手術（膝蓋骨）	4	6	5
骨折観血的手術（手（舟状骨を除く））	0	0	0
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	3	5	3
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	0	1	0
一時的創外固定骨折治療術	7	10	8
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	9	13	9

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
超音波骨折治療法（一連につき）	11	22	10
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	8	5	7
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	4	0	4
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	38	42	26
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	14	22	17
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	2	5	8
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	2	0	2
骨内異物（挿入物）除去術（手）	8	10	5
骨内異物（挿入物）除去術（足）	0	1	1
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	19	14	9
骨部分切除術（上腕）	1	0	0
骨部分切除術（手）	0	1	0
骨部分切除術（鎖骨）	1	0	0
骨腫瘍切除術（指）	0	0	0
骨腫瘍切除術（下腿）	0	1	0
骨腫瘍切除術（大腿）	0	0	1
骨切り術（前腕）	0	0	0
骨切り術（指（手，足））	0	28	9
偽関節手術（下腿）	1	1	0
偽関節手術（手舟状骨）	0	3	0
偽関節手術（前腕）	1	0	0
偽関節手術（指（手，足））	1	0	0
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	1	9	1
骨移植術（軟骨移植を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	0	0	1
四肢関節・靭帯			
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	0	0	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	1	0	0
関節脱臼非観血的整復術（肩）	22	13	18
関節脱臼非観血的整復術（股）	3	5	2
関節脱臼非観血的整復術（膝）	1	1	0
関節脱臼非観血的整復術（肘）	2	3	1
関節脱臼非観血的整復術（手）	0	1	1
関節脱臼非観血的整復術（足）	0	1	4
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	12	26	20
関節脱臼非観血整復術（指（手，足））	4	6	8
関節脱臼非観血的整復術（肩鎖）	0	0	2
関節脱臼観血的整復術（肩）	0	0	1
関節脱臼観血的整復術（肘）	1	0	0
関節脱臼観血的整復術（足）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（指・手）	1	0	0
関節内異物（挿入物を含む）除去術（膝）	1	0	0
関節滑膜切除術（指・手）	1	1	0
関節滑膜切除術（膝）	0	0	1
関節滑膜切除術（肘）	0	0	1
関節鼠摘出手術（膝）	0	1	0
ガングリオン摘出術（手）	0	1	0
ガングリオン摘出術（指・手）	0	1	0
ガングリオン摘出術（足）	0	0	1
ガングリオン摘出術（指・足）	0	0	1
関節内骨折観血的手術（膝）	7	12	1
関節内骨折観血的手術（肘）	7	11	7

手 術 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
関節内骨折観血の手術（手）	0	0	2
関節内骨折観血の手術（足）	1	12	6
関節内骨折観血の手術（指・手）	5	0	3
靭帯断裂縫合術（指（手，足）	1	2	1
靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）	4	11	5
観血的関節授動術（膝）	0	0	1
観血的関節固定術（指・手）	1	4	4
観血的関節固定術（指・足）	0	1	0
靭帯断裂形成手術（その他の靭帯）	0	0	1
靭帯断裂形成手術（指（手，足））	0	0	1
関節形成手術（肘）	0	1	2
関節形成手術（手）	0	3	2
人工骨頭挿入術（股）	52	66	55
人工骨頭挿入術（肩）	1	1	0
人工骨頭挿入術（肘）	1	3	0
人工関節置換術（股）	0	3	9
人工関節置換術（肘）	0	2	1
人工関節置換術（指・手）	0	1	2
人工関節再置換術（肘）	0	1	0
鋼線等による直達牽引	4	1	3
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（手・指）	0	0	0
四肢切断術（手）	4	9	1
四肢切断術（足）	2	0	2
四肢切断術（下腿）	4	9	2
四肢切断術（大腿）	4	2	7
四肢関節離断術（股）	1	0	0
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	1	1	1
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	4	2	4
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	1	1	1
切断四肢再接合術（手・指）	2	0	0
手 ・ 足			
爪甲除去術	10	13	14
陥入爪手術（簡単なもの）	1	1	0
手根管開放手術	18	23	32
手掌異物摘出術	0	2	0
デュブイトレン拘縮手術（1指）	3	2	4
デュブイトレン拘縮手術（2指から3指）	1	3	0
母指対立再建術	2	2	2
第一足指外反症矯正手術	0	7	3
脊 柱 ・ 骨 盤			
腸骨窩膿瘍搔爬術	1	0	0
腸骨翼骨折観血の手術	0	1	0
寛骨臼骨折観血の手術	0	1	0
脊椎内異物（挿入物）除去術	0	1	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	0	5	0
経皮的椎体形成術	0	1	0
頭 蓋 ・ 脳			
穿頭脳室ドレナージ術	7	6	5
穿頭術（トレパナチオン）	4	0	1
脳膿瘍排膿術	2	0	0

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
試験開頭術	0	0	1
定位脳腫瘍生検術	0	0	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	0	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	5	6	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	7	12	6
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	48	50	63
内視鏡下脳内血腫除去術	1	3	4
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	5	4	6
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	0	0	3
水頭症手術（シャント手術）	11	8	5
髄液シャント抜去術	3	2	0
脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	13	4	7
脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）	1	1	0
脳血管内手術（1箇所）	14	14	0
脳血管内手術（2箇所以上）	1	0	0
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	5	2	1
経皮的脳血管形成術	1	4	4
経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術（頭蓋内脳血管の場合）	0	0	1
経皮的脳血栓回収術	30	40	41
後頭蓋窩減圧術	0	1	0
頭蓋骨悪性腫瘍手術	0	1	0
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	1	2	2
脊 髄 ・ 末梢神経 ・ 交感神経			
神経縫合術（指（手，足））	6	6	2
神経縫合術（その他）	2	6	0
神経剥離術（その他のもの）	8	11	6
神経腫切除術（指（手，足））（2個）	0	0	1
眼 瞼			
眼瞼膿瘍切開術	0	1	0
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	13	2	1
眼瞼下垂症手術（その他）	1	0	0
結 膜			
結膜結石除去術（少数のもの）（1眼瞼ごと）	4	3	5
結膜下異物除去術	1	1	0
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	1	0	1
角膜・強膜異物除去術	4	0	3
眼 房 ・ 網 膜			
虹彩光凝固術	8	2	11
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	15	19	27
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	28	39	10
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	129	158	163
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	0	2	0
後発白内障手術	22	34	31
外 耳			
外耳道異物除去術（単純なもの）	2	0	1
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	5	6	6
鼻骨骨折徒手整復術	1	0	1
上顎洞根治手術	2	0	3
咽 頭 ・ 扁 桃			

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
咽頭異物摘出術（簡単）	0	1	1
喉頭異物摘出術（直達鏡によらない）	1	0	0
喉 頭 ・ 気 管			
気管切開術	4	9	4
口 ・ 舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	2	2	4
頬粘膜悪性腫瘍手術	2	1	1
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	4	6	4
舌悪性腫瘍手術（切除）	2	2	1
口唇腫瘍摘出術（その他）	3	2	2
頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	3	1	0
顔面骨・顎関節			
下顎関節突起骨折観血の手術（片側）	0	0	1
顎関節脱臼非観血的整復術	3	0	4
顎骨腫瘍摘出術（長径3cm未満）	0	0	1
下顎骨部分切除術	1	0	0
下顎骨折観血の手術（片側）	0	1	0
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	1	0	1
上顎骨形成術（単純）	1	2	1
下顎骨形成術（短縮）	2	2	4
下顎骨形成術（伸長）	0	1	0
顎関節授動術（徒手の授道術）（パンピングを併用）	0	1	0
唾液腺			
顎下腺摘出術	0	1	0
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	2	0	0
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	7	3	7
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	1	0	1
パセドウ甲状腺亜全摘術（両葉）	1	0	0
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	1	1	4
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	1	0	1
副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（摘出術）	0	2	0
頸部郭清術（片側）	0	1	1
乳 腺			
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	12	10	14
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1	1	4
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	19	26	17
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	11	12	19
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	22	25	35
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	3	0	6
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	5	5	3
胸 壁			
肋骨骨折観血の手術	1	0	0
胸 腔 ・ 胸 膜			
胸腔鏡下試験開胸術	1	1	0
胸腔鏡下試験切除術	2	4	0
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	0	1	0
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	3	4	2
縦 隔			
縦隔腫瘍摘出術	0	1	0
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	1	1	0

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	4	0	1
気管支・肺			
気管支異物除去術（直達鏡による）	1	0	1
気管支瘻孔閉鎖術	0	5	2
肺切除術（複合切除・1肺葉を超えるもの）	0	0	1
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	11	13	12
胸腔鏡下肺切除術（部分切除）	0	2	2
胸腔鏡下肺切除術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	0	0	1
胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	1	0	0
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	0	2	1
胸腔鏡下縫縮術	0	2	6
肺悪性腫瘍手術（部分切除）	0	0	2
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	0	1	3
肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）	0	0	1
肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	1	1	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	10	12	14
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	0	6	0
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	24	35	14
食 道			
食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	3	0	0
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	4	7	2
食道ステント留置術	10	1	0
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	3	0	0
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	1	1	0
内視鏡的食道異物摘出術	0	1	0
心・心膜・肺動静脈・冠血管等			
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	3	14	5
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	3	3	9
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	40	33	33
経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）	0	2	2
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	31	22	32
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	18	35	31
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	96	113	99
経皮的冠動脈血栓吸引術	2	0	1
体外ペースメーカー術	0	2	3
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	34	47	31
ペースメーカー交換術	15	13	19
植込型心電図記録計移植術	0	2	1
大動脈バルーンパンピング（初日）	5	16	7
大動脈バルーン法（2日目以降）	37	53	20
経皮的心肺補助法（初日）	1	1	2
動 脈			
血管結紮術（その他）	0	1	2
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	0	1	1
経皮的頸動脈ステント留置術	12	20	10
動脈吻合術（指（手、足）の動脈）	1	1	1
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	1	1	0
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	58	61	76
末梢動脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純なもの）	30	57	34
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	3	1	1
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	0	2	0

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	0	2	0
四肢の血管拡張術・血栓除去術	17	23	24
四肢の血管吻合術	0	1	0
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	79	81	80
経皮的血管内異物除去術	1	2	2
吸着式潰瘍治療法	0	0	63
静 脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	2	0	0
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	10	3	9
下大静脈フィルター留置術	0	1	0
リンパ管・リンパ節			
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	7	7	9
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	4	5	4
リンパ節群郭清術（腋窩）	0	1	1
リンパ節群郭清術（鼠径部）	0	0	1
腹 壁 ・ ヘルニア			
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	0	0	1
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要とする）	0	0	1
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2	1	4
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	0	0	0
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	2	0	0
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	52	35	78
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3	1	4
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア）	0	0	2
ヘルニア手術（内ヘルニア）	1	0	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1	1	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（臍ヘルニア）	0	3	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	1	4	2
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	34	69	50
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	27	13	4
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	4	4	3
腹腔鏡下試験開腹術	0	1	0
腹腔鏡下試験切除術	0	2	0
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	5	4	9
限局性腹腔膿瘍手術（その他）	0	1	0
急性汎発性腹膜炎手術	6	3	3
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1	0	0
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴わないもの）	0	1	0
腸間膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	0	1	0
大網切除術	0	1	2
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1	0	0
胃 ・ 十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	3	1	2
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	0	0	1
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	1	0	1
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）	18	21	31
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	6	5	3
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	0	0	5
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	13	5	7
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	2	1	1

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃局所切除術	0	1	0
内視鏡的消化管止血術	57	46	48
胃切除術（単純）	1	2	0
胃切除術（悪性腫瘍）	22	9	14
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	7	5	12
噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	1	0	2
胃全摘術（悪性腫瘍）	15	11	8
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	1	0	3
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	4	3	1
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	5	11	7
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	5	4	1
胃瘻除去術	0	1	0
胆嚢・胆道			
胆嚢摘出術	59	43	41
腹腔鏡下胆嚢摘出術	73	79	87
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	0	2	0
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除術及び血行再建を伴うもの）	1	0	0
総胆管胃（腸）吻合術	1	0	0
胆嚢外瘻造設術	2	0	0
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	1	8	0
経皮的胆管ドレナージ術	1	0	0
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	0	1	0
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	3	2	1
内視鏡的胆道拡張術	0	1	0
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	16	16	16
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石を伴う）	16	13	12
内視鏡的胆道ステント留置術	32	28	26
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	4	1	2
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	0	0	1
肝切除術（部分切除）	7	5	4
肝切除術（外側区域切除）	2	2	1
肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝による）	0	0	2
膵			
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術）（脾同時切除）	0	1	0
膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	1	0	1
内視鏡的膵管ステント留置術	1	0	0
脾			
腹腔鏡下脾摘出術	0	1	1
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
破裂腸管縫合術	0	1	0
腸管癒着症手術	8	7	12
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	0	1	3
腸重積症整復（非観血的なもの）	4	0	3
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	18	15	17
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	2	1	0
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	0	2	0
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	0	0	1
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	42	34	30
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	25	22	10
結腸切除術（小範囲切除）	16	16	18

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
結腸切除術（結腸半側切除）	3	2	1
結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	48	45	37
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	6	3	1
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	18	23	38
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	23	23	53
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	7	5	5
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	328	390	361
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	25	19	29
小腸結腸内視鏡的止血術	22	7	14
腸吻合術	3	1	2
人工肛門造設術	10	7	6
腹腔鏡下人工肛門造設術	0	2	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	0	0	1
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	8	5	2
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（直腸切除術後のもの）	0	0	1
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	0	2	0
下部消化管ステント留置術	6	6	2
人工肛門形成術（その他）	1	0	0
直 腸			
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	7	9	1
低浸襲経肛門の局所切除術（MITAS）	0	1	0
直腸切除・切断術（切除術）	10	6	13
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	2	3	6
直腸切除・切断術（切断術）	3	0	0
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	8	6	7
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	15	9	10
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	6	3	1
肛 門 ・ その周辺			
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）	1	0	0
肛門周囲膿瘍切開術	6	5	3
痔瘻根治手術（単純）	1	0	0
肛門ポリープ切除術	0	1	1
腎 ・ 腎 盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	1	0
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	0	1	0
副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍（褐色細胞腫））	0	1	0
経皮的尿路結石除去術（経皮的腎瘻造設術を含む）	2	0	0
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	23	13	17
腹腔鏡下腎嚢胞切除術	0	1	0
経皮的腎嚢胞穿刺術	1	0	0
腹腔鏡下腎摘出術	0	0	2
腎（尿管）悪性腫瘍手術	2	0	3
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	14	0	7
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	6	0	2
経皮的腎（腎盂）瘻拡張術（一連につき）	1	0	0
腎盂形成術	1	0	0
尿 管			
経尿道的尿路結石除去術（レーザーによるもの）	0	0	21
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	11	0	1
経尿道的尿管狭窄拡張術	0	0	1
経尿道的尿管ステント留置術	132	0	124

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経尿道の尿管ステント抜去術	13	0	17
尿管膀胱吻合術	2	0	2
膀胱			
膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	10	0	9
経尿道の電気凝固術	0	0	2
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	1	0	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	2	0	2
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	63	0	72
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	1	0	0
膀胱瘻造設術	0	0	1
尿道			
尿道結石、異物摘出術（前部尿道）	1	0	1
尿道結石、異物摘出術（後部尿道）	2	0	0
外尿道腫瘍切除術	3	0	0
尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	1	0	0
陰茎			
陰茎悪性腫瘍手術（陰茎切除）	1	0	0
包茎手術（環状切除術）	4	0	5
陰囊・精巣・精巣上部・精管・精索			
精巣摘出術	11	0	3
精巣悪性腫瘍手術	3	0	3
陰囊水腫手術（その他）	1	0	8
停留精巣固定術	1	0	1
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	1	0	3
精囊・前立腺			
前立腺腫瘍切開術	1	0	0
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	7	0	13
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	14	0	18
外陰・会陰			
女子外生殖器腫瘍摘出術	0	0	1
外陰・膣血腫除去術	0	0	1
膣			
癒合陰唇形成手術（筋層に及ばない）	0	0	1
膣壁尖圭コンジローム切除術	0	0	1
膣壁形成手術	1	0	1
子宮			
子宮脱手術（膣壁形成手術・子宮全摘術）	9	0	6
子宮頸管ポリープ切除術	30	0	16
子宮頸部（膣部）切除術	14	0	21
子宮息肉様筋腫摘出術（膣式）	1	0	0
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	0	0	2
子宮全摘術	31	0	18
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	0	0	2
子宮悪性腫瘍手術	0	0	5
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	3	0	0
卵巣部分切除術（腹腔鏡）	4	0	0
卵管結紮術（両側，開腹）	9	3	2
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	38	44	22
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・腹腔鏡）	7	11	3
子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	0	0	2

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
産科手術			
吸引娩出術	10	10	12
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	0	1	1
鉗子娩出術（中位鉗子）	0	1	0
会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時・筋層に及ぶ）	3	0	0
会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	15	2	2
会陰（腔壁）裂創縫合（分娩時・膣口蓋に及ぶ）	0	1	0
会陰（腔壁）裂創縫合（分娩時・直腸裂創を伴うもの）	0	1	0
頸管裂創縫合術（分娩時）	7	3	0
帝王切開術（緊急切開）	22	18	23
帝王切開術（選択切開）	33	38	45
胎盤用手剥離術	2	2	0
流産手術（妊娠11週まで）	19	23	2
流産手術（妊娠11週まで）（手動真空吸引法によるもの）	0	0	15
子宮内容除去術（不全流産）	0	0	1
異所性妊娠手術（開腹）	1	2	0
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	3	1	0
歯科口腔外科手術			
後出血処置	3	4	2
拔牙手術・乳歯	5	6	2
拔牙手術・前歯	107	150	151
拔牙手術・臼歯	347	455	445
ヘミセクション（分割拔牙）	1	1	6
拔牙手術・埋伏歯	113	157	175
拔牙窩再搔爬手術	7	7	7
歯槽骨整形手術	0	3	0
骨瘤除去手術	3	14	5
口腔内消炎手術（歯肉膿瘍等）	2	0	0
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	2	0	8
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨骨髓炎等） 1/3顎未満	1	3	6
外歯瘻手術	0	0	0
口腔外消炎手術 骨膜下膿瘍、皮下腫瘍、蜂窩織炎等（5cm未満）	0	1	0
顎骨腫瘍摘出術（3cm未満）	6	11	13
顎骨腫瘍摘出術（3cm以上）	1	1	3
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	4	6	6
歯肉・歯槽部腫瘍手術（硬組織）	6	2	2
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	8	10	12
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	4	5	6
歯根端切除手術（2以外の場合）	7	1	0
口腔内縫合術（小浅）	0	1	1
口腔内縫合術（小深）	4	1	3
唾石摘出術（表在性）	0	0	1
がま腫切開術	0	0	1
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	2	3	4
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1	1	0
歯槽骨骨折非観血的整復術（3歯以上）	0	2	0
下顎骨骨折非観血的整復術	0	2	0
顎関節脱臼非観血的整復術	8	2	8
歯科インプラント摘出術（人工歯根）	1	0	0
腐骨除去手術（歯槽部）	3	3	3
腐骨除去手術顎骨（片側1/3未満）	2	2	3

手術名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
腐骨除去手術顎骨（片側1／3以上）	2	5	1
頬・口唇・舌小帯形成術	0	0	2
顎骨嚢胞開窓術	0	1	3
口蓋隆起形成術	0	2	0
顎堤形成術（簡単）	2	0	0
歯の破折片除去	0	2	1
上顎洞口腔瘻閉鎖術（困難）	3	1	0
埋伏歯開窓術	1	2	0
歯槽骨折観血的整復術（3歯以上）	1	0	0
口腔外縫合術（小浅）	1	0	0
口腔外縫合術（小深）	1	1	0
口腔外縫合術（中深）	1	0	0
下顎隆起形成術（片側）	0	1	0
下顎隆起形成術（両側）	0	3	0
浮動歯肉切除術（2分の1顎程度）	0	0	1
口蓋悪性腫瘍手術単純	0	0	1
顎骨インプラント摘出術（2分の1顎未満）	0	0	1
歯科インプラント摘出術（骨膜下）（骨開さく）	0	0	1
歯科インプラント摘出術（人工歯根）（骨開さく）	1	1	0
顎骨内異物除去術（困難・顎骨2／3顎未満）	0	7	11
顎骨内異物除去術（困難・全顎にわたる）	0	1	2
歯の移植手術（自家骨移植）	1	1	2
術後性上顎嚢胞摘出術（上顎に限局するもの）	2	0	0
歯根嚢胞摘出術（鶏卵大）	0	1	1
歯根分割搔爬術	0	0	2
歯根端切除手術（1歯につき）（歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）	7	14	21
加 算（医 科）			
手指の創傷に係る機能回復指導加算	22	0	0
術中透視装置使用加算	13	13	1
乳児加算（手術）	4	2	5
幼児加算（手術）	44	38	41
3才未満幼児加算（手術）	15	26	22
麻酔加算（MRSA、B型・C型肝炎、結核患者）	43	46	52
時間外特例医療機関加算2（処置・手術）	75	88	124
周術期口腔機能管理後手術加算	165	182	232
頸部郭清術加算（片側）	0	1	0
真皮縫合加算	4	6	1
デブリードマン加算（汚染された挫創）	73	81	62
深部デブリードマン加算	0	0	1
センチネルリンパ節加算	1	0	0
下顎骨形成術（両側・同時）加算	1	2	3
乳がんセンチネルリンパ加算1	29	32	49
バルーン内視鏡加算	0	0	1
人工肛門造設加算（結腸切除術）	5	5	10
人工肛門造設加算（直腸切除・切断術）	1	0	3
人工肛門造設加算（腹腔鏡下直腸切除・切断術）	1	2	0
複雑加算（帝王切開術）	24	34	35
超音波凝固切開装置等加算	387	344	377
緊急整復固定加算（骨折観血の手術）	0	0	39
創外固定器加算	1	1	0
緊急挿入加算（人工骨頭挿入術）	0	0	17

手 術 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自動縫合器加算	820	817	925
自動吻合器加算	62	43	62
画像等手術支援加算（ナビゲーションによるもの）	0	0	59
画像等手術支援加算（実物大臓器立体モデルによるもの）	0	1	1
術中血管等描出撮影加算	16	7	10
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	29	25	24
超音波切削機器加算	1	5	5
加 算（歯 科）			
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	3	2	0
下顎完全埋伏智歯（骨性）加算	0	2	2
下顎水平埋伏智歯加算	93	134	158
難抜歯加算	99	88	106

※1. この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

(1) 処方箋

(単位：枚)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	35,051	38,921	37,962
外来	89,478	92,604	94,264
院内	9,356	9,544	10,367
院外	80,122	83,060	83,897
院外処方箋発行率%	89.5	89.7	89
計	124,529	131,525	132,226

(2) 調剤

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	73,007	77,922	78,958
外来	18,000	19,666	22,116
計	91,007	97,588	101,074
調剤の内訳			
内服	67,355	71,904	74,633
外用	16,055	16,542	16,507
頓服	7,597	9,142	9,934

(3) 薬剤管理指導

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院	12,270	13,005	12,342

(4) 混注（ミキシング）状況

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ミキシング	5,165	4,847	4,625
1VH	1,369	1,076	1,000
抗悪性腫瘍	3,796	3,771	3,543
その他	6	27	82
セット	194,138	206,851	205,960

(5) 病棟薬剤業務実施加算

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
DPC対象患者	15,960	15,739	15,679
出来高算定患者	1,177	1,336	1,447
計	17,137	17,075	17,126

(6) 採用医薬品

(単位：品)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
採用薬品数	1,761	1,821	1,906
新規院内採用数	93	78	85
新規院外のみ採用数	25	35	72

(7) 製剤状況

剤形	製剤名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
内 用 液 剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ (内服)	47ml	0	0	0
	ルゴール液 (内服用)	100ml	0	0	0
ア ン プ ル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	0	5
	墨汁アンプル	1A	104	58	89
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点 眼 剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	6	9	12
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	バンコマイシン点眼液	5m l	4	0	12
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点 耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5mL	0	0	0
	フロリード点耳液	5mL	0	0	0
	インプレトール	1A	0	0	0
吸 入 剤	耳鼻科用吸入液	50ml	3	0	0
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外 用 液 剤	ロビオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ポラプレジック含嗽水	100ml	19	31	23
	スペシャル含嗽水	500ml	20	14	50
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	1
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン (外用)	100ml	12	14	16
	0.05%ピオクタニン (外用)	200mL	0	13	22
	5000倍ボスミン液	100ml	320	312	317
50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0	
坐 剤	チラージンS坐剤	1個	15	0	0
	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟 膏	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	0	0	0
	モーブペースト	100 g	0	0	0
	オバホルモン軟膏	20g	0	0	0
そ の 他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ボール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキサックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーベル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	30ml	9	8	9
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液 (染色用)	50ml	9	9	7
	ロイコボリン含嗽水	500m l	2	2	4
	メトロニゾール軟膏	500g	43	1	4
	3%酢酸液	500m l	4	4	4
0.5%ヒピテン液	500m l	1	2	2	

(8) 麻薬

製剤名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	677	707	394
塩酸モルヒネ注50mg	A	138	187	76
塩酸モルヒネ注200mg	A	19	66	1
フェンタニル注	A	3,303	3027	2841
ペチジン注	A	122	135	233
MS コンチン10mg	錠	376	288	334
MS コンチン30mg	錠	34	32	8
MS コンチン60mg	錠	0	0	62
オキシコドン徐放錠5m g	錠	4,800	3537 (以降オキシコドン徐放錠NXへ変更)	-
オキシコドン徐放錠20m g	錠	1,126	442	54 (以降オキシコドン徐放錠NXへ変更)
オキシコドン徐放錠40m g	錠	153	590 (以降オキシコドン徐放錠NXへ変更)	-
オキシコドン徐放錠NX5m g	錠	-	759	3375
オキシコドン徐放錠NX20m g	錠	-	-	181
オキシコドン徐放錠NX40m g	錠	-	589	0
オプソ内服液5mg	包	463	400	436
オプソ内服液10mg	包	648	0	258
アンパック坐剤10mg	個	249	346	116
アンパック坐剤20mg	個	0	0	0
オキノーム散2.5mg	包	1,992	1339	802
オキノーム散5mg	包	1,057	583	822
オキノーム散10mg	包	364	260	243
オキノーム散20mg	包	578	1452	110
レミフェンタニル注2m g	V	1,219	1251	1322
フェントステープ0.5mg	枚	375	300	359
フェントステープ1mg	枚	694	692	664
フェントステープ2mg	枚	337	87	196
フェントステープ4mg	枚	72	49	64
フェントステープ6mg	枚	9	42	30
フェントステープ8mg	枚	61	21	42
オキファスト注10m g	A	374	117	47 (以降オキシコドン注へ変更)
オキファスト注50m g	A	114	55 (以降オキシコドン注へ変更)	-
オキシコドン注10m g	A	-	-	106
オキシコドン注50m g	A	-	6	132
アブストラル舌下錠100 μ g	錠	225	115	140
アブストラル舌下錠200 μ g	錠	10	25	150
ナルベイン注2m g	A	1178	428	845
ナルベイン注20m g	A	177	25	68
ナルサス錠2m g	錠	2625	3191	3894
ナルサス錠6m g	錠	817	1116	1105
ナルサス錠12m g	錠	195	114	122
ナルサス錠24m g	錠	477	0	28
ナルラビド錠1m g	錠	1847	2113	2810
ナルラビド錠2m g	錠	537	849	488
ナルラビド錠4m g	錠	1275	10	185
ケタラール静注用200m g	V	0	0	2
メテバニール錠2m g	錠	0	0	10

10. 放射線室

(1) 種別部位別

* 入院棟

種別	部位	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭部	13	23	23	13	21	21	27	47	49
	胸部	8,469	8,921	8,950	8,745	9,261	9,327	8,216	8,470	8,473
	腹部	2,307	4,183	4,185	2,209	3,725	3,727	2,271	4,059	4,061
	四肢	1,274	2,616	2,894	1,595	3,309	3,802	1,546	3,213	4,006
	脊椎・骨全般	1,120	2,236	2,244	1,573	3,339	3,345	1,469	2,969	3,054
	計	13,183	17,979	18,296	14,135	19,655	20,222	13,529	18,758	19,643
TV系	消化器系	300	305	1,249	248	259	1,187	184	184	982
	外科系	90	90	610	81	82	460	69	69	419
	尿路系	36	36	217	21	21	61	34	34	179
	呼吸器・血管・産婦人科系	260	264	280	187	188	212	234	235	273
	整形外科系	41	43	47	57	62	80	71	72	100
	その他	3	3	12	5	5	5	6	6	9
計	730	741	2,415	599	617	2,005	598	600	1,962	
手術室	胸部ポータブル	673	689	690	665	698	700	694	694	694
	腹部ポータブル	597	597	600	569	569	570	535	535	539
	四肢ポータブル	303	583	611	356	704	734	310	610	626
	脊椎・骨全般ポータブル	153	299	301	175	338	341	207	401	401
	骨透視	350	351	351	384	384	384	359	359	359
	胸部透視	71	71	49	69	69	76	91	91	91
	腹部透視	149	149	332	174	174	373	154	154	482
	その他透視	2	2	2	2	3	3	0	0	0
	計	2,298	2,741	2,936	2,394	2,939	3,181	2,350	2,844	3,192
その他	ポータブル	6,818	6,880	6,893	9,136	9,214	9,231	7,553	7,630	7,655
	コピー	2,439	2,462	2,489	2,469	2,506	2,516	2,704	2,712	2,768
	計	9,257	9,342	9,382	11,605	11,720	11,747	10,257	10,342	10,423
合計		25,468	30,803	33,029	28,733	34,931	37,155	26,734	32,544	35,220

* 外来棟

種別	部位	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭頸部	24	37	38	31	49	50	42	69	70
	胸部	11,230	12,611	12,709	12,165	13,699	13,841	11,984	12,943	12,943
	腹部	1,791	2,850	2,850	1,835	2,777	2,777	1,936	3,047	3,047
	四肢	2,794	5,836	6,660	3,434	7,336	8,738	3,496	7,353	8,980
	脊椎・骨全般	1,574	3,536	3,582	2,324	5,925	6,010	3,271	7,550	7,866
	乳房	552	552	552	637	640	1,538	622	623	1,969
	バイオブシー	17	17	17	15	15	15	13	13	13
計	17,982	25,439	26,408	20,441	30,441	32,969	21,364	31,598	34,888	
TV系	消化器系	139	139	687	115	115	591	106	106	329
	尿路系	74	74	283	67	68	254	63	63	270
	整形外科系	25	26	44	51	51	78	50	52	84
	その他	1	1	4	4	4	7	3	3	6
計	239	240	1,018	237	238	930	222	224	689	
顎口腔	デンタル	232	314	314	317	470	470	290	461	461
	コンビームCT	36	43	43	92	113	113	102	142	142
	パノラマ	651	652	652	678	696	696	677	694	694
	計	919	1,009	1,009	1,087	1,279	1,279	1,069	1,297	1,297
骨密度		607	608	608	859	861	861	1,017	1,019	1,019
コピー		3,181	3,194	3,237	3,545	3,555	3,591	3,732	3,744	3,777
合計		22,928	30,490	32,280	26,169	36,374	39,630	27,404	37,882	41,670

(2) CT検査

種別	部位	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	頭部	2,969	3,270	370	3,640	3,310	3,710	375	4,085	3,478	3,927	375	4,302
	頸部	489	887	214	1,101	507	1,005	194	1,199	600	1,164	213	1,377
	胸部	3,162	5,180	1,658	6,838	3,534	5,905	1,736	7,641	3,420	5,908	1,743	7,651
	腹部	1,490	1,315	1,808	3,123	1,406	1,436	1,526	2,962	1,529	1,712	1,522	3,234
	骨盤部	254	463	152	615	254	588	106	694	222	439	136	575
	脊椎・脊髄	103	294	6	300	129	384	10	394	104	319	0	319
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	治療計画	180	409	0	409	157	395	0	395	191	458	0	458
	四肢	210	667	66	733	291	951	98	1,049	257	861	62	923
	(データ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
計	8,857	12,485	4,274	16,759	9,588	14,374	4,045	18,419	9,801	14,788	4,051	18,839	
		16,759				18,419				18,839			
外来棟	頭部	1,013	1,230	257	1,487	968	1,326	162	1,488	1,057	1,391	190	1,581
	頸部	330	329	371	700	250	290	226	516	316	341	323	664
	胸部	3,112	4,236	2,201	6,437	3,367	4,891	2,242	7,133	3,566	5,094	2,347	7,441
	腹部	2,457	1,590	3,538	5,128	2,564	1,776	3,586	5,362	2,620	1,756	3,751	5,507
	骨盤部	704	602	1,117	1,719	743	645	1,169	1,814	718	614	1,132	1,746
	脊椎・脊髄	63	202	0	202	55	177	0	177	44	135	0	135
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	215	689	66	755	257	762	144	906	227	775	70	845
	(データ)	0	222	0	222	0	227	0	227	0	217	0	217
	計	7,894	8,878	7,550	16,428	8,204	9,867	7,529	17,396	8,548	10,106	7,813	17,919
		16,428				17,396				17,919			
合計	頭部	3,982	4,500	627	5,127	4,278	5,036	537	5,573	4,535	5,318	565	5,883
	頸部	819	1,216	585	1,801	757	1,295	420	1,715	916	1,505	536	2,041
	胸部	6,274	9,416	3,859	13,275	6,901	10,796	3,978	14,774	6,986	11,002	4,090	15,092
	腹部	3,947	2,905	5,346	8,251	3,970	3,212	5,112	8,324	4,149	3,468	5,273	8,741
	骨盤部	958	1,065	1,269	2,334	997	1,233	1,275	2,508	940	1,053	1,268	2,321
	脊椎・脊髄	166	496	6	502	184	561	10	571	148	454	0	454
	治療計画	180	409	0	409	157	395	0	395	191	458	0	458
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	425	1,356	132	1,488	548	1,713	242	1,955	484	1,636	132	1,768
	(データ)	0	222	0	222	0	227	0	227	0	221	0	221
合計	16,751	21,363	11,824	33,187	17,792	24,241	11,574	35,815	18,349	24,894	11,864	36,758	
		33,187				35,815				36,758			

(3) MRI検査

種別	部位	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	脳	1,465	8,654	713	9,367	1,578	9,386	764	10,150	1,545	8,647	1,079	9,726
	脊椎・脊髄	350	372	12	384	468	606	10	616	483	514	14	528
	頭頸	40	166	0	166	66	247	4	251	45	119	14	133
	胸部	15	9	22	31	20	17	39	56	40	5	68	73
	腹部	179	149	33	182	180	165	25	190	173	134	39	172
	骨盤	101	81	36	117	118	90	34	124	127	97	44	142
	四肢	92	93	5	98	130	134	16	150	204	197	29	226
	(データ)	0	111	0	111	0	93	0	93	0	96	0	96
	計	2,242	9,524	821	10,345	2,560	10,645	892	11,537	2,617	9,713	1,287	11,000
			10,345				11,537				11,000		

外来棟	脳	1,238	6,362	2,351	8,713	1,233	6,405	2,134	8,539	1,320	6,958	2,431	9,389
	脊椎・脊髄	332	517	16	533	291	489	15	504	228	348	6	354
	頭頸	85	101	27	128	80	186	59	245	82	155	120	275
	胸部	105	25	85	110	125	32	99	131	137	24	139	163
	腹部	289	204	86	290	335	246	89	335	362	270	94	364
	骨盤	311	94	245	339	356	83	279	362	310	70	269	339
	四肢	140	164	20	184	181	212	41	253	144	147	33	180
	(データ)	0	12	0	12	0	14	0	14	0	11	0	11
	計	2,500	7,467	2,830	10,297	2,601	7,653	2,716	10,369	2,583	7,972	3,092	11,064
	人間ドック(脳)	193	193	0	1,158	232	232	0	1,385	234	234	0	1,410
計		2,693	7,660	2,830	11,455	2,833	7,885	2,716	11,754	2,817	8,206	3,092	12,474
				10,490				10,601					
合計	脳	2,703	15,016	3,064	18,080	2,811	15,791	2,898	18,689	2,865	15,605	3,510	19,115
	脊椎・脊髄	682	889	28	917	759	1,095	25	1,120	711	862	20	882
	頭頸	125	267	27	294	146	433	63	496	127	274	134	408
	胸部	120	34	107	141	145	49	138	187	177	29	207	236
	腹部	468	353	119	472	515	411	114	525	535	404	133	536
	骨盤	412	175	281	456	474	173	313	486	437	167	313	481
	四肢	232	257	25	282	311	346	57	403	348	344	62	406
	(データ)	—	123	0	123	0	107	0	107	—	107	0	107
	計	4,742	16,991	3,651	20,642	5,161	18,298	3,608	21,906	5,200	17,685	4,379	22,064
	人間ドック(脳)	193	193	0	1,158	232	232	0	1,385	234	234	0	1,410
合計		4,935	17,184	3,651	21,800	5,393	18,530	3,608	23,291	5,434	17,919	4,379	23,474
				20,835				22,138					

(4) 循環器

種別	部位	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		人数	件数	枚数	人数	件数	枚数	人数	件数	枚数
循環器	心カテ(診断)	459	565	565	472	564	564	500	618	617
	心カテ(治療)		557	557		662	662		608	608
	血管治療	83	93	93	94	107	107	81	97	97
	頭頸部	87	372	372	100	393	393	94	385	385
	胸部	1	1	1	4	4	4	1	1	1
	腹部	11	34	34	18	28	28	5	8	8
	四肢	94	95	95	106	109	109	104	110	110
	静脈・その他	3	4	4	0	0	0	1	1	1
	合計	738	1,721	1,721	794	1,867	1,867	786	1,828	1,827

(5) RI・PET

種別	部位	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
RI	脳	63	63	63	96	96	96	79	79	79
	甲状腺	21	21	21	19	19	19	16	16	16
	肺	6	6	6	4	4	4	5	5	5
	心臓	57	57	57	73	73	73	54	54	54
	腎	19	19	19	18	18	18	31	31	31
	肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	3	3	3	4	4	4	5	5	5
	骨	365	365	365	298	298	298	311	311	311
	その他	51	51	51	45	45	45	63	63	63
	(データ)	0	0	0	0	37	37	0	56	56
	合計	585	585	585	557	557	557	564	564	564
PET	全身	430	430	430	470	470	470	637	637	637
	(データ)	0	7	7	56	58	58	0	90	90
	合計	430	430	430	470	470	470	637	637	637

(6) 治療(ライナック)

区分		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	1,084	0	1,084	960	0	960	1,084	0	1,084
	外来	1,305	22	1,327	984	81	1,065	1,418	54	1,472
	合計	2,389	22	2,411	1,944	81	2,025	2,502	54	2,556
照射門数	入院	3,413	0	3,413	2,963	0	2,963	3,227	0	3,227
	外来	4,687	32	4,719	3,630	81	3,711	4,739	72	4,811
	合計	8,100	32	8,132	6,593	81	6,674	7,966	72	8,038

区分		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	58	0	58	35	0	35	85	0	85
	頭頸部腫瘍	0	43	43	0	136	136	24	54	78
	食道癌	252	22	274	71	16	87	228	63	291
	肺がん(原発)	570	125	695	610	43	653	592	207	799
	乳がん(原発)	48	581	629	0	376	376	22	609	631
	胃がん(原発)	12	16	28	12	53	65	10	5	15
	肝がん(原発)	0	14	14	0	13	13	0	9	9
	大腸がん(原発)	35	99	134	21	178	199	27	176	203
	婦人科腫瘍	0	0	0	22	0	22	10	66	76
	泌尿器系腫瘍	168	179	347	158	201	359	81	77	158
	造血器リンパ系腫瘍	67	240	307	175	48	223	111	161	272
	皮膚・骨・軟部腫瘍	0	51	51	0	77	77	0	152	152
	その他がん	48	109	157	0	5	5	19	38	57
	合計	1,258	1,479	2,737	1,104	1,146	2,250	1,209	1,617	2,826

(7) その他

(単位:件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
結石破碎	83	26	35

1 1. 検査室

(1) 検査件数

	2020年度	2021年度	2022年度
臨床化学	1,400,341	1,381,267	1,404,830
血清	193,948	198,325	184,932
血液	259,733	255,317	261,794
尿糞便	109,523	107,722	112,046
細菌	22,110	18,274	18,155
生理	45,533	48,421	48,566
病理	11,828	14,673	15,226
外注	51,285	48,847	49,400
採血 (採血管本数)	282,224	302,104	298,565
合計	2,376,525	2,374,950	2,393,514

(2) 検査項目別件数

		2020年度	2021年度	2022年度
臨 床 化 学	TP	54,794	58,232	59,048
	ALB	56,019	59,418	61,280
	T - Bil	61,846	65,051	65,419
	D - Bil	12,583	13,057	13,299
	AST (GOT)	74,512	77,519	79,571
	ALT (GPT)	79,638	83,515	84,572
	LDH	70,965	73,865	75,430
	CK	46,739	51,370	52,581
	CK-MB (CK-MB定量を含む)	2,691	2,456	1,378
	ALP	61,221	64,335	64,419
	γ-GTP	62,778	67,081	68,754
	Che	7,568	8,291	8,492
	T-CHO	16,234	16,933	17,594
	HDL - C	27,707	30,063	29,973
	LDL - C	29,273	32,091	32,702
	TG	31,820	34,413	34,784
	フェリチン	5,896	5,980	6,142
	プレアルブミン	328	238	210
	C3	1,068	1,221	1,319
	C4	1,062	1,195	1,282
	NH3	1,014	1,042	888
	トロポニンT (またはトロポニンI)	1,502	1,501	1,369
	PCT	3,350	3,669	3,231
	Na	75,071	77,619	78,990
	K	75,113	77,622	78,960
	Cl	64,813	66,266	68,433
	Ca	32,908	33,676	34,043
	P	7,228	7,264	7,284
	Mg	3,297	3,823	4,138
	Zn	827	901	937
	Fe	4,350	4,380	4,502
	UIBC	3,870	3,876	3,944
	BUN	76,122	79,646	81,469
S-Cr	81,231	84,610	86,130	
U-Cr	10,092	10,723	10,817	
UA	41,853	45,576	48,072	
S-AMY	31,149	30,938	29,848	
U-AMY	33	37	16	
ICG	17	13	5	
血糖	52,201	56,753	41,156	
HbA1C	24,738	26,522	26,433	
ペプシノーゲン	1,850	1,709	1,708	
KL6	3,589	4,173	4,741	
グリオアルブミン	1,661	1,628	1,451	
血清補体価	1,359	1,562	1,651	
血清浸透圧	1,658	1,538	1,348	
尿浸透圧	420	395	423	
尿蛋白定量	9,994	10,663	10,739	
合計	1,316,052	1,384,449	1,390,975	

		2020年度	2021年度	2022年度
免 疫	ASO	256	254	207
	CRP	57,069	60,514	61,612
	RF	1,756	2,038	2,056
	IgG	2,900	3,010	3,220
	IgA	1,944	2,003	2,161
	IgM	1,808	1,874	2,048
	HBs抗原	12,824	14,437	14,638
	HBs抗体	1,351	1,436	1,435
	HBc抗体	520	616	553
	RPR	12,102	13,646	13,873
	TPHA	1,212	13,639	13,857
	HCV抗体	12,699	14,285	14,440
	HIV抗体	10,401	12,272	12,641
	輸血後H I V抗体	12	2	6
血 清	寒冷凝集反応	33	28	50
	TSH	5,076	5,620	6,147
	FT3	4,454	5,237	5,933
	FT4	5,118	5,689	6,236
	PSA	4,220	4,424	4,523
	CEA	8,463	8,687	9,024
	CA19-9	6,299	6,241	6,277
	AFP	1,006	1,147	1,111
	N S E	326	520	570
	ProGRP	456	714	730
	BNP	13,268	15,533	14,336
	NT-ProBNP	0	0	1,202
	バルプロ酸血中濃度	143	112	96
	フェニトイン	51	43	29
フェノバル	54	47	41	
カルバマゼピン	175	125	120	
バンコマイシン	121	77	108	
新型コロナウイルス抗原定量	0	1,947	8,643	
合計	166,117	196,217	207,923	

血 液 検 査	血算	84,249	87,489	88,674
	網赤血球	4,069	3,620	3,354
	血液像	54,225	56,044	57,928
	血液像目視	693	311	469
	PT	21,094	22,353	22,869
	APTT	18,726	20,118	20,921
	Fib	12,874	13,141	13,670
	FDP	14,539	14,594	15,791
	Dダイマー	18,304	20,126	20,585
	ATIII	343	428	352
	ABO式血液型	3,655	4,403	4,274
	Rh式血液型	3,618	4,400	4,272
	血沈	6,863	7,620	8,001
	骨髓検査	228	215	197
合計	243,480	254,862	261,357	

		2020年度	2021年度	2022年度
一 般 検	沈渣	23,694	24,896	24,019
	尿定性検査	42,070	44,079	42,575
	尿糖定量	77	50	42
	HCG定量(尿中HCG)	9	8	5
	妊娠反応	98	104	50
	ヒトヘモグロビン	11,303	12,418	12,599
	ロタウイルス	26	27	34
	レジオネラ	288	232	205
	肺炎球菌	309	238	211
	新型コロナウイルス抗原定性	0	3,324	4,011
	インフルエンザウイルス	343	313	515
	RSウイルス	80	174	160
	アデノウイルス	258	213	185
	ストレプト	206	113	86
マイコプラズマ抗原(PCRも含む)	22	8	5	

査	クラミジア	131	152	113
	CDトキシン	167	153	142
	ノロ抗原定性	11	28	25
	髄液検査	70	54	65
	穿刺液検査	74	120	95
	合計	79, 236	86, 704	85, 142

生理検査	心電図	19, 505	21, 430	20, 972
	負荷心電図	233	223	219
	脳波	210	223	178
	肺機能	838	854	877
	聴力	6, 798	6, 975	7, 251
	重心動揺	84	101	132
	パワーベクトル	84	101	132
	ABI	658	679	735
	トレッドミル	0	9	9
	ホルター心電図	225	240	226
	リアルタイム心電図	0	0	0
	新生児ABR	200	198	206
	心臓カテーテル	524	559	517
	超音波	10, 442	11, 629	11, 839
	心エコー	(3, 142) ※1	(3, 595) ※1	(3, 669) ※1
	腹部エコー	(4, 718) ※1	(5, 240) ※1	(5, 236) ※1
	甲状腺エコー	(427) ※1	(409) ※1	(425) ※1
	頸動脈エコー	(452) ※1	(471) ※1	(485) ※1
	乳腺エコー	(791) ※1	(849) ※1	(905) ※1
	下肢血管エコー	(539) ※1	(610) ※1	(656) ※1
腎エコー	(127) ※1	(145) ※1	(174) ※1	
経食道エコー	(5) ※1	(6) ※1	(2) ※1	
その他エコー	(241) ※1	(304) ※1	(287) ※1	
肺拡散能検査	130	144	187	
呼吸中NO（一酸化窒素）濃度	236	181	213	
血液ガス	5, 234	4, 711	4, 726	
神経伝導速度	98	97	109	
簡易型睡眠時無呼吸検査	34	67	38	
合計	45, 533	48, 421	48, 566	

		2020年度	2021年度	2022年度
病理	組織診	3, 783	4, 110	4, 415
	迅速組織診断	103	112	147
	細胞診	6, 792	7, 175	7, 206
	免疫染色	2, 466	2, 711	3, 451
	剖検数	4	3	7
	合計	13, 148	14, 111	15, 226
細菌	一般塗抹	4, 768	5, 331	5, 239
	一般培養	5, 248	5, 851	5, 662
	嫌気培養	738	402	602
	感受性テスト	4, 897	5, 490	5, 335
	TB塗抹	713	654	658
	真菌培養	432	654	404
	結核菌DNA	7	7	13
合計	16, 803	18, 389	17, 913	

病理・細菌検査は入院棟で検査（ノウイルス抗原・CDトキシンは一般の統計へ）

内訳

		2020年度	2021年度	2022年度
病 理	組織診	(1,559) ※2	(1,918) ※2	(2,098) ※2
	迅速組織診断	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	細胞診	(6,324) ※2	(6,614) ※2	(6,688) ※2
	免疫染色	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	剖検数	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
細 菌	一般塗抹	(2,345) ※2	(2,561) ※2	(2,671) ※2
	一般培養	(2,610) ※2	(2,871) ※2	(2,940) ※2
	嫌気培養	(232) ※2	(120) ※2	(237) ※2
	感受性テスト	(2,325) ※2	(2,550) ※2	(2,641) ※2
	TB塗抹	(380) ※2	(322) ※2	(326) ※2
	結核菌DNA	(1) ※2	(1) ※2	(7) ※2

※2 () は外来棟の依頼件数

(3) 血液製剤

区分	2020年度	2021年度	2022年度
照射赤血球RBC	3,555	3,438	3,797
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	6,300	5,885	9,860
照射濃厚血小板HLA	280	530	555
新鮮凍結血漿	406	688	1,556
合計	10,541	10,541	15,768

(4) 循環器科 (非観血的検査)

区分	2020年度	2021年度	2022年度
負荷心電図	233	223	219
ホルター心電図	225	240	226
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	610	679	735
心エコー図	3,061	3,595	3,669
経食道エコー	5	6	2
合計	4,134	4,743	4,851

1.2. リハビリテーション室

【入院】

(1) 延患者数

(単位：人)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
理学療法	22,745	24,684	37,973	45,662	45,315	53,407	51,184	52,577	57,761	54,818
作業療法	20,280	22,528	28,866	32,380	31,514	27,475	23,549	22,518	27,915	27,952
言語聴覚療法	11,246	9,208	11,343	11,535	9,544	12,185	14,718	14,509	17,994	18,027
合計	54,271	56,420	78,182	89,577	86,373	93,067	89,451	89,604	103,670	100,797

(2) 療法単位数

(単位：件数)

区分	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
脳血管 (1単位)	9,671	3,934	2,295	3,442	12,701	5,044	3,435	4,222	12,355	4,912	3,518	3,925
脳血管 (2単位)	15,868	6,521	4,975	4,372	17,529	7,204	5,564	4,761	17,872	7,107	5,920	4,845
脳血管 (3単位)	9,470	5,104	3,883	483	11,314	4,870	4,870	1,574	11,223	4,657	5,372	1,194
脳血管 (4単位)	313	244	63	6	235	170	60	5	151	92	58	1
廃用 (1単位)	17,306	10,130	3,992	3,184	20,317	12,271	4,219	3,827	22,266	13,525	4,707	4,034
廃用 (2単位)	10,529	6,955	2,469	1,105	10,015	6,514	2,663	838	10,331	5,807	3,102	1,422
廃用 (3単位)	560	397	140	23	565	353	201	11	621	343	213	65
廃用 (4単位)	5	5	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
運動器 (1単位)	3,251	2,269	982	—	4,152	2,784	1,368	—	4,289	2,605	1,684	—
運動器 (2単位)	6,274	5,094	1,180	—	7,052	5,860	1,192	—	5,743	4,441	1,302	—
運動器 (3単位)	4,020	3,586	434	—	3,955	3,379	576	—	3,122	2,367	755	—
運動器 (4単位)	33	28	5	—	21	21	0	—	31	31	0	—
呼吸器 (1単位)	4,857	3,408	1,449	—	7,475	5,224	2,251	—	4,729	3,900	829	—
呼吸器 (2単位)	2,248	1,803	445	—	2,976	2,399	577	—	2,577	2,108	469	—
呼吸器 (3単位)	83	76	7	—	98	72	26	—	51	43	8	—
がんリハ (1単位)	2,853	1,720	983	150	1,663	1,047	556	60	3,479	2,030	1,289	160
がんリハ (2単位)	1,311	781	500	30	894	511	349	34	1,625	718	806	101
がんリハ (3単位)	52	27	24	1	48	40	8	0	117	98	16	3
心大血管 (1単位)	303	201	102	—	1	1	0	—	14	8	6	—
心大血管 (2単位)	354	258	96	—	0	0	0	—	20	11	9	—
心大血管 (3単位)	35	34	1	—	0	0	0	—	1	1	0	—
摂食機能療法	62	—	—	62	20	—	—	20	0	—	—	0
総合計画評価	4,245	2,852	1,163	230	4,600	2,874	1,380	346	5,090	3,299	1,494	297
早期リハビリ加算	62,460	36,616	15,549	10,295	70,151	40,766	17,532	11,853	66,426	37,175	17,662	11,589
退院前訪問指導	72	56	16	—	70	45	25	—	78	62	16	—
合計	156,235	92,099	40,753	23,383	175,853	101,450	46,852	27,551	172,212	95,341	49,235	27,636

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
内科	3426	1445	1420	561	3677	1557	1532	588	4287	1799	1776	712
小児科	6	3	3	0	13	6	6	1	13	5	5	3
外科	950	449	449	52	1061	483	490	88	1140	527	550	63
整形外科	1212	558	554	100	1372	637	627	108	1320	606	611	103
脳神経外科	1782	610	592	580	1927	645	644	638	1930	648	648	634
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	93	44	43	6	105	45	45	15	88	35	35	18
産婦人科	33	16	16	1	44	19	19	6	24	12	12	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	0
透析科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1
計	7,502	3,125	3,077	1,300	8,202	3,393	3,364	1,445	8,805	3,633	3,638	1,534

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
脳血管疾患	519	509	559	582	583	552	569	579
廃用症候群	253	1,047	1,159	1,210	1,085	1,155	1,347	1,534
運動器	685	564	580	531	603	391	398	430
呼吸器	502	159	106	95	119	407	476	444
がんリハ	428	418	472	556	579	322	252	341
心大血管疾患	173	71	64	148	133	42	2	8
その他	36	0	0	1	0	0	0	0
合計	2,596	2,768	2,940	3,123	3,102	2,869	3,044	3,336

※その他は摂食機能療法

【外来】

(1) 延患者数

(単位：人)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
理学療法	8,483	6,704	7,063	7,173	7,166	4,761	2,489	3,789	1,858	1,719
作業療法	6,416	5,010	5,308	5,317	5,362	4,057	3,617	2,689	2,866	2,764
言語聴覚療法	1,416	1,063	1,324	1,531	1,008	443	431	83	151	115
訪問 (はるかぜ)	2,441	2,522	2,693	3,352	4,866	4,042	2,556	2,271	2,418	2,205
訪問 (外来)	398	525	576	696	0	1,899	3,788	3,377	2,749	2,661

(2) 療法単位数

(単位：件数)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
脳血管 (1単位)	267	42	225	0	144	49	87	8	84	25	53	6
脳血管 (2単位)	268	62	127	79	536	85	312	139	368	123	159	86
脳血管 (3単位)	9	6	0	3	37	0	33	4	192	0	173	19
廃用 (1単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (2単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (3単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器 (1単位)	2583	692	1,891	—	2154	678	1,476	0	1376	413	963	0
運動器 (2単位)	891	448	443	—	1656	769	887	—	2293	962	1,331	—
運動器 (3単位)	38	38	0	—	85	14	71	—	86	1	85	—
呼吸器 (1単位)	132	132	0	—	179	179	0	—	115	115	0	—
呼吸器 (2単位)	113	113	0	—	84	84	0	—	76	76	0	—
呼吸器 (3単位)	5	5	0	—	0	0	0	—	0	0	0	—
摂食機能療法	0	—	—	0	0	—	—	0	4	—	—	4
総合計画評価	977	348	607	22	1151	438	666	47	1089	404	648	37
合計	5283	1,886	3,293	104	6026	2,296	3,532	198	5683	2,119	3,412	152

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
内科	161	131	25	5	156	127	28	1	149	119	28	2
小児科	10	7	1	2	10	7	0	3	35	14	7	14
外科	118	72	46	0	130	105	20	5	173	134	39	0
整形外科	767	276	491	0	933	386	547	0	904	371	532	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
脳神経外科	151	38	92	21	226	46	142	38	228	65	136	27
泌尿器科	5	5	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	1	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0
計	1215	532	655	28	1457	672	738	47	1496	708	742	46

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
脳血管疾患	110	85	49	72	73	53	84	71
廃用症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器	503	473	337	351	171	258	245	229
呼吸器	70	60	27	57	72	55	84	86
摂食嚥下療法	25	23	11	11	16	0	0	4
合計	708	641	424	491	332	366	413	390

13. 栄養室

(1) 患者食延数

(単位:人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常食	59,290	62,744	60,263
軟食	60,584	65,879	73,280
流動食	13,722	16,576	19,880
特別食	105,121	104,358	96,818
調乳	711	920	793
合計	239,428	250,477	251,034

(2) 栄養指導

(単位:件)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	1,084	652	1,736	1,067	714	1,781	1,097	868	1,965
集団栄養指導(糖尿病)	48	—	48	55	—	55	57	—	57
栄養管理計画書	2,810	—	2,810	2,604	—	2,604	2,458	—	2,458
病棟訪問	9,616	—	9,616	9,218	—	9,218	9,874	—	9,874
糖尿病透析 予防指導	—	72	72	—	136	136	—	200	200
人間ドック	—	97	97	—	101	101	—	97	97
両親学級	—	10	10	—	—	0	—	—	0
在宅酸素外来栄養相談	—	—	0	—	—	0	—	—	0
特定検診	—	—	0	—	—	0	—	—	0
緩和ケア個別栄養食事加算	—	—	0	—	—	0	—	—	0
栄養情報提供書			0	72		72	98		98
合計	13,558	831	14,389	13,016	951	13,967	13,584	1,165	14,749

(3) 栄養指導件数内訳

(単位:件)

区分	令和2度			令和3度			令和4度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	243	327	570	322	448	770	303	508	811
腎臓病	117	159	276	148	143	291	107	125	232
消化器	120	3	123	97	4	101	101	41	142
心臓病	74	6	80	105	8	113	115	21	136
脂質異常症	111	23	134	88	22	110	94	30	124
癌	279	77	356	179	40	219	215	93	308
その他	140	57	197	128	49	177	162	50	212
合計	1,084	652	1,736	1,067	714	1,781	1,097	868	1,965

14. 人工透析室

(1) 患者延数

(単位:人)

区分	令和2度	令和3度	令和4度
年間透析回数	14,512	14,014	14,142
入院	1,435	1,442	1,368
外来	13,077	12,572	12,774
昼間	13,003	12,469	12,646
出張	74	103	128

15. 患者支援センター

1. 紹介患者状況

(人)

年度	2020年度	2021年度	2022年度
被紹介	8,625	9,327	9,572
戻し紹介	1,512	1,719	1,607
逆紹介	6,202	6,705	6,649

2. 診療科別紹介患者状況

(人)

区分	2020年度			2021年度			2022年度		
	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介
内科	3,253	583	2,531	3,525	578	2,611	3,538	599	2,677
心療内科	1	1	31	0	0	11	1	0	10
神経内科	135	4	88	0	2	117	133	1	108
小児科	742	201	210	793	217	236	802	193	238
外科	923	126	797	965	147	845	857	128	852
整形外科	709	34	857	787	28	1,034	872	27	1,045
脳神経外科	455	109	726	474	164	733	511	116	712
皮膚科	172	2	21	177	4	32	148	2	23
泌尿器科	515	45	272	581	81	306	609	27	250
産婦人科	456	1	101	489	4	142	447	3	148
眼科	146	0	141	149	0	100	173	0	130
耳鼻咽喉科	118	0	53	126	2	49	102	0	53
放射線診断科	363	363	0	449	449	0	485	485	0
放射線治療科	10	5	18	15	4	17	17	3	21
麻酔科	11	0	1	11	0	2	10	0	1
救急科	0	0	0	17	3	36	42	4	73
リハビリ科	0	0	9	0	0	12	0	0	13
歯科口腔外科	562	38	328	688	36	404	748	19	275
形成外科	54	0	18	81	0	18	77	0	20
合計	8,625	1,512	6,202	9,327	1,719	6,705	9,572	1,607	6,649

3. 地域別被紹介人数

区分	2020年度	2021年度	2022年度
藤岡市	3182	3,325	3,443
多野郡	127	150	144
高崎市	1,546	1,672	1,708
富岡市	138	118	167
前橋市	547	709	666
伊勢崎・佐波	254	357	312
その他県内	145	179	193
本庄市	1,250	1,374	1,382
児玉郡	1,059	1,032	1,089
その他埼玉県	188	247	293
その他県外	189	164	175
合計	8,625	9,327	9,572

5. 入退院支援室 入院予約患者対応人数

診療科	2020年度	2021年度	2022年度
内科	1,017	982	979
小児科	41	54	32
外科	604	514	576
整形外科	248	288	290
脳神経外科	24	21	45
皮膚科	3	2	0
泌尿器科	327	376	342
産婦人科	298	306	263
眼科	79	95	99
歯科口腔外科	75	128	109
合計	2,716	2,766	2,735

4. 医療福祉相談件数 (延べ件数)

医療相談実績	2020年度	2021年度	2022年度
合計	24,706	26,154	27,531

16. 健康管理センター

(1) 人間ドック

(単位：件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1泊2日ドック	100	103	95
日帰りドック	3,400	3,819	3,929
脳ドック	74	73	92
PET-CT	13	19	60
計	3,587	4,014	4,176

(2) 健康診断

(単位：件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活習慣病	1,781	1,947	1,953
企業健診	2,940	2,982	2,962
就業・入学	317	331	391
乳・甲状腺	507	577	607
婦人科検診	322	355	400
特定健診	166	164	163
特定保健指導	27	36	62
計	6,060	6,392	6,538

17. 母親学級 (マザーズクラス)

※令和4年度は開催なし。

IX 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

(1) 開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

(2) 沿革

年 月 日	記 事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数 非常勤講師 1 名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 1 名、非常勤講師 1 名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 2 名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西 2 階病棟 3 部屋 56.00 m ² (共用部分を含む)を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数 3(小学部 2、中学部 1) 教職員数 教諭 3 名、応援教諭 1 名(本校より) 教室等 普通教室 2、職員室 1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動(西 2 階病棟の 2 部屋へ) 教室等 普通教室 2、職員室 0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 3 名、非常勤講師 1 名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動(西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 m ² へ) 教室等 普通教室 3、職員室 1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 4 名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 5 名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数 4(小学部 2、中学部 2)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。

平成 13 年 4 月 1 日	群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2) 教職員数 教諭 7 名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動(事務棟 140.18 m ² へ) 教室等 普通教室 5、職員室 1、多目的室 1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数 6 (小学部 3 + 重複学級 1、中学部 2) 教職員数 教諭 5 名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2)
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転 (外来棟 32 m ²) 普通教室 1、職員室 1

(3) 児童生徒数 (年度内在籍児童生徒数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
児童生徒数	11	4	4	8	1	4	4

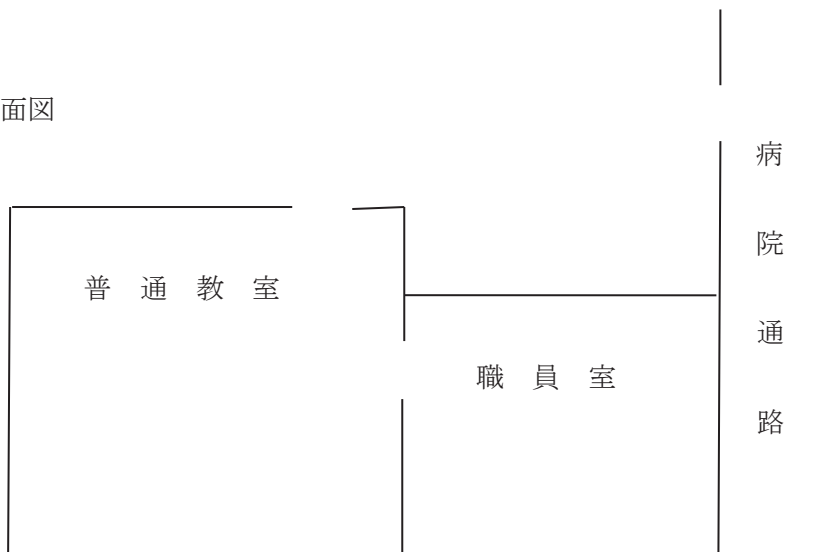
(4) 教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける。

(5) 学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

(6) 校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設
【しらさぎの里】

訪問看護ステーション
【はるかぜ】

理 念

利用者本位のサービス

基本方針

1. 利用者の人権を尊重し、上質なサービスを提供します。
2. 安全に配慮したチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。
3. 医療・他機関、地域と連携し、総合的に在宅支援を行います。

I 施設の現況

1. 施設の概要（令和5年3月31日現在）

名 称	介護老人保健施設しらすぎの里	
所 在 地	群馬県藤岡市中栗須519番地2	
電 話 番 号 等	TEL. 0274-24-6633 FAX. 0274-24-6634 E-mail : sirasagi@fujioka-hosp. or. jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp/shirasagi/	
開 設 者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博	
設 立 年 月 日	平成 9年 7月 1日	
構 成 市 町 村	藤岡市、神流町、上野村、高崎市	
施 設 長	河合 弘進	
定 員	入所 80人 一般療養棟 40人 認知症専門棟 40人 通所 50名	
サービス種類	介護老人保健施設	平成 9年 7月 1日許可
	通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	居宅介護支援事業	平成11年 9月30日指定
面積及び構造	敷地面積 5,017㎡	
	延床面積 4,300㎡	
	1階 1,587㎡	通所リハビリテーション部門、管理部門
	2階 1,363㎡	一般療養棟部門
	3階 1,350㎡	認知症専門棟部門
構 造	鉄筋コンクリート造 3階建	

2. 歴史と沿革

平成 8年 8月16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号） 老人保健施設分40人、痴呆加算対象分40人、通所分40人
	初代老人保健施設長 大野 治俊（群馬県指令高第68号）
	痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算届出受理（高第171号）
8月 1日	生活保護法による医療機関指定（藤第86号）
	老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成10年 2月27日	老人保健施設入所者基本施設療養費（Ⅱ）届出受理（高第571号）
5月28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算届出受理（高第169号） 通所定員40人中10人
10月20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算変更届出受理（高第392号） 通所定員40人中10人⇒20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更 短期入所5床⇒20床
平成11年 4月 1日	第2代老人保健施設長 栗原 寛（群馬県指令高第3号） 老人保健施設開設許可事項の変更 通所定員40人⇒50人
9月30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更 介護老人保健施設、訪問看護ステーション 生活保護法による介護機関指定 介護老人保健施設（介み藤第86号） 通所リハビリテーション（藤介第13号） 短期入所療養介護（藤介第13号） 居宅介護支援事業（藤介第13号）
	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定 老人保健施設（保予第164号）
平成13年 5月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成17年10月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
平成19年 4月 1日	第3代介護老人保健施設長 田中 壯佑（群馬県指令介高第608-31号）
10月 1日	祭日通所リハビリテーション実施
平成20年 3月21日	指定居宅介護支援事業者指定変更（群馬県指令介高第30133-55号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
3月31日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月30日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号） 介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護
6月12日	口腔機能向上体制加算の届出
平成21年 3月 3日	平成21年4月介護報酬改定に伴う届出 通所リハビリテーション大規模型（Ⅰ）月平均利用者数751～900人
3月31日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション
	夜勤職員配置加算に係る届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護
	特定事業所加算に係る届出 居宅介護支援事業
7月21日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定（群馬県指令保予第722-36号）
10月 1日	事業所評価加算の届出 介護予防通所リハビリテーション
平成23年 4月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成24年11月 1日	喀痰吸引等(特定行為)事業者登録（介高第30243-9号）
平成26年 4月 1日	在宅強化型介護老人保健施設の届出 介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
	指定居宅介護支援事業所指定更新（群馬県指令介高第30221-1号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション
10月21日	禁煙認定施設屋内禁煙(建物全体)の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長 河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
令和元年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算(Ⅰ)の届出

II 職員の現況

1. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

しらさぎの里

〔単位：人〕

部門・職種別		令和 2年度			令和 3年度			令和 4年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度 任用職員		職員	会計年度 任用職員	
診療部	医師	1		1	1		1	1		1
	計	1	0	1	1	0	1	1	0	1
診療支援部	理学療法士	1	1		2	2		2	2	
	作業療法士	2	2		2	2		2	2	
	栄養士	1	1		0	0		0	0	
	計	4	4	0	4	4	0	4	4	0
看護部	看護師	5	5		5	5		9	9	
	再任用	0	0		0	0		0	0	
	准看護師	5	5		5	5		5	5	
	再任用	3	3		1	1		1	1	
	介護福祉士	20	19	1	21	20	1	21	20	1
	介護職員	3	1	2	2	1	1	2	1	1
計	36	33	3	34	32	2	38	36	2	
経営管理部	事務員	1	1		1	1		1	1	
	再任用	1	1		1	1		0	0	
	介護支援専門員	5	5		5	5		5	5	
	計	7	7	0	7	7	0	6	6	0
合計		48	44	4	46	43	3	49	46	3

訪問看護ステーション

〔単位：人〕

部門・職種別		令和 2年度			令和 3年度			令和 4年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度 任用職員		職員	会計年度 任用職員	
看護師		10	8	2	12	9	3	11	8	3
再任用		1	1		1	1				
事務員										
合計		10	9	2	13	10	3	11	8	3

2. 主要役職員名簿

しらさぎの里

職名	氏名	職名	氏名
診療部 施設長	河合 弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	新井 恵介
看護部 看護師長	武井 浩之	しらさぎ管理課課長補佐	中野 俊幸
介護グループGL	金田 夏樹	支援相談員	柳井 紀道
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田 さゆり	施設介護支援専門員	長坂 美樹

訪問看護ステーション

職名	氏名
看護部 看護師長	山口 明子

Ⅲ 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
第119回日本内科学会講演会	LIVE配信	4月	1人
2022年度前期医療安全必須研修	e-ラーニング	5月	50人
2022年度前期医療安全必須研修	e-ラーニング	6月	48人
第65回日本腎臓学会学術総会	LIVE配信	6月	1人
第67回日本透析医学会学術集会・総会	オンライン	7月	1人
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
訪問看護師養成研修[ステップ1]公開講座	前橋市	7月	1人
訪問看護師養成研修[ステップ1]公開講座	前橋市	10月	1人
令和4年度第1回支援相談員研修会	ZoomオンラインLIVE研修	10月	3人
令和4年度第1回栄養担当職員研修会	Web動画配信	10月	1人
令和4年度看護・介護職員研修会	Web配信	11月	1人
令和4年度給食関係者講習会Ⅱ	Zoomオンライン	12月	1人
令和4年度第2回喀痰吸引等指導者講習	前橋市	2月	1人
管理職必須研修	藤岡市	2月	5人
令和4年度第2回支援相談員研修会	Zoomオンライン	2月	2人
総合評価研修会	藤岡市	2月	2人
2022年度後期医療安全必須研修	Web	2月	50人
介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー	Zoomオンライン	3月	2人
2022年度養育支援体制研修	Web	3月	48人

施設内研修会

開催月	開催日	内容	講師	受講人数
4月	4月27日	【医療安全研修】 「ハラスメントについて」	看護師長 武井浩之	20
5月	5月11日	【3階カンファレンス時勉強会】 「視神経の障害部位と視野異常について」	施設長 河合弘進	10
	5月25日	【高齢者虐待防止・権利擁護関係研修1】 「高齢者の権利擁護、高齢者虐待の防止」	看護師長 武井浩之	20
	5月26日	【2階カンファレンス時勉強会】 「水腎症について」	施設長 河合弘進	8
	5月31日	【3階カンファレンス時勉強会】 「脳幹部機能障害について」	施設長 河合弘進	10
6月	6月22日	【身体的拘束等の適正化のための研修1】 「身体的拘束適正化研修」	看護師長 武井浩之	24
7月	7月11日	【看護師長会研修伝達講習1】 「身体抑制」について	看護師長 武井浩之	7
	7月14日	【看護師長会研修伝達講習2】 「身体抑制」について	看護師長 武井浩之	7
	7月27日	【リハビリ研修】 「身体活動について」 ～利用者様の心身の健康のために～	理学療法士 鈴木元美	17
	7月29日	【2階勉強会】 「大動脈弁狭窄について」	看護師長 武井浩之	8
8月	8月24日	【医療安全研修】 「部署別取り組み」について	看護師長 武井浩之	15
9月	9月28日	【安全運転管理研修】 秋の全国交通安全運動実施中にあたり	管理課 中野俊幸	16
	9月29日	【感染防止研修】 「高齢者介護施設における感染対策」①	看護師長 武井浩之	7
	9月30日	【感染防止研修】 「高齢者介護施設における感染対策」②	看護師長 武井浩之	6
10月	10月12日	【3階カンファレンス時勉強会】 「脳梗塞の分類」について	施設長 河合弘進	9
	10月26日	【紙おむつ勉強会】 パットのリニューアルポイント解説、ほか	(株)リフト・リコーポリューション リフレポーター 持田恵子氏	14
	10月28日	【フロア勉強会(2階)①】 「病棟で活かせるフットケア」	看護師 成瀬絵梨佳	6
11月	11月1日	【フロア勉強会(2階)②】 【乾燥・浮腫のある患者の皮膚損傷予防】	看護師 成瀬絵梨佳	6
	11月1日	【身体拘束適正化検討委員会勉強会】 「その身体拘束は大丈夫!?!」講義及びグループワーク	看護師長 武井浩之	7

	11月15日	【3階カンファレンス時勉強会】 「転移性大腸がん」について	施設長 河合弘進	9
	11月16日	【フロア勉強会(3階)】 ①「乾燥・浮腫のある患者の皮膚損傷予防」 ②「病棟で活かせるフットケア」	看護師 成瀬絵梨佳	7
	11月24日	【高齢者虐待防止・権利擁護関係研修2】 「認知症の人の看護」	看護師 太田好子	13
12月	12月26日	高齢者の不眠治療	施設長 河合弘進	20
1月	1月4日	【褥瘡対策リンクス部会伝達講習】 「褥瘡に対するポジショニング」「栄養補助食品の効果」「院内褥瘡発生分析結果」	看護師 成瀬絵梨佳	6
	1月16日	【紙おむつ等研修会】 スピードキャッチパットスパーの取扱いと効果等	(株)リフトテクノロジー フレサポーター 持田恵子氏	11
	1月25日	「高齢者(認知症者)のケアの工夫」	看護師長 武井浩之	19
		【離床センサー勉強会】 「赤外線センサーの取扱いについて」	看護師長 武井浩之	14
	1月18日～ 28日	【感染症食中毒予防関係研修】 「感染手指衛生基本的な感染対策勉強会①」	看護師 井上靖代	26
2月	2月1日～ 10日	【感染症食中毒予防関係研修】 「感染手指衛生基本的な感染対策勉強会②」	看護師 井上靖代	8
	2月22日	【2022年度後期医療安全必須研修】 BLS研修	看護師長 武井浩之	15

IV. 教育実習生・研修生受入れ実績

※介護老人保健施設「しらさぎの里」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	77	225	5/9～11/16	高齢者看護学実習 I	3日間/1人
藤岡准看護学校	16	128	5/9～10/28	看護実習	8日間/1人
群馬県立万場高等学校	2	2	11/9～11/10	介護職員初任者研修現場実習	1日間/1人
群馬県立藤岡北高等学校	1	3	6/8～6/10	介護職員初任者研修現場実習	3日間/1人
合計	96	358			

※訪問看護ステーション「はるかぜ」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	14	80	5/9～11/9	在宅看護論	3日間/1人
群馬県看護協会訪問看護研修	2	8	8/23～8/26	訪問看護研修指導者編	4日間/1人
藤岡循環後学校	19	19	5/27～11/4	在宅看護論実習	1日間/1人
合計	35	107			

V 経営状況

1. 損益計算書

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
施設運営事業収益	417,943	393,693	94.2	439,069	111.5
事業収益	409,578	389,633	95.1	423,742	108.8
施設介護収益	258,451	235,137	91.0	248,699	105.8
居宅介護収益	47,798	53,350	111.6	61,755	115.8
居宅介護支援収益	14,937	14,061	94.1	14,893	105.9
施設介護利用料収益	74,792	72,032	96.3	81,172	112.7
居宅介護利用料収益	10,901	11,811	108.3	13,674	115.8
その他事業収益	2,700	3,242	120.1	3,549	109.5
事業外収益	5,465	4,060	74.3	15,123	372.5
受取利息及び配当金	1	0	0.0	0	—
長期前受金戻入	1,602	1,975	123.3	1,975	100.0
その他事業外収益	1,349	2,000	148.3	2,383	119.2
補助金	2,513	85	—	10,765	12,664.7
特別利益	2,900	0	—	204	—
過年度損益修正益	0	0	—	204	—
施設運営事業費用	482,053	483,560	100.3	511,047	105.7
事業費用	468,711	474,538	101.2	503,416	106.1
給与費	328,430	338,771	103.1	353,989	104.5
材料費	36,505	32,786	89.8	37,156	113.3
経費	40,707	39,421	96.8	49,206	124.8
委託費	40,449	41,655	103.0	41,532	99.7
減価償却費	21,633	21,707	100.3	21,416	98.7
資産減耗費	86	0	—	0	—
研究研修費	113	198	175.2	117	59.1
長期前払消費税償却	788	0	0.0	0	—
事業外費用	10,442	9,022	86.4	7,631	84.6
支払利息及び企業債取扱諸費	10,442	9,022	86.4	7,631	84.6
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	2,900	0	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	2,900	0	—	0	—
収支差引	△ 64,110	△ 89,867	△ 140.2	△ 71,978	△ 80.1

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
訪問看護事業収益	101,934	108,979	106.9	103,651	95.1
事業収益	99,798	108,098	108.3	103,337	95.6
訪問看護療養収益	52,574	56,650	107.8	51,948	91.7
介護保険訪問看護療養収益	37,347	40,461	108.3	40,810	100.9
居宅介護支援収益	0	0	—	0	—
訪問看護利用料収益	5,502	6,147	111.7	5,210	84.8
介護保険利用料収益	4,375	4,840	110.6	5,369	110.9
事業外収益	136	281	206.6	314	111.7
受取利息及び配当金	1	0	0.0	0	—
その他事業外収益	135	281	208.1	314	111.7
特別利益	2,000	600	—	0	—
その他特別利益	2,000	600	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
訪問看護事業費用	80,526	90,198	112.0	85,753	95.1
事業費用	78,361	89,381	114.1	85,433	95.6
給与費	67,796	79,984	118.0	74,618	93.3
材料費	214	318	148.6	507	159.4
経費	8,857	7,583	85.6	8,418	111.0
減価償却費	1,440	1,440	100.0	1,788	124.2
資産減耗費	27	0	—	0	—
研究研修費	27	56	207.4	102	182.1
事業外費用	165	217	131.5	320	147.5
支払利息及び企業債取扱諸費	165	217	131.5	320	147.5
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	2,000	600	30.0	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	2,000	600	30.0	0	—
収支差引	21,408	18,781	87.7	17,898	95.3

2. 貸借対照表

* 介護老人保健施設事業

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
固定資産	847,819	946,985	111.7	1,046,141	110.5
有形固定資産	727,455	706,621	97.1	685,777	97.1
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	588,019	570,519	97.0	553,019	96.9
構築物	39,864	38,640	96.9	37,415	96.8
器械備品	2,178	2,178	100.0	2,178	100.0
車両	2,785	2,397	86.1	2,009	83.8
リース資産	12,063	10,341	85.7	8,610	83.3
減価償却累計額	846,444	871,591	103.0	894,795	102.7
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	120,000	240,000	200.0	360,000	150.0
流動資産	453,562	349,042	77.0	261,183	74.8
現金預金	372,838	269,113	72.2	177,603	66.0
未収金	80,724	79,929	99.0	83,580	104.6
資産合計	1,301,381	1,296,027	99.6	1,307,324	100.9
固定負債	496,411	441,185	88.9	387,492	87.8
企業債	291,031	238,219	81.9	183,997	77.2
リース債務	5,380	2,966	55.1	3,495	117.8
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	97,992	100,927	103.0	101,970	101.0
企業債	51,440	52,812	102.7	54,221	102.7
リース債務	4,098	4,474	109.2	1,576	35.2
未払金	13,152	11,454	87.1	12,556	109.6
引当金	27,095	29,916	110.4	31,354	104.8
その他流動負債	2,207	2,271	102.9	2,263	99.6
繰延収益	54,654	52,679	96.4	50,704	96.3
長期前受金	91,500	91,500	100.0	91,500	100.0
長期前受金収益化累計額	△ 36,846	△ 38,821	△ 105.4	△ 40,796	△ 105.1
資本金	533,500	653,500	122.5	773,500	118.4
自己資本金	533,500	653,500	122.5	773,500	118.4
剰余金	118,824	47,739	40.2	△ 6,341	△ 13.3
資本剰余金	10,149	10,150	100.0	10,150	100.0
利益剰余金	108,675	37,589	34.6	△ 16,491	△ 43.9
負債資本合計	1,301,381	1,296,030	99.6	1,307,325	100.9

3. 経営分析

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

区分	備 考	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	50.1%	54.1%	59.2%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	462.9%	345.8%	256.1%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	380.4%	266.6%	174.2%

介護老人保健施設

区分	備 考	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	86.7%	81.4%	85.9%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	87.4%	82.1%	84.2%
利用率	一般	88.2%	82.0%	88.1%
1日平均利用者数	入所	70.8人	65.6人	70.5人
	入所日数	365日	365日	365日
	通所	26.7人	27.6人	31.4人
	通所日数	244日	257日	247日
1人1日当り診療収入	入所	12,902円	12,831円	12,817円
	通所	8,995円	9,197円	9,733円
事業収益に対する割合	職員給与費	80.2%	86.9%	83.5%

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

区分	備 考	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	127.3%	121.0%	120.9%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	127.4%	120.9%	120.9%
1日平均利用件数	看護	34.2人	36.2人	35.4人
	リハビリ	10.1人	10.0人	9.1人
	訪問実日数	243日	242日	243日
事業収益に対する割合	職員給与費	67.9%	74.0%	72.2%

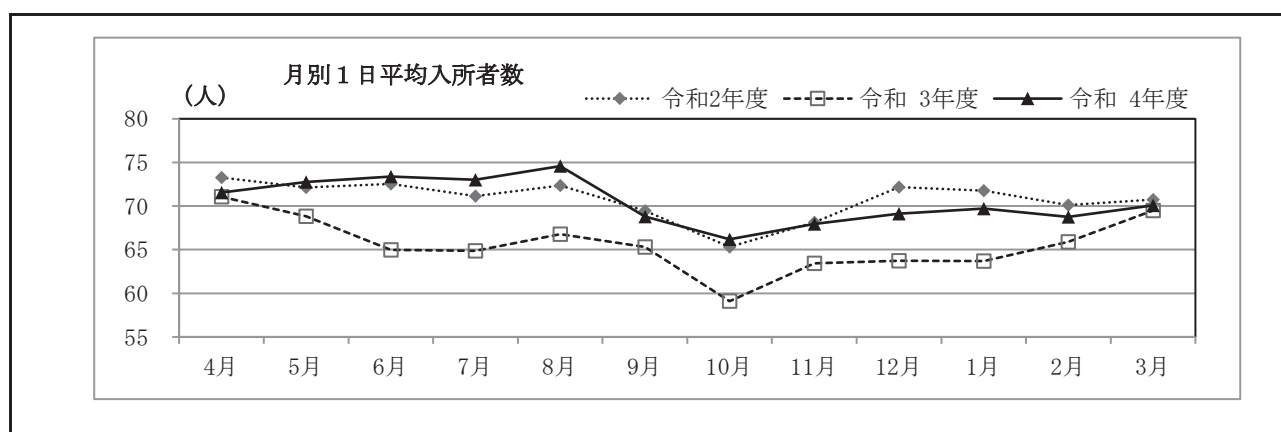
VI 業務統計

1. 介護老人保健施設しらすぎの里

(1) 施設サービス (入所利用者数)

〔単位：人〕

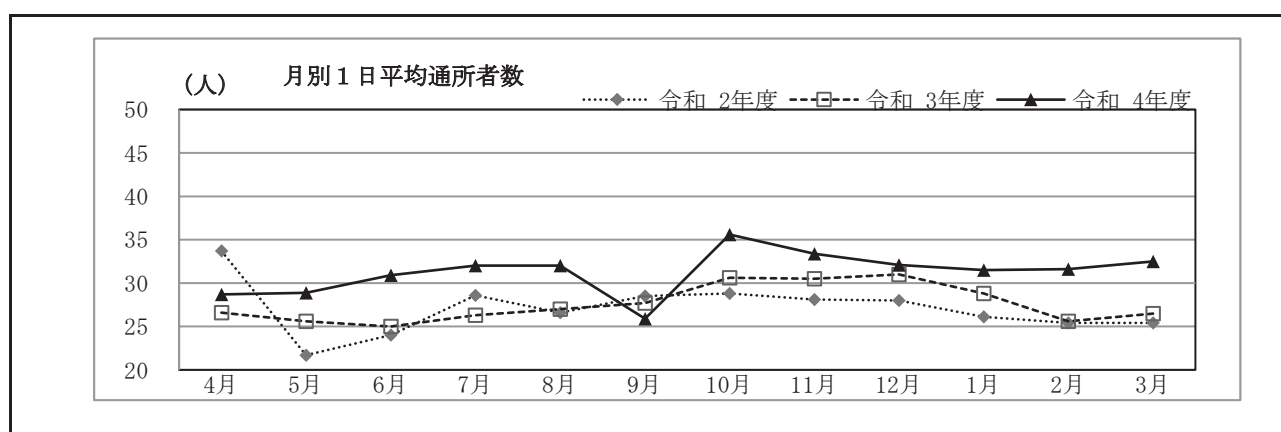
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 2年度	2,198	2,236	2,176	2,205	2,243	2,084	2,025	2,044	2,237	2,225	1,963	2,193	25,829
内リハ数	1,060	953	1,180	1,109	971	966	903	959	1,121	1,026	1,045	1,240	12,533
1日平均	73.3	72.1	72.5	71.1	72.4	69.5	65.3	68.1	72.2	71.8	70.1	70.7	70.8
令和 3年度	2,132	2,134	1,949	2,011	2,070	1,959	1,832	1,903	1,976	1,975	1,845	2,154	23,940
内リハ数	1,120	1,016	1,157	1,126	1,236	1,123	974	1,070	1,143	902	1,025	1,290	13,182
1日平均	71.1	68.8	65.0	64.9	66.8	65.3	59.1	63.4	63.7	63.7	65.9	69.5	65.6
令和 4年度	2,147	2,256	2,202	2,264	2,312	2,064	2,052	2,039	2,143	2,161	1,925	2,173	25,738
内リハ数	1,225	1,207	1,287	1,159	1,090	793	1,102	1,156	1,143	1,094	1,065	1,228	13,549
1日平均	71.6	72.8	73.4	73.0	74.6	68.8	66.2	68.0	69.1	69.7	68.8	70.1	70.5



(2) 居宅サービス (通所リハビリテーション利用者数)

〔単位：人〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 2年度	303	456	527	658	558	628	633	590	559	522	508	584	6,526
1日平均	33.7	21.7	24.0	28.6	26.6	28.5	28.8	28.1	28.0	26.1	25.4	25.4	26.7
令和 3年度	585	538	550	578	594	610	643	671	620	576	511	609	7,085
1日平均	26.6	25.6	25.0	26.3	27.0	27.7	30.6	30.5	31.0	28.8	25.6	26.5	27.6
令和 4年度	602	636	680	672	640	388	747	735	642	629	631	748	7,750
1日平均	28.7	28.9	30.9	32.0	32.0	25.9	35.6	33.4	32.1	31.5	31.6	32.5	31.4



(3) 居宅サービス (ショートステイ利用者数)

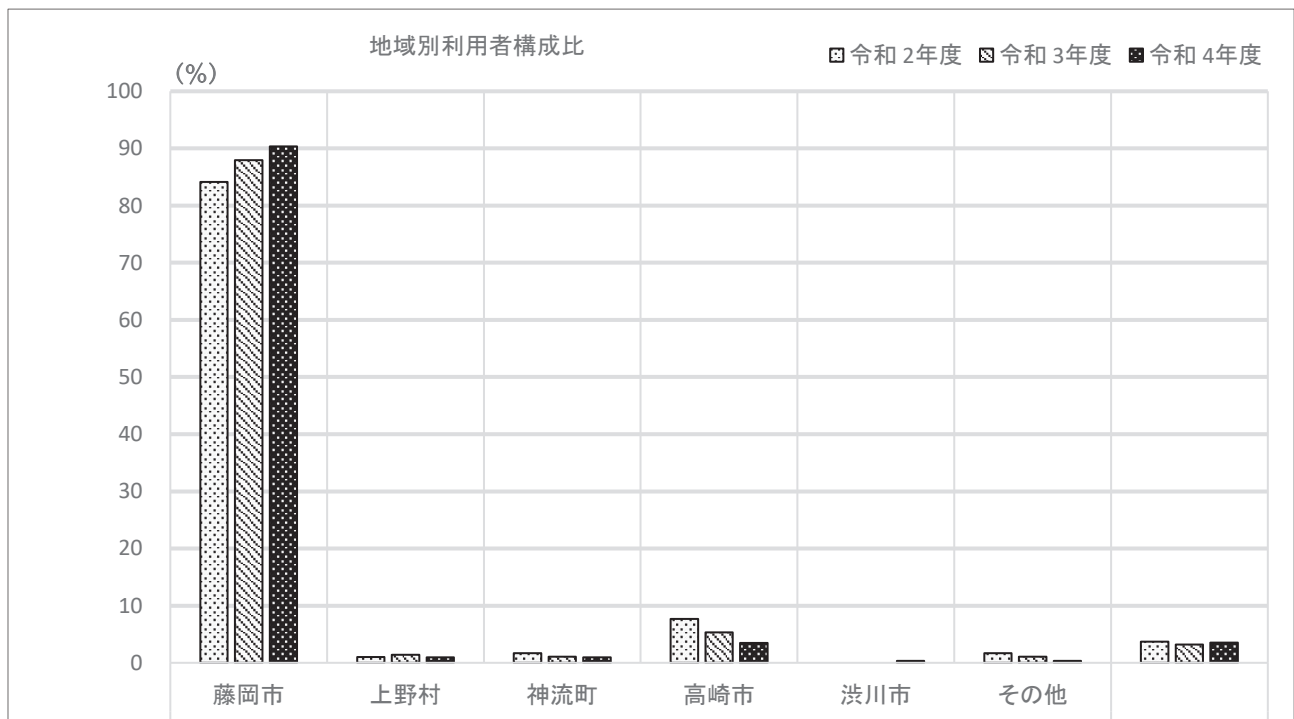
〔単位：人〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 2年度	23	18	2	0	4	15	15	27	0	0	19	9	132
令和 3年度	10	0	3	12	12	9	6	23	20	6	3	24	128
令和 4年度	7	19	29	11	25	2	10	9	6	8	4	4	134

(4) 地域別利用者数

[単位：人]

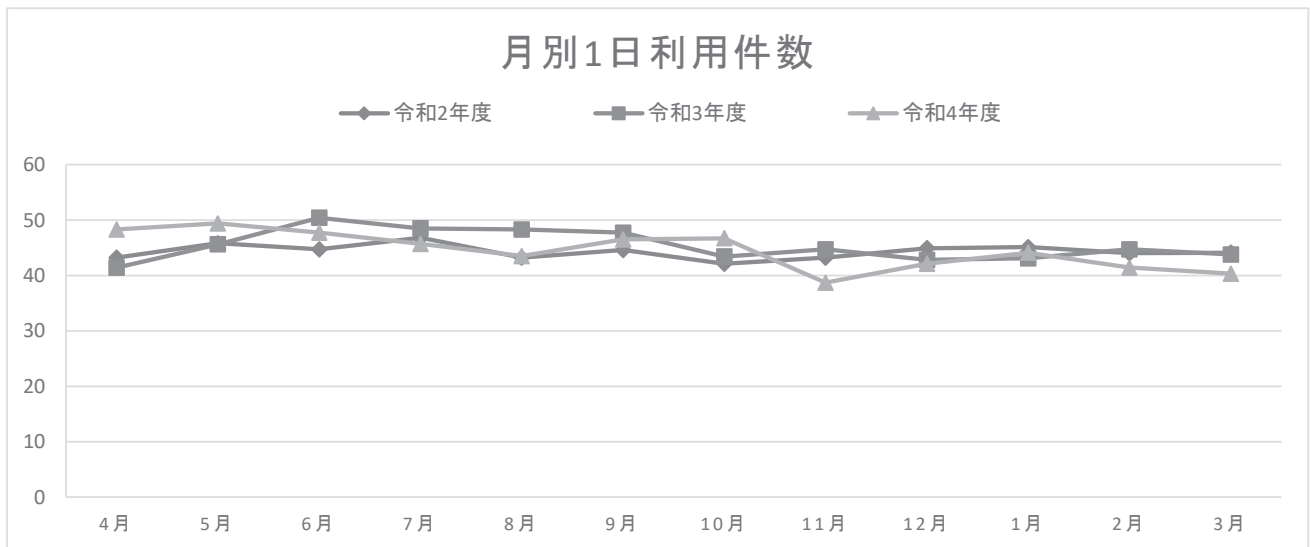
区分	県内	藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	渋川市	その他	小計	県外	合計	
2年度	利用者数	285	249	3	5	23	280	0	5	5	11	296
	入所	128	99	2	4	19	124	0	4	4	11	139
	短期入所	9	8	0	1	0	9	0	0	0	0	9
	通所リハビリテーション	148	142	1	0	4	147	0	1	1	0	148
	構成比(%)	96.3	84.1	1.0	1.7	7.7	94.5	0.0	1.7	1.7	3.7	100.0
3年度	利用者数	273	248	4	3	15	270	0	3	3	9	282
	入所	129	110	3	3	10	126	0	3	3	9	138
	短期入所	11	9	0	0	2	11	0	0	0	0	11
	通所リハビリテーション	133	129	1	0	3	133	0	0	0	0	133
	構成比(%)	96.8	87.9	1.4	1.1	5.3	95.7	0.0	1.1	1.1	3.2	100.0
4年度	利用者数	300	281	3	3	11	298	1	1	2	11	311
	入所	122	106	3	3	8	120	1	1	2	10	132
	短期入所	13	12	0	0	1	13	0	0	0	1	14
	通所リハビリテーション	165	163	0	0	2	165	0	0	0	0	165
	構成比(%)	96.5	90.4	1.0	1.0	3.5	95.8	0.3	0.3	0.6	3.5	100.0



2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」

月別利用者数

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数		966	940	1050	914	958	930	888	813	842	839	788	888	10816
	看護	788	706	840	710	764	707	710	646	681	672	617	697	8538
	リハビリ	185	184	210	204	194	183	178	167	161	167	171	191	2195
1日平均利用件数		48.3	49.4	47.7	45.7	43.5	46.5	46.7	38.7	42.1	44.1	41.4	40.3	44.5
	看護	39.4	37.0	38.0	35.5	34.0	35.3	37.3	30.7	34.0	35.3	32.4	31.6	35.0
	リハビリ	9.3	9.6	9.5	10.2	8.8	9.1	9.3	7.9	8.0	8.7	9.0	8.6	9.0
利用者数		136	138	138	137	132	135	134	133	132	134	132	134	134
	看護	136	138	136	136	132	134	133	132	130	134	132	133	133
	看護・リハ併用	31	28	32	33	30	31	32	34	32	31	30	34	31.5
	リハビリ主体	19	18	16	17	16	17	16	16	17	16	17	15	16.6



地域別利用者数

(単位：人、%)

項目 市町村別	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
藤岡市	170	68	182	72	177	75
神流町	0	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0
高崎市(吉井町)	13	5.2	9	3.6	12	5.1
高崎市	27	10.8	25	9.9	24	10.2
県内(その他)	0	0	1	0.4	0	0
県外	40	16	36	14	23	9.7
計	250	100	253	100		100

休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

(単位：人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
休日・祭日訪問		62	75	51	52	58	75	64	47	81	82	39	39	725
緊急訪問		61	72	50	55	56	47	48	56	36	43	57	70	651

業 務 概 要

業務概要

1. 診療部

(1) 総合診療科

1. スタッフ

常勤医師：神保貴宏

2. 診療業務の現況

月・火・金 午前の新患

月・火・水・木 午後の再来 の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

3. 今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

(文責：神保 貴宏)

(2) 消化器内科

1. スタッフ

常勤医は山口泰子、福田わかこの2名体制です。

外来は上記に加え、秋谷寿一、壁谷建志、内視鏡検査は非常勤医が担当します。

2. 業務の現状

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行っております。

入院では消化管出血、異物誤飲に対する緊急内視鏡処置、早期胃癌、早期大腸癌およびポリープの内視鏡治療を行い、胆道感染症、急性膵炎、また進行消化器がんの化学療法、緩和治療をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しております。外来対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患が主体で、その他検診二次の需要が増えております。ピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、大腸ポリープの内視鏡切除も行っております。

2020年度の主な内視鏡検査数は、上部消化管検査総数 5,748 件、下部消化管検査総数 1,492 件、内視鏡的膵胆管造影総数 56 件、ポリペクトミー (EMR も含む) 411 件、上部消化管 ESD30 件、緊急内視鏡 275 件、内視鏡的止血術 101 件となっております。

3. 今後の目標

消化管疾患は救急疾患、悪性疾患に対する検査、治療が多いため、消化器外科をはじめとする他科や専門スタッフと協力して迅速かつ質の高い診療を行えるよう努力していきます。また、今年度より胃腫瘍に加え、食道、大腸に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) に取り組んでいます。

(文責：山口 泰子)

(3) 循環器内科

1. スタッフ

入院担当は 井上雅浩・間渕由紀夫・植田哲也・高松寛人・小野洋平・布施智博の 6 名です。
外来担当は入院スタッフに加え、鈴木忠・倉林正彦・飯島徹・山岸美保・長谷川寛（不整脈外来）です。

2. 業務の現況

当科では、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）・心不全・不整脈・心筋症（拡張型・肥大型・二次性）・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患（胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離）・閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断や治療を行っています。

冠動脈や末梢血管に対する心血管インターベンション治療は、ステント留置術・バルーン血管形成術・血栓吸引術などを行なっています。冠動脈CTや血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。

急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）に対する緊急カテーテル治療は 24 時間体制で対応しています。毎年 100 例程の緊急カテーテル治療を行っています。

閉塞性動脈硬化症に対する血管インターベンション治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込み、肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置なども行っています。

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療や植え込み型除細動器、心不全に対する両室ペーシング、冠動脈バイパス術、弁置換術、大血管の手術が必要な症例は、群馬県立心臓血管センター、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院などと連携し診療しています。

3. 2022 年度のおもな検査・手術件数

カテーテル検査および治療 563。アセチルコリン負荷検査 28、右心カテーテル検査 15、心筋生検 5。冠動脈カテーテル治療 (PCI)214（待期的 122、緊急 92）、（ロータブレード1）。大動脈内バルーンパンピング(IABP)7、経皮的心肺補助法(PCPS)1。下大静脈フィルター0。緊急一時ペーシング 12。ペースメーカー植え込み 49（新規およびリード交換 33、電池消耗に伴う本体交換のみ 16）。植え込み型心電計 1。末梢血管形成術 104（動脈形成術・シャント血管形成術）。

4. 今後の目標

- 1 丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
- 2 医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
- 3 カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
- 4 地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
- 5 インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
- 6 臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方や基本技術を身につけた医師を育てる。

（文責：井上 雅浩）

(4) 呼吸器内科

1. スタッフ

茂木充、竹村仁男、高野峻一

常勤医 3 人体制で診療にあたっている。

非常勤医師：池田香菜、須賀達夫、若松郁生：外来診療を行っている。

2. 業務の現況

呼吸器内科では肺癌をはじめとする腫瘍性疾患（悪性中皮腫、縦隔腫瘍を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、多種多様な呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、細気管支炎、胸膜炎、肺結核など）、特発性肺線維症をはじめとする間質性肺疾患（特発性間質性肺炎、膠原病肺、薬剤性間質性肺炎など）、気胸、各種胸膜炎、肺血栓塞栓症などを主な対象疾患としている。

入院患者の主な疾患は、肺癌、肺炎、間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、呼吸不全などである。

肺癌患者の治療は十分なインフォームド・コンセントを得た上で、手術療法、化学療法、放射線療法のうち、その患者に適切な治療法を選択し施行している。呼吸器内科としては化学療法単独、放射線療法単独、ならびに化学療法・放射線療法併用療法を行っている。近年では、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療例が増加し、進行肺肺癌の治療成績は飛躍的に向上してきている。

間質性肺疾患としては、特発性間質性肺炎をはじめ、膠原病に関連する間質性肺炎や薬剤性肺炎を数多く診療している。

2020年度からCOVID-19のパンデミックに伴う入院患者が増加した。2021年度から2022年度には、重症のCOVID-19患者が多数入院し、積極的に診療に当たった。

気管支鏡検査は、2020年度は83件、2021年度は101件、2022年度は140件に行っている。日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり、超音波気管支鏡が導入されており、超音波気管支鏡検査対象患者数が増加している。

〈外来担当医表〉

	月	火	水	木	金
午前	池田・若松	池田・茂木	池田	池田・高野	池田・茂木
午後	茂木	高野-	須賀・竹村	(気管支鏡)	竹村

3. カンファランス、研修教育

・多職種合同呼吸器カンファレンス：毎週水曜日に北5階病棟で行っている。参加メンバーは、呼吸器内科医（専門医、指導医）、放射線治療医、研修医、病棟看護師長、緩和ケア専門看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーらで構成されている。

研修医教育には一段と力を注ぎ、魅力のある病院にするべく努力している。学会発表を積極的に行い、研修医にも発表の機会を提供している。

4. 臨床研究テーマ

- 1) EGFR T790M 変異陽性非小細胞肺癌におけるオシメルチニブの有効性と有害事象の検討
- 2) 肺癌治療における免疫チェックポイント阻害薬の有効性と有害事象の検討
- 3) 手術不能小細胞肺癌患者に対する化学放射線同時併用療法後のイミフィンジ療法の臨床的検討
- 4) 薬剤性肺障害の臨床的検討
- 5) 各種間質性肺炎のHRCT所見の検討
- 6) レジオネラ肺炎の臨床的検討
- 7) ニューモシスチス肺炎の臨床的検討
- 8) COVID-19肺炎の画像所見の検討
- 9) COVID-19-ARDSの臨床的検討：アクテムラ療法の検討
- 10) COVID-19肺炎に続発する侵襲性肺アスペルギルス症の検討
- 11) 重症間質性肺疾患に対する大量長期ステロイド療法後の筋力低下に対する早期リハビリテーション導入と継続の効果

5. 今後の展望

群馬大学付属病院をはじめとする他の専門病院との連携を深め、県内の呼吸器科医の育成に

努め、群馬県内（埼玉県北部医療圏を含む）の呼吸器疾患診療のさらなる充実を目指す。

（文責：茂木 充）

（5）血液内科

1. スタッフ

外山耕太郎、武井寿史、中山敬太、梶田樹矢（内科専攻医）

2. 業務の現況

今年度は血液指導医・専門医 2 名、内科認定医 1 名、内科専攻医 1 名でスタートとなった。群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

しかし今年度は、COVID-19 の影響もあった影響か、病棟看護師の離職・病欠が相次ぎ、特に無菌管理区域の看護師数を確保することができず、病床制限を行わざるを得ない状況に追い込まれ、十分に needs に応えて行くことが困難であった。

各種学会発表も盛んに行い、専攻医の教育にも力を入れ、症例のまとめを行うことができたため、2023 年度の学会に発表予定となっている。

3. 今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。

研修指定病院としての役割で投下の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

4. 業務実績

新規患者数

疾患		症例数
急性白血病	急性骨髄性白血病	11
	急性混合性白血病	1
	小計	12 例
骨髄異形成症候群		8
	小計	8 例
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	16
	高悪性度 B 細胞リンパ腫	4
	濾胞性リンパ腫	3
	節制辺縁帯リンパ腫	6
	慢性リンパ性白血病	1
	リンパ形質細胞性リンパ腫	1
	原発性中枢神経リンパ腫	1

	その他の医原性免疫不全に伴うリンパ増殖性疾患 進行性NK細胞リンパ腫	1 1
	T細胞大顆粒リンパ球性白血病	1
	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	3
	古典的ホジキンリンパ腫	1
	小計	39 例
形質細胞性腫瘍	多発性骨髄腫	12
	MGUS	5
	AL アミロイドーシス	2
	小計	17 例
骨髄増殖性疾患	慢性骨髄性白血病 慢性期	2
	真性多血症	2
	本態性血小板血症	4
	原発性骨髄線維症 前線維期	2
	原発性骨髄線維症	0
	慢性骨髄単球性白血病	1
	続発性骨髄線維症	1
	小計	12 例
その他	免疫性血小板減少症	5
	自己免疫性溶血性貧血	1
	悪性貧血	5
	血栓性血小板減少性紫斑病	1
	葉酸欠乏性貧血	2
	自己免疫性好中球減少症	1
	ビタミンB12欠乏性貧血（胃全摘後）	1
	赤芽球癆	1
	抗リン脂質抗体症候群	1
	遺伝性球状赤血球症	1
	EBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症	2
	再生不良性貧血	1
	壊死性リンパ節炎	1
	寒冷凝集素症	1
	伝染性単核球症	4
	小計	28 例
合計		104 例

自家末梢血造血幹細胞移植 1 例

（文責：外山 耕太郎）

(6) 腎臓・リウマチ内科

1. スタッフ

塚田義人、太田史絵、月田真祐子、茂木伸介、土屋俊平、真下裕

2. 業務内容

腎疾患診療については検尿異常から慢性腎臓病、ネフローゼ、急性腎障害などの患者さんの診療に対応している。今年度は26例の腎生検を行った。

慢性腎臓病関連では、当院通院中の患者さんに対し、腎臓病チーム主催で、5月と11月に腎臓病教室を開催した。また慢性腎臓病3期以降の患者さん14名に対し、透析室スタッフの協力を得て腎代替療法選択外来で透析・移植治療についての情報提供を行った。

血液浄化治療に関しては、人工透析室に固定式29台、可動用2台の透析用コンソールを有し、維持外来血液透析患者さんだけでなく、新規導入や他院からの紹介、HCUや病棟での緊急透析に対応している。今年度は16件の新規血液透析導入と、2件の新規腹膜透析導入を行った。またCOVID-19を合併した血液透析患者さん14名の入院を受け入れ、感染症病棟での透析治療を行った。内シャント狭窄・閉塞に対する血管内治療を78件施行した。維持血液透析患者さんについては透析中に運動療法を行い、廃用予防に努めている。希望する患者さんに対しては内シャントについての講演会も行った。

そのほか急性腎障害に対する一時的な血液透析、血栓性血小板減少性紫斑病などに対する血漿交換療法、ネフローゼ・閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着療法や、難治性腹水に対する腹膜濾過濃縮再静注療法、敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法などの血液浄化療法にも対応している。

リウマチ・膠原病に関しては県内のみならず、埼玉北部からも広く患者さんが紹介されている。不明熱の患者さんも広く受け入れている。検査室の協力を得て、生理検査室で手・手関節の関節エコー検査ができるようになった。この数年でリウマチ・膠原病領域で新たな治療薬が複数承認されているので、薬の副作用に留意しつつ、疾患の寛解を目指して積極的に治療に当たっている。

3. 今後の目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓・リウマチ膠原病治療に貢献できるよう、診療の幅を広げていきたい。

(文責：太田 史絵)

(7) 糖尿病内科

1. スタッフ

常勤 中原 理恵子

非常勤医師3名 西野道夫 津久井智 朱啓子

2. 業務内容

【診療内容】

外来 糖尿病外来 6単位、甲状腺外来 2単位、フットケア外来 1単位

入院 糖尿病教育入院(8日間・15日間)、血糖コントロール入院、糖尿病ケトアシドーシス等高血糖昏睡、内分泌精査入院(ACTH単独欠損症、副腎皮質機能低下症、尿崩症、原発性アルドステロン症など)、粘液水腫性昏睡、副腎クリーゼなどの入院治療
コンサルテーション対応 周術期・感染症・ステロイド治療・糖代謝異常妊娠

周産期等における血糖管理など

【糖尿病チーム活動等】

・糖尿病療養チーム

糖尿病療養指導士 計14名（看護師4名、管理栄養士4名、薬剤師2名、理学療法士2名、臨床検査技師2名）

群馬糖尿病療養指導士 計13名（看護師5名、リハビリ8名）

入院・外来糖尿病教室の運営や企画、職員啓蒙、学会発表など

糖尿病治療支援委員会 月1回

透析予防指導カンファレンス 月1回

- ・外来糖尿病教室（年間計4回）
- ・かんなの会（公立藤岡総合病院糖友会）

外来診療は非常勤医師を含め糖尿病外来6単位、甲状腺外来2単位で診療を行っています。また、緊急性のある場合には随時紹介を受け付けています。

糖尿病については1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病などのほか、周術期や化学療法・ステロイド治療中の高血糖などの治療に対応しています。また、平成31年4月よりインスリンポンプ療法の診療を開始しSAP療法にも対応しております。令和3年度よりリアルタイムCGM(G6、ガーディアンコネクト)の運用を開始しました。糖尿病透析予防指導では指導体制を強化し、今年度より慢性腎機能障害加算の算定要件を満たしました。令和2年度より稼働しているフットケア外来では足壊疽ハイリスク患者様の足潰瘍の発症・再発抑制に力を入れています。

内分泌疾患については下垂体疾患、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎、プランマー病）、副腎疾患（ACTH単独欠損症、アジソン病、原発性アルドステロン症など）の精査診療を行っています。近年では免疫チェックポイント阻害薬の普及に伴いirAEの内分泌障害が増加している印象です。

入院では糖尿病教育入院による教育・精査・治療内容の見直しのほか、糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)・高血糖高浸透圧症候群(HHS)などの糖尿病救急疾患や、内分泌疾患の精査診断、粘液水腫性昏睡などの診療にあたっています。また、入院中の院内他科患者様の紹介（周術期血糖管理、外科系疾患や感染症、ステロイド療法に伴う高血糖に対する血糖管理）も業務の重要な部分であり今年度は年間132件の院内紹介がありました。

糖尿病教育入院は8日間と15日間のパスにより運用しており、毎月第二水曜日を入院日として受け入れています。地域の治療に難渋されている患者様を治療・教育両面でサポートできるよう体制を整えています。退院後は原則ご紹介いただいた医療機関に逆紹介させていただいております。

診療外の活動としては、外来患者様や一般の方を対象にした糖尿病教室を年4回開催しております。コロナ禍のため感染拡大予防策として、現在は当院通院中の患者様に限らせていただいております。受付時の体温測定・手指の消毒・マスク着用の20名を上限としてお集まりいただいております。

糖尿病友の会『かんなの会』はコロナ禍のため活動を自粛しました。

内分泌疾患については、橋本病やバセドウ病等の自己免疫性甲状腺疾患をはじめとして原発性アルドステロン症の精査診断、副腎不全の診断診療を行っています。今年度は粘液水腫4件、アジソン病2件、ACTH単独欠損症1件の入院治療がありました。

糖尿病、内分泌疾患とも近隣医療機関より広くご紹介頂いており、地域における当科の役割を改めて認識するところです。したがって病状が安定した患者様は積極的に逆紹介させていただき、新規の紹介患者様を受け入れられるよう努めています。

3. 今後の課題

糖尿病教育入院を年々充実させ、地域の患者様の糖尿病教育・療養指導に尽力し細小血管症の進展抑制ならびに大血管障害の発症予防に努めたいと思います。その一環として、外来糖尿病教室をオンライン参加できるよう体制を整えていく予定です。また、新規患者様や重症合併症患者様の受け入れがスムーズに行えるよう態勢を整備するとともに院内ならびに開業医の先生との

連携を強化することで多くの患者が安心して治療を行えるようサポートしたいと思っています。また、地域における重症低血糖件数の減少、糖尿病合併症の進展抑制のため糖尿病チーム一丸となり外来治療・指導を充実していきたいと思っています。

(文責：中原 理恵子)

(8) 小児科

1. スタッフ

常勤：渡部登志雄、小山晴美、相馬洋紀。嘱託：牧岡西紀の4人体制。

非常勤：岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、濱嶋恵美（内分泌・代謝）、鈴木信、大竹紗弥香（外科・消化器）の5人。

以上の常勤＋非常勤各先生の援助で小児疾患の広い分野をカバーしている。（敬称略）

2. 業務内容

令和4年度も、入院数は昨年とほぼ同数で、新型コロナウイルス感染症前のレベルには及ばない状況が続いた。

外来は総数で6361人と前年比わずかに増。特殊検査は腎生検2件、腎シンチ20件、膀胱造影27件、ネフローゼに対するリツキシマブ投与2件とほぼ前年同様、アレルギー疾患については、入院での食物負荷試験は9件施行した。内分泌負荷試験は9件行った。

新生児については院内出生の34週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき64例の入院加療を行った。内DPAP装着症例は8例であった。新生児蘇生講習会の開催は一回にとどまり6名のプロバイダーを輩出した。

3. 目標

小児人口減少の中で当院小児科が現状以上を保つために、次年度も当院の利点（専門外来の種類の高さ）を宣伝し、周囲からの紹介をさらに得られるように努力していきたい。また、スタッフの小児、新生児対応のレベルアップも引き続き図っていきたい。

(文責：渡部 登志雄)

(9) 外科

1. スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中里健二、加藤寿英、松本明香、原圭吾、高橋遼、片山千佳、遠藤瑞貴

2. 施設認定

- ① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ② 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設）
- ⑤ 日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
- ⑥ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ⑦ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ⑧ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導連携施設
- ⑨ 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

3. 診療内容

- ① 消化器外科：消化器の良性・悪性疾患

- ② 呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
- ③ 乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患
- ④ 小児外科：小児ヘルニア
- ⑤ 一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘍

4. 目標

安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。

- ① 医師の能力向上に努める
- ② 学術的診療業務への取り組み
- ③ 外科医療の質改善に努める
- ④ がん地域連携パスの推進

5. 手術実績と今後の目標

令和4年度は、2名の医師が異動となり、1名の新しい医師が着任してくれました。群馬大学医局人事により青木麻由先生が異動となり、代わりに遠藤瑞貴先生が着任しました。また獨協医科大学埼玉医療センター小児外科学分野から2年間成人外科を学びにきてくれていた岡崎英人先生が異動となりました。群馬大学医学部附属病院 外科診療センターより循環器外科阿部知伸先生（第1,3週水曜日の午後外来）、小児外科鈴木信先生（第3月曜日の午前外来）、小児外科大竹紗弥香先生（第2,4週水曜日の午後外来）、形成外科牧口貴哉先生（第1,2,3,5水曜日の午前外来）、呼吸器外科矢澤友弘先生（毎週火曜日の手術）、各先生方にご協力をいただいております。

令和4年度の総手術件数は763件で、昨年度より増加しました。ここ数年コロナ禍の影響で落ち込んでいた手術件数ですが、次第に回復傾向です（昨年677件）。悪性腫瘍の手術件数は287件であり、こちらも昨年より増加しています（昨年度255件）。内訳では食道がん0例、胃がん67例（ESD29例、鏡視下手術14例）、大腸がん117例（鏡視下手術55例）、肝胆膵がん6例、肺がん51例（鏡視下手術42例）、乳腺・甲状腺がん68例でした。胃がん、大腸がん、乳腺・甲状腺がん症例が増加しております。他、虫垂切除は43例（鏡視下手術40例）、ヘルニア手術は137例（鏡視下手術52例）、胆石症手術は116例（鏡視下手術86例）でした。

令和4年度は、初期臨床研修医1年次7名、2年次6名が外科を選択し1-2ヶ月の研修を行い、良性疾患、悪性疾患、緊急手術等、幅広く研修していました。これからも、患者さんに求められる質の高い医療サービスを提供して、地域から信頼される医療を行いたいと考えております。

（文責：中里 健二）

（10）整形外科

1. スタッフ

常勤医師：中島大輔、久保井卓郎、坂根英夫、小濱一作、山田哲也、西川和博
非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、高倉健太

2. 業務の現況

常勤医6名と外来のみの非常勤医2名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前に一般外来、火曜日午後に脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては2次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であり

ます。新型コロナウイルス感染症流行に伴い手術件数の減少が認められました時期がありましたが、令和4年度は緊急手術を含め手術件数は回復傾向となっております。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっております。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療終了後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

3. 今後の目標

- ・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
- ・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
- ・年間手術件数の増加
- ・学術活動への積極的な参加
- ・整形外科専門医、手外科専門医の養成

4. 業務実績

令和4年度手術総件数は683件（内緊急手術70件）でありました。

主要手術件数は、大腿骨近位部骨折153件（頸部骨折骨接合術16件、頸部骨折人工骨頭置換術55件、転子部骨折75件、転子下骨折7件）、人工股関節置換術9件、膝関節周囲外傷16件、足関節周囲外傷29件（内足関節脱臼骨折22件）、下肢切断術12件、外反母趾矯正手術4件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷26件、肘関節周囲外傷23件（内小児肘外傷5件）、前腕骨幹部～手指外傷101件（内橈骨遠位端骨折41件、顕微鏡下神経血管修復術4件）、内シヤント造設術34件、狭窄性腱鞘炎手術56件、絞扼性神経障害手術36件（手根管症候群32件、肘部管症候群4件）、緊急創外固定設置8件、骨内異物除去術76件などとなっております。

（文責：中島 大輔）

（1 1）脳神経外科

1. 診療体制

2022年4-9月は甲賀 若林 向田の常勤3名と大学院生の浅野が金曜午後-当直、大学非常勤の和田 齋藤が火曜当直-水曜午前の救急 外来を担当した。10月に和田が常勤となり4名体制となり火-水曜日の勤務は終了した。大学非常勤の常岡が2022年4月から2023年3月まで月1-2回の土曜当直を担当した。大学からの人員補充が手厚くなり、人的にはかなり充足していたが、2023年3月をもって長らく当科部長を務められた甲賀先生が定年退職された。

2. 業務内容

急性期の脳卒中や頭部外傷、症候性のてんかんや脳腫瘍などの治療の緊急性の高い疾患が入院のほとんどを占めている。他科同様藤岡の医療圏以外にも埼玉県北や富岡方面からの救急搬送も多く、当医療圏以外の入院が全体の約4割となっている。入院全体では急性期脳卒中およびその関連疾患が約7割で内科的治療、外科的治療、カテーテル治療いずれも迅速に行えるようにしている。神経内科 救急科の常勤がない現状では脳卒中および脳卒中関連疾患（stroke mimics）については脳神経外科が主体的に対応していくという方向性は今後も続き、急性期のみならず回復期リハビリ病棟での診療の一部担当も継続の方針である。

3. 治療実績

本年度はCOVID19感染症の流行期には病棟閉鎖がある中で地域外発症のCOVID19感染の脳卒

中や頭部外傷の入院、手術も担当し、群馬県全体の救急医療逼迫の影響で例年は来ることのない前橋地域や草津からのドクターヘリでの脳卒中受け入れも行った。当科の入院数 手術数はこの3年間も全く減ることなく推移しており、2022年の入院数は過去5年間で最も多くなった。救急受け入れおよび入院に係る各医療スタッフには深く感謝します。

4. 来年度に向けて

特に大きな目標設定はないが、当科に求められている地域医療ニーズに応えるべく、特に専門性を持たずに受け入れ要請があった神経救急はすべて受け入れ、適切な診断、標準的な治療を提供できるように個々の研鑽、多職種チーム医療を行っていききたいと思います。

過去5年間の入院 治療実績 (1-12月)

	2018	2019	2020	2021	2022
脳血管障害					
クリッピング術	11	7	11	11	4
脳出血開頭血腫除去術	8	3	6	15	4
脳出血内視鏡的血腫除去	0	2	1	2	4
頸動脈内膜剥離術	0	0	0	1	1
浅側頭動脈中大脳動脈吻合術	1	1	0	0	0
脳腫瘍					
開頭腫瘍摘出 生検術	6	9	4	4	10
経鼻下垂体腫瘍摘出術	1	3	0	0	3
頭部外傷					
慢性硬膜下血腫 血腫灌流除去術	46	45	42	42	55
急性硬膜下血腫 開頭血腫除去術	7	6	9	5	3
水頭症					
シャント手術	3	3	7	11	3
脳室ドレナージ術	7	6	9	5	3
その他					
脳血管内手術					
脳動脈瘤コイル塞栓術	6	14	18	15	13
頸動脈ステント留置術	10	9	17	15	15
血栓回収療法	22	34	34	35	46
硬膜動静脈瘻塞栓術	1	0	2	1	2
その他	4	2	0	7	2
手術数	143	163	164	183	174

rt-PA 静注療法	27	32	49	28	38
入院数	639	652	629	617	653

(文責：若林 和樹)

(1 2) 皮膚科

1. スタッフ

常勤医師：部長 1 名

2. 診療業務の現況

外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の診察・往診業務は原則毎日行っている。金曜日の午後には、病棟患者の褥瘡回診を褥瘡対策チームメンバーとともにしている。

3. 今後の目標

入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。褥瘡対策チームにおけるチーム医療活動を通じて、当院のみならず地域医療に貢献したい。

(文責：嶋岡 正利)

(1 3) 泌尿器科

1. 業務概要

スタッフ 常勤医師 3 名

非常勤医師 1 名

業務内容 外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破砕術（ESWL）を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

目標 泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。また H24 年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26 年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。（H27 年 3 月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました）病棟ではスタッフとともにカンファレンスを継続して行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供していきたい。

2. 業務実績

手術件数（令和 4 年 1 月～12 月）

2022 年

病名	術名	件数
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	1
	腹腔鏡下腎部分切除術	5
結石性萎縮腎	腹腔鏡下单純腎摘	2
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	2
	腎尿管全摘除術（開放）	2

消化器癌尿管浸潤	尿管部分切除+尿管尿管再吻合	2
腎盂尿管癌疑い	逆行性腎盂造影/尿管鏡	13
膀胱癌	膀胱全摘除術+回腸導管造設	1
	膀胱部分切除	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	66
膀胱癌疑い	膀胱生検	2
消化器癌膀胱浸潤	膀胱全摘除術+回腸導管造設	1
前立腺癌	腹腔鏡下前立腺全摘	15
	去勢術	2
前立腺癌疑い	前立腺生検	119
精巣癌	高位精巣摘除	3
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	16
尿管狭窄	D-J ステンツ留置	94
	D-J ステンツ抜去	2
	尿管バルーン拡張術	1
	尿管部分切除+尿管尿管再吻合	1
	腎瘻造設	1
	精巣固定 (停留精巣)	1
停留精巣	精巣固定 (停留精巣)	1
精巣捻転	精巣固定	5
尿管結石	経尿道的尿管結石破砕術	30
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	9
包茎	環状切除	7
膀胱出血	膀胱止血術 (内視鏡的)	2
腎尿管結石	体外衝撃波結石破砕術 (新規)	33(新規 17)
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	3
その他	膀胱瘻造設	3
	陰嚢水腫根治術	7
	腎 (周囲) 膿瘍ドレナージ	1
	腎生検	1
	腎瘻 (尿管皮膚瘻) カテーテル交換	5
	陰嚢膿瘍精巣摘除	1
	鼠径リンパ節摘出	1
	陰茎腫瘤摘除	1

(文責：武井 智幸)

(14) 産婦人科

1. スタッフ

産婦人科医師は、常勤医3名と群大派遣1名の計4名体制で病棟診療に当たっている。群大医局との緊密な支援・連携により、火曜日から木曜日の当直非常勤として医師3名の派遣を受けている。

北4階病棟は、小児科医師4名に、助産師16名、看護師11名、病棟薬剤師1名、助手1名を加えて、毎日夜間・休日問わず、分担してこの地域の周産期医療を担っている。

外来は、常勤医師及び常勤看護師の他に、外来専任医師2名と非常勤助産師1名で、産科と婦人科を分担して外来を行っている。地域からの手術依頼の紹介と、合併症をもった妊婦、里帰り紹介の割合が比較的高いのが特徴である。小児科医師団、糖尿病内科・中原部長らと毎週

のように合併症妊婦カンファレンスを行い、安全適切な周産期医療体制を敷いている。

昨年は、10月後半から常勤医が1名欠員の2名体制となり、業務の縮小を余儀なくされたものの、群大非常勤医師、当院研修卒業生らの応援を得て、何とか無事に乗り切ることができた。今年度から、気鋭の若手部長が伊勢崎市民病院から赴任、当院出身の研修医も医員として1名帰巢した。

2. 業務概要

外来業務は、月曜日から金曜日に、第一診察室で婦人科、第二診察室で産科と分担して、吉田医師と延命医師が主に担当し、当院の対外的な顔となっている事は変わらない。常勤医も水曜日から金曜日に午前午後それぞれ産科、婦人科の外来診療を行っている。今年度新たに、懸案の不妊外来を、水曜日午前に、平石医師が開始した。また、月曜日午前に、高崎医療センターの青木部長が、当院と高次機能病院のパイプとなるべく腫瘍外来を開始した。

病棟では、主に月曜日、火曜日に手術を行っている。昨年、令和4年の一年間に、165件の手術を行っており、悪性腫瘍の根治手術から、内視鏡下の手術、膣式の手術、緊急手術まで幅広く多彩な産婦人科手術を行っているのが当科の特徴である。分娩は、年中無休・24時間対応で、令和3年一年間に211件（前年比+10件）を、コロナ蔓延化にもかかわらず取り扱っている。母体と児の安全を同時に扱う、超高度なストレスの中、医師・助産師・看護師は24時間勤務を、助け合い・融通し合いながら青息吐息でこなしている。それでも、妊婦や患者に笑顔で親切・丁寧に接しており、産科病棟に必須の明るさと、高度な安全を維持しているため、皆さん退院時には、笑顔で感謝と再来を口にする。また、常に不足している産科医、助産師の養成に向けて、研修医・医学生、助産・看護学生など、後輩教育に心血を注いでいるのも、当院産婦人科の一つの特徴となっている。

3. 今後の目標

病棟一体で、さらなる安全意識の向上・安全策の徹底を目指す。去り行くコロナ蔓延の経験を元に、新たなるパンデミックに備えなくてはならない。手術、分娩とも、コロナの爪痕と、半年間の不遇な業務縮小からの復帰には、かなりの年月を要するだろう。しかし、将来における、コロナ以降の、また少子化対策以降の需要増加に対し、単に数の増加を目指すのではなく、安全性・快適性などで、質の向上も目指して行く事が、今後の産婦人科診療、周産期医療のあり方と考え、邁進する。

(文責：遠藤 究)

(15) リハビリテーション科

1. スタッフ

医師は4月から常勤2名、非常勤1名の体制となり、療法士は理学34名、作業19名、言語聴覚9名でリハビリテーションを実施しています。

2. 業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリテーションは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)」「運動器リハビリテーション料(Ⅰ)」「呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)」「がん患者リハビリテーション」,「心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)」、 「廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準で運用しています。さらに訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動した訪問リハビリテーションも実施しています。

令和4年度リハビリテーション（以下リハビリ）の新規依頼件数は、入院患者では総数3414件、内訳は脳血管疾患等リハビリ583件、運動器リハビリ396件、呼吸器疾患リハビリ443件、がん患者リハビリ372件、心大血管疾患リハビリ4件、廃用症候群リハビリ1616件でした。外来患者では総数399件、内訳は脳血管疾患等リハビリ83件、運動器リハビリ233件、呼吸器疾患リハビリ81件、訪問リハビリ34件、診断書に関わる身体計測は56件、InBodyによる体成分分析が161件、6分間歩行検査が51件でした。回復期病棟への新規入棟患者は222件でした。また、透析時運動指導等加算が新設されたので、透析室と協力しながら評価、運動を実施しています。

回復期リハビリ病棟では、脳血管疾患や骨折などを発症し急性期治療後に病状が安定した患者に、引き続き集中的なリハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士など多職種が密に連携して業務を行っています。

訪問リハビリは在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

3. 今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、リハビリを行っていきます。入院患者には病初期から介入し早期退院、回復期リハビリへの移行をすすめ、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問では、在宅でのリハビリを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

（文責：黒崎 みのり）

（16）放射線治療科

1. スタッフ

常勤1名、非常勤2名（水曜日午後、金曜日午後）

2. 業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

3. 業務実績

令和4年度の治療患者数（新患）は109例でした。

4. 今後の目標

他科との連携を取りつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思っております。

（文責：塩谷 真里子）

（17）放射線診断科

1. スタッフ

令和4年度は 神宮晶子、安井宏有貴の常勤2名。週3日半日は非常勤医師の応援。

2. 業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CTガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療。

3. 業務実績

令和4年度の実施件数はCT 18393（前年度17836）件、MRI 5434（5393）件、RI 564（557）件、PET 741（561）件、CTガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて20（15）件でした。前年度より全体に検査数は増加しました。

4. 今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等の一助となれるようにしていきたいと思っております。各診療科とも積極的に連絡を取り合いながら、診断していきたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思っております。

（文責：神宮 晶子）

（18）麻酔科

1. スタッフ

麻酔科機構専門医の荒井、牛込、田口、金井、萩原の常勤5名と碓井（水曜日の午後）が手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して、手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

2. 診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することもますます多くなりました。

そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連痛、慢性疼痛、片側顔面けいれんなどを扱っています。また、筋肉由来の疼痛、たとえば重症の肩こりや腰痛に対する筋膜リリースは即効性があり、患者さんに感謝されています。

令和4年度の麻酔科管理は1735例で、内訳は全身麻酔（硬膜外麻酔・伝達麻酔併用を含む）1252例、腰椎麻酔384例、硬膜外麻酔90例、伝達麻酔その他8例でした。全手術数は2441例でした。COVID-19陽性患者の手術も14例ありました。

3. 今後の目標

手術部門システム・エコーの積極的利用などにより効率的な手術運営および医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。しかし、麻酔器やモニター、エコーなどの機器の更新は否応なくやってきます。安全・安心な医療を目指す観点からもそれらを病院にお願いしたいと思っています。

（文責：荒井 賢一）

（19）歯科口腔外科

1. スタッフ

常勤 歯科医師 清水崇寛、金井 梢

歯科衛生士 斎藤由佳(2022/06より産休)、中村夢衣(2022/11)、境野七海(2022/07)、新井早苗(2023/01~)

非常勤 歯科医師 横尾 聡、高山 優
歯科衛生士 高橋三恵(2022/08~)

2. 業務内容

歯科口腔外科は本年で5年目を迎えました。2次医療機関の歯科口腔外科として、主に難易度の高い抜歯や腫瘍・嚢胞や顎変形症等に対する手術を行っております。昨年と同様に高山優先生と群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座教授・横尾聡先生には非常勤として手術等の指導をしていただいております。また手術のみならず、本年より悪性腫瘍患者の放射線化学療法や免疫チェックポイント阻害薬の投与なども開始し、がん診療においても診療範囲を広げております。悪性腫瘍等の手術や化学療法、放射線療法などの患者に対する周術期口腔機能管理や糖尿病教育入院患者の歯周炎に関する患者教育も積極的に行っております。

3. 業務実績

外来:初診患者数は1085人(昨年度1172人)でした。月平均90-100人と安定してきています。周術期口腔機能管理初診患者総数は283人(昨年度287人)でした。外来局所麻酔手術は普通抜歯は216例、埋伏歯抜歯は171例、生検・腫瘍摘出が59例、顕微鏡視下歯根端切除術が6例、歯科インプラント埋入が1例でした。スタッフの産休や退職に伴う人員減少のため数を制限していた時期もあり、昨年度と比較するとやや少なくなっております。

入院:全身麻酔下手術件数は96件でした。月平均としては7-9例程となっております。主な手術は難抜歯ですが、歯性上顎洞炎や口腔悪性腫瘍に対する手術、顎変形症に対する顎骨骨切り手術等も行っております。また、当院内科より悪性リンパ腫等を疑う頸部リンパ節腫大の患者に対してのリンパ節摘出生検術などの依頼もあり、他科とも連携の上、手術を施行しております。SARS-CoV2感染症による病棟閉鎖などもありましたが、当科では幸いなことにほぼ滞りなく手術や診療ができました。

教育面では6月から8月には群馬大学医学部附属病院より初期研修医を1名受け入れ、外来での一般歯科治療、口腔外科処置、全身麻酔下での手術を経験してもらいました。今後も協力型臨床研修施設として研修医の受け入れを積極的に行えればと考えています。

研究面では2022年11月開催の日本口腔外科学会で1演題、2023年1月開催の口腔腫瘍学会で1演題発表しました。また12月に清水医師の論文がMedicine (Baltimore)にacceptとなり、publishされております。今後も引き続き学会発表や論文投稿は続けていきます。

4. 目標

今後も地域の2次医療機関として、また総合病院の歯科口腔外科として、地域医療及び院内でも他施設や他診療科と連携を取りながら、良質な医療を提供していきたいと考えております。また教育や研究面でも積極的に活動し、今後も日本口腔外科学会の口腔外科専門研修准施設および協力型臨床研修施設として自身および若手口腔外科医の成長の一端を担える施設として邁進していきたいと思っております。

(文責:金井 梢)

(20) 健康管理センター

1. スタッフ

人間ドック:飯島徹、田村勝、石崎政利、塚田義人、神保貴宏、山岸美保(非常勤)

脳ドック:田村勝、飯島徹

婦人科検診:吉田光典、片貝栄樹、似内敦志、延命みゆき(非常勤)

2. 業務内容

一泊2日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、PET-CT健診、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等の業務を行っている。

3. 業務実績

一泊2日ドック 95件、日帰りドック 3,929件、脳ドック 209件、生活習慣病健診 1,953件、企業健診 2,962件、特定健診 163件、特定保健指導 62件、藤岡市等乳がん・甲状腺がん検診 607件、PETがん健診 60件など。

4. 今後の目標

PETがん健診と保健指導が増加した。さらに人間ドックコースの件数も増やしたい。

(文責：飯島 徹)

(21) 病理診断科

1. スタッフ

医師1名：吉田孝友

2. 診療業務の現況

月～金曜日の全日制で、病理診断、術中病理診断、病理解剖に対応している。病理解剖は担当医と協議により適宜施行しており、ほぼ100%の実施率である。

3. CPC

病理解剖を通して症例毎の病態・病因を究明し、研修医とともに病理解剖診断書を作成している。また、研修医による症例示説を行い、質疑応答を経て、より一層の理解を深めている。

4. 今後の目標

大学病理学教室、病理部その他関連施設の病理医との意見交換やコンサルテーションにより、迅速で正確な病理診断を心掛ける。

(文責：吉田 孝友)

2. 薬剤部

1. スタッフ

薬剤部長1名 副部長1名 室長1名 グループリーダー1名

薬剤師15名 薬剤助手 3名

2. 業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 最適な薬物治療を提供する
2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、ささえる
3. 薬剤師としての考えを持って、チーム医療に参画する

全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と服薬指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い管理し、また服薬計画も提案している。

令和4年度の実績は、薬剤管理指導件数 12,289件/年、病棟薬剤業務実施加算件数 17,126件/年、退院時薬剤情報管理指導件数 2,951件/年という算定結果だった。院内感染対策チーム(ICT)、

抗菌薬適正使用支援チーム (AST)、栄養サポートチーム (NST)、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。

高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用や購入、在庫管理において細心の注意を払い、使用期限切れや破損など、経済損失リスクの管理に取り組んでいる。

日々更新される医薬品情報の管理は、D I を通じてよりタイムリーな安全性情報やD I ニュース等の発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、実務実習は2名の学生を受け入れ、未来の薬剤師の育成と実習受け入れ施設としての役割を果たすことができた。

全病棟および部門の救急カートの管理や毒薬・劇薬・向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、またHCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など、医薬品のリスクマネジメントにおいても、重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェックや登録、ミキシング、個々の患者への説明や服薬指導および副作用のモニタリングを行い、外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、薬薬連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら、地域薬剤師会と意見交換を通し、連携強化をはかっている。また、後発医薬品の普及促進のため、一般名処方も可能にしている。

3. 今後の目標

- ①病棟業務関連の診療報酬算定継続
- ②後発薬品使用率の維持
- ③医薬品情報室の機能強化
- ④チーム医療への参画
- ⑤専門・認定薬剤師の育成
- ⑥地域薬局と病院薬剤部との連携の強化

(文責：堀口 裕之)

3. 診療支援部

(1) 放射線室

1. スタッフ

診療放射線技師 23名
看護師 1名
受付事務 1名

2. 令和4年度事業目標

- ①循環器撮影装置の更新。
- ②画像等手術支援加算の算定。

3. 令和4年度事業目標達成状況

- ①令和5年1月13日～2月3日の期間に機器の設置工事を行い、接続、調整は問題なく終了し、現在まで順調に稼動している
- ②術前CT検査データから3D画像を再構築し手術前および手術中に画像参照できるようにPACSに転送を行った。今年度の算定実績は62件となりました。

4. 今後の課題

- ①高精度な医療機器を有効活用するために、地域医療機関と連携し医療機器共同利用を伸ばしていきたい。

- ②診療用放射線に係わる安全管理体制に関する規定に基づき対照となる医療機器等の線量管理を実施し放射線量の適正化をはかり、診断に最適な画像提供と、被ばく線量低減を進め、安全・安心の検査を行っていく。
- ③医療安全対策として、患者氏名・検査内容・注意事項・問診票・同意書等について確認作業を徹底し事故のない、安全安心の検査を実施できるように努めていく。
- ④医師の負担軽減を目的とした、タスクシフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。この業務拡大により造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、核医学検査医薬品投与終了後に抜針及び止血を行う行為などが追加されました。新たに追加された行為を行おうとするときは、厚生労働大臣が指定する研修（告示研修）を受けなければならない、とされています。

また、上記行為を行う場合は、医師又は歯科医師の具体的な指示の下に行う必要があり、アナフィラキシーショック等が生じた場合には医師又は歯科医師が適切に対応できる体制の下で行うなど、安全の確保を十分に図るものとしてとされており、このため所属技師の研修受講をすすめ、院内においても安全の確保や緊急時の対応、教育体制の確立、業務拡大に伴う人員補充、他部署との連携などの運用体制を確認し新たに追加された行為を安全に行えるようにしていきたい。

（文責：萩原 茂紀）

（2）検査室

1. スタッフ

検体検査 12 名 生理機能検査 9 名 会計年度職員 5 名 室長

2. 業務の現況

新型コロナウイルス定量検査が 2021 年 11 月より可能となり、2022 年度は新型コロナウイルス抗原検査の LAMP 法とスマートジーン PCR 法での検査数をはるかに超え、実に 8643 件の業務実績を記録しました。この他にも、院内感染疑いの検査を実施しております。

試薬面に関しては、一時的に入手が困難な時期もありましたが、メーカーが柔軟に対応し検査が滞ることなく業務を遂行することが出来ました。

院内検査においては LAMP 法から抗原定量検査と定性検査のほぼ 2 本柱となり、スマートジーン PCR 検査は緊急手術時や外注検査提出が間に合わない時などの補助的検査の位置づけになりました。また、保険点数の改訂が行われ、定性検査においては、600 点から 300 点へと引き下げられました。PCR 検査においては院内実施での点数が下げられ、さらに令和 4 年 4 月 1 日より一律 700 点に下げられました。抗原定量検査においては、600 点から 560 点へと引き下げられました。いずれも、試薬価格面や検査受託料の変更対応により適正な金額で検査を実施することが出来ました。

検査室においては、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの試薬感度や特異度に注意しながら、より価格を抑えたキットに変更するなどの対応を実施して来ました。そして、後期においては新型コロナウイルス抗原定性・インフルエンザ抗原定性・RSV 抗原定性・hMPV 抗原定性検査は、3 項目の依頼までなら綿棒 1 本で検査が可能となるよう検査キットの集約化を実現させました。

新型コロナウイルスが流行してから外来患者さんが減少したことと、患者さんの来院状況が変わったことにより採血室での待ち時間は以前に比べ解消されました。また、患者さんとの間にビニールシートやアクリル板などの設置は行わず、十分に注意しながら業務を実施しました。そして、生理機能検査室においても、検査の特殊性ゆえに感染に充分注意しながらの検査を行いました。

検体検査においては、β2 マイクログロブリン項目を院内で実施できるよう準備と検討を行いました。他には、電子カルテ検査オーダー画面の基本セットから推定 1 日食塩摂取量・1 日塩分

摂取量・1日蛋白質摂取量を計算により算出できる項目を整えました。

4. 今後の目標

- ・10年以上使用している検査機器を入替え計画と調整を計る。
- ・認定制度資格を保有する技師の増員と超音波検査を実施できる女性技師の増員および育成。
- ・タスク・シフト/シェアの資格取得者を増やす。

(文責：柴崎 洋一)

(3) リハビリテーション室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	リハビリ医師 4名	兼務医師 13名		
	理学療法士 28名	作業療法士 18名	言語聴覚士 9名	看護師 1名
訪問リハビリ部門	理学療法士 4名	作業療法士 1名		
介護老人保健施設	理学療法士 2名	作業療法士 2名		

2. 業務の状況

病院部門は急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。

急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡・フットケアチーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なリハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っております。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しております。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、直接ご自宅にお伺いしリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっており、難病やがん終末期の患者様にも対応しております。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。今後は、対象地域拡大など地域包括ケアシステム推進に向けて、さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、入所・通所でのリハビリを実施しております。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。この部門も地域包括ケアシステム推進に向けて、今後さらなる充実が必要な部門です。

リハビリテーション室は「患者様（利用者様）の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、感染対策をしっかり行いスタッフ一丸となり臨床・地域貢献・研究・教育に邁進しております。

(文責：関根 圭介)

(4) 栄養室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	管理栄養士 8名 (介護老人保健施設兼務 1名)		
	業務委託職員 24名 (管理栄養士 4名 栄養士 3名 調理師 5名 調理補助 12名)		
介護老人保健施設	業務委託職員 24名 (管理栄養士 4名 栄養士 3名 調理師 5名)		

調理補助 1 2 名)

2. 栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理
基本方針

- ①患者さん個人にあった食事を提供します
- ②信頼される食のエキスパートを目指します

3. 事業目標

- ①外来化学療法患者の栄養指導を行う
- ②栄養情報提供書の件数を増やす
- ③病院食の満足度を上げる

4. 業務の現況

(入院棟)

- ①給食管理業務
- ②個人栄養指導・・・前年度比 2.8%
- ③他部門との連携に努め、NST、褥瘡、緩和、腎臓病等のチーム医療にも積極的に参加しています。
- ④特別食割合・・・前年度比 7.2%
- ⑤糖尿病支援チーム「糖尿病教室」・・・開催時に「簡単レシピ」を紹介。

(外来棟)

- ①個別栄養指導・・・前年度比 33%増
- ②糖尿病透析予防管理料・・・前年度比 47%増
- ③人間ドック講話・・・テーマ「感染症に負けない食事」

(介護老人保健施設しらさぎの里)

管理栄養士は入所時に食形態の写真を掲示し食事内容の聞き取りを行い、安全で美味しく、さらに楽しい環境で食事ができるよう栄養面や環境面のサポートを行っています。また、行事食や笑顔になれるメニューを職員全員で考え、提供しています。食欲不振や嚥下障害のある利用者には、ミールラウンドを行い適切な食事を提供できるよう他職種と協力しながら栄養管理を行っています。引き続き低栄養予防や褥瘡予防、疾病に合わせた食事の提供に力を入れていきます。

5. 今後の目標

当年度は、栄養室として多くの成果を得ることができました。来年度は、より多くの患者に栄養指導を行い、在宅医療機関と栄養連携を深め、地域の健康促進に貢献することを目指します。さらに、専門知識の向上に努め、管理栄養士としての専門性を高めてまいります。

食事提供については、多職種で連携して患者の状態に合わせた食事を提供できるように努め、「食べる楽しみ」「生きる喜び」に繋げられるように取り組んでいきます。

(文責：堀越 勝)

(5) 臨床工学室

1. スタッフ

臨床工学技士 8 名

2. 業務内容

- ①透析室：回路の組み立てやプライミング、穿刺、返血、透析中の血圧確認や透析装置のチェック、透析装置に供給する透析液を作る機械室の点検などを行っています。またアフターサービス・PMX・CARTといった治療の機器操作も行ってきます。その他、告示研修終了により動脈表在化穿刺、穿刺困難者エコー下穿刺も行ってきます。
- ②手術室：麻酔器の始業点検の他に内視鏡や顕微鏡といった医療機器の管理、トラブルにも対応してきます。
- ③高度治療室（HCU）：呼吸・循環・代謝などの容態が悪化している患者さんに対して人工呼吸器や補助循環装置などの生命維持管理装置の操作や稼働中の点検、また高流量酸素療法（NFNC）、除細動器、体温管理装置などの点検・管理も行ってきます。また24時間CHDFも行ってきます。
- ④心血管カテーテル室：ペースメーカの植え込み手術の立ち会いを行っています。またMRI検査前後、手術前後のペースメーカチェックも行ってきます。緊急時には補助循環装置（ECMO・IABP）介助、ロータブレーター介助も行ってきます。
- ⑤ME機器中央管理室：機器管理システムを導入し、始業点検や必要に応じた定期点検を行っています。また輸液ポンプや人工呼吸器、テレメータなどの医療機器の貸し出し返却を行っています。
- ⑥その他：上記で挙げた業務の他にもペースメーカ外来や遠隔モニタリング、自動心臓マッサージシステム・保育器・ネブライザー等の点検にも関わってきます。またRST（呼吸療法サポートチーム）にも加わり人工呼吸器の適正使用や早期抜管への取り組みに積極的に介入してきます。新規導入医療機器や新人教育を踏まえた勉強会も随時開催してきます。

3. 目標

COVID-19関連は透析42件、NFNC45件、人工呼吸器8件を実施してきてきた。引き続き十分な感染対策を取り臨床を熟していく。更に診療科や急性期・慢性期を問わずさまざまな場面で治療に使用される医療機器の安全利用を通じて管理や保守点検の強化を図り患者さんの治療に貢献していく。

4. 業務実績

透析年間回数14099回、病棟出張透析回数159回、血漿交換33回、G-CAP0回、DHP63回、CART2回、CHDF3回。麻酔器始業点検1448回。人工呼吸器（マスク含）使用中点検1717回、NFNC使用中点検763回。ペースメーカ新規植え込み33件。ジェネレータ交換19件。MRI対応17件。外来552件、臨時チェック216件。緊急呼び出し（透析・ME機器）60件。ME機器点検・修理（ポンプ等）180件。

5. ME機器台数

人工呼吸器16台、NPPV装置8台、NFNC6台、テレメータ関連293台、IABP3台、ECMO2台、除細動器16台、輸液ポンプ160台、シリンジポンプ60台、人工透析監視装置31台、保育器13台、超音波ネブライザー30台、Arctic sun3台、麻酔器7台、自動心臓マッサージ装置2台。

（文責：宇津木 徹）

（6）視能訓練室

1. スタッフ

視能訓練士3名（臨時職員1名を含む）

2. 業務内容

診療日（月曜日・木曜日・金曜日午前）は主に眼科一般検査（視力・屈折検査、眼圧検査）や眼底写真検査（デジタル・自発蛍光眼底造影）、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを行っております。

診療日以外の火～水曜日（検査日）及び金曜日午後（手術日）は視野検査（静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野）や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、眼鏡処方検査・白内障手術前検査及び眼内レンズの度数計算など専門的特殊検査を行っております。

3. 業務実績

眼科一般検査：視力検査 6,860 件・眼圧検査 6,554 件・屈折及び角膜曲率半径検査 5,735 件
眼科特殊検査：視野検査 770 件・斜視弱視検査及び訓練 121 件・眼球運動検査 30 件・眼鏡検査 114 件・光干渉断層計検査 3,160 件・眼底写真撮影（自発蛍光撮影を含む）1,194 件・網膜電位図 3 件・色覚検査 9 件・角膜内皮細胞検査 334 件・角膜形状解析検査 2 件・眼軸長測定 99 件 等

4. 今後の目標

令和 4 年度診療日の視能訓練士は 3 人体制となり、効率的に検査が実施できるよう業務体制を構築し、総検査数は令和 3 年度に比べ 9% 増加しました。今後も医師の指示のもと、必要な検査を迅速に行い、診断へ繋げていきます。

近年、「日本眼科啓発会議」によりアイフレイル（加齢による目の機能低下）という概念が提唱されています。眼疾患による目の不調を早期発見するために患者様の話を聴きとり、早期治療へと導くことも視能訓練士の重要な役割と考えています。

今後も検査技術の向上と新しい知識の習得に取り組み、患者様が理解しやすい説明を行い安心して検査を受けて頂けるよう努めます。

（文責：宮本 恵子）

（7）歯科衛生室

1. スタッフ

常勤歯科衛生士 2 名（内 1 名育休中）
会計年度歯科衛生士 1 名

2. 業務内容

1) 診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に初診患者、午後は再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯、全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

2) 予防処置、保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管内挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、菌性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対して歯石除去、歯面清掃などの口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて

て指導を行っております。糖尿病教育入院患者に対しても、歯周病コントロールが糖尿病コントロールに関係することを説明し、かかりつけの歯科医院へ定期的に受診する必要性を指導しております。

3) その他

器材を含めた歯科口腔外科外来診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせや予約取得、変更などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

さらに、水曜日の午後は歯科医師の先生方とともに栄養サポートチームのラウンドに参加させていただいておりましたが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため歯科衛生士は不参加となっております。

3. 業務実績

歯科衛生業務：診療補助 5444 件、外来外科処置補助 453 件、全身麻酔下での手術補助 19 件、歯周検査 152 件、歯石除去 420 件、機械的歯面清掃 531 件、歯科保健指導 53 件、歯膜清掃 560 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）17 件（術後）0 件、Ⅱ（術前）204 件（術後）228 件、Ⅲ（化学療法）295 件（放射線治療）2 件（緩和ケア）2 件

歯科衛生士業務は前年比 21.2%減、周術期等口腔機能管理については、周術期Ⅱ（術前）のみ 33.3%増、他項目は全て減少しており全体では 25.0%減となっております。

4. 今後の目標

令和4年度初めに会計年度職員1名が退職、加えて常勤職員3名のうち1名が産休に入り、その後残りの2名が退職致しました。そのため会計年度職員1名、その後常勤職員を1名中途採用しました。想定外の大幅な職員入れ替わりに指導や引き継ぎの体制が整っておりませんでした。診療支援部長、歯科口腔外科の先生方、並びに看護部のご協力のもと、なんとか業務を行うことができました。歯科衛生士の人手不足により、歯科衛生士業務数も昨年度と比較し全項目において減少という結果となっております。来年度は育休中の常勤職員の仕事復帰、会計年度職員1名の採用により歯科衛生士業務のキャパシティも増加致します。当部署の体制再建を目標とし、まずはスタッフの知識・手技向上に励んでいく所存です。

（文責：齊藤 由佳）

4. 看護部

（1）看護部長室

令和4年度は、健全な経営への貢献、医療機能強化と良質な看護サービスの提供、新型コロナウイルス感染症対策の強化、職員の働き方改革、医療スタッフの充実に主眼をおき、目標設定し達成に向け取り組んだ。

I. 令和4年度看護部事業目標および評価

1. 健全な経営への貢献

1) 病床利用率・稼働率の向上

①定期的に病床稼働率、平均在院日数を把握し、入院時から退院後を見据えた支援・

介入を行い、急性期病棟利用率 83%・稼働率 92%、回復期リハビリ病棟利用率 74%・稼働率 75.3%、地域包括ケア病棟利用率 37.6%・稼働率 41.4%以上を目指す

②差額室算定率の向上

各個室の利用状況、算定状況を把握し、個室の有効利用を進め 37%を目指す

2) 急性期病棟平均在院日数短縮

11日以内を目指す

【評価】

毎朝の看護師長ミーティングにて、平均在院日数・病床稼働率を共有するとともに、退院支援部会を通じスタッフの退院支援カンファレンス参加を推進し退院調整を進めた。結果として、急性期病床利用率 78.3%・稼働率 86.9%、回復期リハビリ病棟利用率 71.5%・稼働率 72.8%、地域包括ケア病棟利用率 36.3%・稼働率 39.9%であった。平均在院日数は、11.5日、差額ベッド算定稼働率 31.4%であった。病床利用率・稼働率、平均在院日数、差額ベッド算定率ともに目標値に到達できなかった。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による第7波・第8波の影響が大きく、職員の感染による欠員、業務量増加に伴う対応困難および複数の病棟でのクラスター発生による病棟閉鎖が大きな要因と考えられる。次年度は、新型コロナウイルス感染症との共存を視野に対応を検討していく必要がある。また、他職種の協力を得ながら、入院早期からの退院支援・調整の強化に努め、病床利用率・稼働率の向上、平均在院日数の短縮に努めていきたい。

2. 医療機能の強化と良質な看護サービスの提供

1) 救急センター看護体制の強化

①新救急センター看護体制の評価

2) 患者満足度の向上

①患者・家族の意思決定支援の実践

②IC同席を推進しIC時やIC後の患者家族の反応を看護記録に記載する

③患者満足度調査を実施し現状を把握する。

④接遇・身だしなみの強化

接遇・身だしなみチェックを実施し遵守率 90%とする

接遇自己評価を実施する

3) 安全かつ質の高い看護の提供

①身体抑制フローに沿った対応遵守と抑制解除に向けたカンファレンスの実施 15日以上拘束件数を10件/月以下にする

②患者確認を徹底し、患者誤認0を目指す

③インシデントレポートレベル別件数の把握とレベル0報告推進

④手指衛生サーベイランスの強化

【評価】

今年度より救急センターを1看護単位とし運営を開始した。救急外来とカテーテル室を担当とし、救急外来患者受け入れ数の増加とカテーテル検査や治療が円滑に進むことを目的に体制を構築した。その結果、救急外来患者受け入れ数、救急車受け入れ数ともに昨年度より増加した。初年度の部署運営においてコロナ禍の中で成果が出たことは、救急センタースタッフの努力の結果であると考えられる。

患者満足度向上では、昨年度から引き続きIC同席とIC時の患者家族の反応を記録に残すことに取り組み、IC同席率は85.5%となった。また、看護師がICに同席することで、患者への関わり方や関わる意識に変化がみられてきている。ただし、IC同席率においては、病棟間での格差が大きいことから、次年度は病棟差を減少させるため可視化を推進し、新たな取り組みを行う必要がある。患者満足度調査では、昨年度と同様の調査を実施した。その結果、入院満足 73.4% (65位/68施設)、外来満足 64.2% (68位/70施設)と低い結果となった。次年度、結果を分析し、改善策を検討していく。ご意見では、感謝の言葉もいただいたが、看護師の患者・家族への対応に対する苦情も多くいただいた。患者目線や配慮に欠ける対応、不適切な言葉遣いが要因と考える。改めて、患者の尊厳や人権について考え、配慮や気持ちを汲み取る看護の実践に向けて努力が必要である。接遇・身だしなみチェックは予定通り実施し、平均90%以上の遵守率となったが、言葉遣いの遵守率が低い状況であった。次年度はさらに強化できるよう巡視等の対策も検討する。

安全かつ質の高い看護の提供において、身体抑制解除に向けた取り組みとして、認知症看護検討部会において、一時解除件数や一時解除率を可視化し各部署へ周知を行った。結果、一時解除件数は増加したが、抑制総数の大きな減少は見られなかった。次年度は、今年度の取り組みを継続し、抑制件数の減少に取り組む。患者誤認件数は、医療安全管理室と医療安全部会の取り組みもあり 26 件/年で昨年度より 7 件減少した。インシデントレポートレベル別件数把握では、レベル 0 報告が多い部署はレベル 3 以上のアクシデント発生が少ない傾向となった。次年度も引き続きレベル別件数把握とレベル 0 報告推進を行うことで、アクシデント発生を抑制していく。

コロナ禍における感染防止対策として、手指衛生は非常に重要である。今年度も感染対策リンクナース部会が中心となり、手指衛生サーベイランスを実施した。結果は、看護部全体平均 13.04 回で昨年度より 2.57 回増加した。引き続き回数増加に向けて取り組んでいく。

3. 新型コロナウイルス感染症対策の強化

1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

- ①院内における感染対策について各部署と密に連携・情報共有の実施
- ②感染症患者への適切な医療・看護提供のため多職種連携を図る
- ③適切な病床活用と人員配置・応援の実施
- ④看護職員が不安なく感染症患者の看護が適切に行える
- ⑤患者数の状況により適切な病床管理・看護体制の構築を図る

【評価】

感染対策の情報提供、対策会議内容の周知・共有について看護師長ミーティング・看護師長会議・副看護師長部会・感染対策リンクナース部会を活用し実施した。感染対策の実践でも感染管理認定看護師、感染制御実践看護師が各部署と連携し支援を行い、適切な看護の提供に努めた。しかし、感染対策を講じていたにも関わらず、感染拡大による第 7 波・第 8 波の影響は大きく、看護職員の陽性者・濃厚接触者の発生により 1 日当たり 25 人～30 人の欠員が生じ、適切な感染管理を行うには厳しい状況であった。

また、複数の病棟においてクラスターも発生した。そのため、患者対応に当たる看護職員の身体的・心理的負担は想像以上に大きいものであった。さらに、適切な病床活用として、南 7 階病棟（地域包括ケア病棟）を感染拡大期にはコロナ専用病棟として運営し、感染患者数の状況によって、地域包括病床とコロナ病床との併用運営、地域包括ケア病棟としての運営という柔軟な運営方法を今年度も継続とした。重症者は南 3 階病棟にて対応を行った。外来受診患者への対応は、外来と救急センターで連携し行った。また、職員、患者のワクチン接種においても円滑に行えるよう各部署からスタッフが応援に出て対応を行った。

第 7 波・第 8 波という大規模な感染拡大を経験した。多くの欠員が出る中、入院患者の対応、外来や救急外来での対応、ワクチン接種対応等、職員一人一人が各部署での役割を果たし、力を発揮したからこそ乗り越えられたと感じている。

4. 職員の働き方改革

1) 働き方改革に即した働きやすい環境の整備

- ①職員やりがい度の向上
- ②時間外勤務時間の適切な申請と把握
- ③有給休暇の取得推進
- ④看護職員が就業継続できる環境の整備
育児支援制度利用の推進
ハラスメント対応の検討

2) 看護師の業務負担軽減

- ①夜間看護助手導入 病棟クラークの導入

【評価】

職員やりがい度調査を昨年度から引き続き実施した。その結果は、職員満足 33.7% (26 位/87 施設) で昨年度と変化はなかった。有給休暇取得は 1 人当たり平均 8.9 日/年で昨年度より 0.7 日増となった。時間外勤務時間の適切な申請と把握を目的に、「看護部における時間外労働時間扱いの基準」を作成した。今年度の看護部の時間外勤務時間は 8.9 時間/月で昨年度より 2.5 時間/月増加した。有給休暇取得は平均 6.4 日で昨年度と大きく変化はなかった。次年度も働きやすい環境の整備に取り組んでいく。

看護師の業務負担軽減では、夜間急性期看護補助体制加算算定のため、10 月から夜間看護助手の導入が開始となり、夜勤者の勤務負担軽減につながっている。病棟クランクは増員に至らなかった。

5. 医療スタッフの充実

1) 人材育成の推進

①キャリアラダーの構築、運用検討を実施し、看護職員のキャリアラダーレベル設定を行う

②キャリアラダーレベル別研修内容の検討

③新人看護職員研修プログラム実施とプリセプターシップの運用

④実習指導者の育成

④専門・認定看護師の育成

2) 人事評価制度の検討

①各自が役割に沿った目標設定および評価の実施

②専門職における目標管理・能力評価の効果的な運用について

【評価】

人材育成の推進では、キャリアラダー構築を行え、看護職員に向けて制度の説明会を実施した。さらに、対象となる看護職員の暫定レベル認定を行った。次年度からレベル別研修を実施していく。新人看護職員研修については、集合研修と OJT を連携させた計画とし実施できた。次年度も、臨地実習経験が少ない新卒看護職員が多いため、基礎教育の状況に配慮した計画を実施するとともに、看護観を育成する研修等の追加を検討する。プリセプターシップについては、実地指導者マニュアルを作成し、対象者にプリセプター研修を実施した。また、実習指導者についても、適切な学生指導に繋げるため、実習指導者マニュアル作成に着手している。専門・認定看護師育成では、1 名が特定行為を含む感染管理認定看護師教育課程を修了した。

人事評価制度の検討では、目標管理についての研修を新任副看護師長に対し実施した。次年度も目標管理については、適切に運営できるよう検討を継続していく。

(文責：高田 幸子)

(2) 南 3 階病棟 (HCU)

1. スタッフ

兼任医師 1 名、看護師 25 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、医療事務 1 名、臨時看護助手 1 名、夜間看護助手 2 名

2. 業務の概要

令和 4 年度事業目標

1) 医療スタッフの充実

(1) 人材育成の推進

① 部署別キャリアラダーの構築

② 新人教育計画の改定

③ 2 年目看護師教育

- ④ ローテーター・中途入職者・リーダー教育の充実
- ⑤ 目標管理の推進
- 2) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 身体拘束 0 を目指す
 - (2) 患者誤認 0 を目指す
 - (3) I/A 大規模感染症対策
 - (4) 手指衛生サーベイランス、患者一人当たりの一日の手指衛生回数の増加
 - (5) 針刺し・血液暴露 0 を目指す
- 3) 職員の働き方改革
 - (1) 働きやすい職場環境の整備
- 4) 健全な経営基盤の確立
 - (1) 重症度、医療・看護必要度Ⅱへのスムーズな移行
 - (2) 医療材料の適正管理を行う
- 5) 大規模感染症対策
 - (1) 看護師が不安なく感染症患者の看護が適切にできる

当病棟は循環器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患などの重症患者や全身管理の必要な術後患者、そして COVID-19 感染症患者を受け入れている。今年度の実績は、入院患者延べ数 4827 人、平均在院日数 4.3 日、平均病床回転率 7.8%、平均病床稼働率 69%で、COVID-19 感染症による入院実患者数は 53 人、延べ入院日数 170 日であった。

今年度は救急センターの独立に伴い、昨年度まで南 3 階所属であったカテーテル看護師が救急センター所属となり、看護師人数が 32 名から 25 名、夜勤看護師数が 4 名から 3 名となった。人材育成の推進、医療機能の強化と良質な医療サービスの提供、新型コロナ感染症患者のケアに力を入れ取り組んだ。スタッフがやりがいを持ち看護ができる、働きやすい職場づくり、専門性の高い看護の提供を行うため、今後も継続して取り組んでいきたい。

(文責：樋口 美恵子)

(3) 南 4 階病棟

1. スタッフ

循環器内科医師 6 名、腎臓内科医師 6 名、糖尿病内科医師 1 名
看護師 27 名、看護助手 1 名、薬剤師 1 名、医療事務 2 名、MSW1 名

2. 業務の概要

令和 4 年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 患者満足度の向上

患者・家族の意思決定支援の実践を行う

(2) 安全かつ質の高い看護の提供

身体拘束 0、患者誤認 0 に向けた取り組みの実施と評価

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 安定した収入確保と支出の削減

差額ベッド稼働率向上に向けた取り組みと医療材料の適正管理
重症度、医療看護必要度基準値クリアに向けた取り組みの実施

3) 大規模感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化

新型コロナウイルス感染症対策における院内外の情報共有と感染予防の実施

感染症患者への適切な感染管理と看護の提供

4) 職員の働き方改革

(1) 働きやすい職場環境の整備

有給休暇取得6日以上に向けた取り組み

3. 業務実績

入院患者延べ数 14943 人、平均在院日数 12.2 日、平均病床稼働率 95.2%、平均病床回転数 2.3 回であった。

患者満足度向上のために病状説明同席や入院支援経過記録の記載促進に力を入れ患者家族の意思決定支援につなげた。安全かつ質の高い看護の提供については、身体抑制0に向け、認知症看護認定看護師の協力を得てカンファレンスを開催し、抑制解除に向け取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症での病棟クラスターを経験し、感染対策についての振り返りを行い、環境整備や5Sの強化、標準予防策の徹底の重要性を改めて認識した。

少子高齢化の中で患者家族のニーズは複雑・多様化し、さらに平均在院日数は短縮、多職種連携も増え看護をとりまく環境は増々厳しくなっている。このような状況の中においても継続して責任の持てる看護の提供を目指し、看護体制の再構築を行い、患者が安心して入院できるよう注力していきたい。

(文責：針谷 ゆかり)

(4) 南5階病棟

1. スタッフ

整形外科医師 6 名 脳神経外科医師 3 名 看護師 29 名 (認知症看護認定看護師 1 名)
看護助手 1 名 夜勤看護助手 3 名 薬剤師 1 名 MSW 1 名 管理栄養士 1 名 医療事務 2 名 病棟クラーク 1 名

2. 業務の概要

令和4年度目標

1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

- ・安全かつ質の高い看護の提供
- ・新型コロナウイルス感染症対策の強化

2) 健全な経営基盤の確立

- ・病床利用率、稼働率の向上、平均在院日数の短縮
- ・重症度、医療看護必要度Ⅱへのスムーズな移行と基準値のクリア

3) 職員の働き方改革

- ・働きやすい環境の整備
- ・看護師の業務負担軽減

4) 人材育成

3. 業務実績

入院患者延べ数 14,975 名、平均在院日数 11.5 日、病床利用率 87.4% 病床稼働率 95.5%、平均病床回転数 2.5 回、整形外科手術件数 683 件、脳神経外科手術 172 件、うち血管内治療 78 件であった。

令和4年度は上記4項目を目標として取り組んだ。

1) 身体抑制の解除に向けて、切迫性、代替性、一時性の3要件をもとに、患者にとっての最善を検討しながら早期解除に向けて取り組んだ。IA レポートでは NGT 自己抜去が多かったため、医療安全ポスターを作成し見守りや離床による抑制解除と自己抜去予防に取り組

んだ。感染対策においては、病棟でクラスターが発生し、手指衛生や標準予防策を見直した。更に対策を強化していきたい。

2) 退院支援においては、入院時から他職種で介入し、カンファレンスによる意見交換を基に、患者家族の意向を確認しながら退院調整を行った。新型コロナ感染拡大による病棟閉鎖、転院延期、調整先のクラスター等が影響し、平均在院日数は前年度より 0.7 日遅延した。重症度、医療・看護必要度平均は 29.2%で 記録検討部会員からの伝達や勉強会により必要度Ⅱへ混乱なく移行できた。

3) 4) 整形外科、脳神経外科の混合病棟であり、スタッフの苦手意識を改善するため、経験値を高めるようローテーションを行った。チェックリストの見直し、リーダー業務や当科特有の業務などの手順書をナースングスキルと照合して見直し、質の高い統一した看護が提供できるよう取り組んだ。また、業務整理を行い、夜勤助手や病棟クランクへ業務を移行し、業務負担軽減を図った。クリニカルパス 7 件作成、既存パス 3 件の見直しを行い、質の確保と記録の効率化を図った。

今後も患者、家族の気持ちに寄り添い、安全で質の高い看護を提供できるよう努力していきたい。

(文責：神宮 由香)

(5) 南 6 階病棟

1. スタッフ

医師 7 名 (泌尿器科 3 名、血液内科 4 名)、看護師 1 名、准看護師 1 名、看護助手 1 名、夜間看護助手 2 名、MSW 1 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 2 名

2. 業務の概要

令和 4 年度は、看護部の目標に沿って以下の内容に取り組んだ。

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 患者満足度の向上
- (2) 安全かつ質の高い看護の提供
- (3) 接遇・身だしなみの強化

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 病床利用率・稼働率の向上
- (2) 差額ベッドの利用率向上
- (3) 重症度、医療・看護必要度基準値のクリア
- (4) 医療材料の適正管理

3) 職員の働き方改革

- (1) 働きやすい環境の整備
- (2) ハラスメント対策の強化

4) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染対策の強化

5) 人材育成の推進

- (1) 人材育成の推進

病床数 46 床を有する泌尿器科と血液内科の混合病棟である。46 床のうち 13 床は無菌管理区域病床であり、白血病や悪性リンパ腫など血液がん患者の抗がん剤治療を行っている。

3. 業務実績

入院患者延べ数 12043 名、月平均入院患者数 1004 名、平均在院日数 11 日、平均病床回転率

2.7%、平均病床稼働率71.7%であった。

患者満足度の向上を図るため、業務効率主体から患者中心の看護に向け、泌尿器科、血液内科チーム体制を撤廃し、両チームが協力し合える体制としてペアナーシング体制を7月から導入した。また、看護師の働き方改革として11月から夜間助手2名配置となり、看護師から看護助手へのタスクシフトを実施した。

今後も、看護部理念に基づき人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指していきたい。

(文責：齊田 亜弓)

(6) 南7階病棟

1. スタッフ

医師1名 看護師18.3名(認知症看護認定看護師1名含む) 看護助手1名 薬剤師1名(兼任) 理学療法士1名(専従) MSW1名(専従) 医療事務1名(兼任)

2. 業務の概要

令和4年度所属別行動計画

1) 地域包括ケア病棟の健全経営

病床利用率・稼働率の向上

新規入院患者4割以上、転棟患者6割以内の維持

2) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

患者満足度の向上

安全かつ質の高い看護の提供

3) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

3. 業務実績

令和4年度は、入院患者延数535名、平均入院患者数17.6名、平均在院日数10.2日、病床回転率3.0日、病床稼働率37.5%であった。

当病棟は、令和2年度より引き続き地域包括ケア病棟と併用して新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病棟として稼働しており、行動計画1)に挙げた新規入院患者4割以上、転棟患者6割以内の維持については、コロナ感染「第7波」「第8波」の影響もあり未着手であった。2)については退院支援カンファレンスに参加し患者、家族の意思確認等含め情報共有すること、病状説明に同席し患者や家族の反応を看護記録に記載できる、身体抑制フローに沿った対応の遵守と解除に向けたカンファレンスが実施出来、一時解除件数割合が増加する、を課題として取り組んだ。退院支援カンファレンスについては、実施件数が少なく4件のみだったが全例参加し多職種で情報共有でき自宅や施設への退院へ繋げることが出来た。病状説明については28件中、同席23件、看護記録は全件記載できていた。身体抑制フローに沿った対応については身体抑制実施者20名、完全解除者13名、一時解除者4名であり、解除に向けたカンファレンスは40件実施し、タイムリーに実施することにより転入時に解除できた症例が4件あった。今後も安全な療養生活を確保しながら、患者・家族の意思を尊重し、適切な退院支援に繋がられるよう取り組みたい。

(文責：江原 忍)

(7) 北2階病棟(回復期リハビリテーション病棟)

1. スタッフ

リハビリテーション科医師2名、看護師20名、看護助手4名、理学療法士5名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、薬剤師1名、MSW1名、管理栄養士1名、医療事務1名

2. 業務概要

令和4年度事業目標

1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 患者・家族の意思決定支援の充実を図る
- (2) 身体抑制0を目指す
- (3) 病棟スタッフが6チームに別れリハビリテーション看護の質の向上のため活動を行う
- (4) IAレポートレベル0の提出を増やし、レベル3の件数を減らす

2) 健全な経営基板の確立

- (1) 急性期病棟と連携しタイムリーな転入受け入れを実施し、回復期リハビリ入院料1の施設基準を維持する

3) 教育・研修等の充実

- (1) 患者に寄り添った看護をできるよう、倫理的配慮、管理視点を持ち、個別性のある看護の提供を行っていく
- (2) チームリーダーとしての能力を獲得し、患者・スタッフの多様性を認め心理的安全性を確保できる病棟を創り、患者指導、後輩育成を充実させる
- (3) 患者、スタッフの個別性を尊重し、他職種と連携を深め、コミュニケーションのとれる病棟を創る

3. 業務実績

令和4年度の実績は延べ入院患者数 12494 人、平均在院日数 56.1 日、平均病床稼働率 72.6% であった。身体抑制0を維持するため、倫理の勉強会を実施し、見守りの看護の充実を図った。また、感染症の影響で面会や試験外泊ができなかったため、家族とのリモート面談やリハビリ中の様子を動画で見る、ガラス越しに面会しながら携帯電話で話すなど様々な工夫を継続した。デイルームのテーブルにアクリル板を設置し、人数を減らして食事を行う等感染対策を実施した。レクリエーションとして、七夕飾り、運動会、クリスマス会、書き初めも継続して行い、楽しみのある入院生活の工夫をした。日常生活リハビリでは歩行練習をスタンプラリー形式にし、患者の意欲向上に繋がった。今後は、感染状況を踏まえ、試験外泊等を再開し、より安心な退院支援に繋げていきたい。

(文責：久保 愛)

(8) 北4階病棟

1. スタッフ

医師9名、非常勤医師6名、助産師14名、看護師12名、看護助手1名、夜間看護助手2名、薬剤師1名(兼任)、MSW1名(兼任)、医療事務2名(兼任)

2. 業務の概要

当病棟は、病床数38床の小児科、産婦人科、歯科口腔外科、眼科、乳腺外科、内科の混合病棟である。主に産科では周産期管理、婦人科、歯科口腔外科、眼科および乳腺外科では手術治療、婦人科、歯科口腔外科では化学療法、終末期医療を行い、令和3年度の延べ入院患者数は8455名、分娩件数208件、手術件数465件、平均在院日数7.2日、平均入院患者数22.4人/月、病床稼働率68.7%/月であった。

3. 業務実績

令和4年度は、看護部の目標に沿って以下のような取り組みを行った。

1) 健全な経営基盤の確立

- ・患者・家族の意思決定支援の実践
- ・安全かつ質の高い看護の提供

- ・インシデントレポートレベル0の提出推進と活用強化
- ・周産期医療の充実
- 2)大規模災害対策
 - ・産婦人科・小児科病棟を有する地域災害拠点病院としての管理体制の充実
- 3)大規模感染症対策
 - ・新型コロナウイルス感染防止対策の強化
 - ・その他の感染症防止対策の強化
- 4)医療スタッフの充実
 - ・新人・ローテーター看護師・助産師の育成
 - ・NICU担当、眼科担当、歯科口腔外科担当の出来るスタッフの養成
 - ・NCPR講習会およびアップデート講習を企画・実施し、資格有効期限を延長する

NICUを持つ小児科と分娩を取り扱う産婦人科を含む混合病棟であり、助産師・NICU担当看護師などそれぞれ役割を担いつつ、多職種と連携して、様々な状態の患者さんやご家族のケアを行った。新興感染症の流行に伴い、感染対策を行いながらの災害時の管理体制の見直しを行い、災害訓練を3回に分けて実施しDVDを作成し全スタッフで共有した。また、クリニカルパスを作成・運用し、多様な診療科の患者さんに対しても一定の水準を担保した治療やケアを行うことに努めた。

今後も、発達途上の児、分娩・手術・治療、そして終末期を過ごす患者さん方一人一人に寄り添い、患者様の満足と看護師のやりがいのある看護を提供するため、スタッフの看護実践能力を高め、看護の質向上につなげていきたい。

(文責：木部 和枝)

(9) 北5階病棟

1. スタッフ

医師 10名 看護師 28名 会計年度看護助手 2名 薬剤師 1名 MSW1名 医療事務 1名 夜間補助者 3名

2. 業務の概要

令和4年度の目標

- 1) 医療機能強化と良質な医療サービスの充実
 - ・患者満足度の向上 ・安全かつ室の高い看護の提供
- 2) 健全な経営基盤の確立
 - ・安定した収入の確保 ・重症度、医療看護必要度の基準値クリア
- 3) 医療スタッフの充実
 - ・人材育成の推進 ・人事評価制度の検討
- 4) 職員の働き方改革
 - ・働きやすい職場環境の整備
- 5) 大規模感染対策
 - ・新型コロナウイルスの感染症対策と適切な看護の提供

3. 業務実績

入院患者延べ数 13816名、平均在院日数 8.9日 平均病床稼働率 92.5%、平均病床回転率 3.2% 手術件数 493件であった。

医療機能の強化と良質な医療サービスの提供として、患者の意志を尊重し、患者・家族に寄り添った看護の提供と、安心して治療・療養ができるよう環境に配慮し、接遇の強化と患者満

足度の向上に努めた。

医療スタッフの充実では専門性を高め、質の高い看護の提供を行うため、がんリハビリ研修、ストーマケア研修、認知症看護研修、エルネック J 研修、BLS 研修等の研修参加を推進し知識技術の向上に努めることができた。スタッフ 1 名が感染管理認定看護師の認定取得に向けた認定教育課程も終了し、資格取得に向けて取り組んでいる。健全な経営基盤の確立では退院支援カンファレンスを行い、MSWや他職種と連携を行い在院日数の短縮に努めることができた。重症度・医療看護必要度では基準値を維持することができている。

職員の働き方改革では夜勤負担の軽減のため短時間夜勤の継続ができている。今後も質の高い看護の提供と共に、患者・家族の気持ちに寄り添った看護の提供ができるよう病棟スタッフ全員で力を合わせていきたいと考える。

(文責：高木 元美)

(10) 北6階病棟

1. スタッフ

医師：呼吸器内科 3 名、消化器内科 1 名、呼吸器外科 1 名、皮膚科 1 名、看護師：29 名
看護助手：4 (夜間 2) 名、薬剤師：2 名 (兼任) 医療事務：1 名 MSW1 名

2. 業務の概要

令和 4 年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 患者満足度の向上
- (2) 安全かつ質の高い看護の提供

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 病床利用率、稼働率の向上、差額ベッド利用率の向上
- (2) 重症度・医療・看護必要度Ⅱへのスムーズな移行と基準値のクリア
- (3) 医療材料の適正管理

3) 職員の働き方改革

- (1) 働きやすい職場環境の整備 (ハラスメントについての意識向上)
- (2) 働きやすい環境 (有給取得、超過勤務、育児支援) の整備

4) 医療スタッフの充実

- (1) 人材育成の推進 新人教育プログラムに沿った教育計画の実施
- (2) 組織の一員としての役割に沿った目標設定の実施

5) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と患者への看護の提供
- (2) 新型コロナウイルス感染症の患者状況における適切な病床管理

3. 業務実績

入院患者延べ数 14, 989 人、平均在院日数 12.287 日、平均病床稼働率 94.5%、平均病床利用率 87.2%、平均病床回転率 2.3%、重症度、医療・看護必要度平均 27.11%であった。

高齢化の進む中、呼吸器・消化器系の終末期患者も多く、MSW、緩和ケア、リハビリ、栄養管理等とチーム医療の推進を強化し、在宅復帰に向けた支援や施設・転院調整に取り組んできた。また、ICT の指導のもと新型コロナウイルス感染症における適切な看護の提供に努めた。肺がん手術、気管支鏡検査、酸素療法、内視鏡検査・治療、癌化学療法、放射線治療など、専門性の高い知識と技術が求められるため、人材育成にも取り組んだ。今年度から慢性呼吸器疾患認定看護師の活動が開始となり、呼吸ケアチーム加算の取得に向けて、院内対象患者について指導や援助を行った。当病棟においても、呼吸器疾患の更なる看護の充実を目指していきたい。

また、職員間のコミュニケーションが良好にとれるように、「ありがとう BOX」を活用するなど働きやすい環境の整備を行った。病状説明に同席して、患者・家族の思いを共有し寄り添う看護・対応を心掛けた。今後も患者・家族からのご意見を受け止めて、患者満足度の向上を目指しスタッフの接遇を強化し、第5類となるコロナ禍での感染防止対策に努め、事業目標達成に向けて継続して取り組んでいきたい。

(文責：高橋 富士美)

(1 1) 人工透析室

1. スタッフ

医師 5 名 看護師 8 名 准看護師 1 名 臨床工学技士 8 名

2. 業務概要

令和 4 年度事業目標

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) I/A レポートの提出促進、レポート内容の分析、評価
 - (2) 透析新聞を発行し、患者満足度の向上を図る
- 2) 健全な経営基盤の確立
 - (1) 透析導入期加算 2 の算定継続
 - (2) 透析時運動等指導加算算定
 - (3) フットケア外来の充実
- 3) 大規模感染対策
 - (1) 透析室感染対策マニュアルの作成
 - (2) 手指衛生サーベイランスの実施強化
- 4) 職員の働き方改革
 - (1) スタッフの業務負担軽減

3. 業務実績

令和 4 年度の年間血液透析総数は 14100 件であり、前年度より 657 件増加した。重症患者を受け入れる事により、高度な透析治療や血漿交換なども実施した。新規導入血液透析患者 44 名の内、6 名が当院に通院となり、腎代替療法指導を実施後、腹膜透析を選択した患者 3 名も当院の外来に継続通院となっている。令和 4 年度診療報酬改定からの新規加算として、透析時運動等指導加算を算定するにあたり、要件である腎臓リハビリテーション指導士の免許を看護師 8 名が取得でき、10 月から算定を開始することで透析分野で増収することができた。また、フットケア外来では、昨年度よりフットケアナースを養成し、問題なく実践できている。人工透析室では、患者・家族の意思決定を尊重し個別性を重視した看護を提供できるよう努めていきたい。

(文責：原 敦子)

(1 2) 中央手術室

1. スタッフ

看護師 18 名

2. 業務の概要

令和 4 年度事業目標と達成状況

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 術後訪問を充実させ今後の手術室看護につなげる
 - (2) 業務分担をして看護業務に専念できる

- 2) 職員の働き方改革
 - (1) ワークライフバランスへの取り組み
 - (2) ハラスメント対策
 - (3) 有給休暇取得の平均化
- 3) 医療スタッフの充実
 - (1) 手術室看護師としての目標を明確にする
 - (2) 個々のスキルアップを目指し研修に参加する
- 4) 大規模感染対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染症患者に安全な手術を実施する
 - (2) スタッフ間で感染対策のための情報を共有し、適切な手術対策を実施する
 - (3) 安全に感染症患者の手術が実践でき、看護師が感染をしない

3. 業務実績

令和4年度の手術件数は2491件で、前年と比較し0.2%減(3件減少)、全身麻酔件数は1250件で、前年度と比較し3%増(37件増加)となった。令和3年度には手術件数がコロナ以前に回復し、令和4年度も手術件数を維持した。

今年度の目標に対する評価として、術後訪問の集計を毎月行い、必ずスタッフが患者の意見を確認し、患者の要望を看護に取り入れる事ができた。

有給休暇取得の平均化については、毎月の勤務調整を行い達成できており、累計平均も15.1と取得できている。

感染対策としては、新型コロナウイルス感染症患者の腰椎麻酔下帝王切開術10件と、全身麻酔下緊急手術3件を円滑に行うことができ、対応したスタッフに感染は無く、適切な手術対応ができていた。

急性期病院の手術室として、今後も安心して安全な手術が受けられるようにチーム力を発揮し、今後も地域医療に貢献していきたい。

(文責：宮原 裕三)

(13) 内視鏡センター

1. スタッフ

消化器内科医師2名、看護師15名、准看護師1名(消化器内視鏡技師8名含む、臨時職員4名含む)

2. 業務概要

令和4年度事業目標

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 患者満足度の向上 接遇、身だしなみ強化
 - (2) チーム医療の充実と医療安全の維持向上
 - (3) 安心、安全な内視鏡看護の提供
- 2) 大規模感染症対策
 - (1) 新型コロナ感染対策の防止強化
- 3) 職員の働き方改革
 - (1) 働きやすい職場環境の整備
 - (2) 年次有給休暇の取得
 - (3) 短時間有給休暇の取得
- 4) 医療スタッフの充実
 - (1) 看護師の専門性の向上

- (2) 人材育成の推進
- (3) 人事評価目標の適切な設定

3. 業務実績

令和4年度内視鏡センター実績は、上部消化管検査 5748 件、下部消化管検査 1492 件、内視鏡的膵胆管造影 56 件、気管支鏡検査 135 件、下部ポリペクトミー及び EMR411 件、ESD(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術) 30 件、EST(内視鏡的乳頭括約筋切開術) 34 件、ERBD(内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ) 12 件、健診(上部内視鏡) 4036 件であった。

医療機能の強化と良質な医療サービスの提供を目標に、前年度からのリーダー配置と検査、治療時の直接、間接介助者の配置を継続した。内視鏡検査、治療を受けられる患者さんが、安心、安全に内視鏡医療が受けられるよう、報連相の徹底、安全面の強化と、より質の高い看護サービスを継続して提供した。また、日中の検査、治療だけでなく、夜間は救急センターで夜勤に業務し 24 時間、緊急内視鏡に対応している。インシデントカンファレンスをレポート提出毎に実施した。提出件数は一昨年度から 5 倍増で今年度も継続して提出でき、対策に取り組むことができた。接遇については、患者からのクレームは無く、ハラスメント対策に取り組み、職場環境の心理的安全性の保持に努めた。

検査のオリエンテーション時に感染対策について説明し、内視鏡センター出入り口前や、各検査ブースに設置となっているアルコール手指擦式消毒で、患者さん、健診利用者に手指衛生に協力していただいた。患者さんや利用者からクラスター発生は無く、手指消毒を徹底できた。また、検査、治療前に医師と協力しタイムアウトを実践し、安心、安全に内視鏡医療が受けられる体制を整えられた。今後も感染防止対策を含め、患者さんの安全性を保証し、患者さん主体の内視鏡看護が提供できるよう努めていきたい。

(文責：設楽 理枝)

(14) 救急センター

1. スタッフ

看護師 16 名 (救急看護認定看護師 1 名含む)、夜勤スタッフ 2 名 (1 名カテーテル業務担当)、内視鏡センタースタッフ 1 名

2. 業務概要

令和4年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 救急外来看護体制の強化
- (2) 患者満足度の向上
- (3) 安全かつ質の高い看護の提供

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 安定した収入確保、救急患者の受け入れ強化
- (2) 支出の削減、適切な救急加算算定と医療材料の管理

3) 職員の働き方改革

- (1) 働きやすい職場環境の整備
- (2) 年次有給休暇の取得
- (3) 時間外勤務時間の削減

4) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策における適切な感染管理と看護の提供

3. 業務実績

令和4年度救急センターの実績は、救急センター患者数 10021 人/年、(月平均 835.1 件)、救

急車数 4382 人/年（月平均 365.2 人、1 日平均 12.0 人）、救急車収容率は、82%で前年比 7%減だが、収容数は前年比 319 人であった。循環器では、冠動脈造影、カテーテル治療、末梢血管形成術、ペースメーカー他、合計 836 件/年、脳外科では、脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈ステント留置術、血栓回収療法、硬膜動静脈瘻塞栓術他、合計 78 件/年、rt-PA 静注療法 38 件/年。脳外科、外科、整形外科、泌尿器科の緊急手術出棟、111 人/年であった。

令和 4 年 4 月より救急センターとして独立し、24 時間体制で緊急性、専門性の高い脳卒中、急性心筋梗塞、外傷など複数の診療科領域にわたる疾病、幅広い疾患に対して、高度な専門的医療を総合的に実施してきた。そして、地域医療の貢献に努め、周辺地域の医療機関と連携を図り積極的に患者さんを受け入れた。救急外来患者の対応だけでなく、カテーテル担当看護師として、24 時間 365 日、予定の検査、治療だけでなく緊急に対応し、内視鏡センター看護師が、夜間、祝休日に救急センター業務に従事し、緊急内視鏡に対応した。救急センターからの緊急手術となる患者に対して、速やかに準備を行い手術が受けられるよう援助した。

部署の目標として、医療機能の強化と良質な医療サービスの提供を挙げ、救急外来看護体制の強化に努めた。患者満足度の向上、患者さんやご家族の意思決定において支援を行い、安心・安全な質の高い看護サービスの提供に取り組んだ。大規模感染対策では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染対策を徹底し多職種連携を図り、救急患者の対応にあたった。今後も看護の専門性を発揮し、患者さんや地域の皆様に信頼される医療、看護の提供に努めていきたい。

（文責：設楽 理枝）

（15）外来

1. スタッフ

看護師 16～17 名（保健師 2 名・助産師 1 名含む） 非常勤看護師 24 名 看護補助者 4 名

2. 業務の概要

令和 4 年度事業目標

1) 患者満足度の向上

- ・外来 IC 時の同席を行い、患者・家族が満足できる看護の提供を行う
- ・各科の業務負担を軽減し、患者・家族と関わる時間の確保に繋げる

2) 安全かつ質の高い看護の提供

- ・患者確認を徹底し、患者誤認を起こさない
- ・I/A レポート提出の推進と事例分析の実施

3) 人材育成の推進

4) 医療材料の適正管理

5) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

3. 業務概要

令和 4 年度外来患者数は 163371 人/年（平均 672.3 人/月）で、前年比約 1.2%増だった。コロナ禍の影響が続き患者数はわずかな増加にとどまっている。紹介率は 68.5%、逆紹介率は 90.5%であった。

事業目標に対しては、患者満足度の向上を目標として取り組み、認定看護師を中心として 1 年間で 250 件の IC に同席し、患者支援に繋げることが出来た。内科外来では、糖尿病透析予防指導を 197 件/年行い、前年度比 46%増の指導実績となった。フットケア外来も 37 件/年で昨年度の 2 倍の介入件数となっている。助産師外来は 324 件/年で前年比 6.3%減だった。

外来化学療法件数は 3349 件/年で、昨年より 13.8%増で年々増加している。今年度は、看護単位が変わり外来が 1 単位となり、外来看護に取り組むことができた。新型コロナウイルス感染症に対しては、救急センターと協力し役割分担しながら取り組んだ。

今後も専門性を高め、接遇を強化し地域住民に信頼されるよう看護の質の向上に努めていきたい。

(文責：飯島 京子)

(16) 訪問看護ステーションはるかぜ

1. スタッフ

看護師 11 (非常勤 3 名) 常勤換算 10.6 名 リハビリスタッフ 5 名 訪問リハビリ事業所と兼務

2. 業務概要

令和 4 年度利用者数 234 名 (看護師 253 名 リハビリ主体 19 名 併用 43 名)
月平均利用者数 134 名 月平均訪問件数 901 件 (看護師 711 件・リハビリ 182 件)
1 日平均訪問件数 44 件 (看護師 35 件・リハビリ 9 件)

当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また緊急時訪問看護加算・24 時間連絡対応体制を取得しており、待機は毎日 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、年間緊急訪問 651 件 (昨年度より 54 件減少)、休日訪問件数年間 725 件 (昨年度より 3 件減少) であった。休日にも訪問看護が必要な状態の利用者は多い。医療用麻薬持続注射、褥瘡や潰瘍の処置、輸液など毎日訪問が必要な利用者には休日にも計画的に訪問をしている。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が最も多く、病院の緩和ケアと連携を行い入院中から介入するケースが増えている。リハビリにおいてもターミナルや進行疾患などの対応を行っている。癌以外の看取りも含めて、令和 4 年度の在宅での看取りは 45 名で昨年度より 3 名減少している。癌以外、老衰で亡くなる方、施設看取りは年々増加している。

3. 令和 4 年度の事業目標

I 健全な経営の確立

- 1) 看護体制強化加算 (介護保険) 維持と機能強化型訪問看護管理療養費 3 (医療保険) の維持
- 2) 重症度の高い利用者の受け入れ
- 3) 医療機関との相互人材交流
- 4) 退院時共同指導参加

重症者の受け入れ、ターミナルケア、緊急時の対応などを随時行い、看護体制強化加算 I、機能強化型」訪問看護管理療養費 3 は今年度も算定できた。

II 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

- 1) 医療安全対策の徹底と評価
 - 2) 人材育成
 - 3) 利用者満足度の向上
- 訪問看護ステップ 1 研修、ストーリーリハビリ研修を受講できた。接遇アンケートでは満足度 90%以上得られた。

III 働き方改革働き方改革

- 1) 働きやすい環境の整備

待機の負担を軽減するよう待機後に年休消化を行った。有給休暇 6 日以上取得は 75% だった。

IV 大規模感染対策

- 1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

職員間での感染はなかった。BPC 策定は継続していく。

(文責：山口 明子)

5. 経営管理部

(1) 総務課

1. スタッフ

課長外 7名（内、会計年度任用職員1名）

2. 業務の現況

- ・ 組合議会に関すること
- ・ 組合例規の制定及び改正
- ・ 職員の採用に関すること
- ・ 職員共済会に関すること
- ・ 職員の人事給与に関すること
- ・ 医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・ 医師の確保（医師支援業務の充実）
- ・ 人事評価制度の見直し
- ・ 組織の業務内容の見直し
- ・ 個人情報管理の徹底
- ・ 働き方改革の推進
- ・ 藤岡市との人事交流の促進

（文責：塩川 広幸）

(2) 用度課

1. スタッフ

課長外 8名

2. 業務の現況

- ・ 医療機器、薬品、診療材料、消耗品等の購入業務
- ・ 薬品、診療材料、消耗品等の物品管理業務
- ・ 委託、賃借等契約業務
- ・ 医療機器の保守、修繕等管理業務
- ・ その他資産の管理業務

3. 今後の目標

- ・ 安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
- ・ 経営戦略室と連携し経費削減における取り組みの検証、及び見直しを行い更なる経費節減・抑制をする。
- ・ 病院としらさぎの里の一元管理。

（文責：新井 誠十郎）

(3) 医事情報課

1. スタッフ

課長外16名、医事業務委託職員、医療情報システム業務委託職員

2. 業務の現況

（医事グループ）

- ・ 医事業務管理業務

- ・施設基準等の届出業務
- ・各種調査、統計業務
- ・地域がん診療拠点病院に関する業務
- ・訪問看護請求管理業務

(診療情報グループ)

- ・診療録、サマリーの点検業務
- ・診療録等の保管管理業務
- ・診療統計、各学会等のデータ登録業務
- ・診療情報開示に関する業務
- ・がん登録、がん統計に関する業務

(診療支援グループ)

- ・医師事務作業補助業務
- ・診断書等の文書作成支援業務

(システム管理グループ)

- ・電子カルテ及び連携する各システムの運用管理
- ・インターネットおよびEメールの運用管理
- ・各種統計類の作成業務
- ・組合全般の情報管理業務

3. 今後の目標

- ①医療情報システムの更新スケジュールを明確化して予算化する。
- ②紙カルテの保管期間の明確化およびスキャナ取り込みにおけるタイムスタンプの導入を検討する。
- ③医師の働き方改革に伴う医師事務作業補助者の増員を図る。

(文責：五十嵐 哲二)

(4) 企画財政課

1. スタッフ

課長外 4名

2. 業務の現状

予算編成及び資金計画の作成
 決算の調整及び執行
 現金預金及び財産の記録管理、経理業務
 各種補助金の実施申請
 企業債の実施申請
 各種病院基準の申請
 財務統計データの作成

3. 今後の目標

公立病院経営強化プランの作成
 中期計画の作成
 機器等の適正な整備計画
 運営資金の確保

(文責：新井 恵介)

(5) 経営戦略室

1. スタッフ

室長外 1名

2. 業務の現況

所属別行動計画の取り纏め、ヒアリング、進捗管理

広報戦略

多野藤岡医療事務市町村組合公式インスタグラムの運用・管理

多野藤岡医療事務市町村組合公式ユーチューブの運用・管理

公立藤岡総合病院登録医向け医師紹介冊子作成・配布

ナースガイド（看護師リクルート）冊子作成

経営戦略の立案に関すること

診療材料、医薬品の費用適正化及び経費削減（単価交渉）

部門別業務実績の取り纏め、報告に関すること

日本病院会 QI データの取り纏め、報告

病院指標に関すること

各種統計の作成、分析及び活用に関すること

その他経営戦略に関すること

3. 今後の目標

経営戦略室は、組織改革により令和4年度をもって廃止。事務分掌等の移管を適切におこない終了した。

(文責：横坂 政彦)

(6) しらさぎの里管理課

1. スタッフ

課長外 8名

2. 業務の現況

管理

事務3名 庶務・経理・用度・修繕・設備・車両等 施設全般の管理業務

介護老人保健施設

・支援相談員1名 入退所の調整や入所相談など

・介護支援専門員1名 入所者の療養計画の作成や家族への連絡・調整など

居宅介護支援事業所

介護支援専門員3名 在宅高齢者の介護計画やサービス事業者との調整など

3. 今後の目標

利用者数（年間平均利用者数）の増加

入所者 一日平均人数： 74人

通所者 一日平均人数： 43人

居宅 一日平均人数： 117人

加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ算定）の継続

接遇の向上

施設内感染防止対策の常態化

(文責：新井 恵介)

6. 研修管理センター

1. スタッフ

研修管理センター長兼臨床研修統括部長 臨床研修医 15名(2年次8名・1年次7名)
事務統括(医局秘書兼務)・事務(医局秘書兼務)・図書司書(医局秘書兼務)

2. 業務実績

- ・職員研修に関すること(人材育成)
全職種合同新入職者オリエンテーションの実施(4月3日間)
院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握
シミュレーター室の管理及び運用
- ・職員の資格取得に関すること
全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理
- ・人材育成・新人研修プログラムの把握管理
- ・医学生の実習に関すること
- ・臨床研修に関すること(卒後臨床研修機能評価4年認定)
研修医症例発表会の実施(1月)
- ・図書に関すること(図書管理・文献検索・学会支援)
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・臨床研修医を確実に採用し、修了認定までのサポートを行なう。
- ・2023年の卒後臨床研修評価受審の指摘事項に関して、改善内容の見直しを行い次の受審に備える。
- ・必要とされる研修について、計画的な実施を検討し研修評価や改善を図る。

(文責：金澤 祐子)

7. 安全管理センター

1. スタッフ

・安全管理センター長 1名(病院長補佐)

・安全管理事務統括 1名

安全管理グループ

・医療安全管理者 1名(看護師長)

・院内感染管理者 1名(感染制御実践看護師)

・事務員 1名(電気主任技術者)

施設管理グループ

・事務員 5名

2. 業務内容

- ・医療安全管理委員会の開催(毎月)
- ・リスクマネージャー専門部会の開催(毎週)
- ・全リスクマネージャー会議の開催
- ・インシデント・アクシデントレポートの集計、報告、分析、対策、実施状況の評価
- ・医療安全巡視の実施
- ・医療安全研修会開催(全職員対象年間2回以上)

- ・医療安全キャンペーンの実施
 - 「指さし呼称の徹底」
 - 「患者誤認 0 」
- ・医療安全地域対策連携加算相互評価
 - (審査：公立富岡総合病院 訪問：群馬大学医学部附属病院)
- ・院内感染予防対策委員会開催（毎月）
- ・ICT活動（毎週 ICT ラウンド週 1 回、会議 1 回）
- ・AST 活動（毎週カンファレンスを実施）
- ・藤岡地域感染防止対策カンファレンス
 - (第 1 回 6/16 第 2 回 8/18 第 3 回 12/15 第 4 回 3/16)
- ・新興感染症に対する訓練（11/10）
- ・感染対策地域連携加算相互評価
 - (審査：公立館林厚生病院 訪問：原町赤十字病院)
- ・院内感染対策研修会（全職員対象年 2 回）
- ・地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
- ・職員手帳発行準備
- ・医療安全 患者文化アンケートの実施（全職員対象）
- ・地震災害総合訓練(年 1 回)
- ・火災避難訓練(年 1 回)
- ・水防訓練（年 1 回）
- ・委託、賃借等契約業務
- ・施設設備の維持
- ・その他資産の管理業務

3. 研修業績

【医療安全研修会】

- ・医療安全必須研修会 職員全員対象
 - 前期 「医療機関におけるハラスメント」
 - 「医療安全とヒューマンエラー」
 - 後期 「BLS」
 - 「部署別-医療安全の取り組み」
- ・新入職者-職種別-実習生関連の医療安全研修会
- ・新人看護師研修
- ・看護補助者医療安全研修

【感染防止対策研修】

- ・感染対策必須研修会 職員全員対象
 - 前期 「標準予防策について」
 - 後期 「新型コロナウイルス感染症」
- ・新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会
- ・新入職看護職員
- ・中途採用者研修（適宜）
- ・感染対策の基本と手洗い（実習生）
- ・看護補助業務における感染管理
- ・診療部会 感染対策研修（6 月・1 月）

4. 今後の目標

- ・医療安全管理指針、医療安全マニュアル、感染対策マニュアルの改訂

- ・薬剤関連エラー防止、ドレーンチューブエラー防止、患者誤認エラー防止の徹底
- ・災害対策
(BCP、マニュアル、一斉連絡配信システム登録者の整備)
- ・医療安全地域対策連携加算・感染対策向上加算、施設基準継続の取り組み
- ・安全管理センターにおける業務整理と改善
- ・施設設備管理の徹底
- ・節電対策

(文責：斉藤 康行)

8. 患者支援センター

1. スタッフ

- センター長(副院長兼患者支援センター長) 1名
- 課長兼事務統括 1名
- 副看護師長 1名・グループリーダー(相談員) 1名
- 看護師 8名(再任用 2名・会計年度任用職員 1名含む)
- 相談員 7名
- 事務員 3名(会計年度任用職員 1名含む)

2. 業務の現況

地域医療連携業務

- ・患者さんのご紹介に関する相談 ・医療機関からの予約診療受付
- ・医療機器の共同利用に関すること・セカンドオピニオンに関すること
- ・診療情報提供書、返書管理・診療情報提供書作成依頼受付・登録医に関すること

入退院支援業務

- ・入院手続き及びご案内 ・入院オリエンテーション、病歴等情報収集
- ・周術期歯科受診予約 ・多職種連携による入退院支援 ・病床管理

医療福祉相談業務

- ・転院や退院後の生活についての相談 ・施設入所相談
- ・在宅医療(往診・訪問診療・訪問看護等)に関する相談
- ・社会福祉制度・社会保障制度に関する各種相談
- ・心理的、社会的、経済的問題や悩みの相談

総合相談業務

- ・診療情報提供書をお持ちの患者さんの事前電話予約受付
- ・外来から地域医療機関への紹介受診の調整 ・入院や通院に対するご意見、苦情
- ・診療に関する不安や疑問、不明な点についての相談

3. 今後の目標

- ・地域の医療、介護、福祉、行政機関と顔の見える連携構築
- ・紹介率、逆紹介率の向上
- ・入退院支援室、総合相談室における患者支援の推進
- ・スタッフの教育及び技術の向上を図り、患者さんやそのご家族に寄り添った支援と効率的な業務遂行との両立

(文責：清宮 きよ江)

9. 緩和ケアセンター

1. スタッフ

緩和ケアセンター長（専任医師）1名

専従看護師1名、専任看護師1名、医療相談員1名、兼任看護師3名

2. 業務概要

緩和ケアセンターは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心に多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

令和4年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 緩和ケア提供体制の充実

がん相談件数 272 件 緩和ケアチーム新規介入件数 391 件 緩和ケア病床登録患者数 160 件 緩和ケア病床在院日数 9.6 日 登録者在宅看取り件数 17 件と実数では前年度を若干下回ったが、緩和ケア病床登録患者数は年々増加しており、病床を活用した在宅支援もスムーズに行えるようになった。

2) 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する取り組み

緩和ケアチーム内で臨床倫理カンファレンスを7回実施。主治医を交え多職種で患者・家族にとっての最善を検討できた。緩和ケアリンクナース部会で倫理的問題について話し合うことができ12例の事例検討を行うことができた。

3) 地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の質の向上に向けた取り組み

院内外を対象とした研修を年間計画に沿って実施できた。緩和ケア研究会やがん診療講演会はハイブリットでの開催が定着し、院外からも20～30名/回参加があった。

3. 今後の目標

- ・質の高い緩和ケアを遂行するため、スクリーニングを継続し早期介入に努める。
- ・緩和ケアチームカンファレンスを充実させ、院内外との多職種連携を強化していく。
- ・緩和ケア病床を活用した在宅療養や在宅看取りに繋がる支援を行う。
- ・グリーフケアの充実を図る。
- ・がん診療連携拠点病院での必須項目の研修を企画・実施する。

(文責：古池きよみ)

病 院 行 事

病院行事

1. 主な病院行事

実施年月日	行 事 名
令和4年4月1日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
5月18日	職員採用試験
5月28日	職員採用試験
7月20日	職員採用試験
7月23日	職員採用試験
8月11日	職員採用試験
8月10日	令和4年度臨床研修医採用試験
8月25日	令和3年度決算審査
9月3日	職員採用試験
9月18日	職員採用試験
10月15日	職員採用試験
10月29日	職員採用試験
11月4日	第2回組合議会定例会
11月5日	職員採用試験
11月17日	職員永年勤続表彰
12月28日	仕事納め
令和5年1月4日	仕事始め、辞令交付式
1月21日	職員採用試験
2月4日	職員採用試験
2月15日	第1回組合議会定例会
2月22日	職員採用予定者説明会
3月8日	火災災害避難訓練
3月31日	定年退職者等辞令交付式

2. 職員健康管理

実施年月日	内 容
令和4年6月27日～7月29日	HBワクチン接種
6月20日～7月1日	前期職員健康診断
8月19日～9月16日	前期電離放射線健康診断
11月14日～11月28日	インフルエンザワクチン接種（混合）
1月13日～2月9日	後期職員健康診断
令和5年2月17日～3月24日	後期電離放射線健康診断

3. 職員共済行事

実施年月日	行 事 名
令和4年6月15日	理事会・評議員会
11月17日～11月30日	厚生部 勤続10年記念品配布
令和5年3月7日	理事会・評議員会
開催中止	群馬県公的病院バレーボール大会（藤岡市）
開催中止	西毛地区公立病院親善野球大会（藤岡市）

<令和4年度> 病院年報
発行日 令和5年11月
発行 多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院
〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1
TEL 0274-22-3311
企画・編集 経営管理部 企画財政課

